

DocuPrint C3550 d
DocuPrint C2550 d
ユーザーズガイド

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、iPhone、AirPrint、iPad、Bonjour、macOS、OS X、and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Android、Google、Google Chrome、および Google Cloud Print は、Google LLC の登録商標または商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）の商標です。

RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mopria および Mopria ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで▲と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。
万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
ご注意 1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。 2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。 3. 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。 4. 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。 5. 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。 また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

ApeosWare、DocuWorks、ContentsBridge、および PDF Bridge は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは DocuPrint C3550 d / DocuPrint C2550 d (以降、本機と呼びます) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご利用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

目次

はじめに.....	3
1 お使いいただく前に.....	9
1.1 マニュアル体系.....	9
本機に付属のマニュアル.....	9
オプション製品に付属のマニュアル.....	9
1.2 本書の使い方.....	10
本書の構成.....	10
本書の表記.....	10
1.3 各部の名称と働き.....	12
本体.....	12
操作パネル.....	14
1.4 本機で使用している記号.....	16
2 本機のセットアップ.....	18
2.1 電源について.....	18
電源を入れる.....	18
電源を切る.....	18
2.2 本機をコンピューターに接続する.....	19
有線 LAN で接続する.....	19
USB で接続する.....	20
無線 LAN で接続する.....	20
IP アドレスを設定する.....	24
Windows 用のソフトウェアをインストールする.....	27
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする.....	29
3 本機の基本操作.....	30
3.1 ディスプレイの表示について.....	30
プリント画面.....	30
メニュー画面.....	30
3.2 節電機能について.....	31
節電機能を設定する.....	31
節電状態を解除する.....	31
節電状態に移行しない場合について.....	31
3.3 用紙について.....	32
弊社が推奨する用紙.....	32
各用紙トレイで使用できる用紙.....	32
使用できない用紙.....	35
用紙の保管と取り扱い.....	36
3.4 用紙をセットする.....	37
用紙をさばく.....	37
用紙トレイ 1 と用紙トレイ 2 ～ 4 (オプション) に用紙をセットする.....	38
手差しトレイに用紙をセットする.....	45
トレイの用紙サイズを設定する.....	50
トレイの用紙種類を変更する.....	52
用紙別の画質処理を設定する.....	53
4 プリント.....	54
4.1 コンピューターからプリントする.....	54
プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能.....	54

4.2	プリントを中止する／確認する	56
	プリントを中止する	56
4.3	はがき／封筒にプリントする	57
4.4	定形外サイズの用紙にプリントする	60
	定形外サイズの用紙をセットする	60
	定形外サイズを登録する	60
	定形外サイズの用紙にプリントする	62
4.5	さまざまな種類の用紙にプリントする	65
	用紙種類によってトレイを自動で選択してプリントする	65
	用紙トレイと用紙種類を設定してプリントする	67
4.6	機密文書をプリントする - セキュリティープリント -	69
	セキュリティープリントについて	69
	セキュリティープリントをする	69
4.7	出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	71
	サンプルプリントについて	71
	サンプルプリントをする	71
4.8	指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -	73
	時刻指定プリントについて	73
	時刻指定プリントをする	73
	時刻指定プリントを中止する	75
4.9	プライベートプリントを使う	76
	プライベートプリントについて	76
	プライベートプリントをするための設定	76
	プライベートプリントをする	77
	プリントデータを削除する	77
4.10	オンデマンドプリントを使う	78
	オンデマンドプリントについて	78
	オンデマンドプリントをするための設定	78
	オンデマンドプリントをする	78
4.11	認証プリントを使う	79
	認証プリントについて	79
	認証プリントをするための設定	79
	認証プリントをする	80
4.12	電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -	82
	メール受信プリントについて	82
	メール受信プリントをするための設定	82
	メールを受信してプリントする	83
	メールを手動で受信してプリントする	85

5 スマートフォン／タブレットからのプリント 86

5.1	本機をスマートフォン／タブレットと接続する	86
	Wi-Fi で接続する	86
	Wi-Fi Direct で接続する	86
5.2	Print Utility を使ってプリントする	91
5.3	その他のサービスを利用する	92
	AirPrint	92
	Google クラウド プリント	93
	Mopria プリントサービス	96

6 本体の設定 98

6.1	仕様設定について	98
	基本的な操作方法	99
	[レポート / リスト]	99
	[メーター確認]	102
	[機械管理者メニュー]	103
	[プリント言語の設定]	135
	[言語切り替え]	138

6.2	消耗品メニューについて	139
	[シリアル番号]	139
	[カスタムモード]	139
7	便利な使い方.....	140
7.1	CentreWare Internet Services を使う	140
	Web ブラウザーの設定	140
	CentreWare Internet Services を起動する	142
	ヘルプの使い方	143
7.2	本機に付属のソフトウェアを使う	144
	Print & Scan Hub (Windows)	144
	ContentsBridge Utility (Windows)	144
	Supply Monitor (Windows)	144
7.3	セキュリティー機能について	146
	セキュリティー機能の概要	146
	複製管理について	148
	強制アノテーションについて	148
	監査ログについて	149
7.4	暗号化機能を設定する	150
	証明書の種類	150
	暗号化機能について	150
	HTTP の通信を暗号化するための設定	151
	IPSec を使用して暗号化するための設定	156
	無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定	159
7.5	ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	161
	認証/集計管理機能の概要	161
	認証/集計管理機能を使用するための設定	162
	IC カード読み取り装置を利用するための設定	167
8	日常管理	169
8.1	消耗品を交換する	169
	消耗品の購入について	169
	消耗品の取り扱いについて	169
	トナーカートリッジを交換する	170
	ドラムカートリッジを交換する	172
	トナー回収ボトルを交換する	178
8.2	ユーザーメンテナンスキット品を交換する	181
	ユーザーメンテナンスキット品の種類と購入について	181
	使用済みユーザーメンテナンスキット品の回収	181
	定着ユニットを交換する	181
8.3	プリントページ数を確認する	185
	総プリントページ数を確認する (メーター)	185
	コンピューター別にプリントページ数を確認する ([集計レポート])	185
	機能別にプリントページ数を確認する ([機能別カウンタレポート])	185
8.4	階調を補正する	186
	階調補正チャートをプリントする	186
	濃度設定値を決める	187
	濃度設定値を入力する	189
8.5	ペーパーレジを補正する	192
8.6	清掃する	194
	本体外部を清掃する	194
	光路 (レーザー) 部の清掃	194
	ADC センサーの清掃 ([094-310] 表示時)	198
	用紙搬送ロールの清掃	200

9 困ったときには.....	208
9.1 紙詰まりの処置	208
手差しトレイでの紙詰まり	209
トレイ 1 ~ 4 での紙詰まり	210
フロントカバー内での紙詰まり (A レバー)	211
フロントカバー内での紙詰まり (B ボタン)	212
レバー E 内での紙詰まり	213
9.2 機器本体のトラブル	216
9.3 プリントのトラブル	217
9.4 画質のトラブル	220
9.5 トレイや用紙送りのトラブル	225
9.6 ネットワーク関連のトラブル	226
無線 LAN 接続時のトラブル	226
Wi-Fi Direct 接続時のトラブル	226
IPv6 接続時のトラブル	227
9.7 エラーコード	228
10 オプション製品の取り付け.....	270
10.1 無線 LAN キットの取り付け	270
10.2 トレイモジュールの取り付け	272
10.3 専用キャビネットの取り付け	277
専用キャビネットの取り付け例	277
取り付け手順	277
10.4 専用キャスター台の取り付け	281
専用キャスター台の取り付け例	281
取り付け手順	281
10.5 ストレージの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)	285
10.6 PostScript ソフトウェアキットの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)	288
10.7 セキュリティ拡張キットの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)	290
10.8 セカンダリーイーサネットキットの取り付け	292
10.9 地震対策キット (バンドタイプ) の取り付け	294
10.10 地震対策キット (ゲルタイプ) の取り付け	295
11 付録	296
11.1 主な仕様	296
11.2 消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について	302
消耗品の寿命について	302
使用済み消耗品の回収	303
定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について	303
補修用性能部品およびユーザーメンテナンスキット品について	304
11.3 本機を移動する	305
11.4 本機のファームウェアを更新する	306
11.5 エミュレーションについて	307
エミュレーションモード	307
プリント言語の切り替え	307
モードメニュー画面	307
使用できるフォント	307
ART IV、ESC/P エミュレーションについて	308
PC-PR201H エミュレーションについて	313
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて	318
PCL エミュレーションについて	323
11.6 lpr コマンドでプリントする	326

12操作パネルメニュー一覧	327
12.1 操作パネルの基本的な使い方	327
12.2 仕様設定メニュー	328
12.3 プリントメニュー	337
12.4 消耗品メニュー	338

1 お使いいただく前に

1.1 マニュアル体系

本機に付属のマニュアル

簡単操作ガイド（冊子）

本機の設置手順と基本的な使い方、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブルの対処方法、および本体同梱メディア「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明しているマニュアルです。

ユーザズガイド（本書）（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）

本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しているマニュアルです。

オプション製品に付属のマニュアル

本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

1.2 本書の使い方

本書は、プリント環境の設定、プリントの仕方、使用できる用紙、日常のお手入れ方法などについて記載しています。

補足

- 本書では特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft® Windows® 10 および macOS 10.15 を例に説明しています。




本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

- 1 お使いいただく前に
操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。
- 2 本機のセットアップ
本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
- 3 本機の基本操作
節電機能、使用できる用紙、および用紙のセット方法について説明しています。
- 4 プリント
プリントの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
- 5 スマートフォン／タブレットからのプリント
本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリント方法について説明しています。
- 6 本体の設定
操作パネルで設定できる項目と、その設定方法について説明しています。
- 7 便利な使い方
コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証／集計管理機能について説明しています。
- 8 日常管理
消耗品の交換方法や本機の清掃など、日常の管理について説明しています。
- 9 困ったときには
トラブルの対処方法について説明しています。
- 10 オプション製品の取り付け
オプション製品の取り付け方法について説明しています。
- 11 付録
主な仕様、消耗品の寿命、製品情報の入手方法、および各エミュレーションについて説明しています。
- 12 操作パネルメニュー一覧
本機の操作パネルから設定できるメニュー一覧について説明しています。

本書の表記

- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

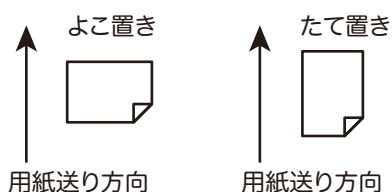
 注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
 補足	補足事項を記述しています。
 参照	参照先を記述しています。

「 」	<ul style="list-style-type: none"> • 本書内にある参照先を表しています。 • 付属のメディアの名称や機能の名称、入力文字などを表しています。 • 参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のディスプレイに表示されるメッセージやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
< >	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
>	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 本書では、用紙の向きを、次のように表しています。

☐、よこ置き：本機正面から見て、用紙☐をよこ長にセットした状態を表しています。

☐、たて置き：本機正面から見て、用紙☐をたて長にセットした状態を表しています。

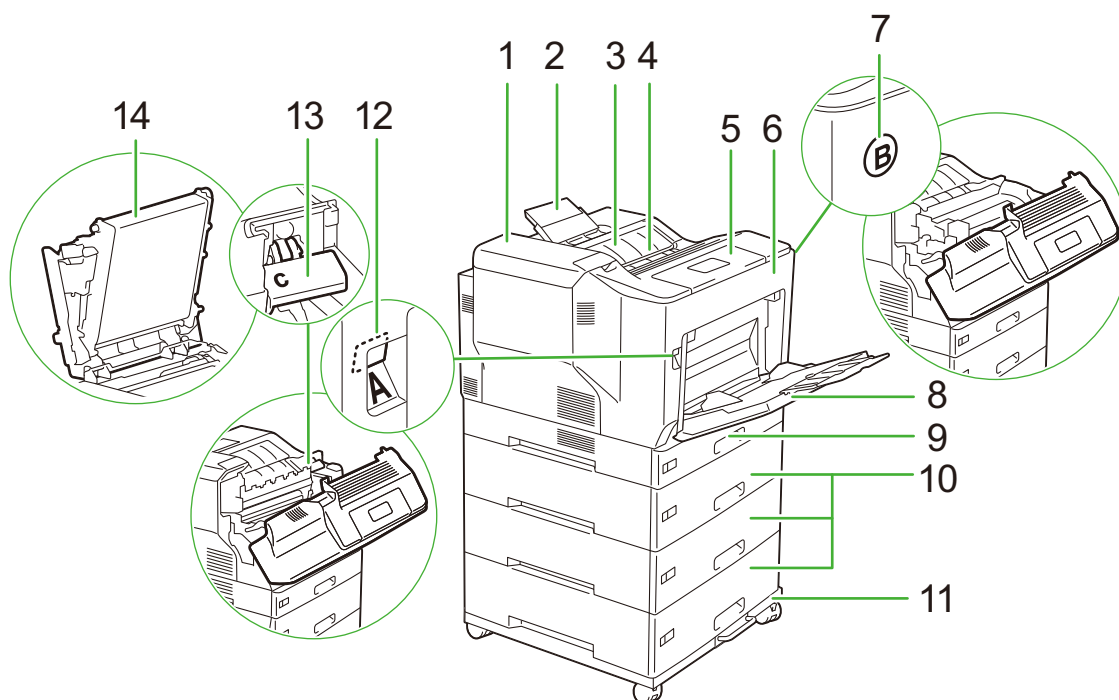



- 本書では、オプション (DocuPrint C3550 d のみ) の、機能拡張キット (ハードディスク) とストレージ (SSD) を総称して「ストレージ」と表記します。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

1.3 各部の名称と働き

本体

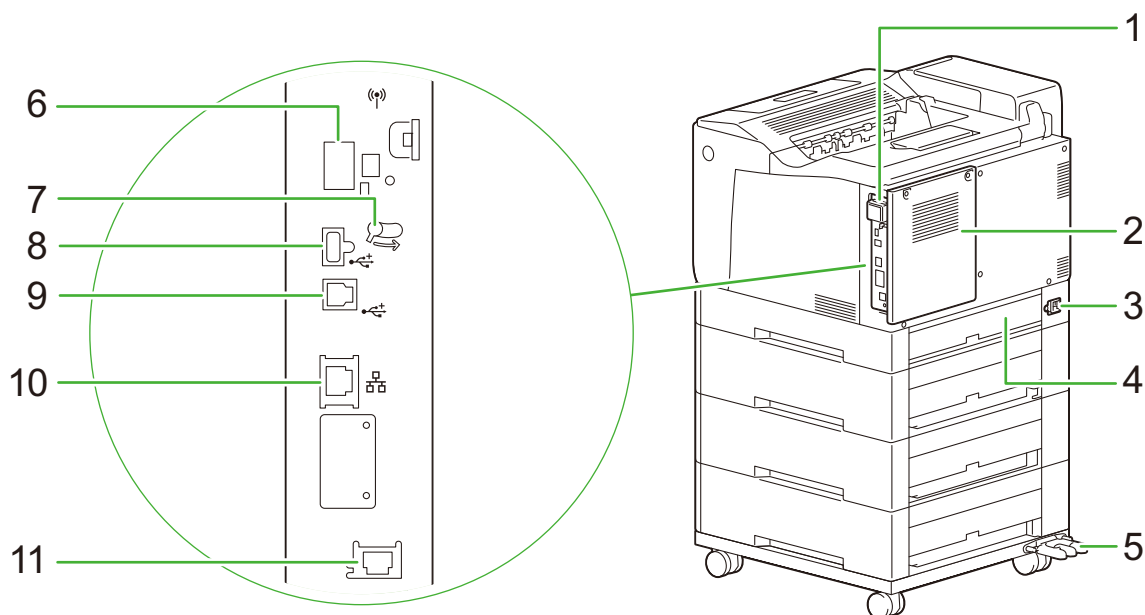
前面と左側面



No.	名称	説明
1	トナーカバー	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
2	排出延長トレイ	持ち上げて排出トレイを延長します。
3	トナー回収ボトルカバー	トナー回収ボトルを交換するときに開けます。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。  参照 ・詳しくは、「操作パネル」(P.14)を参照してください。
6	フロントカバー	消耗品を交換するときや詰まった用紙を取り除くときに開けます。 目的によって、Aレバーを使って開ける方法とBボタンを使って開ける方法があります。
7	Bボタン	定着ユニットの交換、紙詰まりの対処などをするとき、このボタンを押してフロントカバーを開けます。
8	手差しトレイ	用紙トレイ1～4にセットしていない用紙、またはできない用紙にプリントするときに使用します。
9	用紙トレイ1	用紙をセットします。
10	用紙トレイ2～4 (オプションのトレイモジュール)	用紙をセットします。
11	専用キャスター台 (オプション)	移動時に使用します。

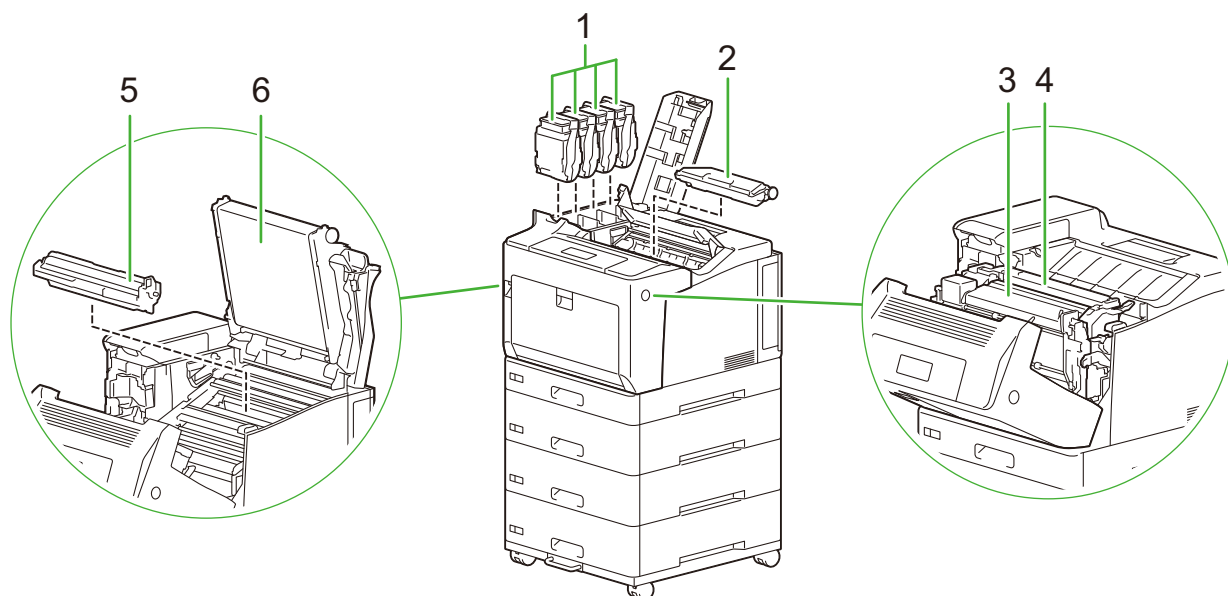
No.	名称	説明
12	A レバー	ドラムカートリッジの交換や紙詰まりの対処などをするときに、このレバーを押し上げてフロントカバーを開けます。
13	C レバー	ドラムカートリッジの交換や清掃用パッドで光路（レーザー）部の清掃などをするときに、このレバーを使ってトップカバーを開けます。
14	トップカバー	ドラムカートリッジの交換や清掃用パッドで光路（レーザー）部の清掃などをするときに、C レバーを使って開けます。

背面



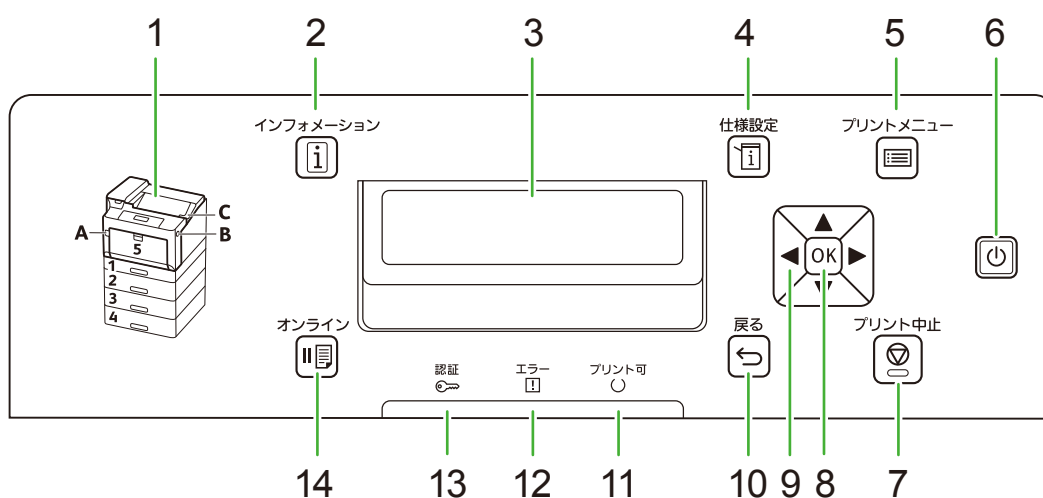
No.	名称	説明
1	無線 LAN キット（オプション）	本機を無線 LAN で接続するときに取り付けます。
2	背面カバー	各種オプションを取り付ける場合に、必要に応じてこのカバーを取り外します。
3	電源コード接続部	電源コードを接続します
4	ダストカバー	用紙トレイ 2～4（オプションのトレイモジュール）を装着するときに取り外します。
5	ケーブルフック	専用キャスター台（オプション）が取り付けられている場合に、電源コードを巻きつけます。
6	無線 LAN キットソケット	無線 LAN キット（オプション）を取り付けます。
7	ロックレバー	無線 LAN キット（オプション）を取り外すときに右に引きまします。
8	USB コネクター（上側）	USB 接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
9	USB コネクター（下側）	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
10	イーサネットコネクター	ネットワークケーブルを接続します。
11	セカンダリーイーサネットコネクター（オプション）	セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に、ネットワークケーブルを接続します。




内部



No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナーが入っています。本機に向かって奥側からイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) です。
2	トナー回収ボトル	使用済みのトナーを回収するボトルが入っています。
3	両面プリントモジュール	用紙の両面にプリントする装置です。
4	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる装置です。 注記 ・高温時に触れないように注意してください。
5	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。本機に向かって奥側からイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) です。
6	中間転写ユニット	トナーを用紙に転写します。

操作パネル







No.	名称	説明
1	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。
2	〈インフォメーション〉 ボタン	ディスプレイに■マークが表示されているときにこのボタンを押すと、詳細情報が表示されます。
3	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。  参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「ディスプレイの表示について」(P.30)を参照してください。
4	〈仕様設定〉 ボタン	仕様設定メニューが表示されます。
5	〈プリントメニュー〉 ボタン	セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書をプリントするときに押します。
6	⏻(電源/節電) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れる/切るときに押します。 節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 本機が節電状態に入ると点灯します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる/切る方法については、「電源について」(P.18)を参照してください。 節電機能については、「節電機能について」(P.31)を参照してください。
7	〈プリント中止〉 ボタン	プリントを中止します。
8	〈OK〉 ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。
9	〈▲〉 〈▼〉 〈◀〉 〈▶〉 ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移動します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> 〈▲〉 〈▼〉 ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。
10	〈戻る〉 ボタン	メニュー画面のとき、1つ前の項目に戻ります。
11	〈プリント可〉 ランプ	点灯中は、プリントできます。データ処理中は、点滅します。
12	〈エラー〉 ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅または点灯します。
13	〈認証〉 ランプ	オプションのICカード認証時に点灯します。
14	〈オンライン〉 ボタン	〈オンライン〉 ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈プリント可〉 ランプが消灯し、プリント処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態(プリント可能な状態)に移行します。

1.4 本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

記号	説明	記号	説明
	注意、危険、警告		裏紙（他機で印刷した紙）を使用しないこと
	高温注意		OHP フィルムを使用しないこと
	接触禁止		用紙
	分解禁止		はがき
	指示に従うこと		封筒
	アース線を接続すること		用紙のプリント面を上セット
	トナーカートリッジを火中に投じないこと		用紙のプリント面を下にセット
	トナー回収ボトルを火中に投じないこと		最大積載量
	ドラムカートリッジを直射日光に当てないこと		用紙残量
	電源オン/オフ		用紙補給
	インクジェット紙を使用しないこと		紙詰まり
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと		LAN
	推奨外ラベル紙を使用しないこと		USB
			Wi-Fi

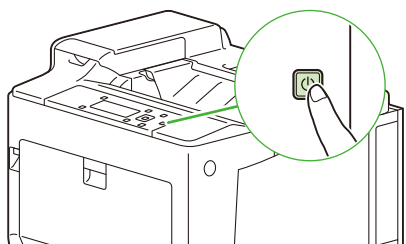
記号	説明
	トナー
	操作方向
	ロック
	ロック解除

2 本機のセットアップ

2.1 電源について

電源を入れる

1. 電源/節電 ボタンを押します。



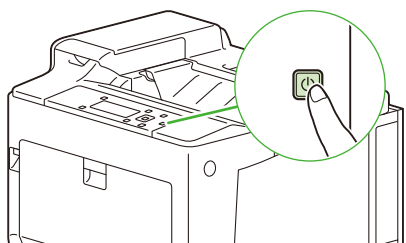
プリントできる状態になると、ディスプレイに [プリントできます] と表示されます。

電源を切る

注記

- 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- 電源/節電 ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. 電源/節電 ボタンを押します。



2. ディスプレイに [電源を切る] が表示されていることを確認し、OK ボタンを押します。

補足

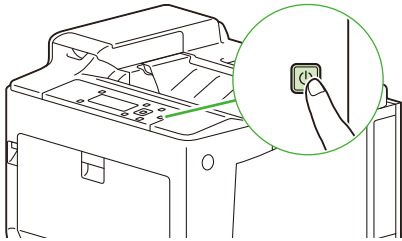
- 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

2.2 本機をコンピューターに接続する

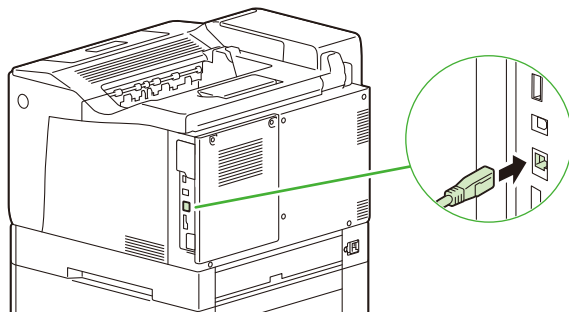
本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

有線 LAN で接続する

1. 〔電源/節電〕 ボタンを押して電源を切ります。



2. ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクタに差し込みます。

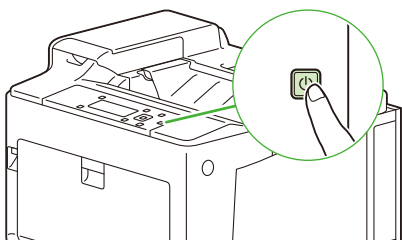


💡 補足

- セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続することもできます。

3. ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。

4. 〔電源/節電〕 ボタンを押し、電源を入れます。



5. 本機の IP アドレスを設定します。

📖 参照

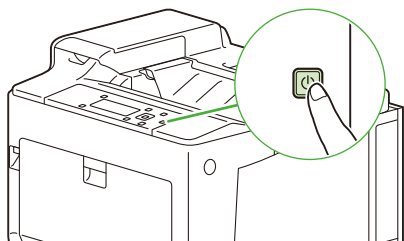
- 詳しくは、「IP アドレスを設定する」(P.24) を参照してください。

USB で接続する

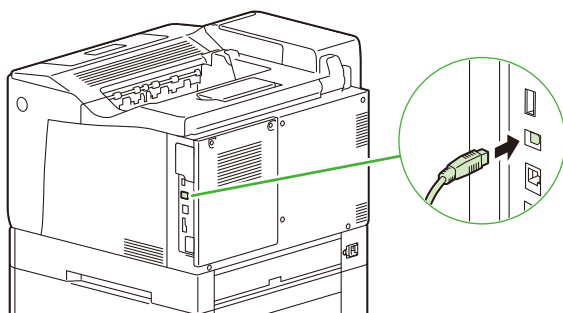
注記

- 正しく認識されなかったり、動作が不安定になったりする場合がありますため、本機を USB ハブに接続しないでください。

1. 電源/節電 ボタンを押し、電源を切ります。

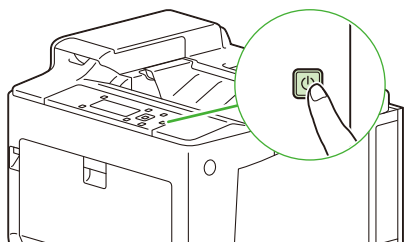


2. USB ケーブルを本体の USB コネクター（下側）に差し込みます。



3. USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。

4. 電源/節電 ボタンを押し、電源を入れます。



無線 LAN で接続する

無線 LAN を使うために必要な作業

無線 LAN を設定する前に、次の操作をしてください。

1. 無線 LAN キット（オプション）が本機に取り付けられていることを確認します。

参照

- 詳しくは、「無線 LAN キットの取り付け」(P.270) を参照してください。

無線 LAN 接続の設定方法は次のとおりです。

- 本機の操作パネルから、自動設定で接続する
- 本機の操作パネルから、手動設定で接続する

参照

- 詳しくは、「無線 LAN に自動設定で接続する」(P.21)、「無線 LAN に手動設定で接続する」(P.23) を参照してください。

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS (プッシュボタン方式) および WPS (PIN コード方式) を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

- WPS (プッシュボタン方式) では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。
- WPS (PIN コード方式) では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している場合に使用できます。

参照

- 無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

WPS (プッシュボタン方式) で接続する場合

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
 機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
 Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。
7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
 WPS セットアップ

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[PBC 開始] が表示されます。
9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[[OK] キーで接続] が表示されます。

10. 〈OK〉 ボタンを押します。

11. 無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

WPS (PIN コード方式) で接続する場合

1. 操作パネルの 〈仕様設定〉 ボタンを押します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
WPS セットアップ

8. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[PBC 開始] が表示されます。

9. [PINCode] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

WPS セットアップ
PINCode

10. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

表示される PIN コードをメモします。

11. 〈OK〉 ボタンを押します。

12. PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。

設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。



参照

- PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN に手動設定で接続する

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選ぶか、または SSID を指定して無線 LAN に接続します。

💡 補足

- 無線 LAN アクセスポイントの SSID が必要です。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。
 7. [アクセスポイント検索] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
- Wi-Fi 設定
アクセスポイント検索
8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
アクセスポイントの一覧が表示されます。
 9. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、〈OK〉ボタンを押します。
 10. 画面の指示に従って必要な情報を設定します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

SSID を手動で入力して接続する場合

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

4. <▶> または <OK> ボタンを押します。

[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi 設定

6. <▶> または <OK> ボタンを押します。

[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

7. [SSID 直接入力] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
SSID 直接入力

8. <▶> または <OK> ボタンを押します。

9. SSID を入力し、<▶> または <OK> ボタンを押します。

[ネットワークタイプ] が表示されます。

10. <▼> ボタンを押して [インフラストラクチャ] または [アドホック] をお使いの環境に合わせて選び、<OK> ボタンを押します。

[セキュリティ] が表示されます。

💡 補足

- [Wi-Fi Direct] が有効な場合は、[アドホック] を使用できません。

11. <▼> ボタンを押して、暗号化方式を選びます。

12. <OK> ボタンを押します。

13. 画面の指示に従って必要な情報を設定します。

設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定/確認方法について IPv4 を例に説明します。

本機の操作パネルから設定する

1. 操作パネルの <仕様設定> ボタンを押します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または <OK> ボタンを押します。

[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

4. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。
6. <▶> または <OK> ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
7. [IPv4] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

IP 動作モード IPv4

8. <OK> ボタンを押します。
9. <戻る> ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。
10. [Ethernet] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

TCP/IP 設定 Ethernet

11. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。
12. <▶> または <OK> ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
13. IP アドレスの割り当て方法を選び、<OK> ボタンを押します。
[手動] 以外を選んだ場合は、手順 14 に進みます。
[手動] を選んだ場合は、次の操作をします。
 - 1) [IP アドレス] を入力します。
 - 2) <戻る> ボタンを押して、[Ethernet] を表示します。
 - 3) [サブネットマスク] と [ゲートウェイ] をそれぞれ選び、入力します。
14. <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面または機能設定リストで確認できます。

操作パネルで確認する

1. 操作パネルの <仕様設定> ボタンを押します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[IP 動作モード] が表示されます。

6. [Ethernet] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

TCP/IP 設定
Ethernet

7. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[IP アドレス取得方法] が表示されます。

8. [IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

9. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

IP アドレスが表示されます。

10. 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

機能設定リストで確認する

1. 操作パネルの 〈仕様設定〉 ボタンを押します。

[レポート / リスト] が表示されます。

2. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[機能設定リスト] が表示されます。

3. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

プリントを開始させる画面が表示されます。

4. 〈OK〉 ボタンでプリントします。

レポートがプリントされます。

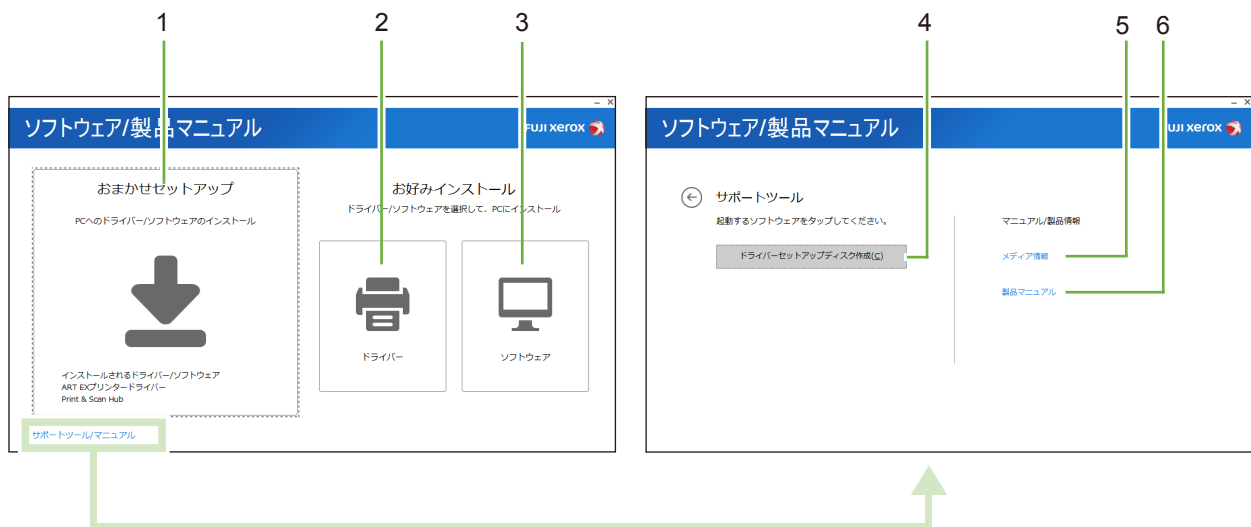
リストの [コミュニケーション設定] の項目内に記載されている IP アドレスを確認します。

5. 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

Windows 用のソフトウェアをインストールする

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



1 【おまかせセットアップ】

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub
- Supply Monitor

参照

- インストール方法については、「[おまかせセットアップ] でインストールする」(P.28) を参照してください。
- Print & Scan Hub については、「Print & Scan Hub (Windows)」(P.144) を参照してください。

2 【お好みインストール】 > 【ドライバー】

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2 (PostScript® ソフトウェアキット (平成 2 書体) 用) (オプション (DocuPrint C3550 d のみ))
- PS ドライバー J2 (PostScript® ソフトウェアキット (モリサワ 2 書体) 用) (オプション (DocuPrint C3550 d のみ))
- 共通プリンタードライバー

参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.28) を参照してください。

3 【お好みインストール】 > 【ソフトウェア】

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility
- Supply Monitor



参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.28) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機に付属のソフトウェアを使う」(P.144) を参照してください。

4 [サポートツール] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負担を軽減できます。



補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [メディア情報]

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 [製品マニュアル]

ユーザーズガイド（本書）を表示できます。

[おまかせセットアップ] でインストールする



補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P.19)
 - 「USB で接続する」(P.20)
 - 「無線 LAN で接続する」(P.20)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする



補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。

- 「有線 LAN で接続する」(P.19)
- 「USB で接続する」(P.20)
- 「無線 LAN で接続する」(P.20)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

💡 補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。

[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。

5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

3 本機の基本操作

3.1 ディスプレイの表示について

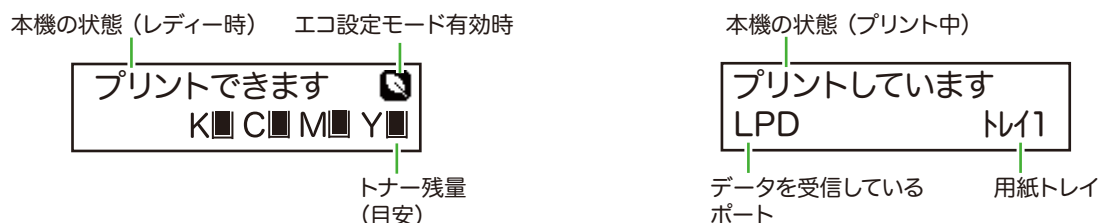
本機の状態を表す「プリント画面」と、本機の設定をするための「メニュー画面」があります。

💡 補足

- 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ディスプレイに **i** マークが表示されているときに〈インフォメーション〉ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

本機の状態を表示します。レディー時またはプリント中は、プリント画面に次のように表示されます。



📖 参照

- エコ設定モードについては、「[エコ設定モード]」(P.116)を参照してください。

トナー残量マークは、次のように表示されます。トナー残量 0% の場合は、エラーメッセージが表示されます。

トナー残量 100~76%	トナー残量 75~51%	トナー残量 50~26%	トナー残量 25~1%
■	■	■	■

メニュー画面

本機の設定をする画面です。

操作パネルで、それぞれ次のボタンを押すと表示されます。

- 仕様設定メニュー：〈仕様設定〉ボタン
- プリントメニュー：〈プリントメニュー〉ボタン
- 消耗品メニュー：〈▼〉 + 〈OK〉ボタン

📖 参照

- 仕様設定メニューと消耗品メニューで設定できる項目については、「本体の設定」(P.98)を参照してください。

3.2 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げ、電力を節約する、節電機能が搭載されています。




節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。本機を一定時間使用しないと、低電力モードに入り、そのあと、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

注記

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。

補足

- 節電移行時間短縮機能を使用すると、ほかの設定にかかわらず、30 秒後に、スリープモードに移行できます。スリープモードに移行できない場合は、低電力モードに移行します。
-  〈電源／節電〉 ボタンを押し、 ボタンで [節電モードに入る] を選んで、 〈OK〉 ボタンを押すことで、節電状態に移行することもできます。

参照

- 節電移行時間短縮の設定については、「[節電移行時間短縮]」(P.116) を参照してください。

節電機能を設定する


低電力モード／スリープモードに移行するまでの時間を設定できます。

参照

- 低電力モードとスリープモードの設定については、「[低電力移行時間]」(P.116)、「[スリープモード移行時間]」(P.117) を参照してください。

節電状態を解除する

節電状態は、次の場合に解除されます。

- 節電状態は、コンピューターからデータを受信すると、自動的に解除されます。
- 本機に IC カード読み取り装置を接続している場合は、低電力モード時に IC カードをタッチすると、低電力モードが解除されます。スリープモード時には解除されません。
- 手で節電状態を解除するには、操作パネルの  〈電源／節電〉 ボタンを押します。

節電状態に移行しない場合について

次のようなときは、メッセージを表示するため、また、本機の性能を発揮するために、節電状態に移行しません。

- 操作パネルで何らかの操作をしているとき
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、1 つでも交換メッセージが表示されているとき
- 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
- エラーが発生しているとき
- [結露防止モード] が [有効] に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

3.3 用紙について

弊社が推奨する用紙

⚠ 警告

- 電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にプリントするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

商品名	用紙質量 (g/m ²)	用紙種類	用紙の画質処理
P	64	普通紙	[B]
C ²	70	普通紙	[B]

その他の用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

📖 参照

- 用紙の画質処理については、「[用紙の画質処理]」(P.129)を参照してください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	用紙質量 (g/m ²)	古紙パルプ配合率
G70	67	70%
GR100	67	100%
C ^{2r}	70	70%

各用紙トレイで使用できる用紙

ⓘ 注記

- 水、雨、蒸気などの水分により、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

用紙質量と最大収容枚数

用紙トレイ	用紙質量 (g/m ²)	最大収容枚数 (P紙の場合)
用紙トレイ 1	60～216 (A4サイズの場合：220まで)	305 枚
用紙トレイ 2～4 (オプション)	60～175	670 枚
手差しトレイ	60～216 (A4サイズの場合：220まで)	190 枚 💡 補足 <ul style="list-style-type: none">• 封筒：20 枚• 郵便はがき：75 枚• 長尺紙：1 枚

用紙種類

プリンタードライバーの項目で設定できる用紙種類

○：使用可 ×：使用不可

用紙種類	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2~4 (オプション)	手差しトレイ	自動両面
[上質紙]	○	○	○	○
[普通紙]	○	○	○	○
[再生紙]	○	○	○	○
[厚紙 1(106 ~ 163g/m ²)]	○	○	○	×
[厚紙 1(106 ~ 163g/m ²) うら面]	×	×	○	×
[厚紙 2(164 ~ 216g/m ²)]	○	×	○	×
[厚紙 2(164 ~ 216g/m ²) うら面]	×	×	○	×
[ラベル紙]	○	○	○	×
[コート紙 1(105g/m ²)]	×	×	○	○
[コート紙 1(105g/m ²) うら面]	×	×	○	×
[コート紙 2(106 ~ 163g/m ²)]	×	×	○	×
[コート紙 2(106 ~ 163g/m ²) うら面]	×	×	○	×
[コート紙 3(164 ~ 216g/m ²)]	×	×	○	×
[コート紙 3(164 ~ 216g/m ²) うら面]	×	×	○	×
[封筒]	×	×	○	×
[封筒うら面]	×	×	○	×
[はがき]	×	×	○	×
[はがきうら面]	×	×	○	×

注記

- コート紙は、1 枚ずつセットしてください。多数をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。

補足

- 自動で両面プリントができないサイズや種類の場合は、一度プリントした用紙（本機で片面をプリントした場合に限る）を手差しトレイにセットして、手動でうら面にプリントしてください。このとき、プリンタードライバーでは、用紙種類を [xxx うら面] に設定します。なお、上質紙、普通紙、再生紙は、うら面用に用紙種類を変更する必要はありません。
- ラベル紙は、うら面にはプリントできません。
- 長尺サイズの用紙で設定できる用紙の種類は、[厚紙 1 (106 ~ 163g/m²)] だけです。

用紙サイズ

プリンタードライバーの項目で設定できるサイズ

○：使用可 ×：使用不可

用紙サイズ (幅 x 長さ)	向き	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2~4 (オプション)	手差しトレイ	自動両面
[A3 (297x420mm)]	たて置き	○	○	○	○
[B4 (257x364mm)]	たて置き	○	○	○	○
[A4 (210x297mm)]	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	○	○	○	○
[B5 (182x257mm)]	よこ置き	○	○	○	○
[A5 (148x210mm)]	よこ置き	○	○	○	○
[B6 (128x182mm)]	よこ置き	×	×	○	×
[A6 (105x148mm)]	よこ置き	×	×	○	×
[はがき (100x148mm)]	よこ置き	×	×	○	×
[往復はがき (148x200mm)]	よこ置き	×	×	○	×
[封筒長形 3号 (120x235mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒長形 3号 [洋] (120x235mm)]	よこ置き	×	×	○	×
[封筒 C5 (162x229mm)]	たて置き	×	×	○	×
[7.25x10.5"]	よこ置き	×	×	○	×
[8.5x11" (レター)]	たて置き	○	○	○	○
	よこ置き	○	○	○	○
[8.5x14" (リーガル)]	たて置き	○	○	○	○
[8.5x13"]	たて置き	×	×	○	○
[11x17"]	たて置き	○	○	○	○
[封筒洋形 2号 (114x162mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒洋形 3号 (98x148mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒洋形 4号 (105x235mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒モナーク (98x191mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒 #10 (105x241mm)]	たて置き	×	×	○	×
[封筒 DL (110x220mm)]	たて置き	×	×	○	×
[長尺紙 A (297x900mm)]	たて置き	×	×	○	×

用紙サイズ (幅 x 長さ)	向き	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2~4 (オプション)	手差しトレイ	自動両面
[長尺紙 B (297x1200mm)]	たて置き	×	×	○	×

💡 補足

- Ncolor209やOKプリンス上質 209g/m²の A4 サイズを手差しトレイにセットする場合は、横置きにセットします。

ユーザー定義サイズ

用紙トレイ	ユーザー定義サイズ
用紙トレイ 1	幅：210 ~ 297 mm 長さ：148 ~ 431.8 mm
用紙トレイ 2 ~ 4 (オプション)	幅：210 ~ 297 mm 長さ：148 ~ 431.8 mm
手差しトレイ	幅：75 ~ 297 mm 長さ：98 ~ 1200 mm

💡 補足

- 自動両面機能は、次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。
 - 用紙サイズ
幅：210 ~ 297 mm
長さ：148 ~ 431.8 mm
 - 用紙質量：60 g/m² ~ 105 g/m²

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりや故障、画質への影響、および装置破損の原因になります。

- インクジェット用紙
- 感熱紙/熱転写用紙
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

💡 補足

- 絵入りのはがきを使用すると、絵柄裏写り防止用の粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。また、紙粉の多い用紙を使用すると、紙粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

3.4 用紙をセットする

注記

- 電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙詰まりの原因になります。

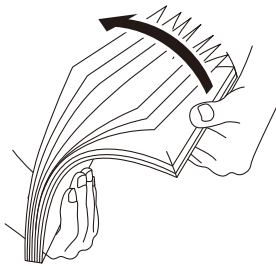
補足

- プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

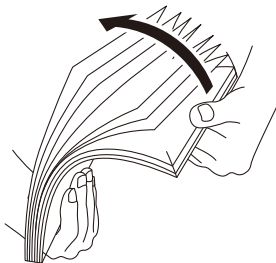
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

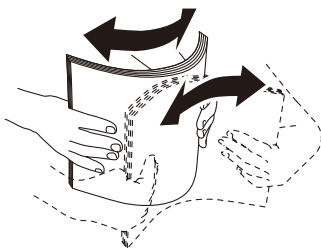
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。



3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。

用紙トレイ 1 と用紙トレイ 2～4（オプション）に用紙をセットする

用紙サイズの設定

定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。
定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。



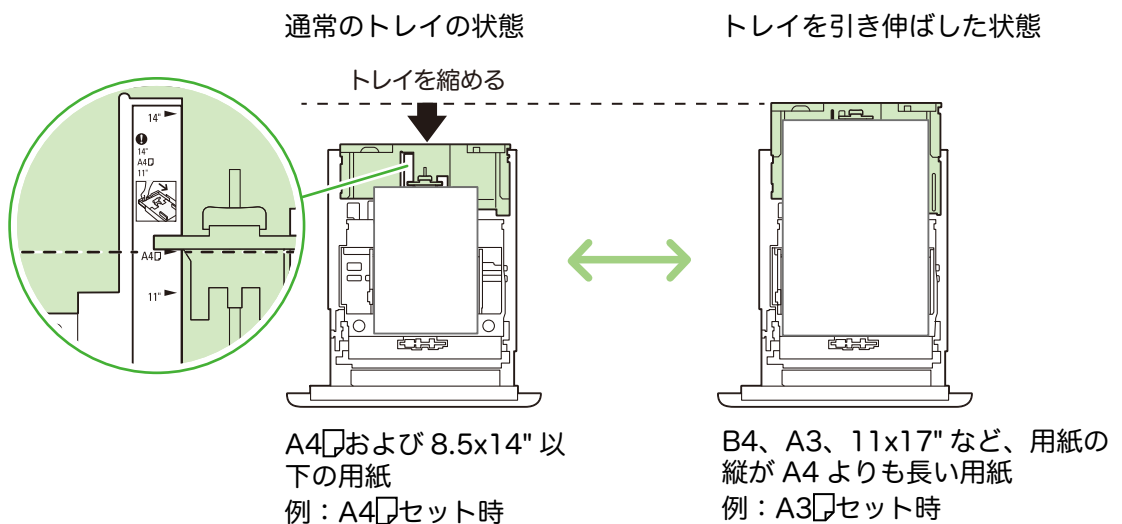
- 詳しくは、「トレイの用紙サイズを設定する」(P.50) を参照してください。

B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4 (297 mm) よりも長い用紙をトレイにセットする場合は、トレイを引き伸ばします。



注記

- A4 または 8.5x14" 以下の用紙をセットする場合は、トレイを縮めた状態（工場出荷時の状態）でご使用ください。トレイが伸びていると、A4 および 8.5x14" 以下の用紙サイズは、正しく検知できません。



補足

- トレイを引き伸ばすと、本体の奥行きよりもトレイの長さが長くなるため、トレイが本機の背面から突き出た状態になります。

用紙種類の設定

定形サイズ・定形外サイズどちらも、用紙種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定が、セットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。用紙の種類を正しく設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。



補足

- 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで [用紙の画質処理] の設定が必要なことがあります。画質については「[用紙の画質処理]」(P.129) を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P.53) を参照してください。
- 用紙の種類は、プリント時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「さまざまな種類の用紙にプリントする」(P.65) を参照してください。

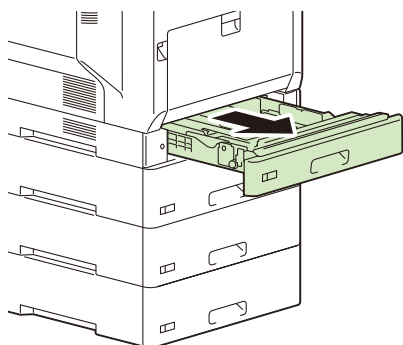


参照

- 用紙種類の設定については、「トレイの用紙種類を変更する」(P.52) を参照してください。

用紙トレイ 1 に用紙をセットする

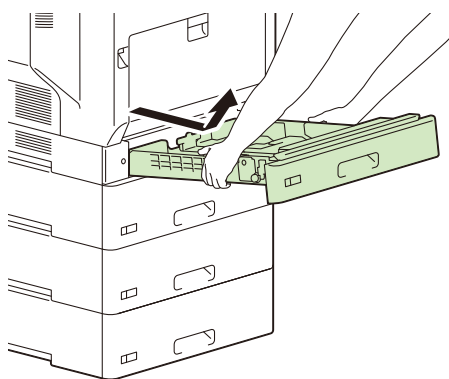
1. トレイを止まるまで手前に引き出します。



2. トレイの両側を両手で支え、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。

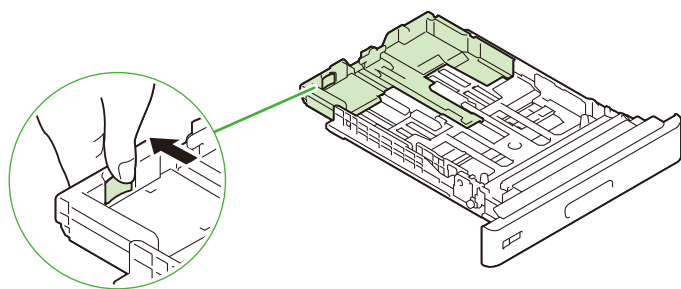
! 注記

- 用紙トレイは完全に引き抜いてください。

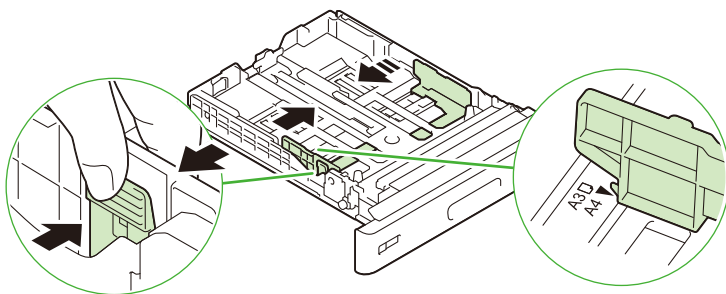


トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 3 に進みます。トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 4 に進みます。

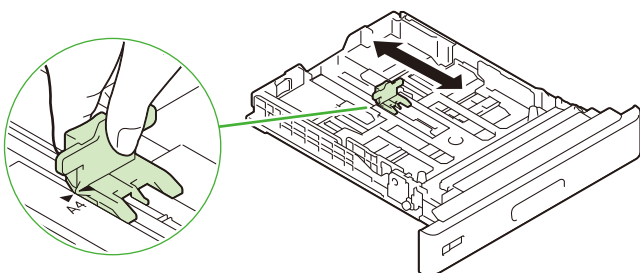
3. トレイの長さを変更する場合は、トレイ奥のクリップを指でつまみ、「カチッ」となるまでトレイを伸ばし（または縮め）ます。



4. 左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。

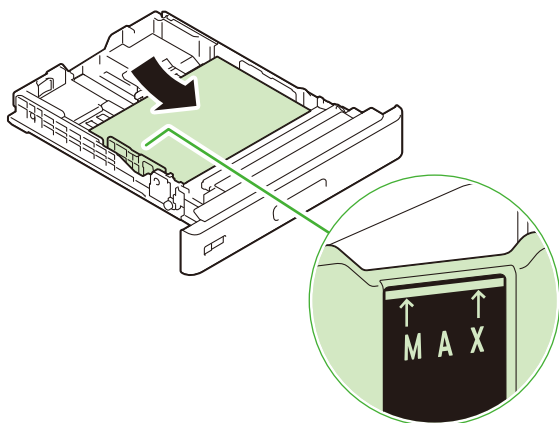


5. たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。
用紙サイズの▶マークの先端と、用紙ガイドの▼マークの先端を合わせます。



6. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で用紙の四辺を整えます。

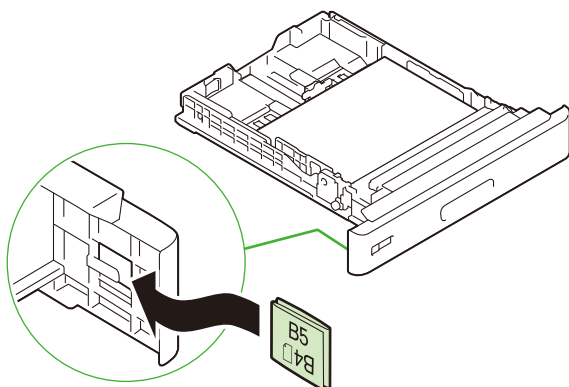
7. プリントする面を上にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。



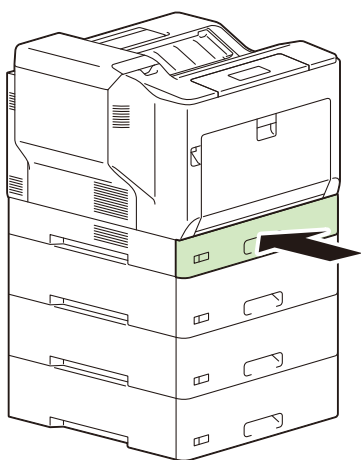
! 注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

8. セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替えます。



9. トレイをゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。

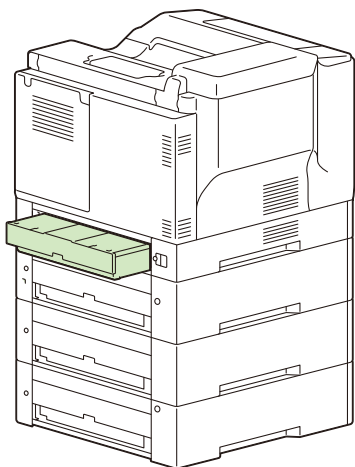


❗ 注記

- トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

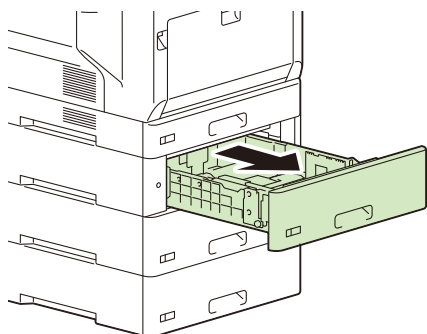
💡 補足

- トレイを伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。



用紙トレイ 2～4（オプション） に用紙をセットする

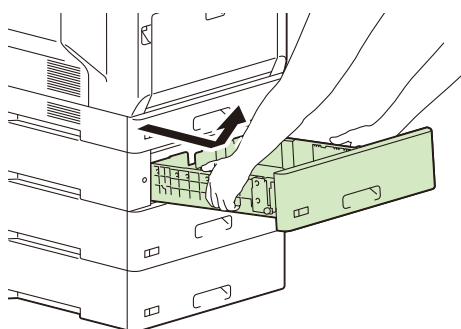
1. トレイを止まるまで手前に引き出します。




2. トレイの両側を両手で支え、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。

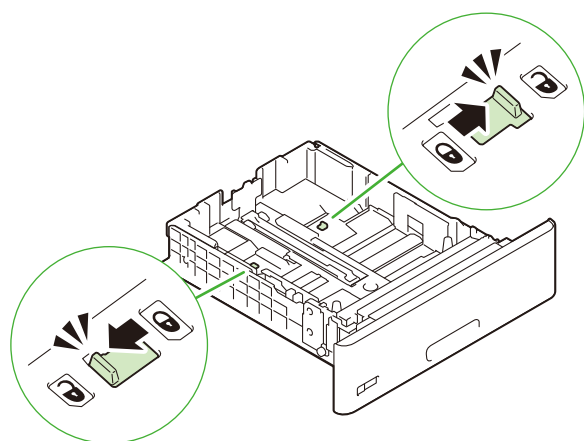
! 注記

- 用紙トレイは完全に引き抜いてください。



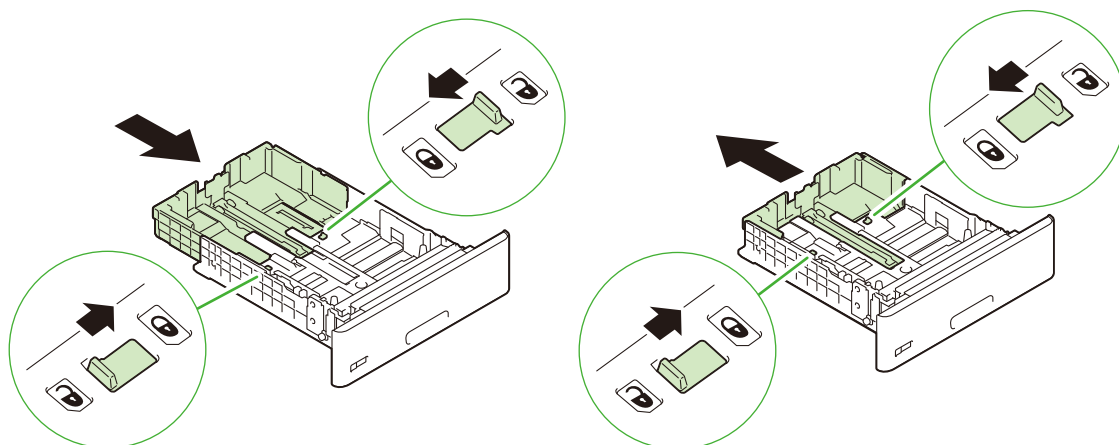
トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 3 に進みます。トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 5 に進みます。

3. トレイの長さを変更する場合は、トレイの左右の突起物をロック解除マーク側  に動かしてロックを解除します。

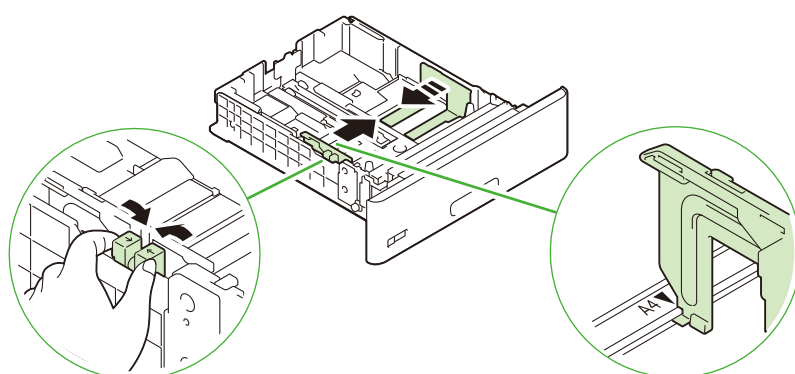


4. 用紙に合わせてトレイの長さを調節します。

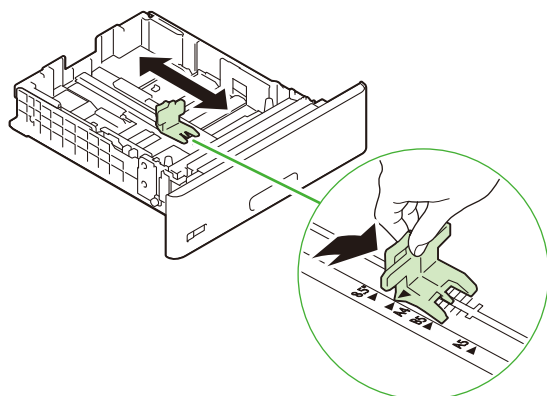
手順 3 で解除したロックがかかるまで引き伸ばす、または縮めます。



5. 左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。

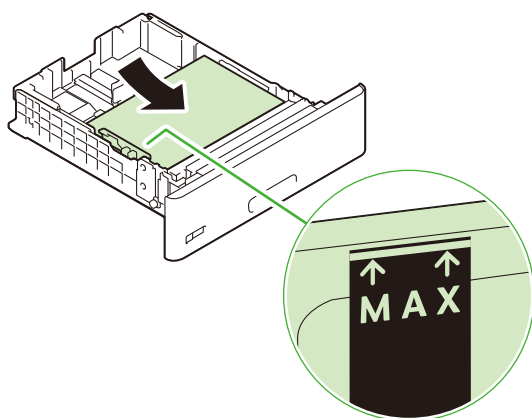


6. たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。
用紙サイズの▶マークの先端と、用紙ガイドの▼マークの先端を合わせます。



7. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で用紙の四辺を整えます。

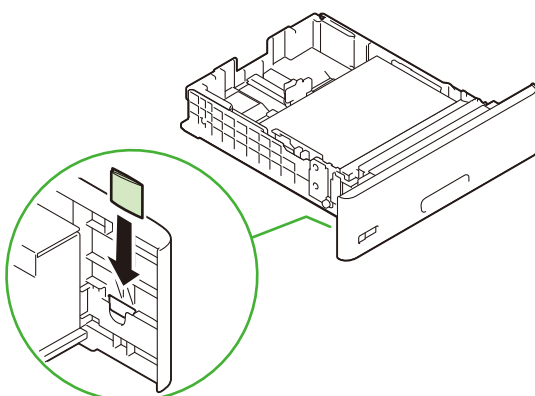
8. プリントする面を上にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。



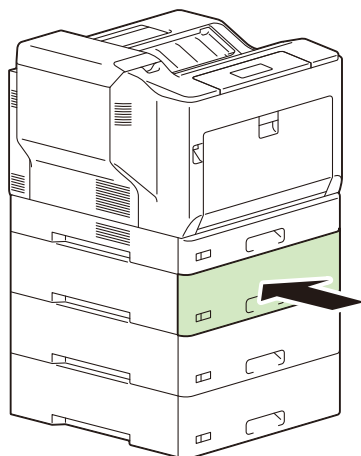
! 注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

9. セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替えます。



10. トレイをゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。

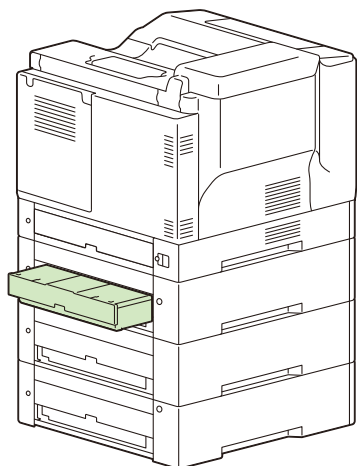


! 注記

- トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

💡 補足

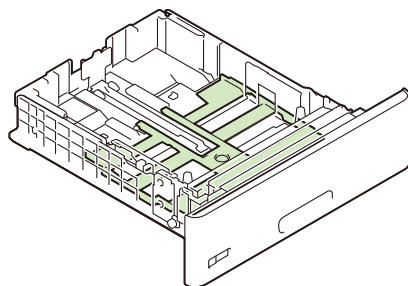
- トレイを引き伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。



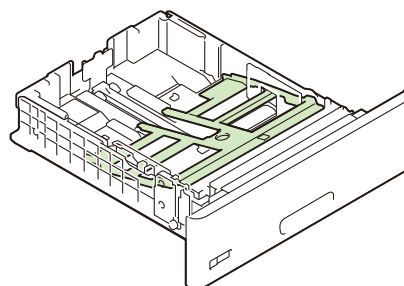
用紙トレイ 2～4 (オプション) を取り外したときに、ボトムプレートが上がってしまう場合

用紙トレイ 2～4 (オプション) を取り外したときに、通常はボトムプレートが下がりますが、まれに上がってしまうことがあります。

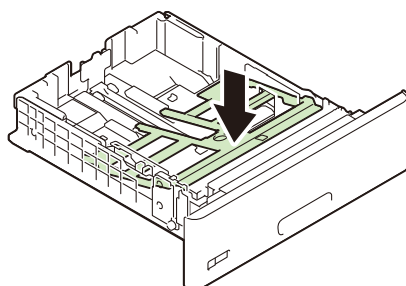
ボトムプレートが下がっている状態



ボトムプレートが上がっている状態



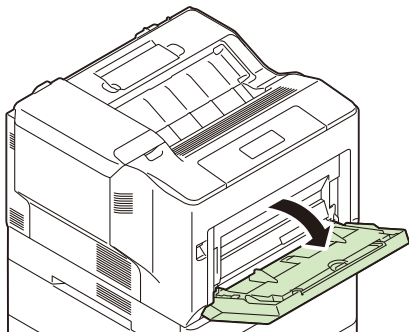
ボトムプレートが上がってしまった場合は、トレイを取り外し、「カチッ」となるまでボトムプレートをゆっくりと押し込みます。



手差しトレイに用紙をセットする

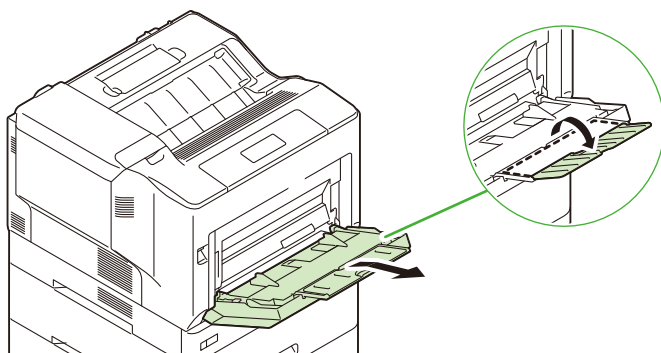
手差しトレイの用紙にプリントする場合は、プリント時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。



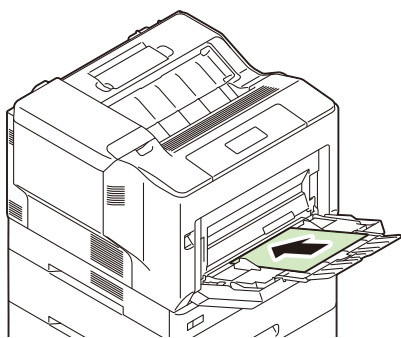
💡 補足

- 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは2段階に引き出せます。



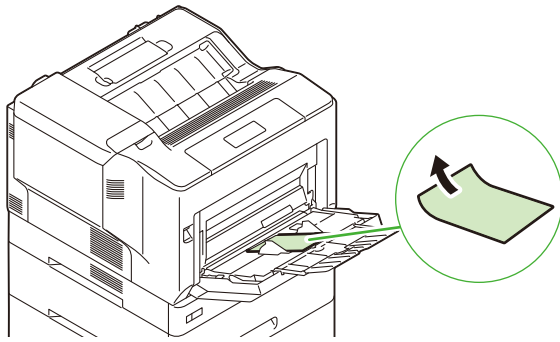
2. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で四辺を整えます。

3. プリントする面を下にして、用紙をセットします。



! 注記

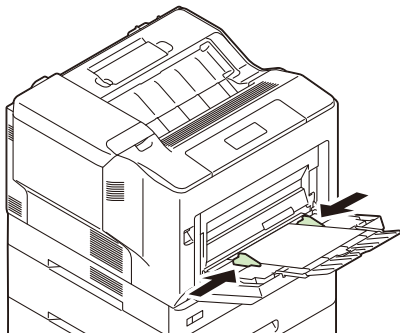
- 厚紙や、はがきなどの厚い紙にプリントする場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を次のようにカールさせてからセットしてください。用紙を曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙詰まりの原因となります。



💡 補足

- はがき、封筒、ラベル、長尺サイズ用の紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。詳しくは、「手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き」(P.47)、「長尺サイズの用紙をセットする」(P.50)を参照してください。

4. 用紙ガイドをつまみながら、用紙サイズに合った位置まで移動します。



⚠️ 注記

- 用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

💡 補足

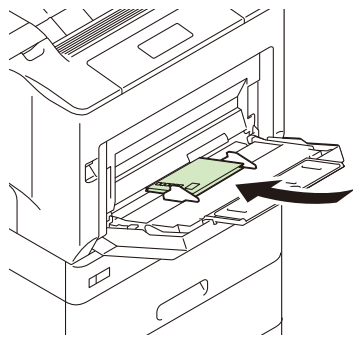
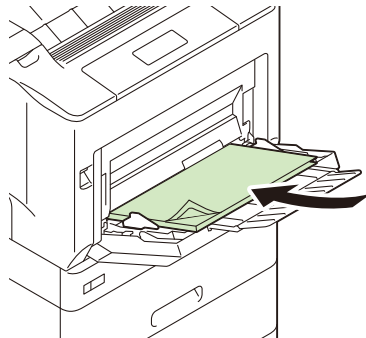
- プリンタードライバーを使用しないでプリントするときは、操作パネルで用紙種類と用紙サイズを設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.127)、「[トレイの用紙サイズ] 設定」(P.128)を参照してください。

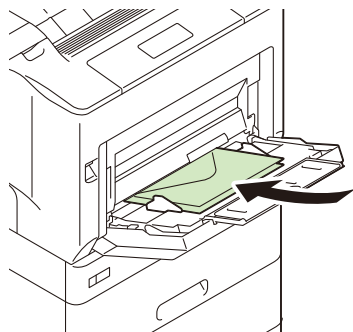
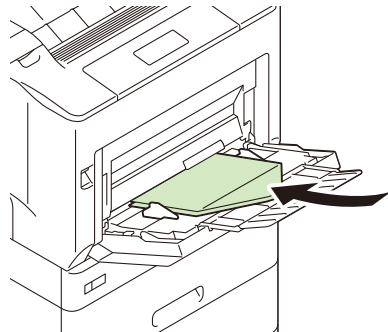
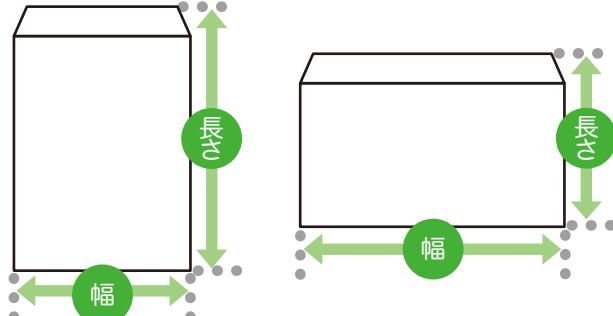
手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き

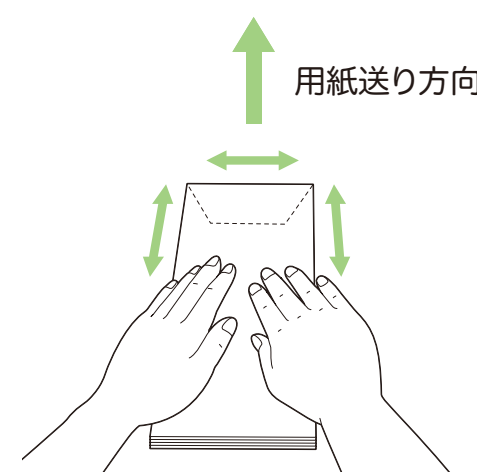
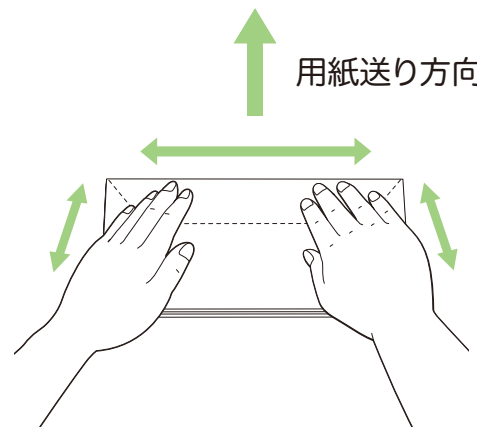
手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。

📖 参照

- はがき、封筒の詳しいプリント方法については、「はがき／封筒にプリントする」(P.57)を参照してください。

はがきの場合	ラベルの場合
<p data-bbox="197 228 574 259">例) 白紙面にプリントする場合</p>  <p data-bbox="197 631 804 694">プリント面を下にして、よこ置きにセットします。 郵便番号記入欄は、左側にします。</p>	 <p data-bbox="849 631 1423 663">ラベル面を下にして、よこ置きにセットします。</p> <p data-bbox="849 680 951 721">注記</p> <ul data-bbox="880 721 1461 806" style="list-style-type: none"> ラベル紙にプリントする場合は、よこ置きでセットしてください。たて置きでセットすると、故障や紙詰まりの原因になります。

のり付きの封筒の場合	のりなしの封筒の場合
<p>例) 洋形 3 号</p>  <p>プリント面を下にし、フラップを閉じて、フラップ部分を奥にしてセットします。</p> <p>! 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> フラップを開けてセットすると、故障の原因になります。 	<p>例) 洋形 3 号</p>  <p>プリント面を下にし、フラップを完全に開き、フラップ部分が手前になるようにセットします。</p> <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。 フラップ部が用紙の長さに含まれるので、用紙サイズをあらかじめプリンタードライバーで [ユーザー定義用紙] に設定します。[ユーザー定義用紙] を設定するときは、短辺側にフラップがある封筒は [短辺] に [幅] を、[長辺] に [長さ] を入力します。長辺側にフラップがある封筒は [短辺] に [長さ] を、[長辺] に [幅] を入力します。 

のり付きの封筒の場合	のりなしの封筒の場合
<p>! 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 開封したての新しい封筒をセットしてください。 <p>封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。</p>	
	
<ul style="list-style-type: none"> 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。 	

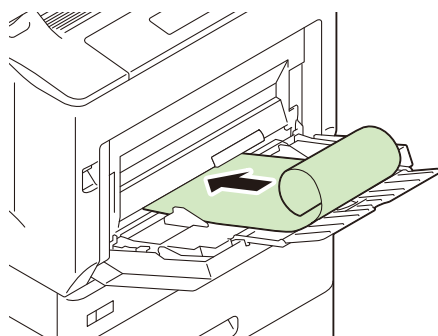
- 💡 補足**
- 定形外サイズの封筒を使用する場合は、封筒サイズをプリンタードライバーのユーザー定義用紙に登録してください。詳しくは、「定形外サイズを登録する」(P.60)を参照してください。

長尺サイズの内紙をセットする

長尺サイズの内紙は手差しトレイにセットします。

- 💡 補足**
- 長尺サイズの内紙をセットする場合は、プリント面に指紋がつかないように注意してください。

1. 内紙のプリントする面を下にして、後端をまるめて、手差しトレイにセットします。



- ! 注記**
- 内紙は、1枚ずつセットしてください。

2. 内紙ガイドをつまみながら、内紙サイズに合った位置まで移動します。

トレイの内紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルで内紙トレイ1の内紙サイズを定形外サイズに設定する方法を例に説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

6. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙サイズ設定

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

8. 設定したいトレイが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

9. [定形外] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイ 1
定形外

 **補足**

- 定形外サイズから定形サイズ of 用紙に変更する場合は、[自動] を選んでください。

10. 〈OK〉ボタンを押します。
[たて (Y) 方向のサイズ] が表示されます。

11. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

12. サイズを入力し、〈OK〉ボタンを押します。

13. 〈◀〉または〈戻る〉ボタンで、[たて (Y) 方向のサイズ] に戻ります。

トレイ 1 の定形外
たて (Y) 方向のサイズ

14. 〈▼〉ボタンを押します。
[よこ (X) 方向のサイズ] が表示されます。

15. <▶> または <OK> ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
16. サイズを入力し、<OK> ボタンを押します。
17. <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。

💡 補足

- 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更すると改善することがあります。たとえば、普通紙を設定していた場合は、上質紙や再生紙に設定を変更してプリントします。

📖 参照

- 各用紙トレイに設定できる用紙種類については、「用紙について」(P.32) を参照してください。

1. 操作パネルの <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

4. [プリント設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

6. [トレイの用紙種類] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙種類

7. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

8. 設定したいトレイが表示されるまで <▼> ボタンを押したあと、<▶> または <OK> ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

10. <OK> ボタンを押します。

11. <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

用紙別の画質処理を設定する

本機は、設定された用紙の種類に応じて画質の処理をします。使用する用紙によって、印字品質や画質などのトラブルが頻繁に発生する場合は、次の手順で画質の処理方法を変更してください。

参照

- 設定値については、「[用紙の画質処理]」(P.129)を参照してください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定]が表示されます。

4. [プリント設定]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[用紙の置き換え]が表示されます。

6. [用紙の画質処理]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリント設定
用紙の画質処理

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[普通紙]が表示されます。

8. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

9. 設定したい画質が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

10. 〈OK〉ボタンを押します。

11. 〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4 プリント

4.1 コンピューターからプリントする

Windows® のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは次のとおりです。



参照

- プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. プリントするファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。



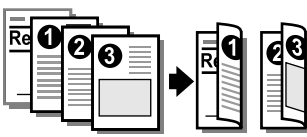
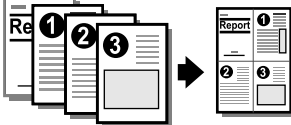
補足

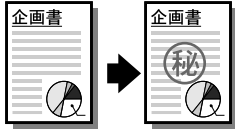
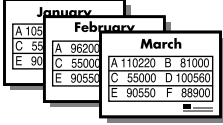
- アプリケーションによっては、メニュー名が異なることがあります。

3. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
4. 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。
5. [印刷] をクリックします。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
[基本]	<ul style="list-style-type: none">• [両面] 用紙の両面にプリントできます。 	<ul style="list-style-type: none">• [まとめて1枚] 1枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none">• [お気に入り] よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選ぶだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容を編集したり、新たに登録することもできます。
	<ul style="list-style-type: none">• [セキュリティープリント] あらかじめ、暗証番号を設定したプリントデータをプリンターに送っておいて、操作パネルからプリントを指示します。	<ul style="list-style-type: none">• [サンプルプリント] 複数部数をプリントする場合、1部だけサンプルをプリントします。プリント結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルからプリントします。	<ul style="list-style-type: none">• [時刻指定プリント] プリント時刻を指定できます。

タブ	機能	
[トレイ / 排出]	<ul style="list-style-type: none"> • [トレイの高度な設定] 用紙トレイを [自動] に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> • [表紙 / 合紙付け] 表紙（先頭ページや最終ページ）だけを色紙や厚紙にプリントしたり、途中でページを区切る用紙（合紙）を挿入したりできます。
[グラフィックス]	<ul style="list-style-type: none"> • [おすすめ画質タイプ] 写真やプレゼンテーションなど、プリントする文書の種類や用途に合わせて画質を調整できます。 • [カラー UD プリント] 赤い文字が読みやすくなるように、網や下線をつけてプリントします。 	
[スタンプ / フォーム]	<ul style="list-style-type: none"> • [スタンプ] プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> • [フォーム] 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。 

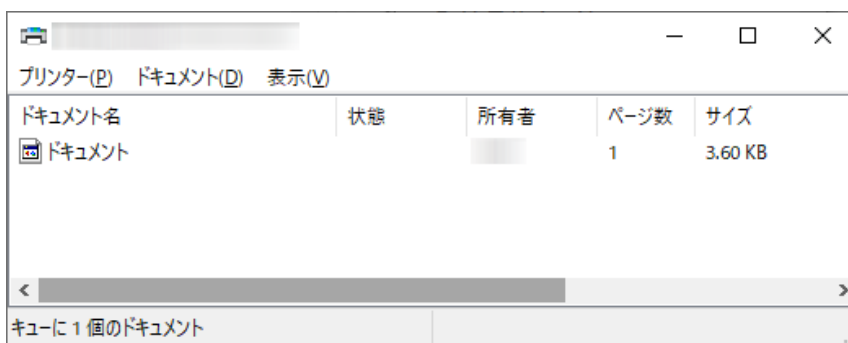
4.2 プリントを中止する／確認する

プリントを中止する

プリントを中止するには、コンピューターでプリントの指示を取り消す方法と本機でプリントの指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. Windows® のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。



💡 補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、プリンター本体でプリントを中止してください。
- CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

本機でプリント中／受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. 操作パネルで〈オンライン〉ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。
2. 〈プリント中止〉ボタンを押します。

すべてのデータを
中止しています

中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

4.3 はがき／封筒にプリントする

1. はがき／封筒をセットします。



参照

- 手差しトレイに用紙をセットする手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」(P.45)を参照してください。

2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

3. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

4. [基本] タブをクリックします。

5. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定します。



6. 封筒の場合は、必要に応じて [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] をクリックします。

7. [原稿 180° 回転] を設定し、[OK] をクリックします。

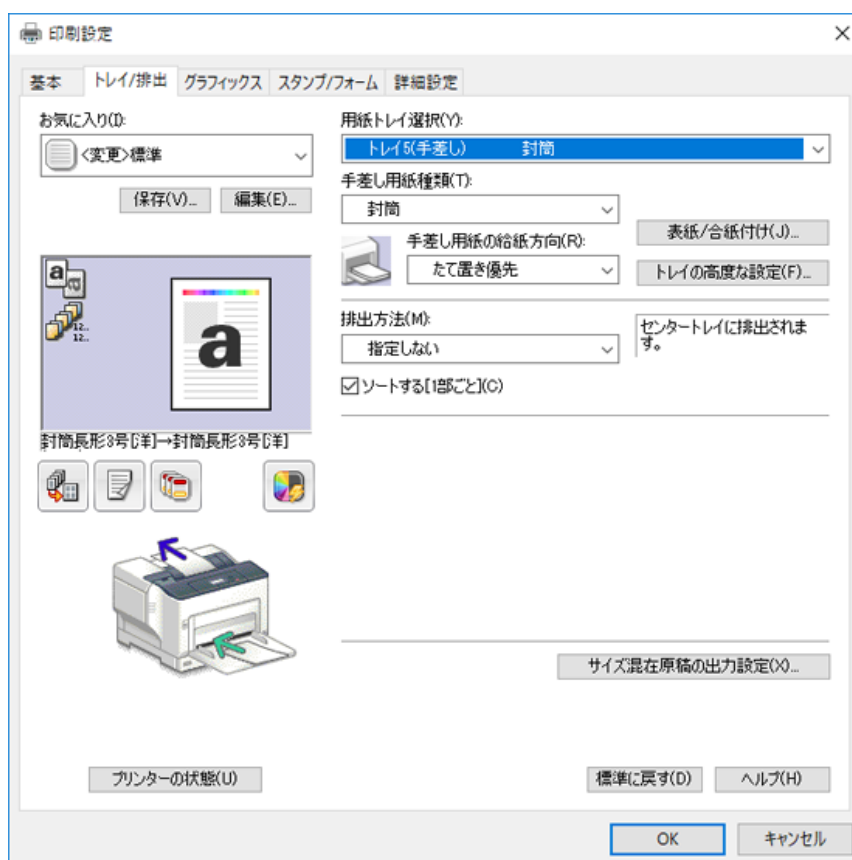


💡 補足

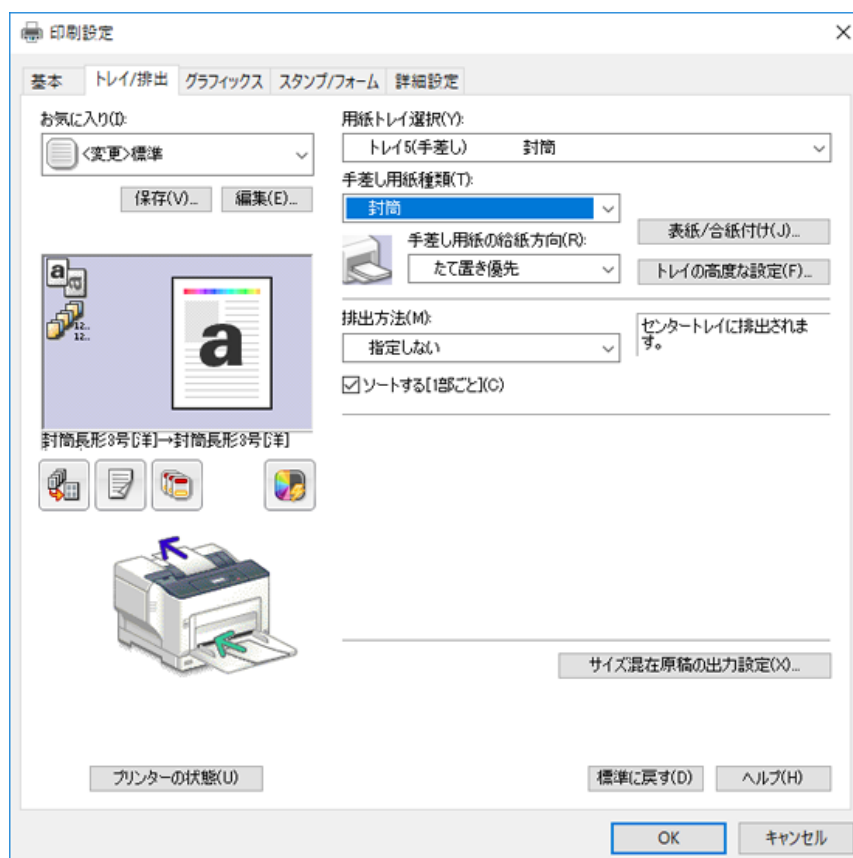
- 封筒をユーザー定義用紙として登録した場合は、[たてよこ原稿 (封筒など)] を選んでください。

8. [トレイ / 排出] タブをクリックします。

9. [用紙トレイ選択] から、使用するトレイを選びます。



10. [手差し用紙種類] から使用する用紙の種類を選びます。



💡 補足

- 一度プリントしたはがきや封筒の反対面にプリントする場合は、[はがきうら面] または [封筒うら面] を選んでください。

11. [手差し用紙の給紙方向] から任意の用紙送り方向を選びます。

12. [OK] をクリックします。

13. [印刷] をクリックします。

4.4 定形外サイズ用の紙にプリントする

定形外サイズ用の紙をセットする

定形外サイズ用の紙をセットする方法は、定形サイズ用の紙をセットする方法と同じです。



参照

- 詳しくは、「用紙をセットする」(P.37)を参照してください。

定形外サイズを登録する

定形外サイズ用の紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズ用の紙を用紙トレイ 1～4 (2～4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルで [トレイの用紙サイズ 設定] を設定します。



参照

- 操作パネルでの設定については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P.50)を参照してください。

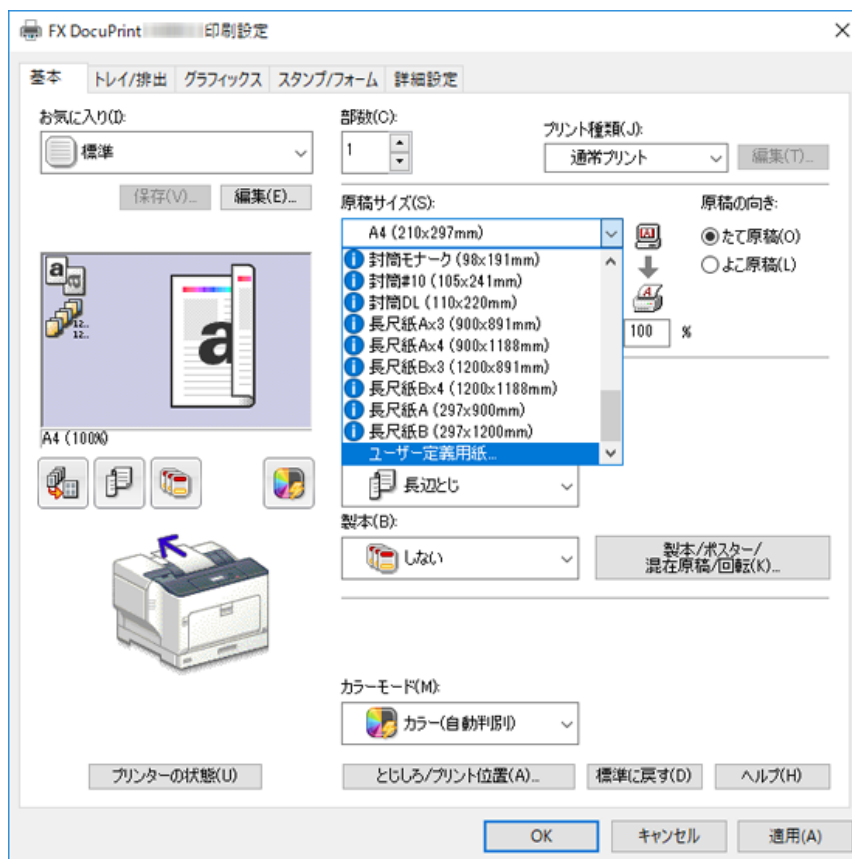


補足

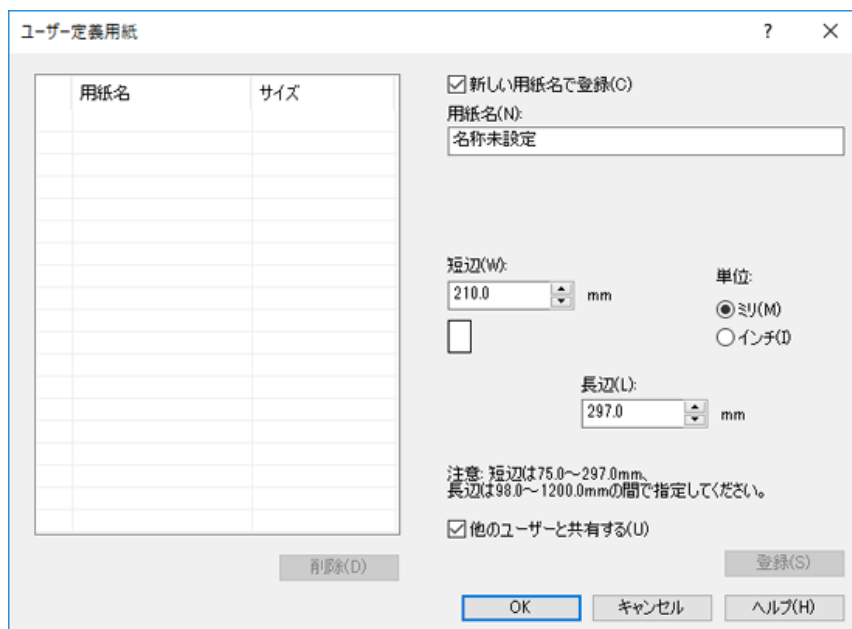
- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、[長尺紙 A (297x900mm)] または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選択することもできます。
- [原稿サイズ] の [長尺紙 A (297x900mm)] または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選ぶと、一部のアプリケーションで原稿の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを [ユーザー定義用紙] に登録してください。

1. [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選びます。
3. [基本] タブをクリックします。

4. [原稿サイズ] から [ユーザー定義用紙] を選びます。



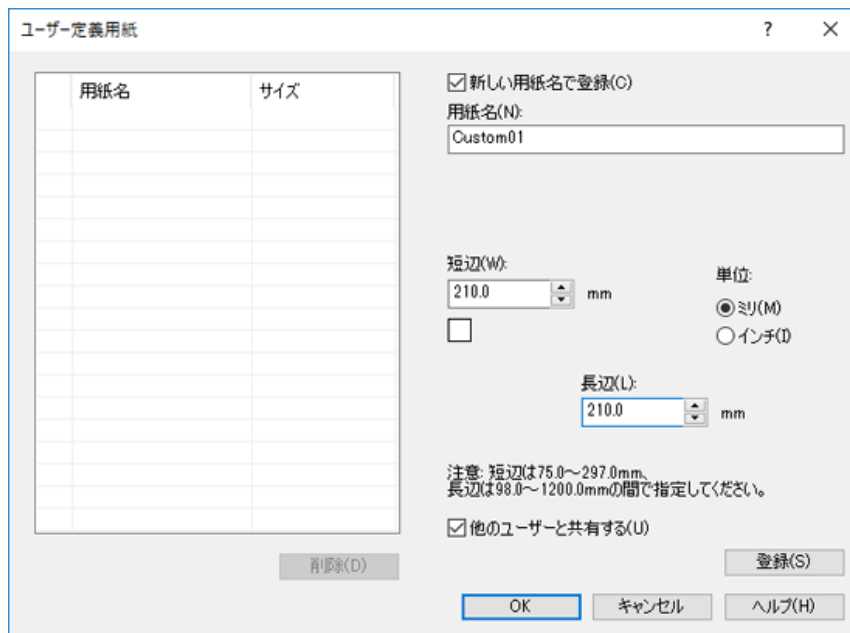
5. [新しい用紙名で登録] にチェックマークを付け、定形外を登録する用紙名を [用紙名] に入力します。



💡 補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選びます。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。



7. [登録] をクリックします。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。

定形外サイズの内紙にプリントする

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブをクリックします。

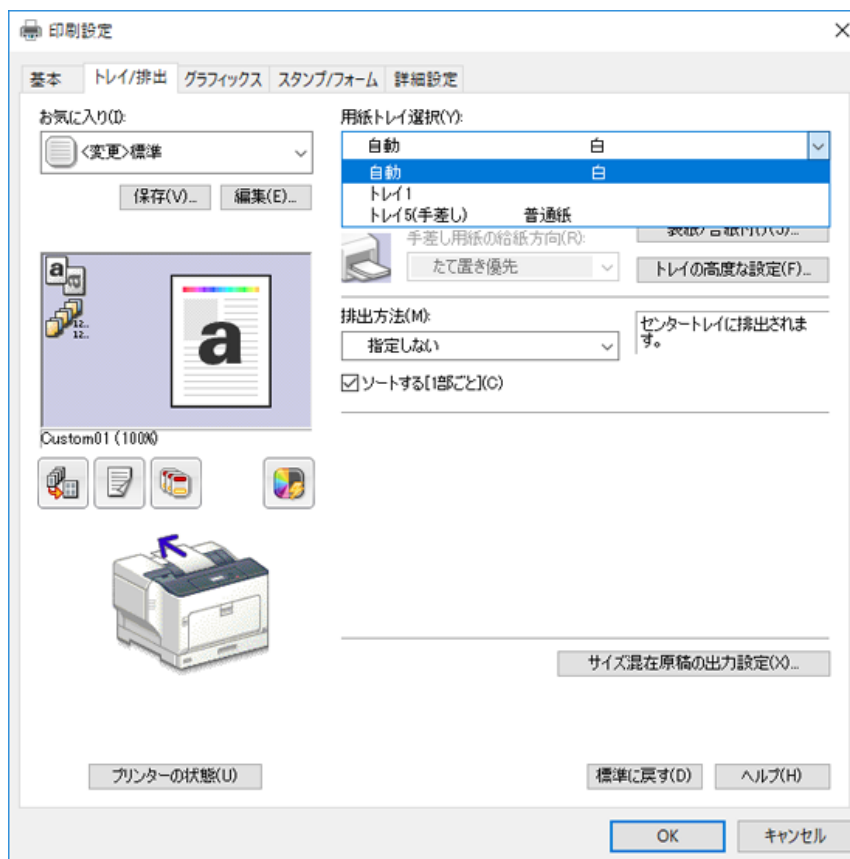
4. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



5. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの内紙を選び、[OK] をクリックします。

6. [トレイ / 排出] タブをクリックします。

7. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズ用紙がセットされているトレイを選びます。



8. [用紙トレイ選択] で [トレイ5 (手差し)] を選んだ場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。

9. [OK] をクリックします。

10. [印刷] をクリックします。

4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする

本機は、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙にプリントできます。

トレイにセットする用紙の種類を変更する場合は、操作パネルで [トレイの用紙種類] の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーでプリンター本体の設定情報を取得してください。

補足

- プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、操作パネルの [トレイの用紙種類] で設定した用紙の種類が一致しない場合、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [用紙種類エラーの処理] で設定した処理が行われます。詳しくは、「[用紙種類エラーの処理]」(P.127) を参照してください。
- プリンタードライバーで設定する用紙の種類が、トレイにセットされている用紙と合っていない場合、プリントデータが正しく処理されません。トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりして、印字品質が低下します。

参照

- プリンター本体の設定情報を取得する方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

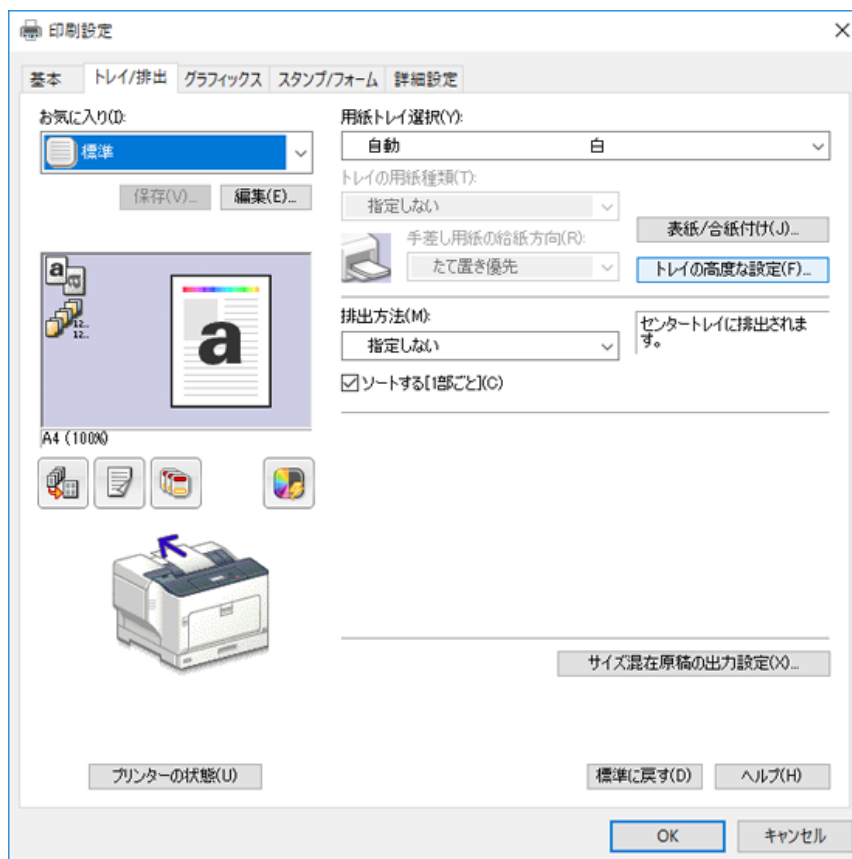
用紙種類によってトレイを自動で選択してプリントする

[トレイの用紙種類] の設定とトレイにセットされている用紙の種類が合っている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選んでプリントします。

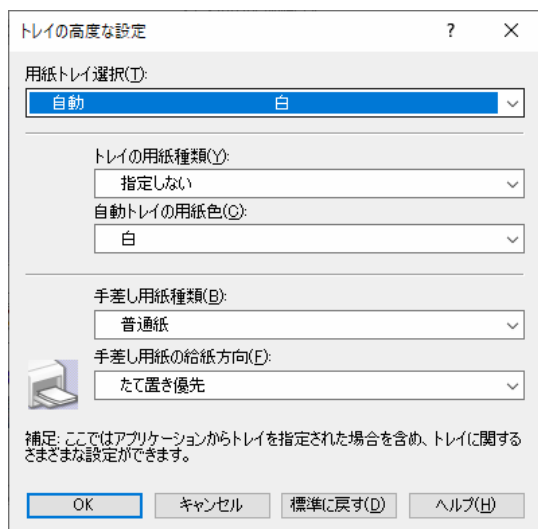
この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくてもプリントできます。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。

4. [トレイの高度な設定] をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選びます。



6. [トレイの用紙種類] からプリントする用紙の種類を選び、[OK] をクリックします。

7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

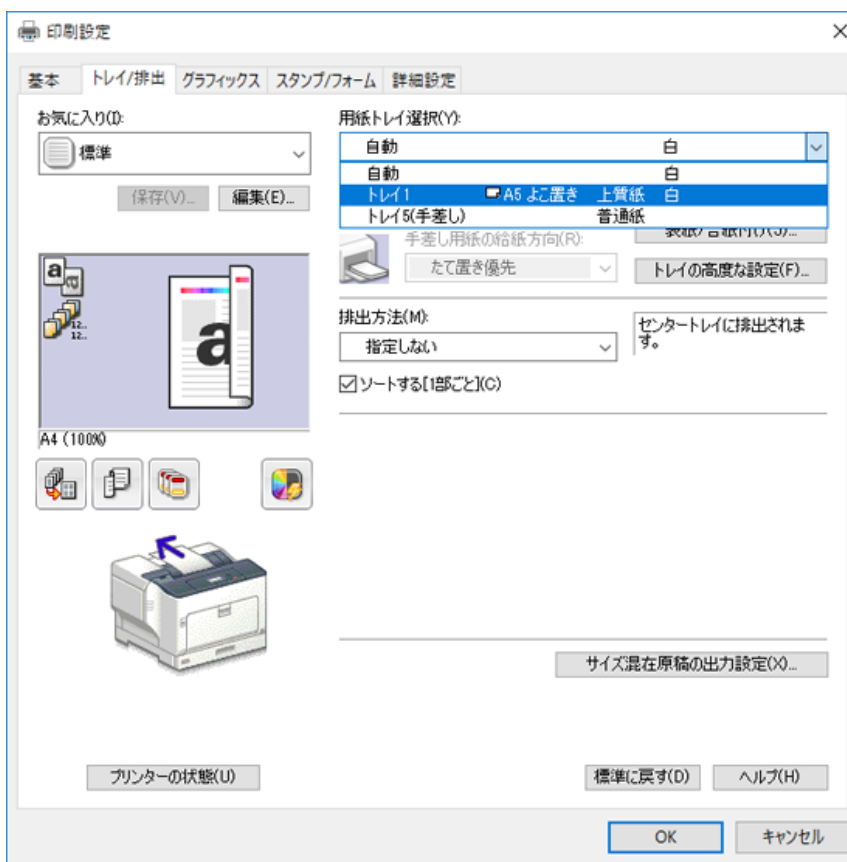
8. [印刷] をクリックします。

用紙トレイと用紙種類を設定してプリントする

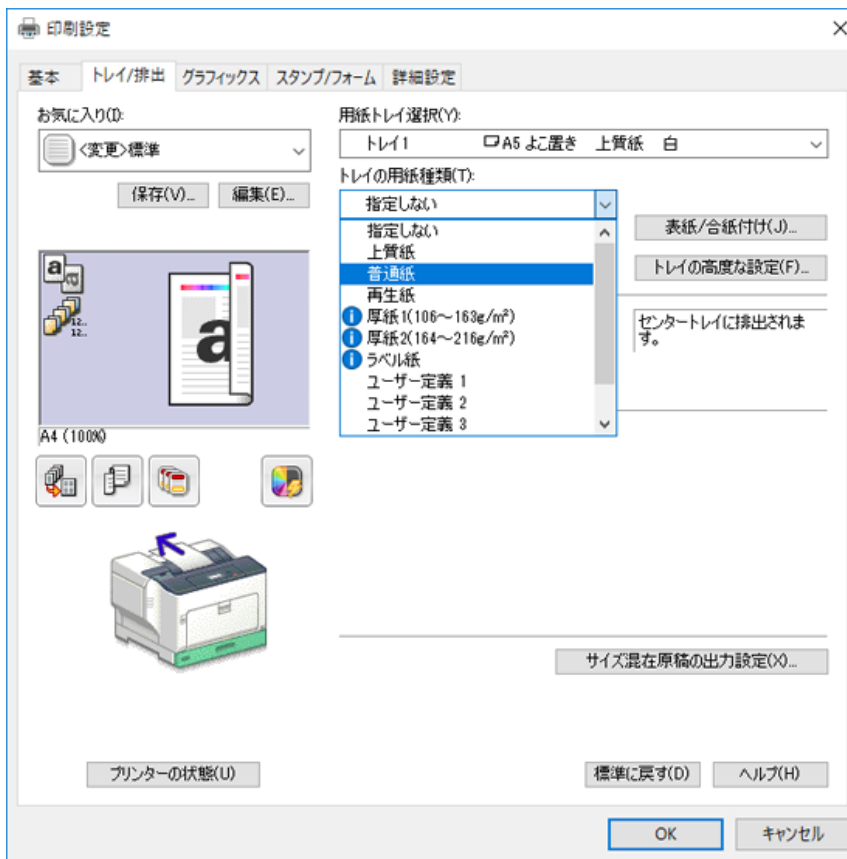
プリンタードライバーで用紙トレイと用紙種類を指定すると、操作パネルの [トレイの用紙種類] の設定に関係なく、プリンタードライバーで指定した内容でプリントできます。

ここでは、用紙トレイ 1 の [トレイの用紙種類] の設定は [上質紙] だが、実際にセットされている用紙は普通紙の場合を例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から [トレイ 1] を選びます。



5. [トレイの用紙種類] から [普通紙] を選びます。



💡 補足

- ここで選んだ用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

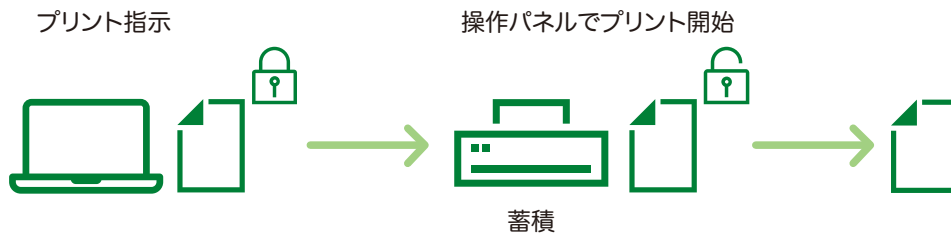
6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. [印刷] をクリックします。

4.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティープリントについて

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、プリントデータに暗証番号を設定してプリントを指示し、本機にプリントデータを蓄積し、操作パネルでプリントを開始する機能です。また、暗証番号を設定しないでプリントデータを本機に蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書を本機に蓄積しておけば、コンピューターから何度もプリントを指示しなくても、本機での操作だけでプリントできます。



この機能は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをおすすめします。

セキュリティープリントをする

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューターで行い、プリント指示をします。そのあと、本機での操作でプリントします。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーの [基本] タブで、[プリント種類] から [セキュリティー] を選んでプリントします。文書が本機内に蓄積されます。

参照

- プリンタードライバーについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作パネルでの操作

本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

補足

- 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、プリントしないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する] を選んでください。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。
3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 6 に進みます。

5. 暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]

補足

- 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。

6. 〈OK〉 ボタンを押します。

文書名が表示されます。

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

8. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

補足

- プリント後にデータを本機から自動で削除したい場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[プリント後削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、〈OK〉 ボタンの順に押します。
- プリント後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順9に進みます。

9. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

部数を入力する画面が表示されます。

10. 〈▼〉 ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

プリントを開始する画面が表示されます。

11. 〈OK〉 ボタンを押します。

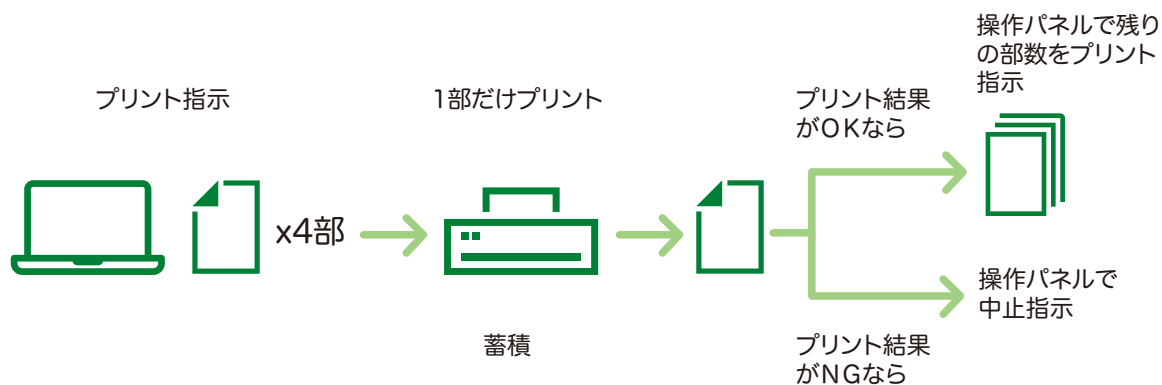
プリントが開始されます。

12. 〈プリントメニュー〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.7 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

サンプルプリントについて

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを蓄積し、まず1部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。



この機能は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピュータ上にも保存しておくことをおすすめします。

補足

- 不要になったサンプルプリントデータは、プリントする場合と同様の手順で削除できます。詳しくは、「操作パネルでの操作」(P.71) を参照してください。

サンプルプリントをする

まず、サンプルプリントの設定をコンピューターで行い、プリント指示をします。そのあと、本機での操作でプリントします。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーの [基本] タブで、[部数] を2部以上に設定し、[プリント種類] から [サンプル] を選んでプリントします。文書が本機内に蓄積されます。

参照

- プリンタードライバーについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント

3. <▶> または <OK> ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。
4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
5. <▶> または <OK> ボタンを押します。
文書名が表示されます。
6. 対象の文書名が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
7. <▶> または <OK> ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

 **補足**

- プリントをしないで削除する場合は、<▼> ボタンを押して、[削除する] を表示し、<▶> ボタン、<OK> ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータをプリントする場合は、<▶> または <OK> ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。
9. <▼> ボタンを押して部数を設定し、<▶> または <OK> ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。
10. <OK> ボタンを押します。
プリントが開始されます。
11. <プリントメニュー> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.8 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを蓄積しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

蓄積できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

この機能は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピュータ上にも保存しておくことをおすすめします。
- 時刻指定プリントを設定している場合は、本機の電源を切らないでください。
指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

補足

- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。

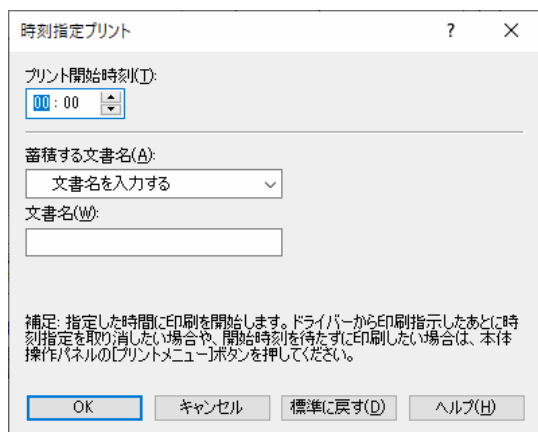
時刻指定プリントをする

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選び、[編集] をクリックします。



4. プリントを開始する時刻を設定します。



💡 補足

- 24 時間制で設定してください。

5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。

[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、半角英数または半角カタカナを 12 文字以内で入力します。

[文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

6. [OK] をクリックします。

7. [基本] タブで、[OK] をクリックします。
8. [印刷] をクリックします。
指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視してプリントしたいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. [時刻指定プリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
文書名が表示されます。
4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
すぐにプリントするか、プリントしないで削除するかを選ぶ画面が表示されます。

💡 補足

- 蓄積したデータをプリントしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

6. すぐにプリントする場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
プリントを開始させる画面が表示されます。
7. 〈OK〉ボタンを押します。
プリントが開始されます。
8. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.9 プライベートプリントを使う

プライベートプリントについて

プライベートプリントとは、コンピューターからプリントを指示したデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、プリントしたいときに IC カードで認証することでプリントする機能です。

コンピューターからプリントを指示したデータは、認証用ユーザー ID ごとに保存され、IC カードの認証情報と一致したユーザーの文書がプリントできます。

この機能は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをおすすめします。

補足

- 本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- 認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリントまたは削除してください。
- 複製管理またはペーパーセキュリティーを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選ぶと、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけです。
ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連付け」(P.163) を参照してください。また、複製管理、ペーパーセキュリティー機能については、「複製管理について」(P.148) を参照してください。
- プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

操作パネルでの設定

プライベートプリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に使用できます。

- [認証プリントの設定] > [受信制御] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証方式の設定] を [外部認証]、[認証プリントの設定] > [受信制御] を [プリントの認証に従う]、[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [認証成功のジョブ] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [PJL なしのジョブ] > [UserID があれば利用] を [プライベートプリント保存] に設定。

参照

- 詳しくは、「[認証の設定]」(P.122) を参照してください。

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

プライベートプリントをする

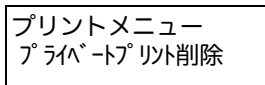
プライベートプリントによって本機内に蓄積されているプリントデータは、ICカードをタッチするだけでプリントできます。

1. 操作パネルに【プリントできます】が表示されている状態で、ICカードをタッチし、認証します。
認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

プリントデータを削除する

プライベートプリントによって本機内に蓄積されているプリントデータを削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. 【プライベートプリント削除】が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ICカードで認証してください] と表示されます。
4. ICカードをタッチして認証します。
認証に成功すると、文書名が表示されます。
5. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
削除を開始する画面が表示されます。
7. 〈OK〉ボタンを押します。
プリントデータが削除されます。
8. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.10 オンデマンドプリントを使う

オンデマンドプリントについて

コンピューターからプリントを指示したデータをいったんプリントサーバーに蓄積したあと、空いているプリンターで IC カードで認証してプリントできます。この機能をオンデマンドプリントといいます。

特定のプリンターが混雑しているときや故障時などに活用できます。

この機能は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

補足

- 本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- 認証方式には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリントまたは削除してください。
- 複製管理またはペーパーセキュリティーを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選択すると、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。
ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連付け」(P.163) を参照してください。また、複製管理、ペーパーセキュリティー機能については、「複製管理について」(P.148) を参照してください。

オンデマンドプリントをするための設定

本機の設定

プリント指示をしたデータを蓄積するためのサーバーを、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [一般設定] > [オンデマンドプリントサービス設定] で設定します。

参照

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

プリンタードライバーでの設定

オンデマンドプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

オンデマンドプリントをする

オンデマンドプリントによって、サーバーに蓄積されているプリントデータは、IC カードをタッチするだけでプリントできます。

1. 操作パネルに [プリントできます] が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証作業を行ってください。

認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

4.11 認証プリントを使う

認証プリントについて

認証プリントとは、IC カードによって本機にユーザーを認証させることにより、不正なプリントを防ぐ機能です。

コンピューターからプリントを指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとに本機内に一時的に保存されます。保存されたデータは、プリントしたいときに本機での操作でプリントできます。

この機能は、IC カード読み取り装置とストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に使用できます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをおすすめします。

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（ContentsBridge、CentreWare Internet Services を使用したプリント、メール受信プリントなど）も保存できるため、ユーザー ID なしのジョブも認証してプリントできます。ユーザー ID が設定されていないデータは、[7001.(no userID)] として保存されます。
- 本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- 認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリントまたは削除してください。

認証プリントをするための設定

操作パネルでの設定

認証プリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] > [認証プリントの設定] で、次のどれかを設定している場合に使用できます。

- [受信時の PJI 命令] を [制御する] に設定。
- [受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[受信制御] を [認証プリントに保存] に設定。
- [受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[認証方式の設定] を [認証しない]、[受信制御] を [プリントの認証に従う] に設定し、[認証が不正のジョブ] を [認証プリントに保存]、または [UserID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- [受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[受信制御] を [プライベートプリント保存]、[UserID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- [PJI なしのジョブ] を [UserID があれば利用]、[UserID 利用時の動作] を [認証プリントに保存] に設定。

参照

- 詳しくは、「[認証の設定]」(P.122) を参照してください。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティで蓄積用ユーザーの ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザーの ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. [認証プリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[IC カードで認証してください] と表示されます。
4. IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、[ユーザー ID を選択] と表示されます。
5. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

💡 補足

- 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書をプリントする場合は、[ユーザー ID を選択] 画面で [7001.(no userID)] を選びます。

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 8 に進みます。

7. 暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]

💡 補足

- 暗証番号は、プリンタードライバーで設定した [暗証番号] を入力します。

8. 〈OK〉ボタンを押します。

文書名が表示されます。

9. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

10. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

💡 補足

- プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して [削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- プリント後もデータを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して [プリント後削除しない] を表示し、手順 11 に進みます。

11. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

12. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

プリントを開始する画面が表示されます。

13. 〈OK〉 ボタンを押します。

プリントが開始されます。

14. 〈プリントメニュー〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.12 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

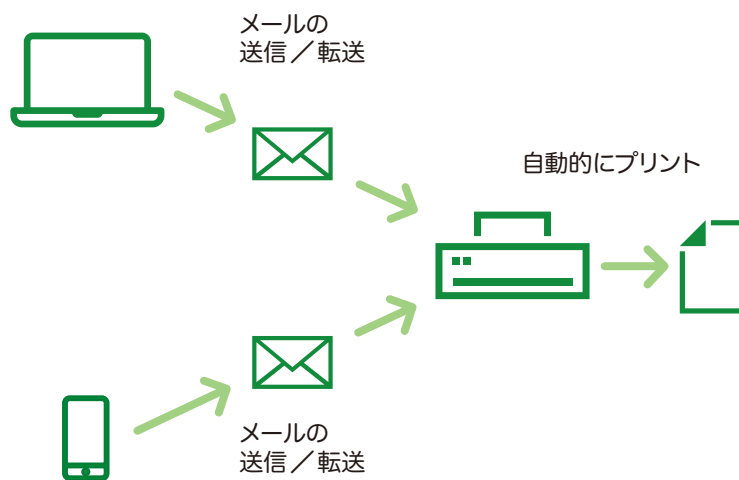
メール受信プリントについて

ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

この機能を「メール受信プリント」といいます。

注記

- ストレージは、故障することがあります。ストレージ内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをおすすめします。



メール受信プリントをするための設定

本機が使用するメールアカウントを用意し、メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の [プロパティ] で、次の項目を設定します。

補足

- 設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。
- 各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

項目	設定項目	受信プロトコルによる設定の必要	
		SMTP	POP3
[ネットワーク設定] > [ポート起動]	[メール受信]	○	○
[サービス設定] > [メール] > [一般] > [送信者アドレス] > [編集]	[受信プロトコル]	○	○

項目	設定項目	受信プロトコルによる設定の必要	
		SMTP	POP3
[ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [POP3]	[POP3 サーバー IP アドレス (ホスト名) とポート番号]	-	○
	[POP 受信パスワードの暗号化]	-	○
	[POP ユーザー名]	-	○
	[POP ユーザーパスワード]	-	○
	[POP3 サーバー確認間隔]	-	○
[ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [SMTP] > [一般]	[受信ポート番号]	○	-

💡 補足

- POP サーバーをホスト名で設定する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。

メールを受信してプリントする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

💡 補足

- メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。
- 添付文書の拡張子は、大文字／小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- 31 文書まで添付できます。
なお、本機でプリントできない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- Web メールの場合、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono
両面／片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
N-up ^{*1*2} (まとめて一枚)	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター (8.5×11")	letter
	リーガル	legal

- *1 : 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの [PDF] > [プリント処理モード] を [PS] に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。
- *2 : メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。
- *3 : 1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされません。

💡 補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

- お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
- メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。
- ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

指定例

メールの件名に次のように入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@@mono,dup,2up@@ 参考資料

💡 補足

- ジョブ属性を指定するときに、大文字/小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

📖 参照

- メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の [受信メールシートのプリント] でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

- メールの件名を確認し、送信します。

💡 補足

- ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定でプリントされます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定でプリントされます。
 - TIFF または JPEG 形式の添付文書：CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある、[TIFF/JPEG] の [使用するメモリー設定] で設定されている論理プリンターの設定値。
 - PDF 形式の添付文書：操作パネルの [PDF] の設定値。操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] を [PS] に設定していて、CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある [PostScript3] のデ

フォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの [PDF] の設定値に優先して適用されます。

- XPS (XML Paper Specification) ファイルの添付文書：XPS (XML Paper Specification) に含まれる PrintTicket の設定 (操作パネルの [XPS] の設定によって動作は異なります)
- XDW または XBD 形式の添付文書：操作パネルの [XDW(DocuWorks)] で設定されている設定値。

メールを手動で受信してプリントする

メールを受信すると自動的にプリントされますが、操作パネルから手動でメールを受信し、プリントすることもできます。この機能は、POP メール受信時のみ使用できます。

💡 補足

- この機能は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [メール受信] が [起動] に、[プロパティ] > [メール設定] > [受信プロトコル] が [POP3] に設定されている場合に使用できます。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. [メール受信プリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
メール受信プリント

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

受信を開始させる画面が表示されます。

4. 〈OK〉ボタンを押します。

メールの受信が始まります。受信後、文書がプリントされます。プリントが終わると、自動的にプリント画面に戻ります。

メール受信プリントを
受け付けました

5 スマートフォン／タブレットからのプリント

5.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、Web ページやメールなどをプリントできます。

次のどちらかの方法で、本機をスマートフォン／タブレットと接続します。

- Wi-Fi 接続
本機とスマートフォン／タブレットを無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン／タブレットを直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。



• 接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.20) を参照してください。

スマートフォン／タブレットの設定



• 操作方法はスマートフォン／タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットの Wi-Fi 機能を有効にします。
2. 本機が接続しているネットワーク (SSID) を選びます。
3. 画面の指示に従って、接続を完了します。



• 接続に必要な暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する



• スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器は同時に 3 台まで接続できます。

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、はじめに本機の操作パネルで Wi-Fi Direct を設定します。次に本機の SSID をモバイル機器上の画面で選び、パスコードを入力すると、Wi-Fi Direct 経由で本機に接続できます。

本機の設定をする

💡 補足

- Wi-Fi Direct は IPv6 やアドホック環境では使用できません。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi Direct

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[起動] が表示されます。
8. 〈OK〉ボタンを押します。
9. [停止] が表示された場合は、[起動] が表示されるまで 〈▼〉ボタンを押します。

ポートの起動
起動

10. 〈OK〉ボタンを押します。
11. これで、設定は終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。
12. 本機の再起動後、手順 1～6 の操作をします。
[ポートの起動] が表示されます。

13. [グループロール] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
グループロール

14. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[自動] が表示されます。

15. [グループオーナー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

グループロール
グループオーナー

16. 〈OK〉 ボタンを押します。

17. 〈◀〉 または 〈戻る〉 ボタンで [グループロール] に戻ります。

Wi-Fi Direct
グループロール

18. [接続数] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
接続数

19. 〈OK〉 ボタンを押します。

20. 画面に表示されているモバイル機器数が 2 台以下であることを確認し、〈◀〉 または 〈戻る〉 ボタンで [接続数] に戻ります。

 **補足**

- 接続しているモバイル機器数が 3 台のときは、Wi-Fi Direct ネットワークに追加接続できません。

Wi-Fi Direct
接続数

21. [SSID] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
SSID

22. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

23. 無線ネットワーク名を入力し、〈OK〉 ボタンを押します。

24. 〈戻る〉 ボタンで [SSID] に戻ります。

Wi-Fi Direct
SSID

25. [パスコード入力] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
パスコード入力

26. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[ASCII で入力] が表示されます。
27. <▶> または <OK> ボタンを押します。
28. パスコードを入力し、<OK> ボタンを押します。
29. <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

本機とモバイル機器を接続する



参照

• 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン/タブレットなどのモバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct を停止する

本機で Wi-Fi Direct を停止すると、モバイル機器との接続が切断されます。

1. 操作パネルの <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

仕様設定 機械管理者メニュー

3. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。
4. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定 Wi-Fi Direct

6. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。
7. <▶> または <OK> ボタンを押します。
[起動] が表示されます。
8. [停止] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

ポートの起動 停止

9. <OK> ボタンを押します。

10. 〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

自動的に本機が再起動します。

補足

- 接続中のモバイル機器からも、そのモバイル機器と本機との Wi-Fi Direct の接続を切断できます。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

5.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントできます。

詳しくは、次の URL を参照してください。

- iOS の場合 : https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/
- Android ™ の場合 : https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/

5.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や Mac のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。

AirPrint の設定を有効にする

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



補足

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。



補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [AirPrint] をクリックします。



4. [AirPrint] の [有効] にチェックマークを付けます。



補足

- USB で接続しているときは、[AirPrint] の [USB 接続] にもチェックマークを付けます。


5. [新しい設定を適用] をクリックします。

6. [再起動] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、Web ページ、または文書を開きます。

2. のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

Google クラウド プリント

Google クラウド プリントは、Google LLC が提供するプリントサービスです。本機を Google クラウド プリントに登録すると、Google クラウド プリントに対応したアプリケーションからプリントできます。

Google クラウド プリントを使用するには、事前に Google アカウントを取得する必要があります。

Google クラウド プリントは、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））を取り付けている場合に使用できます。

補足

- Google クラウド プリントは IPv4 接続にだけ対応しています。
- 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Services から [プロキシサーバー] を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。
- 認証/集計管理機能を有効にしているときは、[ユーザー指定なし印刷の許可] を有効にする必要があります。

参照

- Google クラウド プリントについては、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

Google クラウドプリントポートの起動

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求めるときの画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

- 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [Google クラウドプリント] をクリックします。



- [Google クラウドプリント] の [起動] にチェックマークを付けます。
- [新しい設定を適用] をクリックします。
- [再起動] をクリックします。

Google クラウド プリントに本機を登録する

CentreWare Internet Services または Google Chrome を使って Google クラウド プリントに本機を登録します。

CentreWare Internet Services を使って登録する場合

- 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

- [プロパティ] タブをクリックします。

補足


- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

- 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] をクリックします。



- [Google クラウドプリントに登録] をクリックします。
Google クラウド プリント登録サイトの URL が記載された用紙がプリントされます。
- 用紙に記載された URL を Web ブラウザーに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。
 - 補足**
 - 用紙に記載された QR コードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。
- ログイン画面で、お使いの Google アカウントを入力してログインします。
- [プリンタ登録を完了] > [プリンタの管理] をクリックします。
本機が [プリンタ] リストに表示され、Google クラウド プリントサービスが利用可能になります。

Google Chrome を使って登録する場合

- 補足**
 - Bonjour が有効になっていることを確認します。設定については、「[Bonjour]」(P.108) を参照してください。
- Google Chrome を起動します。
 - 画面右上にある  をクリックし、[設定] を選びます。
 - ページ下部にある [詳細設定] をクリックします。
 - [Google クラウド プリント] > [クラウドプリントデバイスを管理] をクリックします。
 - 補足**
 - [新しいデバイス] の下に Chrome へのログインを促すメッセージが表示されたら、[ログイン] をクリックして Chrome にログインします。
 - 登録するプリンターの [登録] をクリックします。
 - 登録の確認ウィンドウが表示されたら、[登録] をクリックします。

7. 本機の画面の指示に従って操作します。
8. Google Chrome の [マイデバイス] に本機の名前が表示されることを確認します。

 **補足**

- [マイデバイス] に本機の名前が表示されるまで 5 分以上かかることがあります。

Google クラウド プリントへの登録を解除する

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

 **参照**

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

 **補足**

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] をクリックします。

4. [登録を解除] をクリックします。

Google クラウド プリントでプリントする

 **参照**

- Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

Mopria プリントサービス

Mopria[®] プリントは Android 搭載のスマートフォンやタブレット (Android 4.4 以降) から、Mopria[®] 認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめに Google Play ストアから、Mopria[®] プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使って本機に接続します。

 **補足**

- 認証/集計管理機能を有効にしているときは、[ユーザー指定なし印刷の許可] を有効にする必要があります。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

 **参照**

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

 **補足**

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Mopria] をクリックします。

4. [Mopria] の [有効] にチェックマークを付けます。
5. [新しい設定を適用] をクリックします。
6. [再起動] をクリックします。

Mopria プリントサービスでプリントする



参照

- 詳しくは、「<http://mopria.org/>」を参照してください。

6 本体の設定

6.1 仕様設定について

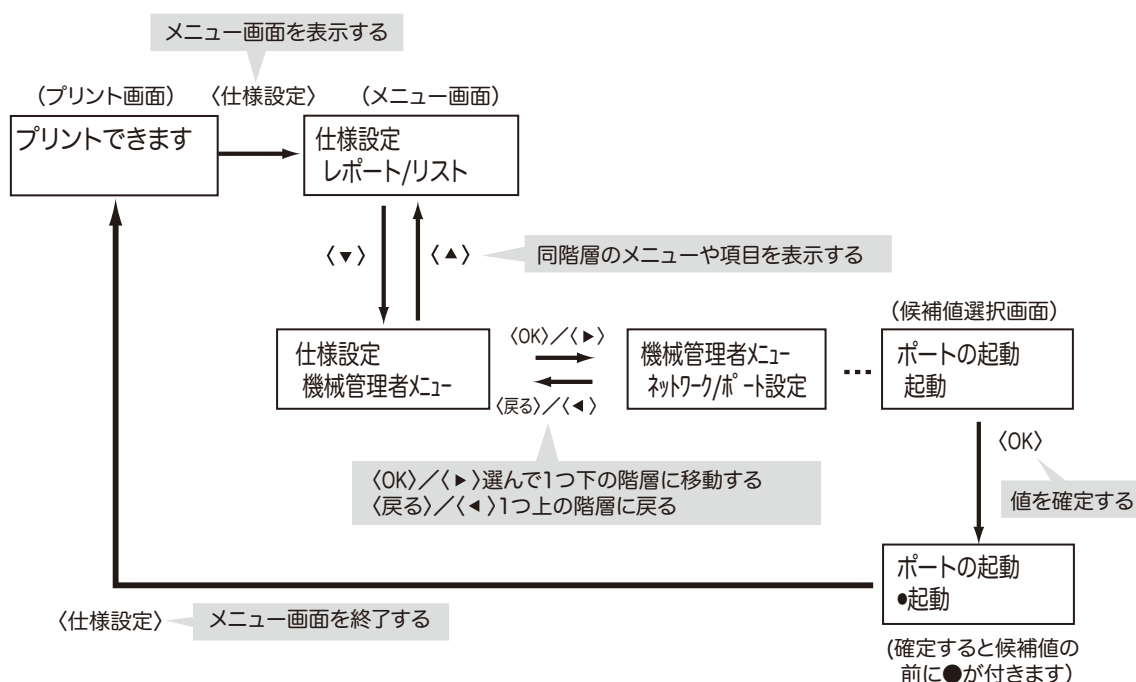
ここでは、操作パネル上の〈仕様設定〉ボタンを押すと表示される項目について説明します。

項目	内容	詳細説明の参照先
[レポート/リスト]	各種レポート/リストをプリントします。	「[レポート/リスト]」(P.99)
[メーター確認]	プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総プリントページ数を確認する(メーター)」(P.185)
[機械管理者メニュー]	[ネットワーク/ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク/ポート設定]」(P.103)
	[システム設定] 本機の基本的な動作に関する設定をします。	「[システム設定]」(P.115)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」(P.126)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」(P.130)
	[画質補正] プリント画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」(P.132)
	[初期化/データ削除] 本機の設定値やストレージ(オプション(DocuPrint C3550 dのみ))の初期化、フォームデータの削除をします。	「[初期化/データ削除]」(P.134)
[プリント言語の設定]	[201H] PC-PR201H エミュレーションモードの設定をします。	「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.313)
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.308)
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.318)
	[PDF] PDF ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[PDF]」(P.136)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	「PCL エミュレーションについて」(P.323)
	[PostScript] PostScript® に関する設定をします。	「[PostScript]」(P.137)

項目	内容	詳細説明の参照先
	[XPS] XPS(XML Paper Specification) ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XPS]」(P.137)
	[XDW(DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XDW(DocuWorks)]」(P.138)
[言語切り替え]	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」(P.138)

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移動しながら本機の設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。



- 数値入力時の数値を増減するときは、<▲> または <▼> ボタンを押します。
- 数字の桁数や、文字入力フィールドを移動するときは、<▶> または <◀> ボタンを押します。








[レポート / リスト]









各種レポート / リストをプリントします。









💡 補足

- レポート / リストは、[プリント設定] > [基本の用紙サイズ] に設定されている用紙サイズでプリントされます。設定したサイズが用紙トレイにセットされていない場合は、一番近い用紙サイズでプリントされます。

項目	説明
[機能設定リスト]	本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。

項目		説明
[ジョブ履歴レポート]		<p>コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。[ジョブ履歴レポート]には、最新の50件までのプリントジョブがプリントされます。</p> <p>この[ジョブ履歴レポート]は、50件を超えるごとに自動的にプリントさせるかどうかを、操作パネルで設定できます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[自動ジョブ履歴]」(P.117)を参照してください。
[エラー履歴レポート]		<p>本機に発生したエラーに関する情報がプリントされます。</p>
[集計レポート] (プリンター集計レポート)		<p>コンピューター別(ジョブオーナー別)に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。</p> <p>プリント枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。</p> <p>集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「プリントページ数を確認する」(P.185)を参照してください。
[集計レポート] (プリンター集計管理レポート)		<p>認証/集計管理機能を使用している場合は、登録ユーザー別に、今までプリントした白黒累積ページ数、カラー累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 集計機能については、「ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P.161)を参照してください。
[フォントリスト]		<p>ART EX、ART IV、ESC/P、PDF Bridge、PC-PR201H、HP-GL/2、DocuWorks Bridgeで利用できるフォントの一覧がプリントされます。</p>
[PCL フォントリスト]		<p>PCLで利用できるフォントの一覧がプリントされます。</p> <p>また、PCLで利用できるバーコードのサンプルも確認できます。</p>
[PS フォントリスト]		<p>PostScript®で利用できるフォントの一覧がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> PostScript®ソフトウェアキット(オプション(DocuPrint C3550 dのみ))が取り付けられている場合にプリントされます。
[ユーザー定義リスト]		<p>ART IV、ESC/PおよびPC-PR201Hプリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。</p>
[プリント言語]	[ART EX フォームリスト]	<p>オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧がプリントされます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> フォームの登録については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	[PS 登録リスト]	<p>登録されているPostScript®論理プリンターの設定がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Servicesで行います。各項目については、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。 PostScript®ソフトウェアキット(オプション(DocuPrint C3550 dのみ))が取り付けられている場合にプリントされます。
	[201H 設定リスト]	<p>PC-PR201Hプリントモードでの設定がプリントされます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「PC-PR201Hエミュレーションについて」(P.313)を参照してください。

項目	説明
[201H 登録リスト]	<p>登録されている PC-PR201H 論理プリンターの設定がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
[ESC/P 設定リスト]	<p>ESC/P プリントモードの設定がプリントされます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.308) を参照してください。
[ESC/P 登録リスト]	<p>登録されている ESC/P 論理プリンターの設定がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
[HP-GL/2 設定リスト]	<p>HP-GL、HP-GL/2 プリントモードでの設定値がプリントされます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.318) を参照してください。
[HP-GL/2 登録リスト]	<p>登録されている HP-GL、HP-GL/2 論理プリンターの設定がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
[HP-GL/2 パレットリスト]	<p>カラーパレットの設定値がプリントされます。</p>
[TIFF/JPEG 設定リスト]	<p>TIFF/JPEG プリントモードでの各設定がプリントされます。</p>
[TIFF/JPEG 登録リスト]	<p>登録されている TIFF/JPEG 論理プリンターの設定がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
[PDF 設定リスト]	<p>PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。</p>
[PCL 設定リスト]	<p>PCL プリントモードでの設定値がプリントされます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「PCL エミュレーションについて」(P.323) を参照してください。
[PCL マクロリスト]	<p>登録したマクロやフォームなどがプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。
[DocuWorks 設定リスト]	<p>DocuWorks ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。</p>

項目	説明
[蓄積文書リスト]	<p>セキュリティープリント／サンプルプリント／時刻指定プリントで、本機に蓄積された文書の一覧がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリントについては、「機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P.69) を参照してください。 サンプルプリントについては、「出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P.71) を参照してください。 時刻指定プリントについては、「指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P.73) を参照してください。
[ドメイン制限リスト]	<p>送受信を許可／拒否するドメインの登録状況がプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。 送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
[製品回収シート]	<p>使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートがプリントされます。お客様から弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報を知りたいとご依頼いただくことによって、本機の回収経路が決定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品回収情報シートの記入欄は、お客様にご記入いただく必要はありません。
[機能別カウンターレポート]	<p>機能別、用紙サイズ別の出力枚数や、レディー時間、低電力モード時間、スリープモード時間などの累計がプリントされます。</p>
[隠し印刷サンプル]	<p>複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルがプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「複製管理について」(P.148) を参照してください。
[パスワードセキュリティーサンプル]	<p>複製管理機能のペーパーセキュリティーで作成するデータのサンプルがプリントされます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「複製管理について」(P.148) を参照してください。
[バーコードサンプル]	<p>GS1-128 バーコードのサンプルがプリントされます。</p>
[ネットワークプロトコルレポート]	<p>ネットワークプロトコルの設定がプリントされます。</p>

[メーター確認]

プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。

項目	説明
[メーター 1]	白黒プリント
[メーター 2]	通常は使用しません。
[メーター 3]	カラープリント

💡 補足

- アプリケーション側で ICC プロファイルなどを使って色変換したプリントデータを、[カラー(自動)]でプリントした場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーでプリントされ、メーター 3 (カラープリント) でカウントされます。
- 両面プリントで出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

[機械管理者メニュー]

[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定] では、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類およびその通信に必要な条件を設定します。

[TCP/IP 設定]

💡 補足

- [Ethernet1] と [Ethernet2] は、セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi に関する項目は、無線 LAN キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。


項目	説明
[IP 動作モード]	IP 動作モードを設定します。 💡 補足 • [IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Direct を使用できません。
[Ethernet] [Ethernet1] [Ethernet2]	— [IP アドレス取得方法] [IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]
	Ethernet 設定を行います。 TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。 自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。
[Wi-Fi]	— [IP アドレス取得方法] [IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]
	Wi-Fi 設定を行います。 TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。 自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。

項目		説明
[Wi-Fi Direct]	—	Wi-Fi Direct 設定を行います。
	[IP アドレス (IPv4)]、[サブ ネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]	自動で取得されたアドレスを確認する場合に使用します。
[Ping 接続確認 - IPv4]	[Ethernet]、[Ethernet1]、[Ethernet2]、[Wi-Fi]	設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。コンピューターの IPv4 アドレスを入力すると、Ping 接続確認が開始されます。

[Wi-Fi 設定]

補足

- この項目は、無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

項目		説明
[Wi-Fi 接続状態]		Wi-Fi 通信の状態を表示します。
[リンクチャンネル]		Wi-Fi 通信で使用するチャンネルが表示されます。
[帯域]		周波数帯域を設定します。
[アクセスポイント検索]		無線 LAN アクセスポイントを検索し、電波強度の強い順に SSID を表示します。最大 5 台まで表示します。アクセスポイントを選び、〈OK〉ボタンを押すと接続を行います。アクセスポイントのセキュリティ設定に応じて、WEP キーやパスワードなどを入力します。
[SSID 直接入力]	—	無線 LAN アクセスポイントの識別名称を入力します。入力できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。
	[ネットワークタイプ]	無線 LAN の種類と暗号化方式を設定します。アクセスポイントのセキュリティ設定に応じて、WEP キーやパスワードなどを入力します。  補足 • [Wi-Fi Direct] の [ポートの起動] が [起動] に設定されている場合は [アドホック] は表示されません。
[WPS セットアップ]		WPS を使用して無線 LAN の設定をします。 • [PBC 開始] WPS（押しボタン方式）を使用して無線 LAN の設定をします。 • [PINCode] 本機に割り当てられる PIN コードを使用して無線 LAN の設定をします。
[設定解除]	[接続一時解除]	無線 LAN アクセスポイントへの接続を一時的に解除します。
	[ネットワーク設定を消去]	設定した接続情報を消去します。

[Wi-Fi Direct]




補足

- この項目は、無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。


項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、Wi-Fi Direct ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 💡 補足 <ul style="list-style-type: none"> 次のどれかの設定になっている場合は、[ポートの起動] を [起動] に設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [ネットワークタイプ] が [アドホック] - [帯域] が [5GHz] - [IP 動作モード] が [IPv6]
[接続数]	現在接続されている Wi-Fi モバイル端末の数を表示します。
[グループロール]	本機のグループロールを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [自動] 本機のグループロールを自動的に設定します。 • [グループオーナー] 本機を Wi-Fi Direct ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できます。 💡 補足 <ul style="list-style-type: none"> • iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定する必要があります。
[デバイス名]	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
[SSID]	Wi-Fi Direct ネットワークで識別するネットワークの名称を「DIRECT-**」に続く部分について入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。
[パスコード入力]	パスフレーズを入力します。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。
[接続メニュー]	モバイル機器からの接続要求があった場合に設定します。PBC 方式で接続要求があった場合は、接続許可の可否を設定します。PIN コード方式で接続要求があった場合は、PIN コードを確認してから〈OK〉ボタンを押して接続します。




[LPD]

項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 💡 補足 <ul style="list-style-type: none"> • LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。


項目	説明
[プリントモード 指定]	<p>プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切にプリントします。 • [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 • [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、本機の対象外のプリント言語だった場合、そのデータは消去されます。 • [PS] は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。
[PJL]	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。
[コネクションタイムアウト]	プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。
[TBCP フィルター]	<p>PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。
[ポート番号]	<p>ポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
[セッション数]	本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。
[プリント順序]	プリントデータの順序について設定します。

[IPP]



項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。



項目	説明
[プリントモード 指定]	<p>プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切にプリントします。 • [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 • [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、本機の対象外のプリント言語だった場合、そのデータは消去されます。 • [PS] は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。
[PJL]	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。
[アクセス権制御]	プリントジョブの中止や削除、本機を一時停止状態にするときや一時停止状態の解除をするときに、アクセス権で制御する場合は [有効] に設定します。
[DNS 使用]	<p>本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] IP アドレスを使用します。 • [有効] DNS 名を使用します。
[追加ポート番号]	<p>追加ポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices）/BMLinkS ポートは、同じポート番号を共用できます。
[タイムアウト]	プリントデータの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。
[TBCP フィルター]	<p>PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[Bonjour]


項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 • Multicast DNS 機能を使う場合は [起動] にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートも起動します。




[USB]

項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、USB ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
[プリントモード 指定]	<p>プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切にプリントします。 • [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 • [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、本機の対象外のプリント言語だった場合、そのデータは消去されます。 • [PS] は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション (DocuPrint C3550 d のみ)）が取り付けられている場合に表示されます。
[PJL]	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。
[自動排出時間]	データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的にプリントして排出する時間を設定します。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。



項目	説明
[Adobe 通信プロトコル]	<p>PostScript® の通信プロトコルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [標準] 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 • [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによってはプリント処理が [標準] に比べて速くなる場合があります。 • [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 • [RAW] 通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しくプリントできない場合に選びます。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、PostScript® ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。 • コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 • ここでの設定は、PostScript® でプリントされる場合にだけ有効です。 • 通常は、初期値の [標準] で使用してください。
[PS 印刷待ちタイムアウト]	<p>PostScript® のプリント待ち時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] [USB] の [自動排出時間] を使用します。 • [有効] PostScript® プリンタードライバーの [印刷待ちタイムアウト] を使用します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、PostScript® ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。
[ポートの固定]	<p>USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするか、お使いのプリンター固有のシリアルナンバーにするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするときに設定します。 • [有効] USB デバイスに通知するシリアルナンバーをお使いのプリンター固有の値にするときに設定します。

[Port9100]



項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

項目	説明
[プリントモード 指定]	<p>プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切にプリントします。 • [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 • [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、本機の対象外のプリント言語だった場合、そのデータは消去されます。 • [PS] は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。
[PJL]	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。
[接続タイムアウト]	プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。
[ポート番号]	<p>ポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
[TBCP フィルター]	<p>PostScript® データを処理するとき、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。



[BMLinkS]

項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、BMLinkS ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
[ポート番号]	<p>ポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（CentreWare Internet Services / IPP / SOAP / UPnP / WSD（Web Services on Devices） / BMLinkS）は、同じポート番号を共有できます。



[UPnP]

項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、UPnP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
[ポート番号]	ポート番号を設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート (CentreWare Internet Services / IPP / SOAP / UPnP / WSD (Web Services on Devices) / BMLinkS) は、同じポート番号を共有できます。

[WSD]

項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、WSD (Web Services on Devices) ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
[ポート番号]	ポート番号を設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート (CentreWare Internet Services / IPP / SOAP / UPnP / WSD (Web Services on Devices) / BMLinkS) は、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]



項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
[ポート番号]	ポート番号を設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート (CentreWare Internet Services / IPP / SOAP / UPnP / WSD (Web Services on Devices) / BMLinkS) は、同じポート番号を共有できます。

[ThinPrint]

補足

- この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合にのみ表示されます。


- ThinPrint 機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、ThinPrint ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。
[ポート番号]	ポート番号を設定します。  補足 • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
[SSL/TLS 通信]	SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。  補足 • SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

補足


- SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

項目	説明
[ポートの起動]	電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。  補足 • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。



[DNS サーバー]

補足

- [DNS サーバー設定 -1] と [DNS サーバー設定 -2] は、セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- [DNS サーバー設定 Wi-Fi] は、無線 LAN キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[DNS サーバー設定] [DNS サーバー設定 -1] [DNS サーバー設定 -2] [DNS サーバー設定 Wi-Fi]	[DHCP からアドレス取得] DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。  補足 • [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 • IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。
[DNS サーバー設定 IP アドレス]	この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。





[インターネットサービス]

項目	説明
[ポートの起動]	<p>電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。[起動] に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 • インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。
[ポート番号]	<p>ポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート (CentreWare Internet Services / IPP / SOAP / UPnP / WSD (Web Services on Devices) / BMLinkS) は、同じポート番号を共用できます。

[EP プロキシサーバ設定]

注記

- 本機能は、トータルサービス契約を締結される場合に使用することがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご確認ください。

項目	説明
[サーバ指定方法]	<p>EP プロキシサーバの指定方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて同じ設定] HTTPS と HTTP で同じ設定が使用されます。 HTTPS での設定内容が HTTP で使用されます。 • [プロトコルごとに設定] HTTPS と HTTP を別々に設定します。
[HTTPS サーバー名] [HTTP サーバー名]	<p>HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバのサーバー名を入力します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [HTTP サーバー名] は、[サーバ指定方法] を [プロトコルごとに設定] に設定したときに表示されます。
[HTTPS ポート番号] [HTTP ポート番号]	<p>HTTPS、HTTP で使用するポート番号を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。 • [HTTP ポート番号] は、[サーバ指定方法] を [プロトコルごとに設定] に設定したときに表示されます。
[HTTPS 認証] [HTTP 認証]	<p>HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバの認証機能を有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [HTTP 認証] は、[サーバ指定方法] を [プロトコルごとに設定] に設定したときに表示されます。
[HTTPS ログイン名] [HTTP ログイン名]	<p>HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバのログイン名を入力します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [HTTP ログイン名] は、[サーバ指定方法] を [プロトコルごとに設定] に設定したときに表示されます。

項目	説明
[HTTPS パスワード] [HTTP パスワード]	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのパスワードを入力します。 💡 補足 • [HTTP パスワード] は、[サーバ-指定方法] を [プロトコルごとに設定] に設定したときに表示されます。

[Ethernet]

💡 補足

- [Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[Ethernet 設定] [Ethernet 設定 -1] [Ethernet 設定 -2]	Ethernet インターフェイスの通信速度やコネクタの種類を設定します。

[受付制限設定]

💡 補足

- [受付制限 (IPv4)-1] と [受付制限 (IPv4)-2] は、セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi Direct 経由の通信には適用されません。

項目	説明
[受付制限 (IPv4)]	ネットワークまたはデバイスから受信する情報を制限するかどうかを設定します。
[受付制限 (IPv4)-1]	[受付 IP アドレス制限]
[受付制限 (IPv4)-2] [Wi-Fi(IPv4)]	[受付 IP アドレス設定]
	プリントを受け付ける IP アドレスを制限する場合に、受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。 たとえば、[IP アドレス] : 192.0.2.1、[フィルターアドレス] : 255.255.255.0 と設定した場合、プリントを受け付ける IP アドレスは、192.0.2.xxx です。xxx は 1 ~ 254 までの数値です。 💡 補足 • CentreWare Internet Services では、IP アドレスを 25 個まで登録できます。

[SNTP 設定]


項目	説明
[NTP サーバ-との同期]	NTP サーバと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。
[接続間隔]	NTP サーバに接続する間隔を設定します。
[NTP サーバ-IP アドレス]	NTP サーバの IP アドレスを設定します。

[HTTP-SSL/TLS 通信]


💡 補足

- SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。

- HTTP の通信の暗号化および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) を参照してください。

項目	説明
[有効 / 無効の設定]	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。
[ポート番号]	ポート番号を設定します。  補足 • ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。


[IPsec 通信]

項目	説明
[IPsec 通信]	コンピューターからネットワーク上の本機にデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。  参照 • IPsec の設定方法については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P.156) を参照してください。

[IEEE 802.1x]

補足

- [IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明	
[IEEE 802.1x 設定]	[802.1x 認証の使用]	IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
[IEEE 802.1x 設定 -1]	[認証方式]	IEEE 802.1x の認証方式を設定します。  補足 • [EAP-TLS] は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) とクライアント証明書が必要です。
[IEEE 802.1x 設定 -2]	[サーバー証明書の検証]	サーバー証明書の検証をするかどうかを設定します。

[プライマリネット選択]

補足

- 無線 LAN キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[プライマリネット選択]	優先して接続するネットワーク接続の種類を設定します。


[システム設定]

[システム設定] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[音の設定]

項目	説明
[異常警告音]	紙詰まりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音の大きさを設定します。
[準備完了音]	本機がプリントできる状態になったときに鳴る音の大きさを設定します。



【操作パネル設定】

項目	説明
[操作パネル制限]	暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。
[暗証番号設定]	操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。
[認証エラーアクセス拒否]	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。
[認証回数]	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none">• [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。


【自動リセット】

項目	説明
[自動リセット]	メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを設定します。

【結露防止モード】

項目	説明
[結露防止モード]	本機内の結露を防止または軽減する結露防止モードに移行するかどうかを設定します。  注記 <ul style="list-style-type: none">• 結露防止モードを [有効] に設定したときは、定着ユニットの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。  補足 <ul style="list-style-type: none">• [結露防止モード] 終了後は、自動的に [スリープモード] に移行します。

【エコ設定モード】

項目	説明
[エコ設定モード]	エコ設定モードを有効にするか、無効にするかを設定します。エコ設定モードを有効にすることにより、消費電力を節約することができます。  補足 <ul style="list-style-type: none">• 有効にすると操作パネルのバックライトが消灯します。

【節電移行時間短縮】





- 節電移行時間短縮については、「節電機能について」(P.31)を参照してください。

項目	説明
[節電移行時間短縮]	節電移行時間を短縮するかどうかを設定します。

【低電力移行時間】



- 低電力移行時間については、「節電機能について」(P.31)を参照してください。



項目	説明
[低電力移行時間]	<p>低電力モードに移行するまでの時間を設定します。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。低電力モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[低電力移行時間] を設定できません。

[スリープモード移行時間]




参照

- スリープモード移行時間については、「節電機能について」(P.31) を参照してください。

項目	説明
[スリープモード移行時間]	<p>スリープモードに移行するまでの時間を設定します。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。スリープモードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[スリープモード移行時間] を設定できません。

[電源自動オフ設定]

項目	説明
[自動オフ]	<p>設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合は、電源は自動的に切れません。
[自動オフ時刻]	自動的に電源が切れる時刻を設定します。

[自動ジョブ履歴]

項目	説明
[自動ジョブ履歴]	50 件のジョブが終了するごとに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[ジョブの表示設定]

項目	説明
[実行中 / 待ちジョブ]	プリントを実行中またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。

項目		説明
[完了ジョブ]	—	完了ジョブの情報表示について設定します。
	[ジョブの表示]	完了したジョブの表示方法について設定します。
	[認証中の表示対象]	完了したジョブについて、すべてのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。
	[表示情報の制限]	完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。

[レポート両面プリント]

項目	説明
[レポート両面プリント]	レポート/リストをプリントするときに、片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

[プリント可能領域]

項目	説明
[プリント可能領域]	プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。

[バナーシート設定]

項目	説明
[バナーシート出力]	バナーシートを出力するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [出力しない] バナーシートを出力しません。 [スタートシート] 文書の始めに出力します。 [エンドシート] 文書の終わりに出力します。 [スタート+エンドシート] 文書の始めと終わりに出力します。
[バナーシートトレイ]	バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。
[ドライバーの設定]	プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。

[セキュリティープリント操作]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。

項目	説明
[セキュリティープリント操作]	セキュリティープリントのプリントを、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。

[選択文書のプリント順]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。

項目	説明
[選択文書のプリント順]	セキュリティープリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使ってプリントする場合に、選択文書のプリント順を設定します。

[システム時計]

💡 補足

- ここで設定された日付/時刻が、レポートやリストにプリントされます。

項目	説明
[日付]	年月日を設定します。
[時刻]	時：分を設定します。
[日付表示切替]	日付の表示順序を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [yyyy/mm/dd] 年/月/日の順で表示します。 • [mm/dd/yyyy] 月/日/年の順で表示します。 • [dd/mm/yyyy] 日/月/年の順で表示します。
[時刻表示切り替え]	時刻表示の方法を設定します。
[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[サマータイム設定]	サマータイムについて設定します。 <p>⚠ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開始日と終了日に同じ月は設定しないでください。同じ月を設定すると、サマータイムの設定が正しく動作しません。


[カラーモード 自動の動作]

項目	説明
[カラーモード 自動の動作]	カラープリントの自動判別機能について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [標準 (スピード優先)] 1 ページ目で、カラー、白黒を判定します。1 ページ目がカラーのときはすべてのページをカラーでプリントします。 また 1 ページ目が白黒のときは、途中でカラーページが出てきたところで、カラーでのプリントに切り替えます。その後のページは白黒ページでも、カラーでプリントします。 プリントスピードを優先させます。 • [ページ切り替え] ページごとに、カラー、白黒を判定して、プリントします。 プリントスピードよりも、消耗品の使用を低減させることを優先させます。

[紙づまり時の処理]

項目	説明
[紙づまり時の処理]	プリント中に紙詰まりが発生した場合の処理を設定します。

[ドラム寿命動作]

項目	説明
[ドラム寿命動作]	<p>ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。 • [プリント停止しない] ドラムカートリッジの交換時期になっても、すぐにプリントは停止されず、ドラムカートリッジに異常が検知された段階で本機を保護するために強制的にプリントを停止します。 この場合、ドラムカートリッジの寿命が過ぎているため、プリント画質など本機の性能に影響が出ることがあります。また短期間でプリントが停止することがあるので、すぐに新しいドラムカートリッジをご用意のうえ、交換することをおすすめします。 • [プリント停止する] ドラムカートリッジ交換のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまでプリントは停止されます。

[画質調整時間延長]

項目	説明
[画質調整時間延長]	電源投入時の画質調整時間を延長するかどうかを設定します。

[ミリ / インチ切り替え]

項目	説明
[ミリ / インチ切り替え]	操作パネルで長さを表示、入力するときの単位を設定します。

[データ暗号化]

注記

- [データ暗号化] の設定を変更した場合、ストレージが初期化されます。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されません。
- ストレージにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。

項目	説明
[暗号化処理]	システム内部（ストレージ）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。

[ストレージ 上書き消去]

補足

- この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[ストレージ 上書き消去]	ストレージ内のデータを上書き消去するかどうか、上書き消去する場合は、その回数を設定します。

[プリントジョブの追越]

💡 補足

- この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられ、[異常終了プリント処理]が[自動的に再開]に設定されている場合に表示されます。

項目	説明
[プリントジョブの追越]	本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追越しを許可するか、禁止するかを設定します。 💡 補足 <ul style="list-style-type: none">セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追越し許可の対象外です。[許可]に設定した場合、[異常終了プリント処理]は設定できません。

[異常終了プリント処理]

💡 補足

- この項目は、[プリントジョブの追越]が[許可]の場合は設定できません。



項目	説明
[異常終了プリント処理]	実行中のジョブに何らかのエラーが発生し、ジョブのキャンセルが必要になった場合の動作について設定します。 <ul style="list-style-type: none">[自動的に再開] エラーが発生したジョブを機械が自動的にキャンセルし、次のジョブを再開します。[ユーザー操作で再開] ジョブのキャンセルが必要なエラーが発生した場合は、操作パネルにエラーメッセージを表示します。本体側の操作によって、ジョブがキャンセルされます。

[ソフトウェアダウンロード]






項目	説明
[ソフトウェアダウンロード]	ソフトウェアのダウンロードを許可するか、禁止するかを設定します。





[集計管理]

項目	説明
[集計管理の運用]	集計管理の運用方法を設定します。[本体集計管理]に設定すると、[集計レポート]に代わって、[プリンター集計管理レポート]がプリントされます。 <ul style="list-style-type: none">[しない][認証サーバー] 認証サーバーで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。[本体集計管理] 本機にあらかじめ登録されている情報を利用して、集計管理をします。[ネット集計管理] 外部アカウントサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウントサービスから登録します。

項目	説明
[認証情報の照合]	<p>認証情報の照合認証するとき、入力情報を照合するかどうかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [しない] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている場合に表示されます。 • [する] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] か [本体認証] に設定されている場合に表示されます。
[ユーザー入力項目]	<p>認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [UserID と AccountID] および [User ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない]、[認証情報の照合] が [する] に設定されている場合は、表示されません。 • [Account ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている場合は、表示されません。

[認証の設定]


項目	説明
[認証方式の設定]	<p>認証の方法を設定します。</p>
[認証情報設定]	<p>[認証失敗の記録]</p> <p>不正なアクセスを検知するために、10 分間に、設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート] に認証失敗を記録するかどうかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証に失敗しても、[エラー履歴レポート] に記録が残るだけで、「[操作パネル設定]」(P.116) のようなアクセス拒否は行われません。
[外部認証情報保存]	<p>外部認証情報を保存するかどうかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されているときに表示されます。
[外部認証情報削除]	<p>[外部認証情報保存] を [する] にして保存された外部認証情報を削除します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されているときに表示されます。
[IC カードの使用]	<p>IC カードを使用するかどうかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。
[非接触型 IC カード]	<p>非接触型 IC カードを使った認証について設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。

項目		説明
[認証プリントの設定]	—	<p>認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。
[受信時の PJI 命令]		PJI 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない] を選んだときまたは PJI 命令がないときは、[受信制御] の設定を使用します。
[出力時の PJI 命令]		PJI 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。
[受信制御]		<p>受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [プリントの認証に従う] [プライベートプリント保存] <p>認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [認証プリントに保存] <p>認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P.123) を参照してください。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。 [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
[ジョブ認証時の処理]		<p>プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。

[保存文書設定]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[文書の保存期間]	蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。
[保存期間 (日数)]	保存期間 (日数) を設定します。
[経過後の削除時刻]	<p>文書を削除する時刻を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> [システム設定] > [システム時計] > [時刻表示切り替え] の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。
[保存期間 (時間)]	保存期間 (時間) を設定します。

項目	説明
[電源切 / 入時に削除]	電源を切って再度入れたとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。

[ソフトウェア オプション]

💡 補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））または PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。
- セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））を取り付ける場合は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。

項目	説明
[ソフトウェア オプション]	<p>機械に取り付けたソフトウェアオプションを有効にします。</p> <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一度、[有効化] に設定すると、取り付けしているソフトウェアオプションの ROM は、ほかの機械で使用できません。 • 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

[イメージ ログ 管理設定]



⚠ 注記

- イメージログ管理機能を使用したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

💡 補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））とストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。


項目	説明
[イメージログ管理]	イメージログ管理機能を使用するかどうかを設定します。通常は [しない] で固定されています。イメージログ管理機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
[イメージログ作成]	イメージログを作成するかしないかを設定します。
[ログの作成保証レベル]	<p>ジョブに対して、イメージログが確実に作成されるかどうかのレベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [低] 本機のパフォーマンスを優先し、可能な範囲で作成します。そのため、イメージログが抜けてしまうことがあります。 • [高] イメージログを漏れなく作成します。そのため、本機の動作・運用に影響が出ることがあります。

項目		説明
[イメージログ転送]	[転送機能]	イメージログをログ管理サーバーに転送するための機能について設定します。 イメージログの転送機能を使用するかどうかを設定します。
	[転送動作]	自動転送の設定をします。  補足 • [ジョブ単位で転送] は、[0] の作成保証レベルが [高] のときに表示されます。
	[転送タイミング]	イメージログの転送タイミングを設定します。それぞれについて [無効] または [有効] を設定します。
	[転送保証レベル]	ログ管理サーバーにデータを転送するときの保証レベルを設定します。  補足 • [高] に設定すると漏れなくデータを転送しますが、データ転送の間は本機のパフォーマンスの低下や、一時停止が発生することがあります。

[ソフトウェア手動更新]

補足


- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

項目	説明
[ソフトウェア手動更新]	インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。  補足 • EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[ソフトウェア日時更新]

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

項目	説明
[ソフトウェア日時更新]	インターネットを使った EP システムを利用している場合、設定した日時に自動的に、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。  補足 • EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[WEP 設定]

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

項目		説明
[EP 診断 / 修理依頼]	—	インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機の点検や修理が必要となったときに、本機を使って弊社プリンターサポートデスクに連絡できます。連絡を受けると、必要に応じてカスタマーエンジニアが訪問します。 💡 補足 <ul style="list-style-type: none"> EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	[EP 診断]	EP 診断を依頼します。
	[修理依頼]	修理を依頼します。
[EP 通信確認]	—	EP システムを利用して弊社プリンターサポートデスクに連絡したときの通信状態を確認できます。

[GCP 登録]

💡 補足

- この項目は、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) を取り付けていて、Google クラウドプリントポートが起動されている場合に表示されます。Google クラウドプリントポートの起動方法については、「Google クラウドプリントポートの起動」(P.93) を参照してください。

項目	説明
[GCP 登録]	Google クラウド プリントに本機を登録するかどうかを設定します。 📖 参照 <ul style="list-style-type: none"> Google クラウド プリントについては、「Google クラウド プリント」(P.93) を参照してください。


[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

💡 補足

- 自動トレイ選択とは、プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合、原稿のサイズや用紙種類によって自動的にトレイが選択されることです。

[用紙の置き換え]

項目	説明
[給紙モード]	<p>自動トレイ選択でプリントしたとき、指定した用紙サイズ用の用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかのサイズの用紙に置き換えてプリントするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [しない] 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。 • [大きいサイズを選択] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。 • [近いサイズを選択] 選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。 • [近いサイズ(等倍)] 選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。 • [手差しトレイを選択] 手差しトレイにセットされている用紙にプリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。
[ページレイアウト]	<p>用紙を置き換える場合のレイアウトを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [標準] ページ記述言語ごとの標準的な位置にプリントします。 • [中央] 置き換えた用紙の中央にプリントします。

[用紙種類エラーの処理]

項目	説明
[用紙種類エラーの処理]	<p>プリントジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [設定変更表示] 設定変更を促すメッセージを表示します。 • [確認画面表示] 用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。 • [プリントする] メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類でプリントします。


[トレイの用紙種類]

項目	説明
[トレイ 1] ~ [トレイ 4]、 [手差しトレイ]	トレイにセットした用紙の種類を設定します。


[トレイの用紙色]

項目	説明
[トレイ 1] ~ [トレイ 4]、 [手差しトレイ]	トレイにセットした用紙の色を設定します。


[用紙の優先順位]

項目	説明
[上質紙]、[普通紙]、[再生紙]、[1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5]	<p>プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合の、用紙種類の優先順位を設定します。優先順位が高い用紙がセットされているトレイが選択されます。[設定しない] を設定した種類の用紙がセットされたトレイは、自動トレイ選択の対象になりません。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、[トレイの優先順位] によって決定します。


[トレイの優先順位]

項目	説明
[トレイ 1] ~ [トレイ 4]、[手差しトレイ]	<p>プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合の、トレイの優先順位を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 手差しトレイには最も低い優先順位だけが設定できます。手差しトレイを最優先したい場合は、[手差し優先] を設定します。


[手差し優先]

項目	説明
[手差し優先]	<p>プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合、手差しトレイを最優先で選ぶかどうかを設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> [トレイの優先順位] で [手差しトレイ] が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致するとき、手差しトレイから給紙されます。 [トレイの優先順位] で [手差しトレイ] が [自動トレイ切替対象外] に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致していても手差しトレイから給紙されます。

[トレイの用紙サイズ設定]

項目	説明
[トレイ 1] ~ [トレイ 4]、[手差しトレイ]	<p>各トレイの用紙サイズを設定します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P.50)を参照してください。

[用紙の画質処理]

項目	説明
[普通紙]、[再生紙]、[上質紙]、[1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5]	<p>それぞれの用紙に対する画質処理（用紙種類）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [A] カラー専用の上質紙に適しています。 • [A(うら面)] カラー専用の上質紙のうら面に適しています。 • [B] 一般的に使われているオフィス用紙に適しています。 • [B(うら面)] 一般的に使われているオフィス用紙のうら面に適しています。 • [C] 再生紙に適しています。 • [C(うら面)] 再生紙のうら面に適しています。 • [D] 地合が悪い用紙で、プリント時に画質のムラが発生する場合に選びます。 • [D(うら面)] 地合が悪い用紙で、うら面にプリント時に画質のムラが発生する場合に選びます。 • [S] 105g/m²以下のコート紙に適しています。 • [S(うら面)] 105g/m²以下のコート紙のうら面に適しています。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地合が悪い用紙とは、光に透かして見たときに、表面の透過度にムラが目立つ用紙です。
[ラベル紙]	<ul style="list-style-type: none"> • [B] 標準ラベル紙に適しています。 • [D] [B] で印字品質や画質のトラブルが出る場合に、変更すると解決することがあります。

[用紙種類名称設定]

項目	説明
[1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5]	[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5] を、任意の名称に変更できます。

[用紙色名称設定]

項目	説明
[1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5]	[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザ - 1] ~ [5. ユーザ - 5] を任意の名称に変更できます。

[ID 印字機能]

項目	説明
[ID 印字機能]	特定の位置に、ユーザー ID をプリントします。

[奇数ページの両面]

項目	説明
[奇数ページの両面]	両面プリント時の、奇数ページ原稿の最終ページに対するプリント方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [両面] 最終ページは片面のみのデータですが、両面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作を行います。用紙に上下または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）にプリントする場合は、プリントの向きをそろえることができます。• [片面] 片面分の最終ページを、片面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作をしないでプリントします。両面のプリント動作をしないため、高速にプリントできます。

[未登録フォームへ印字]

項目	説明
[未登録フォームへ印字]	プリント時に指定されたフォームが未登録だった場合に、プリントを中止するか、データのみプリントするかを設定します。

[基本の用紙サイズ]

項目	説明
[基本の用紙サイズ]	レポート/リストなどの出力用紙サイズ指定のないプリントデータの用紙サイズの初期値を設定します。

[OCR フォントのグリ]

項目	説明
[OCR フォントのグリ]	ART IV または ESC/P での OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。

[メモリー設定]


[メモリー設定] は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量を変更します。




⚠ 注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。

💡 補足

- メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネルまたは CentreWare Internet Services で設定できます。
- プリントページバッファは、実際のプリントイメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。
解像度の高い文書をプリントするときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。
実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、[機能設定リスト] で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。

項目	説明
[PS 使用メモリー]	PostScript® の使用メモリー容量を指定します。  補足 ・この項目は、PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に表示されます。
[ART EX フォームメモリー]	ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。 ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはストレージが使用されます。容量は変更できません。
[ART IV フォームメモリー]	ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはストレージが使用されます。容量は変更できません。
[ART IV ユーザー定義メモリー]	ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。
[HPGL オートレイアウトメモリー]	HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。 ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはストレージが使用されます。容量は変更できません。
[ジョブチケット用メモリー]	ジョブチケットに使用するメモリーの容量を指定します。

項目		説明
[受信バッファ容量]	—	<p>インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。</p> <p>受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。 • コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらないことがあります。
[LPD スプール]		<ul style="list-style-type: none"> • [スプールしない] スプール処理は行われません。あるコンピューターからLPDのプリント処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。 • [ストレージ スプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ストレージが使用されます。この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。 • [メモリースプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。なお、設定したメモリー容量よりも大きいプリントデータは、受信できません。このようなときは、[ストレージ スプール] または [スプールしない] を選んでください。 <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> • LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。この場合は、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで [ポート] タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。
[IPP メモリー] / [IPP スプール]、[USB メモリー]、[Port9100 メモリー]		<p>メモリー容量を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IPP スプール] は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられている場合に表示されます。ストレージが取り付けられていない場合は、[IPP メモリー] が表示されます。

[画質補正]

[階調補正]



参照

- 階調補正の操作手順については、「階調を補正する」(P.186)を参照してください。

項目	説明
[解像度]	解像度優先の階調補正チャートをプリントし、本機の階調を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> • [階調補正チャート] 階調補正チャートをプリントし、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) の色階調がずれていないかを確認し、補正值を読み取ります。 • [補正セット] 補正值を設定します。
[階調]	階調優先の階調補正チャートをプリントし、本機の階調を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> • [階調補正チャート] 階調補正チャートをプリントし、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) の色階調がずれていないかを確認し、補正值を読み取ります。 • [補正セット] 補正值を設定します。

[カラーレジ補正]

項目	説明
[自動カラーレジ補正]	プリント結果に色版のずれが発生する場合に、カラーレジを自動で調整します。
[手動カラーレジ補正]	プリント結果に色版のずれが発生する場合に、カラーレジを手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> • [カラーレジ補正チャート] A4 サイズの用紙にカラーレジ補正チャートをプリントします。 • [カラーレジ補正] イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) の補正值を設定します。

[ペーパーレジ補正]

補足

- トレイ 2～4 はオプションです。取り付けられていないトレイは表示されません。
- [おもて面の補正]、[うら面の補正]、[ファット出力 (片面)]、[ファット出力 (両面)] は、トレイ 1～手差しトレイの各々のトレイに対応して表示されます。
- おもて面/うら面の水平方向 (サイドレジ) の補正はトレイごとに設定できますが、垂直方向 (リードレジ) の補正はすべて同一の値になります。

参照

- ペーパーレジ補正については、「ペーパーレジを補正する」(P.192) を参照してください。

項目	説明
[おもて面の補正]	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置を補正します。
[うら面の補正]	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置を補正します。
[ファット出力 (片面)]	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置を補正するときに使用するチャートを出力します。
[ファット出力 (両面)]	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置を補正するときに使用するチャートを出力します。

[転写電圧オセット調整]

項目	説明
[普通紙]、[上質紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[コート紙 1]、[コート紙 2]、[コート紙 3]、[はがき]、[封筒]、[ラベル紙]	<p>次のような症状が頻繁に発生する場合は、プリントする用紙に合った用紙種類が正しく設定されているかを確認してください。正しい用紙種類が設定されていても症状が発生するときは、転写電圧の設定が適切でないことがあります。その場合に調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の一部が白点になる（転写電圧をマイナス方向に変更する） • 画像周辺にトナーが飛び散る（転写電圧をプラス方向に変更する） • 画像全体が青みがかったり（転写電圧をプラス方向に変更する）

[定着温度調整]

項目	説明
[普通紙]、[上質紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[コート紙 1]、[コート紙 2]、[コート紙 3]、[封筒]、[はがき]、[ラベル紙]	<p>次のような症状が頻繁に発生する場合は、定着温度の設定が適切でないことがあります。次のように調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指でこするとかすれる（定着温度をプラス方向に変更する） • トナーが定着しない（定着温度をプラス方向に変更する） • トナーで用紙が汚れる（定着温度をマイナス方向に変更する）

[高地使用設定]



項目	説明
[高地使用設定]	本機の設置場所の高度を設定します。高度を正しく設定することで、印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。




[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除] では、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ネットワークポート、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））の初期化および本機に登録されているフォームなどのデータを削除します。

補足

- 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。

項目	説明
[NV メモリー初期化]	<p>NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。
[ストレージ 初期化]	<p>ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））を初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PCPR201H、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージを初期化しても、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。 • この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合にのみ表示されます。

項目	説明
[証明書初期化]	証明書を一括削除し、初期化します。 登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。
[データ一括削除]	NV メモリー、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ストレージを初期化すると、追加フォント、PCPR201H、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。  注記 <ul style="list-style-type: none"> • ストレージが取り付けられている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。
[集計レポート初期化]	集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。
[機能別カウンター初期化]	機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。
[フォーム / マクロの削除]	登録されているフォームやマクロを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ART EX フォーム削除] ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 • [ART IV フォーム削除] ART IV 用フォームを削除します。 • [201H フォーム削除] エミュレーションの PC-PR201H 用フォームを削除します。 • [ESC/P フォーム削除] エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 • [PCL マクロ削除] エミュレーションの PCL 用マクロを削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> • [PCL マクロ削除] は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に表示されます。
[フォント削除]	登録されているフォントを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> • [PCL フォント削除] エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> • この項目は、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が取り付けられている場合に表示されます。
[セキュリティー文書削除] / [プライベート文書削除]	セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。

[プリント言語の設定]

使用するページ記述言語、エミュレーションモードで使用する言語の設定をします。

[201H]

このメニューで設定できる項目については、「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.313) を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.308) を参照してください。

[HPGL]





このメニューで設定できる項目については、「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.318)を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

補足

- [部数]、[両面]、[印刷モード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト]、[カラーモード] の設定は、ContentsBridge Utility (富士ゼロックス株式会社製のソフトウェア) を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合に有効になります。

項目	説明
[プリント処理モード]	PDF ファイルのプリント処理モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [PDF Bridge] PDF ファイルを、本機搭載の PDFBridge 機能を使用して処理します。• [PS] PDF ファイルを PostScript® の機能を使用して処理します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">• この項目は、PostScript® ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合にのみ表示されます。• [PDF Bridge] を選んだ場合と [PS] を選んだ場合では、プリント結果が異なることがあります。
[部数]	プリントする部数を設定します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">• ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
[両面]	両面プリントについて設定します。
[印刷モード]	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。
[パスワード]	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。
[ソート]	複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。
[用紙サイズ]	出力する用紙サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [A4] または [8.5x11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5x11"] のどちらかが表示されます。• [自動] プリントする PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
[レイアウト]	プリントするときのレイアウトについて設定します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">• この項目は、PostScript® ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられていて、[プリント処理モード] を [PS] に設定している場合は表示されません。
[カラーモード]	カラーでプリントするか、白黒でプリントするかを設定します。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none">• 詳しくは、「[カラーモード 自動の動作]」(P.119) を参照してください。

[PCL]

このメニューで設定できる項目については、「PCL エミュレーションについて」(P.323)を参照してください。

[PostScript]

PostScript[®]に関する設定をします。


補足

- この項目は、PostScript[®] ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合に表示されます。

項目	説明
[用紙選択モード]	PostScript [®] の DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [トレイから選択] DMS (Deferred Media Selection) 機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。• [自動] DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にします。
[カラーモード]	PostScript [®] 動作時、PDF 用のカラーモードの初期値を設定します。
[フォント未搭載時処理]	ジョブで指定された PostScript [®] フォントがなかった場合の処理を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [プリントを中止] プリントを中止します。• [フォントを置き換え] ジョブで指定されたフォントを置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは Courier です。 置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [フォント置き換え] で [ATCx を使用する] を選んでください。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript[®] フォントに置き換えてプリントする機能です。
[フォント置き換え]	ジョブで指定された PostScript [®] フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript [®] フォントに置き換えてプリントする機能です。



[XPS]

XPS (XML Paper Specification) に関する設定をします。

項目	説明
[PrintTicket 処理]	<p>XPS PrintTicket を読み込んだ時の本機の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS(XML Paper Specification) 文書进行处理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できます。 • [標準モード] PrintTicket を処理します。本機用のほかのプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。 • [準拠モード] 指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft® の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS(XML Paper Specification) 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • PrintTicket とは、Microsoft® 社が規定した XPS(XML Paper Specification) 文書内部に格納されているプリント設定です。

[XDW(DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

項目	説明
[部数]	<p>プリントする部数を設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
[両面]	両面プリントについて設定します。
[印刷モード]	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。
[パスワード]	DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。
[ソート]	複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。
[レイアウト]	<p>プリントするときのレイアウトについて設定します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。
[用紙サイズ]	<p>出力する用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [A4] または [8.5x11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5x11"] のどちらかが表示されます。 • [自動] プリントする DocuWorks ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
[カラーモード]	カラーでプリントするか、白黒でプリントするかを設定します。

[言語切り替え]

項目	説明
[言語切り替え]	操作パネルの表示言語を設定します。

6.2 消耗品メニューについて

ここでは、操作パネル上の〈▼〉 + 〈OK〉 ボタンを同時に押すと表示される項目について説明します。

[シリアル番号]

本機のシリアル番号を確認できます。

[カスタムモード]

トナーカートリッジの交換時期になってもやむをえず継続して使用しなければならない場合に、この機能を有効にします。

🗨️ 注記

- カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P.120) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

💡 補足

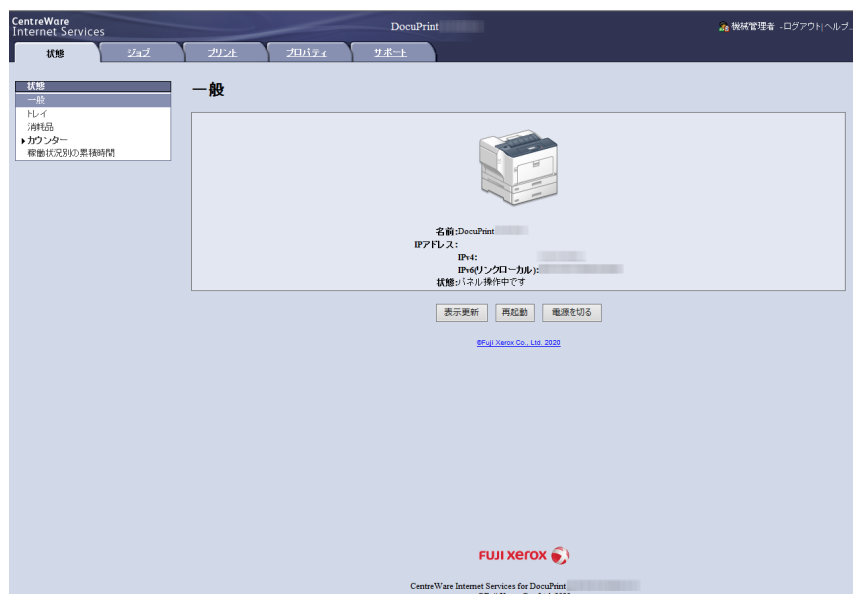
- カスタムモードを一度でもオンにしたことがある場合は、カスタムモードを [オフ] にすると「機能設定リスト」の [カスタムモード] の項目に [*] が表示されます。

7 便利な使い方


7.1 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



各タブで設定できる主な機能は次のとおりです。

タブ名	主な機能
[状態]	本機の名前、IP アドレス、用紙トレイの状態、消耗品の状態などを確認できます。
[ジョブ]	ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。  参照 • 表示されるエラーコードの意味については、「エラーコード」(P.228) を参照してください。
[プリント]	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。[プリント] タブは、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合にのみ表示されます。
[プロパティ]	本機の設定の確認と設定ができます。
[サポート]	サポート情報が表示されます。

Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する前に、Web ブラウザーで次の設定をしてください。Internet Explorer 11 を例に説明します。

インターネット一時ファイルの設定をする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から [Web サイトを表示するたびに確認する] または [InternetExplorer を開始するたびに確認する] を選びます。
4. [OK] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

本機の IP アドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [接続] タブで、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LAN の設定] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
[LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
[詳細設定] をクリックし、[例外] に本機の IP アドレスを入力して [OK] をクリックする。
4. [OK] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

JavaScript を有効にする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [セキュリティ] タブで、[ローカル イン트라ネット] をクリックして、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イン트라ネット ゾーン] ダイアログボックスが表示されます。
3. [スクリプト] までスクロールし、[アクティブ スクリプト] が有効化されていることを確認します。
4. [OK] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イン트라ネット ゾーン] ダイアログボックスが閉じます。

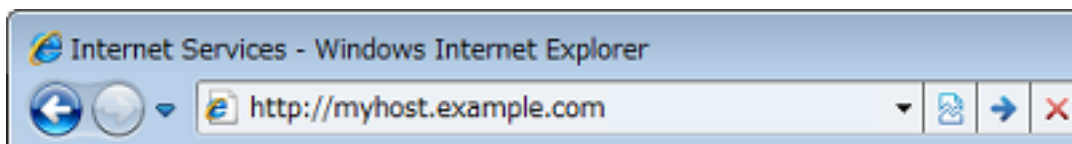
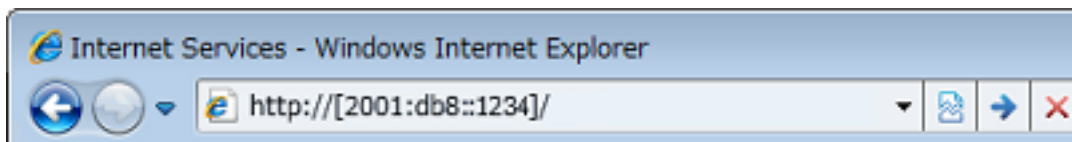
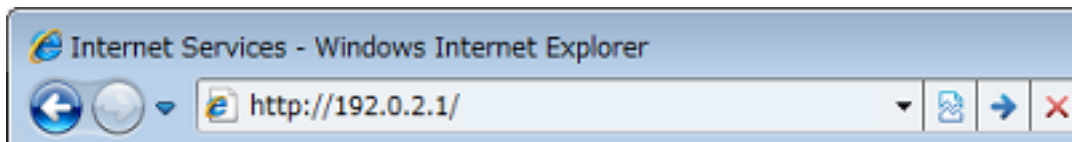
5. [インターネットオプション] 画面で [OK] をクリックします。

[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

CentreWare Internet Services を起動する

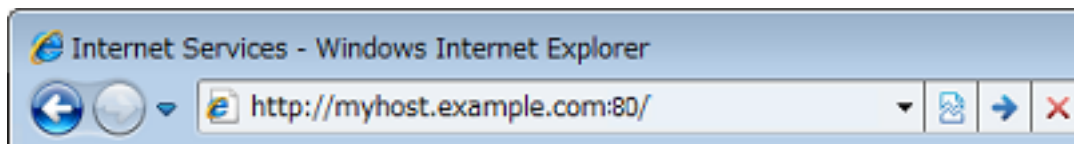
本サービスを使用する手順は次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

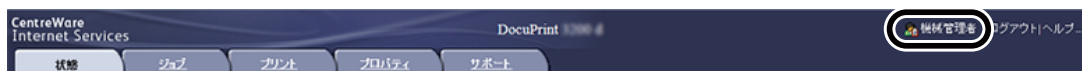


💡 補足

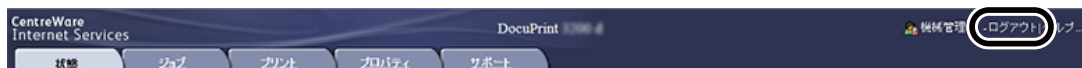
- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- ポート番号は、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。



- 本機で認証/集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードを入力してください。ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。CentreWare Internet Services を起動すると、右上にユーザー情報が表示されます。



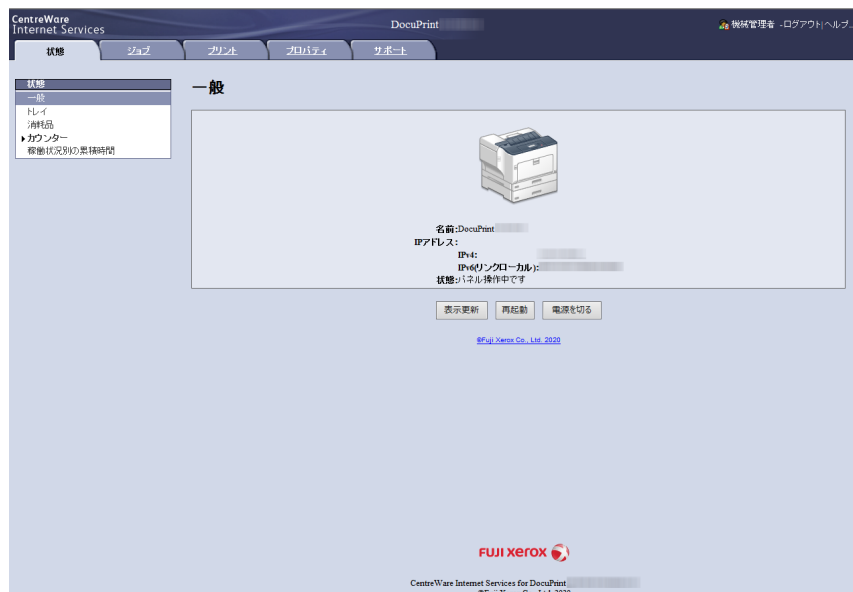
- 機械管理者または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードでログインして、設定や確認をしたあとは、情報漏洩を防ぐためにも [ログアウト] をクリックして、ログアウトしてください。



- 通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- 認証/集計管理機能、および通信の暗号化については、「セキュリティ機能について」(P.146)、「ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P.161) を参照してください。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。[ヘルプ ...] をクリックすると、[ヘルプ ...] ウィンドウが表示されます。



💡 補足

- CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

送信を暗号化する

[セキュリティ] で証明書を作成して [HTTP - SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、本機と Web ブラウザの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Services を使用するとき、証明書が必要になることがあります。

7.2 本機に付属のソフトウェアを使う

付属の [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

💡 補足

- 最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

Print & Scan Hub (Windows)

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。

Print & Scan Hub を起動するには、[スタート] > [Fuji Xerox Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows)

PC 上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントすることができます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

Supply Monitor (Windows)

ネットワーク上のプリンターや、USB 接続されたプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得するソフトウェアです。消耗品の残量が少なくなったときは、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

また、Supply Monitor の画面に表示されるオンラインショップ、イー・クイックスへのリンク、またはメール内に記載されたイー・クイックスへのリンク先の URL をクリックすると、インターネットで消耗品を注文できます。

Supply Monitor を起動するには、[スタート] > [Fuji Xerox] > [Supply Monitor] > [Supply Monitor] をクリックします。

⚠️ 注記

- お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンクが表示されません。

メイン画面 - Supply Monitor

Supply Monitor イー・イクスと Supply Monitor連携のご利用案内

ファイル(F) ヘルプ(H)





接続	状態	プリンター名	接続先	トナー(KCMY)	ドラム(KCMY)	回収ボトル	リンク▼	シリアル番号	設置場所	備考
						●良好	e-06で注文 e-06で注文			
						●良好				
						●良好				
						●良好				
						●良好				





詳細情報の表示 表示しない 表示する


7.3 セキュリティー機能について

セキュリティー機能の概要

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。

機能	説明	参照先
通信の暗号化	<p>本機とネットワーク上のコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> クライアントコンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化 本機から LDAP サーバーへの HTTP 通信を暗号化 (SSL/TLS クライアント) IPSec を使用して暗号化 	「暗号化機能を設定する」(P.150)
セキュリティープリント	<p>第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時的に蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が必要です。 	「機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P.69)
IC カードによるプライベートプリント、オンデマンドプリント、認証プリント	<p>本機に IC カード読み取り装置を接続して、IC カード認証によって出力します。出力データは、プライベートプリントと認証プリントの場合は本体内に、オンデマンドプリントの場合はサーバー内に一時的に蓄積されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が必要です。 IC カード読み取り装置については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。 	<p>「プライベートプリントを使う」(P.76)</p> <p>「オンデマンドプリントを使う」(P.78)</p> <p>「認証プリントを使う」(P.79)</p>
データ暗号化	<p>システム内部 (NV メモリー、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ))) のデータを暗号化するための設定を行います。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目の設定を変更すると、ストレージが初期化されます。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が必要です。 	「[データ暗号化]」(P.120)

機能	説明	参照先
ストレージ上書き消去	<p>機能拡張キット（ハードディスク）（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））内のデータを上書き消去します。上書き消去を複数回行うことで、ハードディスクに記録されていた情報を、より確実に消去することができます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 	「[ストレージ 上書き消去]」 (P.120)
ストレージの初期化	<p>ストレージに残っているデータを一括して消去できます（ストレージ初期化）。また、NV メモリーとストレージのデータを一括して初期化することもできます（データ一括削除）。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 	「[初期化 / データ削除]」 (P.134)
IP アドレスによる受信制限	<p>使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、プリントを受け付ける IP アドレスを制限できます。</p>	「[受付制限設定]」(P.114)
操作パネルのロック	<p>パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。</p>	「[操作パネル設定]」(P.116)
ユーザー登録による利用制限	<p>本機にユーザー情報を登録することによって、CentreWare Internet Services へのアクセスや、コンピューターからのプリントができるユーザーを限定できます。</p>	「ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」 (P.161)
イメージログ機能	<p>本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータとともに、ログとして蓄積／管理します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 	この機能を使用したい場合は弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
複製管理	<p>ページ全体に日付や番号、複製制限コード（デジタルコード）を印字することによって、機密文書などの複写を抑止します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 	「複製管理について」(P.148)

機能	説明	参照先
強制アノテーション	<p>ジョブの種類ごとに関連付けられたレイアウトテンプレートに従い、アノテーションが強制印字されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。 	「強制アノテーションについて」(P.148)
監査ログ	いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったかを記録します。	「監査ログについて」(P.149)
IC カード設定	IC カードの情報で認証、利用制限、利用状況を集計／管理します。	「IC カード読み取り装置を利用するための設定」(P.167)

複製管理について

複製管理は、ページ全体に日付や文字、背景、隠し文字デジタル情報をプリントすることで、文書の複製を抑止したり、コピーの履歴を確認したりできる機能です。

参照

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- 複製管理による文書の複製制限は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては、機能が有効に働かない場合があります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 複製管理を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が必要です。

複製管理には、次の種類があります。

- 複製管理
あらかじめ本機に登録されているパターンを使用して、原稿に日付や背景を隠しプリントします。この原稿をコピーすると、桜紙や VOID 紙のように隠しプリントが浮き上がります。
- ペーパーセキュリティ
隠し文字のほかに複製制限コード（デジタルコード）を埋め込むことで、出力した原稿のコピー／スキャン／FAX 送信を禁止したり、情報漏えい時に作業履歴を追跡したりすることができます。なお、コピー／スキャン／FAX 送信を禁止するには、対応した機器やソフトウェアが必要です。
- UUID 印字
UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、原稿に識別 ID（UUID）をプリントして、特定の文書のプリントログを検索できます。

強制アノテーションについて

強制アノテーションは、ジョブの種類ごとに関連付けられたレイアウトテンプレートに従い、透かし文字やユーザー ID を強制印字できる機能です。

参照

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- 複製管理、ペーパーセキュリティ、UUID 印字が指定されている場合は、それらと重なって印字されます。

- セキュリティ拡張キット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が必要です。

監査ログについて

監査ログは、いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったのかを確認することができる機能です。この機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

参照

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- 監査ログを使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- 最大 50 件までログを保存します。ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））を取り付けると、最大 15000 件までログを保存します。最大保存数を超えると、古いログから自動的に削除されます。
- 監査ログを取り出すには、HTTPS を設定しておく必要があります。設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) または CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

7.4 暗号化機能を設定する

本機では、ネットワーク上にあるコンピューターとの通信を暗号化できます。

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書
- ほかの認証局で作成された証明書

ほかの認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。



- 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可 ×：使用不可

暗号化の種類	自己証明書	ほかの認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○
IPSec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

*1 : [IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通信を暗号化するには、自己証明書またはほかの認証局で作成された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用できます。

本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

LDAP サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、LDAP のサーバーが SSL クライアント認証を要求する設定の場合は、CentreWare Internet Services を使用して、本機に作成済みの SSL/TLS クライアント証明書をインポートし、設定する必要があります。

また、サーバー証明書の検証を有効にして LDAP サーバーの検証を行う場合は、LDAP サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証するために、そのルート証明書を CentreWare Internet Services から本機に登録する必要があります。

IPSec を使用して暗号化する

IPSec を使用して本機と暗号化通信ができます。

IKE 認証方式を事前共有鍵またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選んだ場合は、本機に IPSec 用証明書が必要です。

CentreWare Internet Services を使用して、ほかの認証局で作成された証明書をインポートします。なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPSec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

本機側の設定

本機に証明書を設定します。

ここでは、CentreWare Internet Services で自己証明書（SSL サーバー用）を作成し、SSL/TLS 通信を有効にする手順を説明します。



参照

- 各項目については、CentreWareInternet Services のヘルプを参照してください。



補足

- CentreWare Internet Services で、作成済みの証明書をインポートして使用することもできます。作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

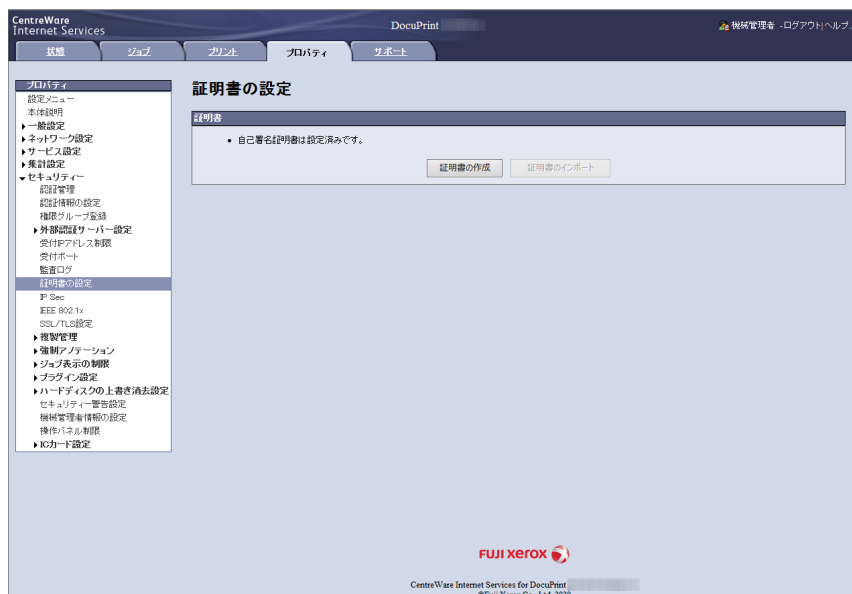


補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

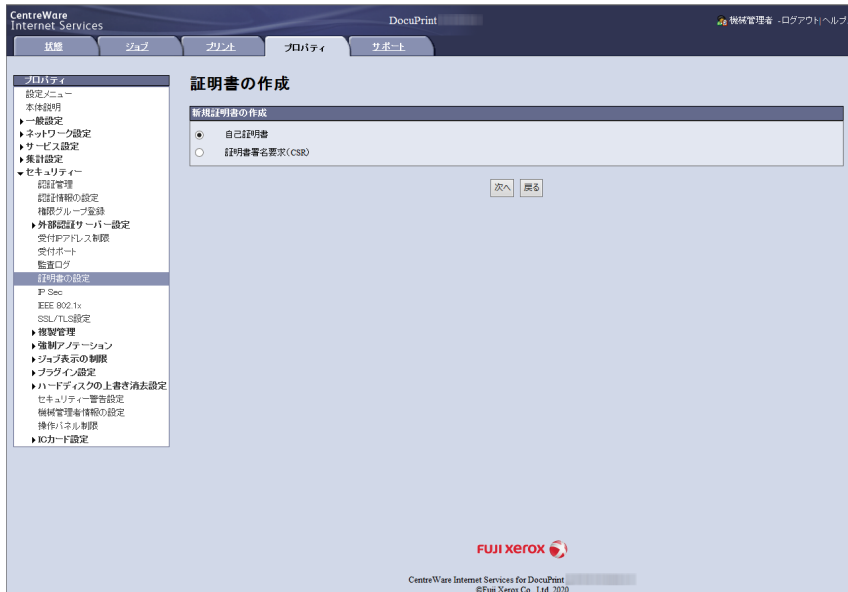
3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [証明書の設定] をクリックします。

[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書の作成] をクリックします。

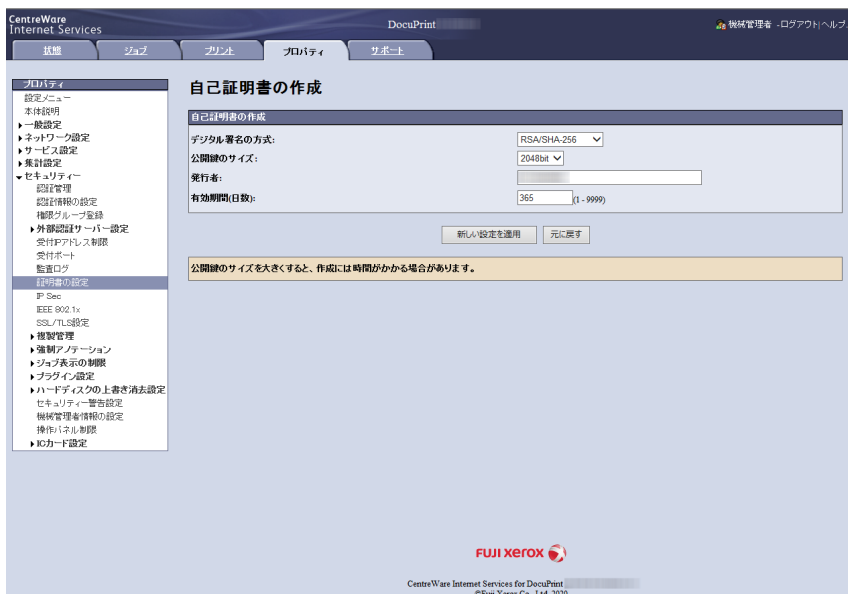
5. [自己証明書] を選び、[次へ] をクリックします。



6. 表示された画面で、[公開鍵のサイズ] と [発行者]、[有効期間 (日数)] を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

💡 補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。



7. 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

8. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。

9. [HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付け、[新しい設定を適用] をクリックします。



10. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。

本機が再起動し、設定した値が反映されます。

補足

- CentreWare Internet Services を起動すると、[プロパティ] の [セキュリティ] の下に [証明書管理] が表示されます。[証明書管理] では、証明書の情報の確認や選択、証明書のエクスポート、削除などを行うことができます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

HTTP の通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- IP アドレスの入力例：https://192.168.1.100/
(「192.168.1.100」の部分は、お使いの機種種の IP アドレスに置き換えてください。)
- インターネットアドレスの入力例：https://xxx.yyyy.zz.vvv/

通信データを暗号化してプリントするための設定

IPP ポートを使用します。

本機側の設定

◆ IPP ポートの起動

IPP ポートを [起動] に設定します。

◆ 証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPP 用証明書として設定します。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) を参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

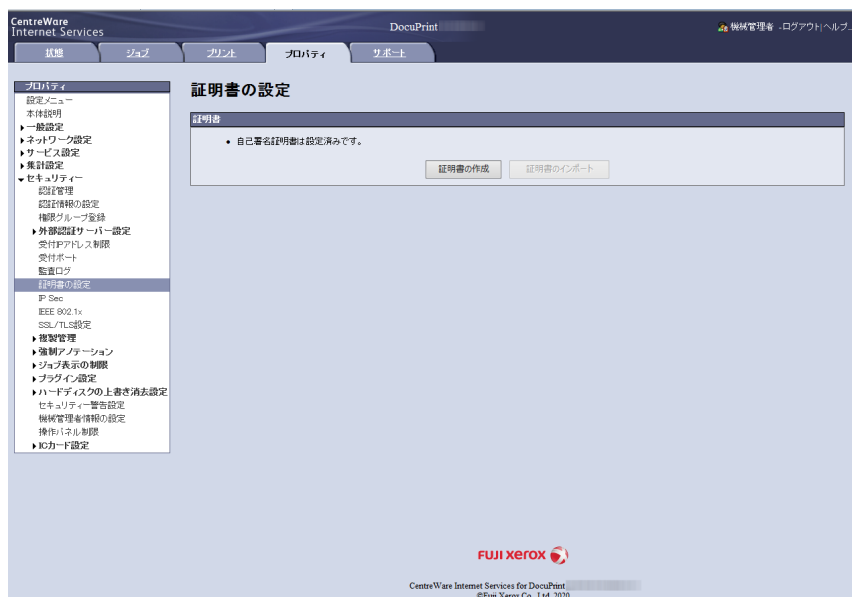
2. [プロパティ] タブをクリックします。



- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [証明書の設定] をクリックします。

[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。

6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティー] > [証明書管理] をクリックします。

[証明書管理] 画面が表示されます。

8. [カテゴリ] を [本体]、[証明書の目的] を [SSL サーバー] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。

9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。

10. [証明書の選択] をクリックします。

11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。

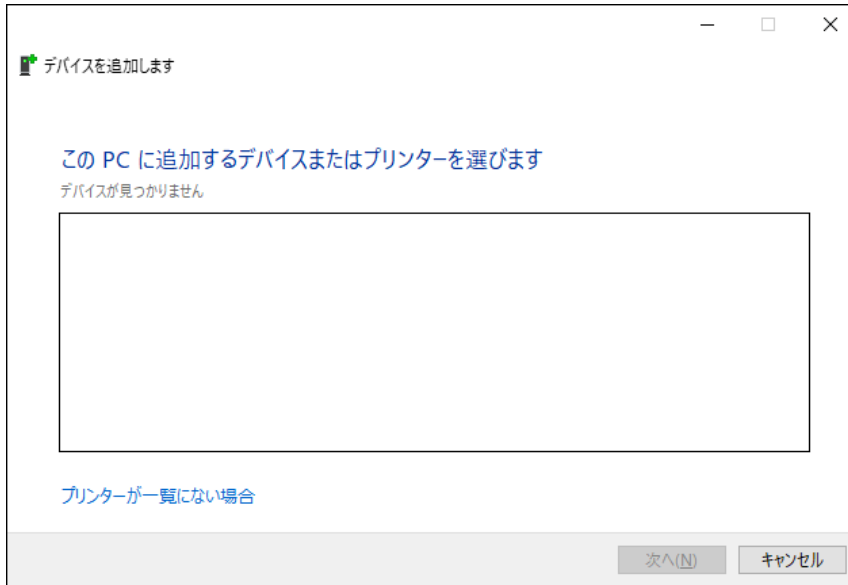
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

コンピューター側の設定

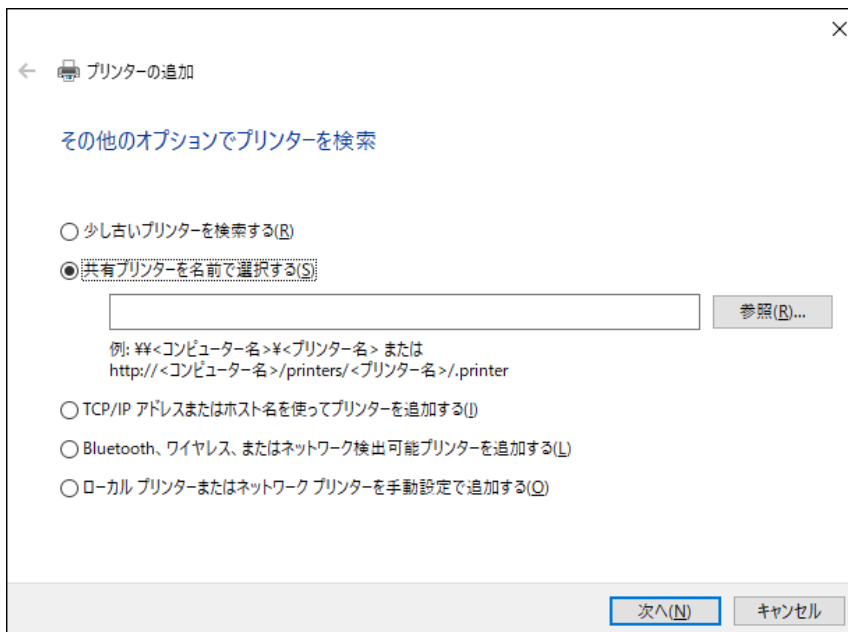
コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

1. [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. [プリンターの追加] を選びます。
3. [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。



4. [共有プリンターを名前で選択する] を選び、次の URL を入力して [次へ] をクリックします。
「https:// (お使いの機種種の IP アドレス) /ipp/」



5. [ディスク使用] をクリックします。
6. 表示された画面で (メディアのドライブ名) : プリンタードライバーが格納されているフォルダー名を入力し、[次へ] をクリックします。
7. 本機のドライバーを選んで、[次へ] をクリックします。
8. 通常使うプリンターに設定する場合は、[通常使うプリンターに設定する] にチェックを付けます。
9. [完了] をクリックします。

IPSec を使用して暗号化するための設定

IPSec を使用して暗号化するための設定について説明します。

コンピューター側の設定

IPSec の設定をします。



参照

- 詳しくは、お使いの OS のヘルプを参照してください。

本機側の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

本機では、IKE 認証方式を事前共有鍵またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選ぶ場合は、本体の証明書が必要です。「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) を参照して証明書を設定してから、IPSec の設定をします。

事前共有鍵を選ぶ場合は、事前に事前共有鍵の発行が必要です。機械管理者にお問い合わせください。

証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPSec 用証明書として設定します。

なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPSec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。



参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) を参照してください。
- CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

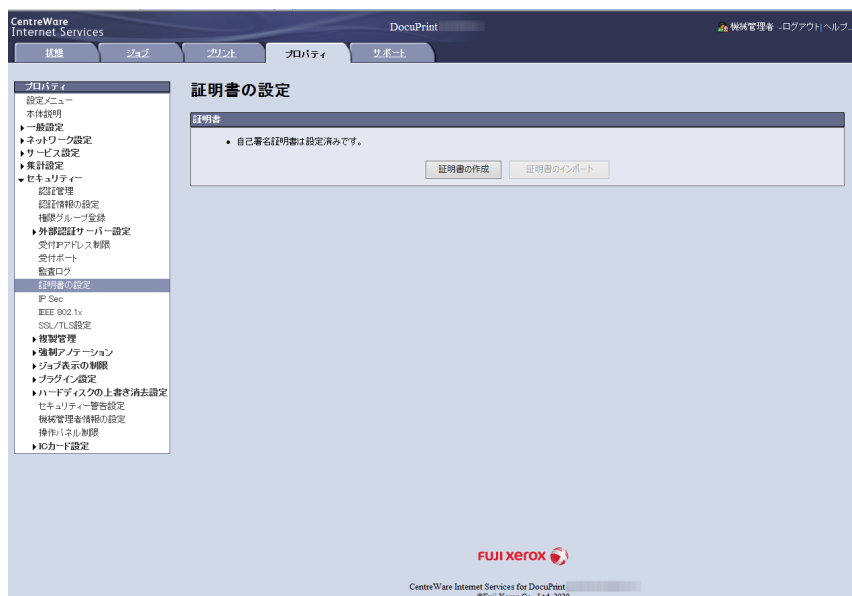


補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [証明書の設定] をクリックします。

[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。
5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。
6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。
[証明書管理] 画面が表示されます。
8. [カテゴリ] を [本体]、[証明書の目的] を [IP Sec] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。
9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。
10. [証明書の選択] をクリックします。
11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。
これで、IPSec 用の証明書が設定されました。続けて、IPSec の設定をします。「IPSec の設定」の手順 3 に進んでください。

IPSec の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。



- CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

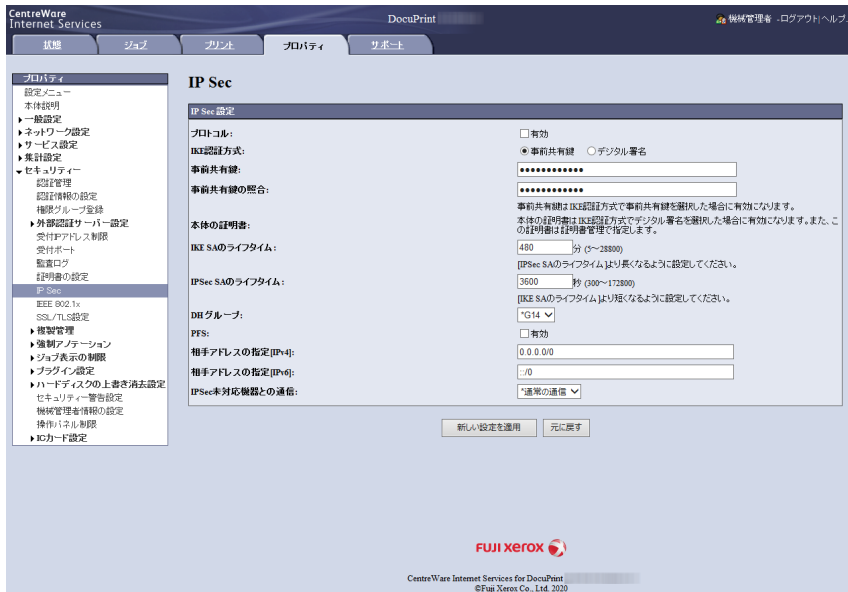
2. [プロパティ] タブをクリックします。

💡 補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから、[セキュリティ] > [IP Sec] をクリックします。

[IP Sec] 画面が表示されます。



4. [プロトコル] の [有効] にチェックを付けます。

5. [IKE 認証方式] で [事前共有鍵] または [デジタル署名] を選びます。

6. [IKE 認証方式] を [事前共有鍵] に設定した場合は、[事前共有鍵] と [事前共有鍵の照合] に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。

7. [IKE SA のライフタイム] (分単位) を入力します。

8. [IPSec SA のライフタイム] (秒単位) を入力します。

💡 補足

- [IKE SA のライフタイム] より短い時間になるように入力します。

9. [DH グループ] で [G14]、[G19]、[G20]、または [G24] を選びます。

10. [PFS] で、[有効] にチェックを付けると、PFS 機能を起動できます。

11. [相手アドレスの指定 [IPv4]] または [相手アドレスの指定 [IPv6]] に、通信する相手先の IP アドレスを入力します。

💡 補足

- すべての相手先と IPsec で通信する場合は、[0.0.0.0/0] (IPv4 のとき) または [::/0] (IPv6 のとき) を設定します。

12. [IPSec 未対応機器との通信] で、IPSec 未対応機器と通信するかどうかを選びます。

13. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

💡 補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

14. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。

本機が再起動し、設定した値が反映されます。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.151) を参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [証明書の設定] をクリックします。

4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、パスワードとインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。

6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティー] > [証明書管理] をクリックします。

8. [カテゴリ] を [信頼されたルート証明機関]、[証明書の目的] を [Wi-Fi(ルート CA 証明書)] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。

9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。

10. [証明書の選択] をクリックします。

認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 11 に進みます。

認証方式が EAP-TTLS および PEAP の場合は、手順 15 に進みます。

11. [セキュリティー] > [証明書管理] をクリックします。

12. [カテゴリ] で [本体] を、[証明書の目的] で [Wi-Fi(クライアント)] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。

13. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。

14. [証明書の選択] をクリックします。

15. [再起動] をクリックします。

16. [プロパティ] タブをクリックします。

17. [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [Wi-Fi] をクリックします。
18. [SSID] に接続先の SSID を入力します。
19. [通信モード] を選びます。
20. [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise(AES/TKIP)] を選びます。
21. [認証方式] を選びます。
22. [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。

認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAP-TTLS/MS-CHAPv2 の場合は、手順 23 に進みます。

認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 25 に進みます。

 **補足**

 - EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。
23. [ユーザー名] および [パスワード] に WPA-Enterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを設定します。
24. [パスワードの確認入力] フィールドに、確認のためパスワードをもう一度入力します。
25. [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。
26. [再起動] をクリックします。

7.5 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証／集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

❗ 注記

- 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべてプリントまたは削除してください。

認証／集計管理機能の概要

制限される機能

認証／集計管理機能を利用することによって制限される機能は次のとおりです。

CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要です。本機に登録されているユーザーまたは機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

コンピューターからのプリント

ジョブの種類によって、次のようにプリントが制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用したプリント	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、プリントできます。また、本機でカラープリントが禁止されている場合は白黒プリントしかできません。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降のプリントはできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（BMLinkS 利用時や、メール受信プリントなど）	本機で、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けた場合だけ、プリントできます。初期値ではチェックは付いていません。

集計機能

認証／集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今までプリントした白黒累積ページ数、カラー累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

📖 参照

- データの初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.134) を参照してください。

認証／集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証／集計管理機能を有効にするには、操作パネルの [機械管理者メニュー] で、次の設定をします。

- [システム設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を [本体認証] にする
- [システム設定] > [集計管理] > [集計管理の運用] を [本体集計管理] にする

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。



参照

- 各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

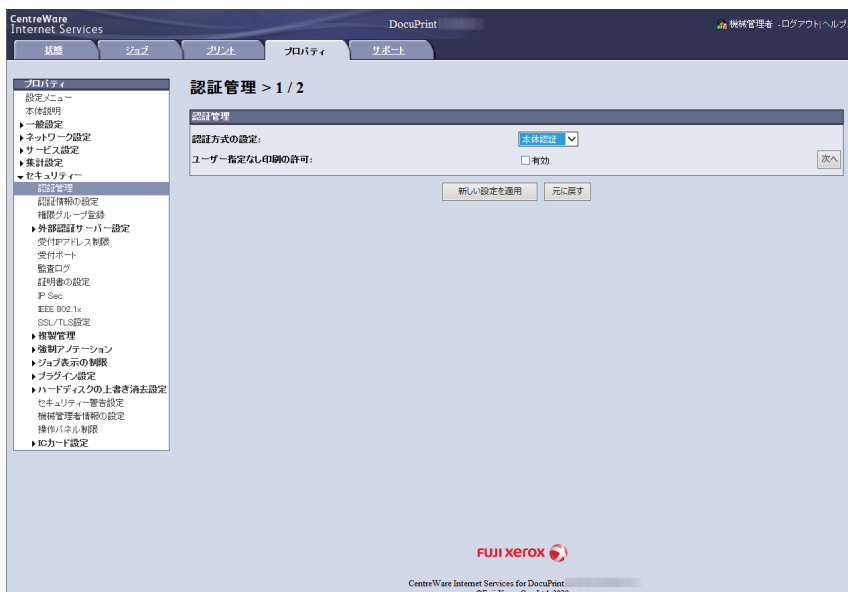
2. [プロパティ] タブをクリックします。



補足

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。



4. ユーザー名や暗証番号がないジョブに対して、プリントを許可する場合は、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けます。

5. [次へ] をクリックします。



6. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

7. 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。



💡 補足

- ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

8. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 5～7 を繰り返します。

権限グループの登録とユーザーとの関連付け

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、権限グループを登録し、ユーザーと関連付けることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連付けることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。



各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。



機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [権限グループ登録] をクリックします。

[権限グループ登録] 画面が表示されます。



4. 未登録のグループの [編集] ボタンを押します。

[権限グループ詳細設定] 画面が表示されます。



5. [グループ名] にグループの名称を入力します。

6. [強制印字の一時解除] を [許可する] に設定します。
7. [新しい設定を適用] を押します。
強制印字の一時解除権限を持つ権限グループが作成されます。
8. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1 / 2] 画面が表示されます。
9. [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2 / 2] 画面が表示されます。



10. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
11. [権限の追加設定] で、手順 7 で登録した権限グループを選び、[新しい設定を適用] をクリックします。



💡 補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10～11 を繰り返します。

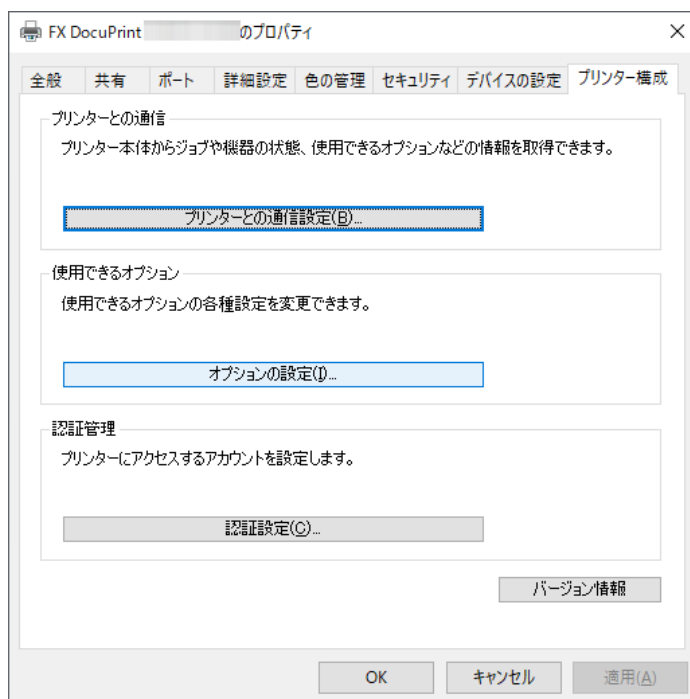
プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが、本機に登録されている認証情報と一致しないとプリントできません。

参照

- プリンタードライバーの各項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで、[認証設定] をクリックします。



4. [認証管理] ダイアログボックスで各項目を設定し、[OK] をクリックします。

5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

IC カード読み取り装置を利用するための設定

オプションの IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたたり、利用状況を集計管理することができます。

注記

- Dispenser 2 (CopyLyzer モード設定) を利用している場合、IC カード読み取り装置は設置できません。

補足

- IC カード読み取り装置を設置するには、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が必要です。

利用できる IC カード

利用できる IC カードについては、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

IC カードの設定

CentreWare Internet Services で、IC カードの設定をします。

参照

- 各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.25) を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

 **補足**

- 機械管理者の ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [IC カード設定] をクリックします。

4. [一般] をクリックします。

5. [IC カードの使用] を [使用する] に設定します。



6. IC カードによる認証および認証解除時に確認音を鳴らす場合は、[鳴らす] にチェックを付けます。

7. [新しい設定を適用] をクリックします。

8 日常管理

8.1 消耗品を交換する

警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注意

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の購入について

消耗品のご注文は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照

- 消耗品の種類については、「消耗品の寿命について」(P.302)を参照してください。

消耗品の取り扱いについて

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品/メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。

- 消耗品は、予備を置くことをおすすめします。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
[プリントできます] [トナー予備用意: X] *1	すぐに交換する必要はありませんが、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、次のとおりです。*3 <ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ時のトナーカートリッジ：約 1200 ページ DocuPrint C3550 d • トナーカートリッジ標準 ブラック：約 1750 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 1500 ページ • トナーカートリッジ大容量 ブラック：約 3750 ページ イエロー、マゼンタ、シアン：約 2500 ページ DocuPrint C2550 d • トナーカートリッジ標準 各色：約 1500 ページ • トナーカートリッジ大容量 各色：約 2500 ページ
[トナーを交換してください: X] *1 *2	本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P.171)を参照し、メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。

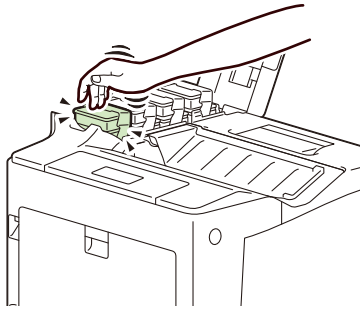
*1 :Xにはイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) のどれか、またはその組み合わせが表示されます。

*2 :トナーカートリッジ ブラック (K) を含む複数色のトナーが表示された場合、トナーカートリッジ ブラック (K) だけでなく指定されたトナーカートリッジをすべて交換しないと、プリンタードライバーのカラーモードで白黒を選んでもプリントできません。

*3 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。

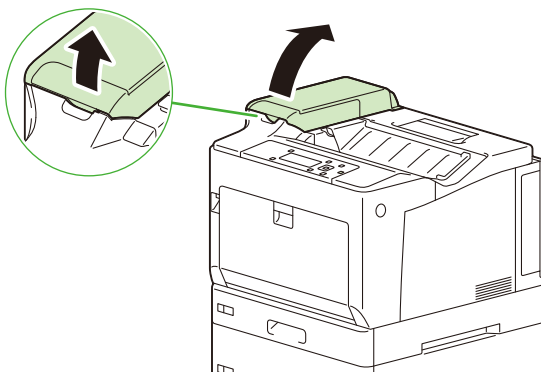
注記

- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをおすすめします。
- 「トナー予備用意: X」が表示された場合、トナーが片寄っていることがあります。トナーカバーを開けて、ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを上から「トントン」と 5～6 回軽く叩いてください (トナーカートリッジを外す必要はありません)。トナーカバーを閉め、メッセージが消えない場合は、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。

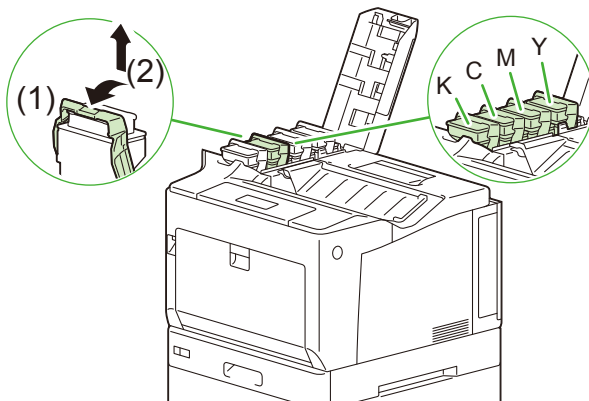


交換手順

1. 本機が処理中でないことを確認し、トナーカバーを開けます。



2. 取り出したトナーカートリッジを置く場所に、紙などを敷きます。
3. メッセージに表示されている色のトナーカートリッジのレバーを手前に引き (1)、トナーカートリッジを持ち上げて (2)、取り出します。

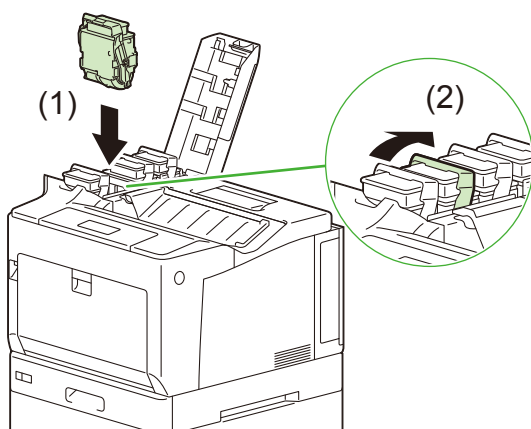


4. 使用済みのトナーカートリッジを、手順 2 で用意した紙などの上に静かに置きます。

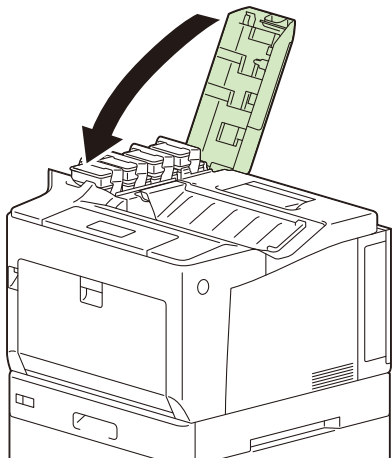
5. 新しいトナーカートリッジを軽く 5 回、上下左右によく振り、トナーを均一にします。



6. 新しいトナーカートリッジを差し込み (1)、レバーを奥にしっかりと倒してロックします (2)。



7. トナーカバーを閉じます。



8. 使用済みのトナーカートリッジを、新しいトナーカートリッジが梱包されていた箱に入れます。
9. 使用済みのトナーカートリッジを置いた紙などを、トナーに触れないように注意して片付けます。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

💡 補足

- 「ドラムカートリッジカラー (CMY)」はカラー各色共通で、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) すべてのドラムカートリッジを交換する場合は 3 本必要です。

メッセージ	処置
[プリントできます] [■ドラム予備用意: X]	すぐに交換する必要はありませんが、表示されたドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、約 1200 ページ ^{*2} です。
[プリントできます] [■ドラム交換時期: X] ^{*1}	まもなく表示されたドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数は、約 500 ページ ^{*2} です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
[ドラムカートリッジ (X) を交換してください] ^{*1*3}	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P.173)を参照して、メッセージに表示されたドラムカートリッジを交換してください。
[プリントできます] [■ドラムカートリッジ交換: X] ^{*1}	操作パネルで、[ドラム寿命動作]を[プリント停止しない]に設定 ^{*4} しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。

*1 :Xには、Y、M、C、Kのどれかが表示されます。ドラムカートリッジには、ドラムカートリッジカラー (CMY) とドラムカートリッジブラック (K) の 2 種類があります。本機に向かって奥側からイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) です。

*2 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。

*3 :機械のディスプレイに、カラー (シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)) のドラムカートリッジ交換のメッセージが表示された場合は、表示された色 (C、M、Y) ごとに、「ドラムカートリッジカラー (CMY)」が必要です。

*4 :この場合は、[プリントできます ■ドラムカートリッジ交換: X]のまま、メッセージは移行しません。設定については、「[ドラム寿命動作]」(P.120)を参照してください。

交換手順

ドラムカートリッジには、光路 (レーザー) 部清掃用の交換パッドが同梱されています。ドラムカートリッジを交換するときに、光路 (レーザー) 部を清掃し、清掃用パッドも交換してください。

❗ 注記

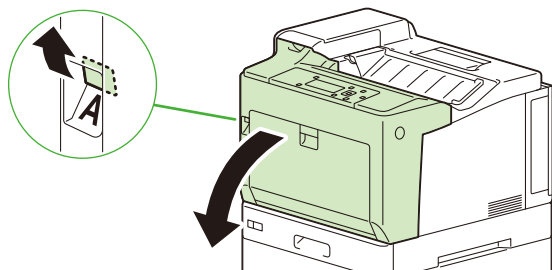
- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ドラムカートリッジの交換直後に濃い横帯や濃度のムラが発生したときは、1 日程度、本機を休ませてください。

📖 参照

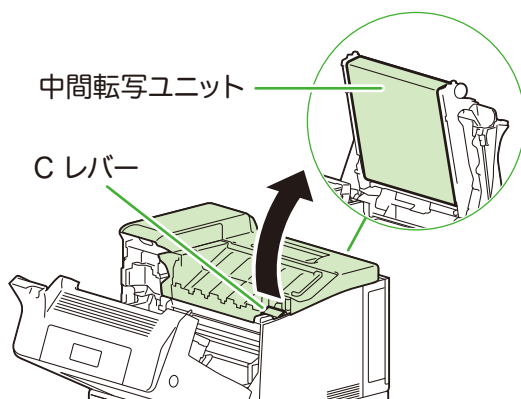
- 清掃用パッドで清掃する手順については、「光路 (レーザー) 部の清掃」(P.194)を参照してください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. Aレバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



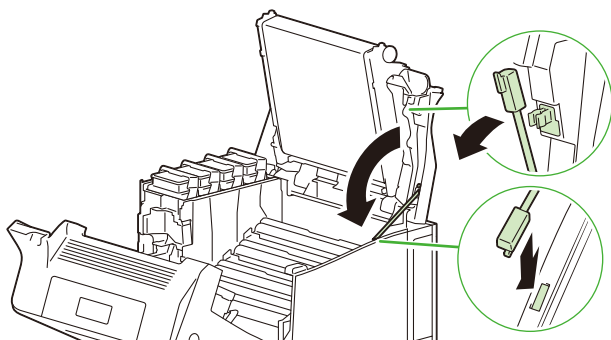
3. トップカバーの右手前のCレバーを持ち、静かにカバーを開けます。



❗ 注記

- 中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

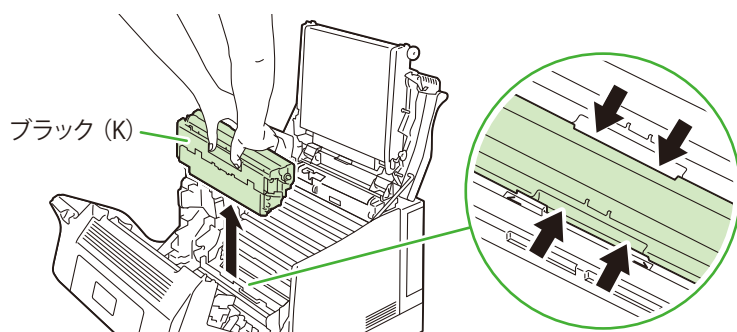
4. Cレバーを持ったまま、トップカバーの右側についている支え棒の先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。



❗ 注記

- 長時間カバーを開けたままにすると、ドラムカートリッジが光で劣化することがあります。10分以内を目安にカバーを閉めるようにしてください。

5. メッセージに表示されているドラムカートリッジを両手で静かに持ち上げて取り出します。
ここでは、ドラムカートリッジK（ブラック）を例に説明します。



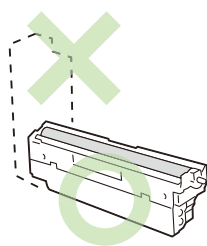
注記

- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

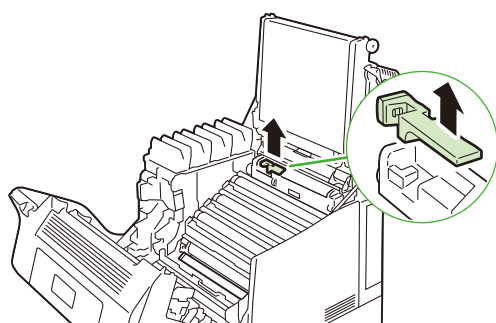
- 6.** 使用済みドラムカートリッジは、新しいドラムカートリッジに同梱されているポリ袋に入れ、新しいドラムカートリッジを取り出したあと、その箱にしまえます。

注記

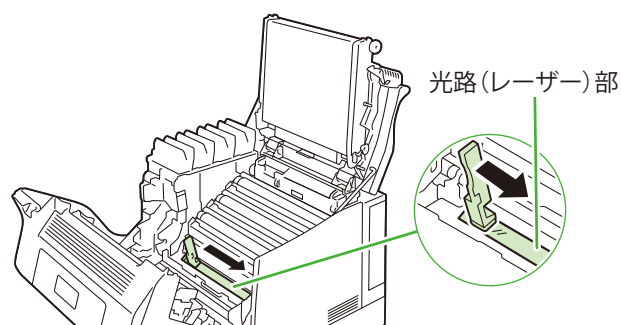
- 箱から取り出したドラムカートリッジは、立てた状態で置かないでください。



- 7.** 本機内部の図の位置にある清掃用パッドを取り外します。



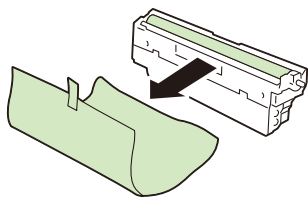
- 8.** ドラムカートリッジがセットされていた溝に清掃用パッドを差し込み、左右どちらか一方から 1 回だけガラス面（光路（レーザー）部）の汚れを取り除きます。



注記

- 指示した場所以外、機械の内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。

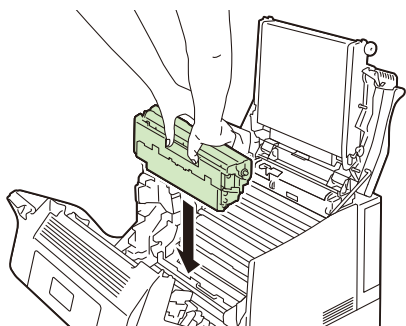
9. 新しいドラムカートリッジの包装紙をはがします。



! 注記

- 包装紙をはがすときに、ドラム面に触れないようにしてください。

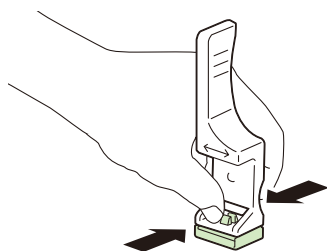
10. 新しいドラムカートリッジを左右の溝に合わせて平行に挿入して、取り付けます。



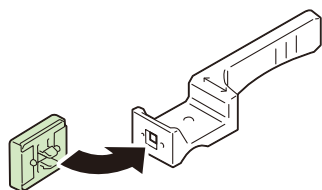
💡 補足

- ドラムカートリッジをセットしにくい場合は、手順 14、手順 15 に進んで一度トップカバーを閉め、もう一度手順 3 からやり直してください。

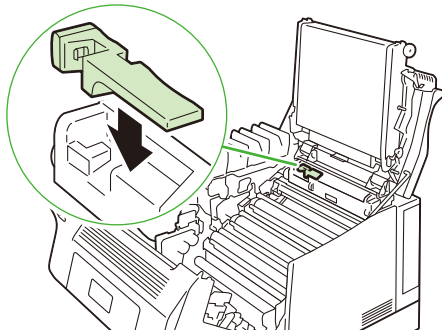
11. 清掃用パッドの前後のつめを矢印方向に指でつまみ、パッドを外します。



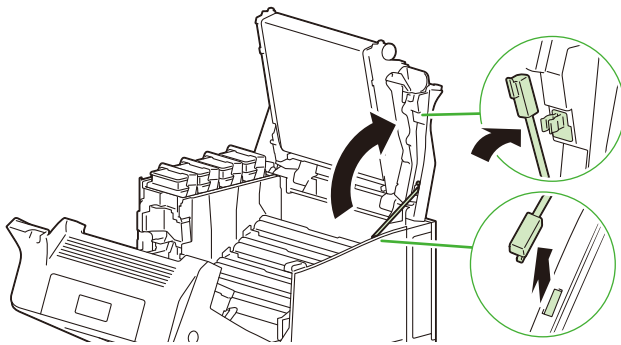
12. 新しいドラムカートリッジに同梱されている新しいパッドを、清掃用パッドの穴に差し込みます。
パッドが清掃用パッドに固定されます。



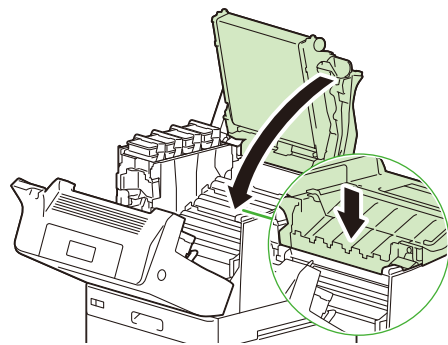
13. 清掃用パッドを元の場所に戻します。



14. Cレバーを持ったまま、支え棒を元に戻します。



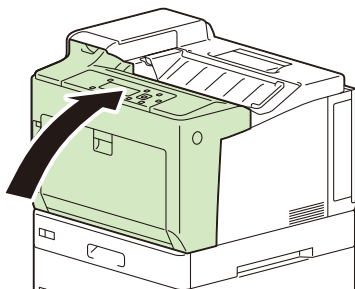
15. トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。



注記

- トップカバーを閉じるとき、中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
- トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

16. フロントカバーを閉じます。



トナー回収ボトルを交換する

プリント後のドラムに残ったトナーは、集められてトナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
[プリントできます] [トナー回収ボトル 予備用意]	すぐに交換する必要はありませんが、トナー回収ボトルの予備を用意してください。残りの印刷可能ページ数は、約 1200 ページ* ¹ です。
[プリントできます] [トナー回収ボトル 交換時期]	まもなくトナー回収ボトルの交換時期になります。残りの印刷可能ページ数は、約 500 ページ* ¹ です。
[トナー回収ボトルを交換してください]	本機は停止し、印刷できなくなります。「交換手順」(P.178)を参照して、トナー回収ボトルを交換してください。

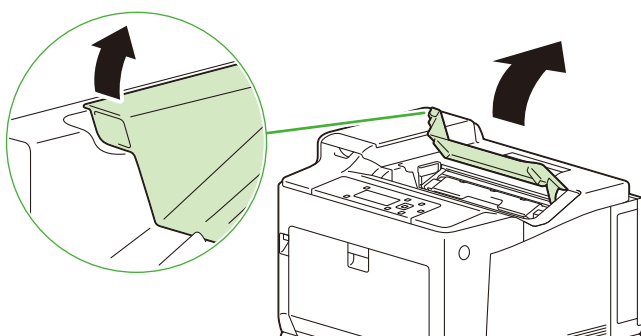
*1 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。

注記

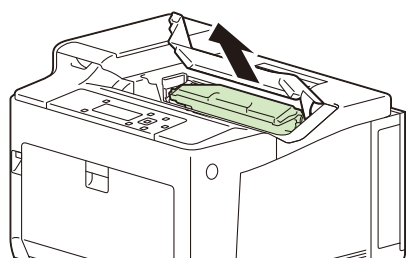
- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業してください。

交換手順

1. 本機が処理中でないことを確認し、つまみを持って、トナー回収ボトルカバーを開けます。



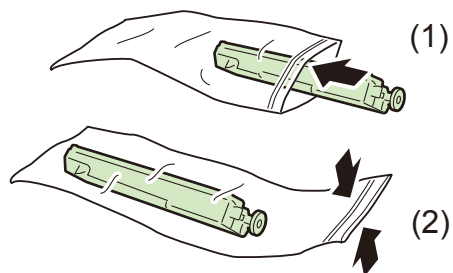
2. トナー回収ボトルを取り出します。



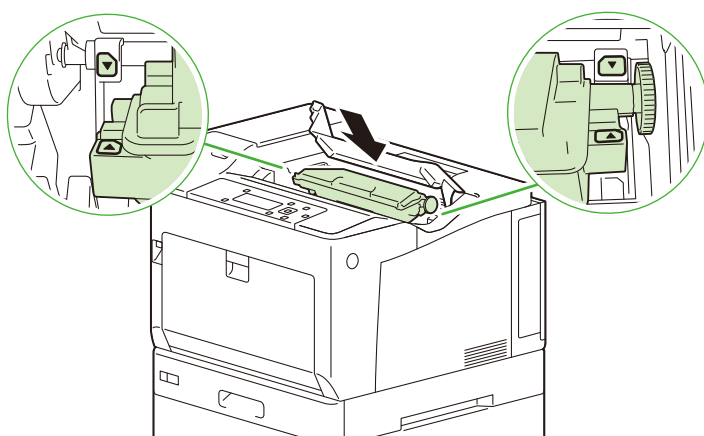
注記

- トナー回収ボトルに付着したトナーに触れないように注意してください。

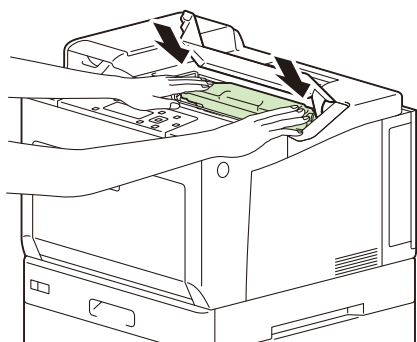
3. 使用済みトナー回収ボトルは、新しいトナー回収ボトルに同梱されているポリ袋に入れ密閉し、新しいトナー回収ボトルを取り出したあと、その箱にしまえます。



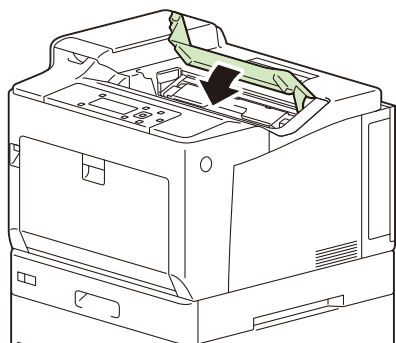
4. トナー回収ボトル側の▲マークの先端と、本体側の▼マークの先端を合わせるようにして、新しいトナー回収ボトルを取り付けます。



5. 取り付けしたトナー回収ボトルを、しっかり押し込みます。



6. トナー回収ボトルカバーを閉めます。



8.2 ユーザーメンテナンスキット品を交換する

ユーザーメンテナンスキット品の種類と購入について

ユーザーメンテナンスキット品とは、スポット保守サービス契約の場合にお客様自身で交換する部品です。本機のユーザーメンテナンスキット品には、定着ユニットがあります。ユーザーメンテナンスキット品のご注文は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照

- 定着ユニットの寿命については、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。

使用済みユーザーメンテナンスキット品の回収

- 定着ユニットは、環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。不要となった定着ユニットは、適切な処置が必要です。詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/cru/printer/>

定着ユニットを交換する

定着ユニットの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
[プリントできません] [■ 定着ユニット 交換時期]	まもなく定着ユニットの交換時期になります。残りのプリント可能ページ数は、約 1200 ページ ^{*1} です。
[プリントできません] [■ 定着ユニット 交換]	プリントできますが、本機の性能を維持するために定着ユニットの交換が必要です。 「交換手順」(P.181)を参照して、定着ユニットを交換してください。

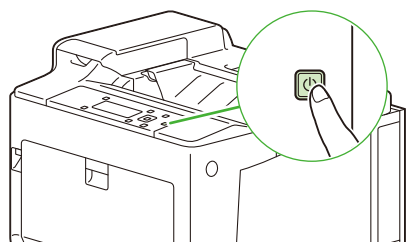
*1 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について」(P.302)を参照してください。

注意

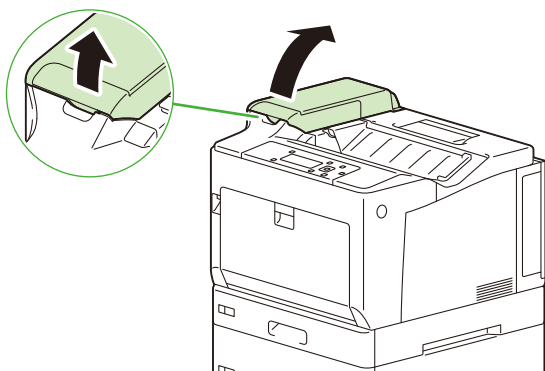
- 定着ユニットの安全性
定着ユニットを取り外すときは、必ず電源スイッチを切って、40 分後、定着ユニットが冷めていることを確認してから取り外してください。

交換手順

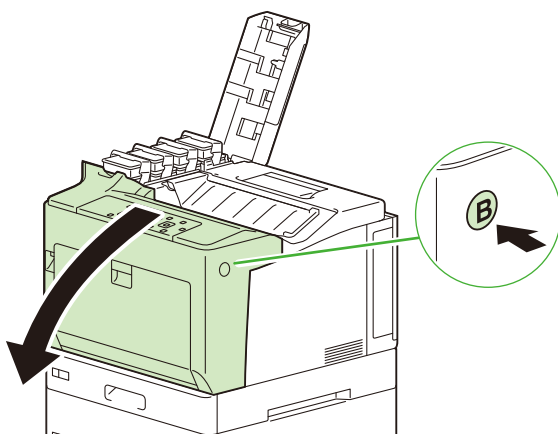
1. 本機の電源を切ります。



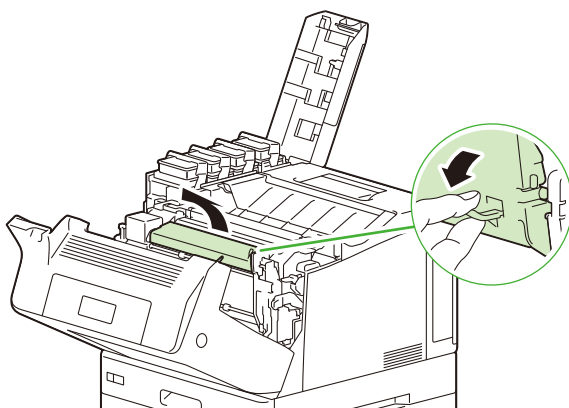
2. トナーカバーを開けます。



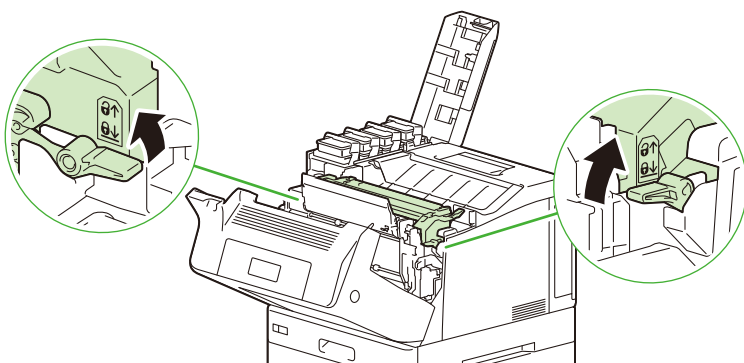
3. B ボタンを押して、フロントカバーを開けます。



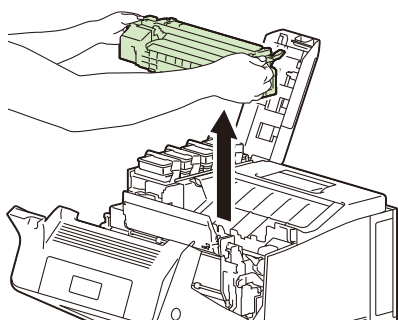
4. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを手前に引いて、止まるまで開きます。



5. 定着ユニットの両端手前のレバーをロック解除マーク側  に上げて、ロックを解除します。



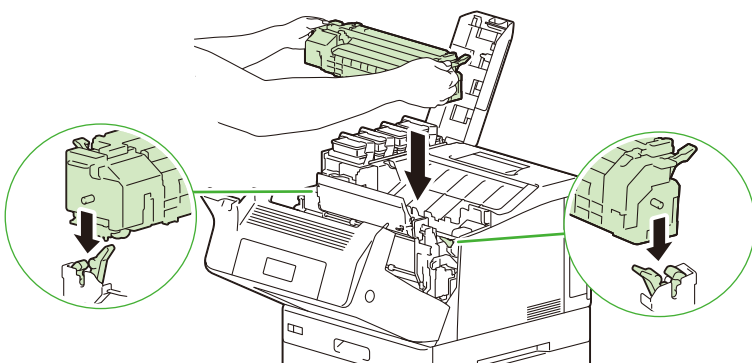
6. 両端の取っ手を持ち、定着ユニットを持ち上げて取り外します。



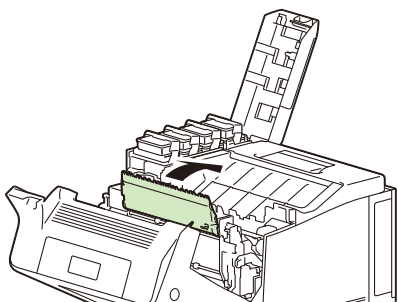
 **注記**

- 定着ユニットが冷めていることを確認してから取り外してください。

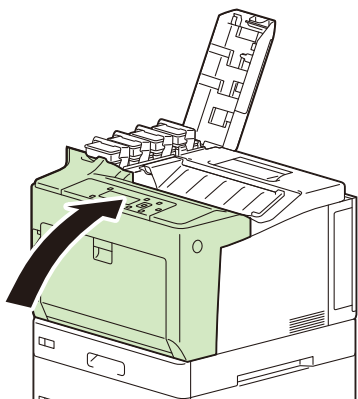
7. 新しい定着ユニットの両端の取っ手をつかんで、溝に合わせて差し込み、「カチッ」となるまで軽く押し込みます。
定着ユニットがロックされたことを確認します。



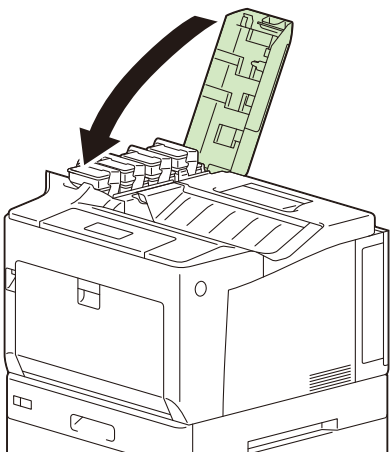
8. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを持って、静かにカバーを閉じます。



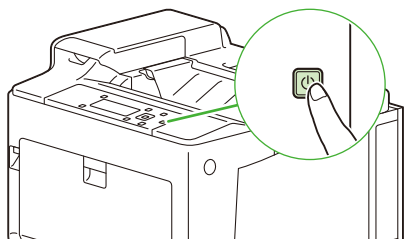
9. フロントカバーを閉じます。



10. トナーカバーを閉じます。



11. ⏻(電源/節電) ボタンを押し、電源を入れます。



8.3 プリントページ数を確認する

これまでにプリントしたページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総プリントページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、プリントしたページ数を確認できます。



参照

- 詳しくは、「[メーター確認]」(P.102)を参照してください。

コンピューター別にプリントページ数を確認する（[集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[集計レポート]で確認できます。[集計レポート]は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[集計レポート]のプリントやデータの初期化は、操作パネルから行います。



補足

- 認証／集計管理機能を使用している場合は、[集計レポート]はプリントできません。代わりに、[プリンター集計管理レポート]がプリントされます。[プリンター集計管理レポート]に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。



参照

- 集計レポートについては、「[レポート / リスト]」(P.99)を参照してください。
- 初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.134)を参照してください。

機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]）

両面プリントなどの機能別、および用紙サイズ別に、プリントページ数やプリント枚数を確認できます。



参照

- 機能別カウンターレポートについては、「[レポート / リスト]」(P.99)を参照してください。

8.4 階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートをプリントして、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) 各色の、低濃度 (Low) / 中濃度 (Mid) / 高濃度 (High) を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値 (工場出荷時の値) に戻すときは、すべての値を [0] に設定してください。[0] にするとプリント時に階調補正は働きません。

💡 補足

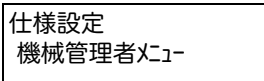
- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値 (すべて [0]) にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、機械の経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の2種類があります。

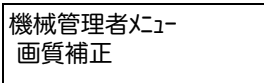
解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



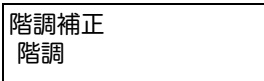
仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



機械管理者メニュー
画質補正

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[階調補正] が表示されます。
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[解像度] が表示されます。
7. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、プリントしたい階調補正チャート ([解像度] または [階調]) を選びます。
(例: [階調])



階調補正
階調

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[階調補正チャート] が表示されます。

9. <▶> または <OK> ボタンを押します。

10. [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] で設定したサイズ (A4 または 8.5x11") の用紙を、手差しトレイによこ置きにセットし、<OK> ボタンでプリントします。

手差しに A4 をセットし
[OK] でプリント開始

注記

- [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] で選択した用紙サイズをセットする必要があります。

濃度設定値を決める

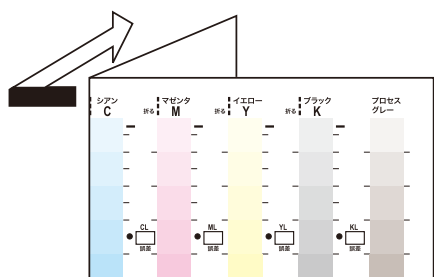
濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

補足

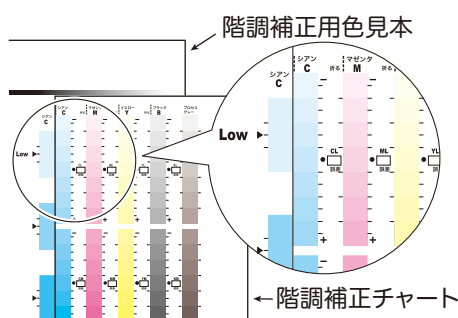
- 工場出荷時の濃度設定値はすべて [0] です。

1. プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド (点線) に沿って山折りにします。



2. 階調補正チャートの補正する濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

(例：低濃度 (L)。低濃度 (L) の補正をする場合は、Low と Low を合わせます。)

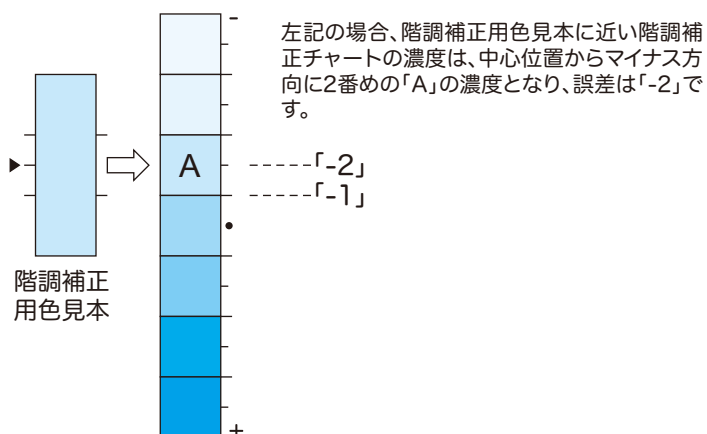
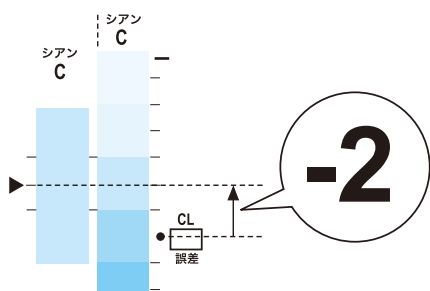
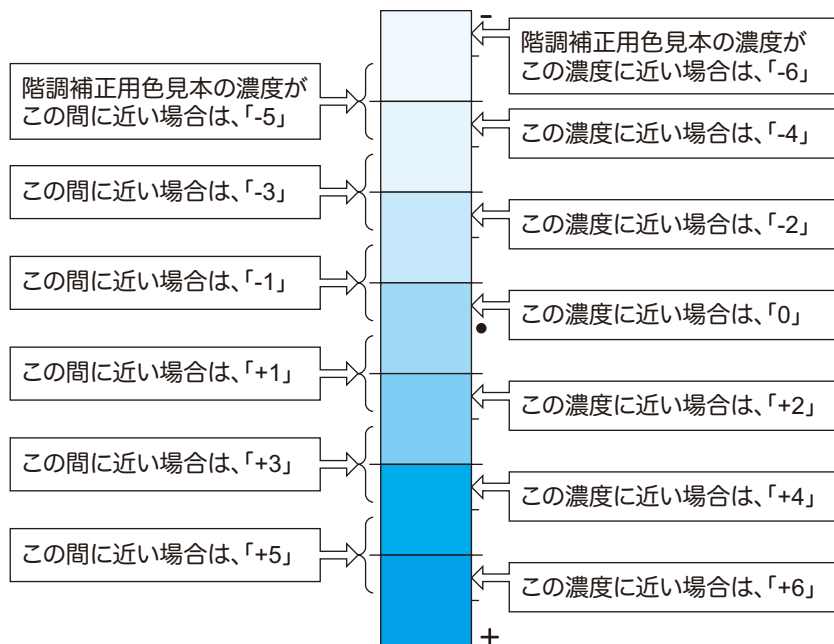


3. 階調補正チャートの・印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

注記

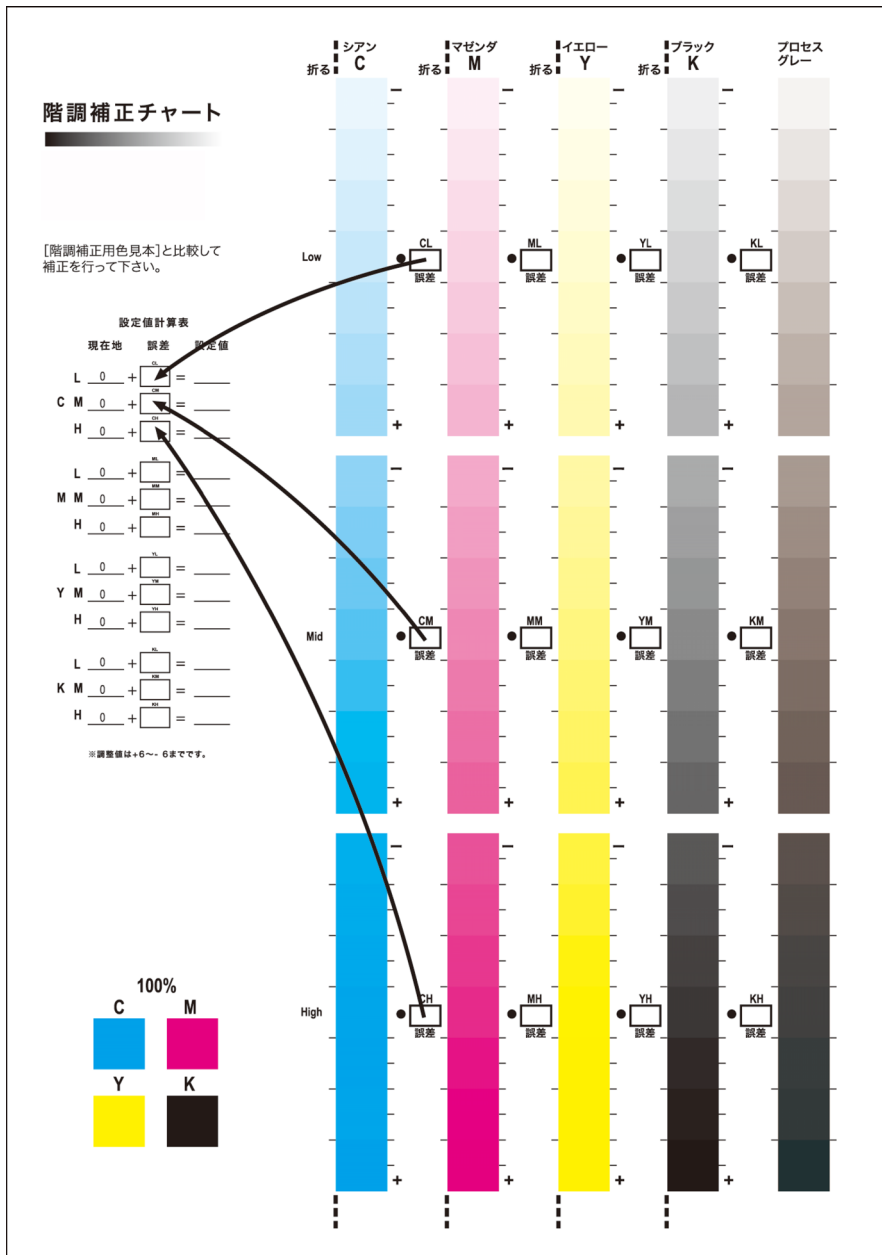
- マイナス (-) とプラス (+) の方向に注意して読み取ってください。

階調補正チャート測定部



4. 該当する【誤差】ボックスに、誤差を記入します。
5. 同じ色の、ほかの2つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。
6. 同様にYMCKの残りの色に対して手順1～5を繰り返して、誤差を読み取ります。

7. すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。(例：シアン)



8. 設定値計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。



- 補足**
- 「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

濃度設定値を入力する

「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値を本機に設定します。ここでは、シアンの高濃度を「-2」に設定する例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
画質補正

5. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[階調補正] が表示されます。

6. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[解像度] が表示されます。

7. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、濃度設定値を決めるためにプリントした階調補正チャート ([解像度] または [階調]) を選びます。

(例: [階調])

階調補正
階調

8. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[階調補正チャート] が表示されます。

9. 〈▼〉 ボタンを押して、[補正セット] を表示します。

階調
補正セット

10. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[シアン (C)] が表示されます。

11. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

補正值を入力する画面が表示されます。

シアン (C) 階調
L= 0, M= 0, H= 0

12. 〈▶〉 ボタンでフィールド (L: 低濃度 / M: 中濃度 / H: 高濃度) を移動しながら、〈▲〉 〈▼〉 ボタンで補正值を入力します。

(例: H=-2)

シアン (C) 解像度
L= 0, M= 0, H= -2

13. 補正值を入力したら、〈OK〉 ボタンを押します。

14. ほかのカラー濃度も補正する場合は、手順9の画面が表示されるまで〈戻る〉ボタンを押して戻り、同様に指定します。

15. すべての補正值が指定できたら、〈仕様設定〉ボタンでプリント画面に戻ります。

補正の結果を確認するには、「階調補正チャートをプリントする」(P.186)を参照して、該当する階調補正チャートをプリントします。

結果に満足できないときは、再度補正をします。

[プロセスグレー] は、CMYを掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックの色味に近づきます。

プロセスグレーの中に、CMYのどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

8.5 ペーパーレジを補正する

プリント位置がずれる場合、垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置を補正します。

💡 補足

- ペーパーレジを補正するためのチャートをプリントするときは、A3 サイズの用紙を使用します。
- 垂直方向（リードレジ）の補正については、トレイごとの調整はできません。

用紙トレイ 1 のおもて面（片面）の補正を例に説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
画質補正

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[階調補正] が表示されます。

6. [ペーパーレジ補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

画質補正
ペーパーレジ補正

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[トレイ 1] が表示されます。

8. 補正するトレイを〈▼〉ボタンで選びます。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[おもて面の補正] が表示されます。

10. [チャート出力 (片面)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイ 1
チャート出力 (片面)

11. 〈OK〉ボタンを押します。

部数を入力する画面が表示されます。

12. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

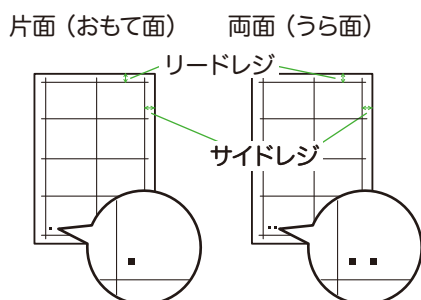
プリントを開始する画面が表示されます。

13. 〈OK〉ボタンを押します。

プリントが開始されます。

- 14.** 出力されたチャートには■(黒い四角のマーク)がプリントされます(表面は■が1か所、うら面は■が2か所)。

用紙に対するプリント位置のずれ(垂直方向/水平方向)を確認します。



- 15.** [おもて面の補正]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイ 1
おもて面の補正

- 16.** 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[リードレジ補正]が表示されます。

- 17.** 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

現在の垂直方向の補正值(リードレジ)が表示されます。

- 18.** 現在の設定値に、手順 14 で確認した垂直方向にずれた量を加えた値を設定し、〈OK〉ボタンを押します。

プリント画像を下方向に移動する場合は+ (プラス) の値を設定し、上方向に移動する場合は- (マイナス) の値を設定します。

- 19.** 〈◀〉または〈戻る〉ボタンを押します。

- 20.** [サイドレジ補正]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

おもて面の補正
サイドレジ補正

- 21.** 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

現在の水平方向の補正值(サイドレジ)が表示されます。

- 22.** 現在の設定値に、手順 14 で確認した水平方向にずれた量を加えた値を設定し、〈OK〉ボタンを押します。

プリント画像を左方向に移動する場合は+ (プラス) の値を設定し、右方向に移動する場合は- (マイナス) の値を設定します。

- 23.** 設定が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

8.6 清掃する

⚠ 警告

- 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

- 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

💡 注記

- 電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内のプリントデータや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する

💡 注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

💡 注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

💡 補足

- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

光路（レーザー）部の清掃

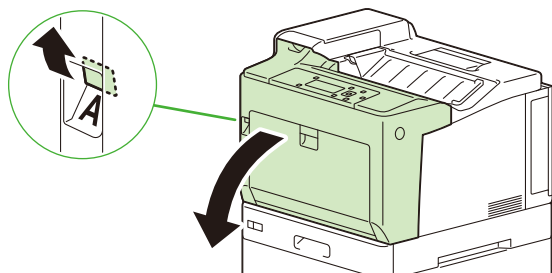
プリント画質が悪くなった場合は、次の手順に従って、本機内部の光路（レーザー）部を清掃してください。

💡 補足

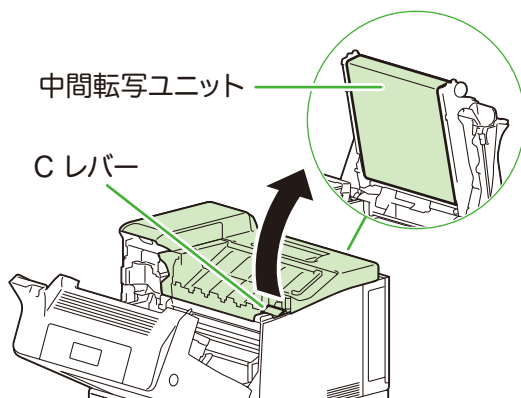
- 光路（レーザー）部の清掃には、本機内部に収納している清掃用パッドを使用します。ドラムカートリッジを購入すると、交換用の清掃パッドが同梱されています。ドラムカートリッジ交換の際には、光路（レーザー）部を清掃してパッドも交換してください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



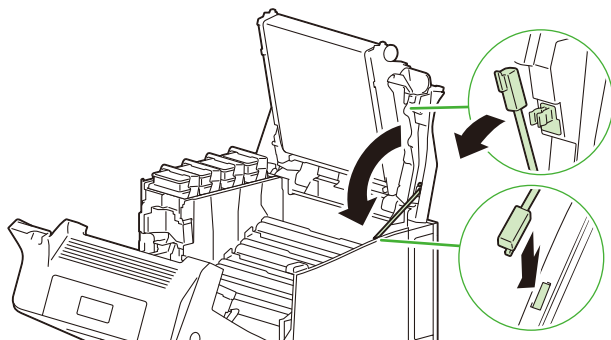
3. トップカバーの右手前の C レバーを持ち、静かにカバーを開けます。



! 注記

- 中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

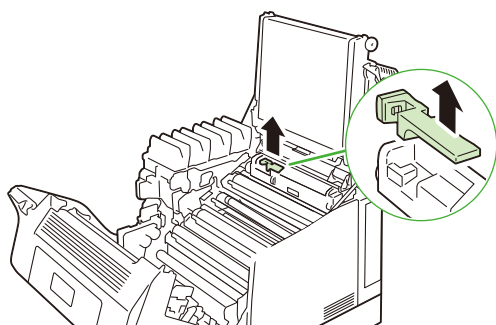
4. C レバーを持ったまま、トップカバーの右側に付いている支え棒の上先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。



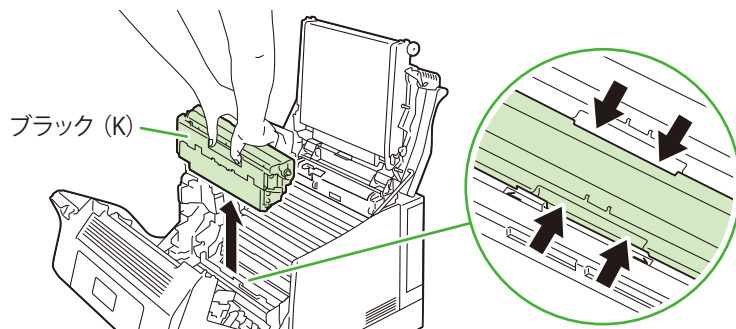
⚠ 注意

- 長時間カバーを開けたままにすると、ドラムカートリッジが光で劣化することがあります。10 分以内を目安にカバーを閉めるようにしてください。

5. 本機内部の図の位置にある清掃用パッドを取り外します。



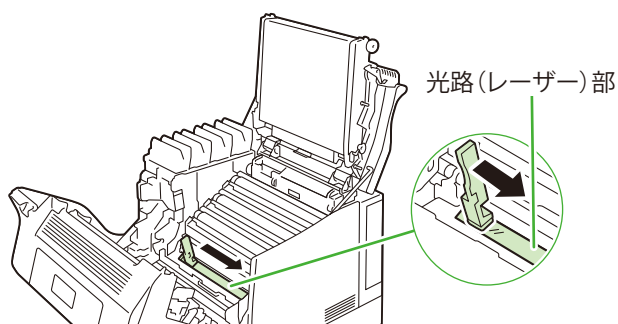
6. 一番手前のブラック (K) のドラムカートリッジを両手で持ち上げて、取り出します。



注記

- 取り外したドラムカートリッジは、強い光に当たらないように、箱やアルミ袋の中に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ドラムカートリッジを床や机に置く場合は、つかむ部分が上になるように置いてください。
- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

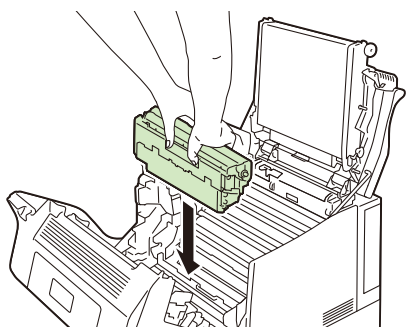
7. ドラムカートリッジがセットされていた溝に清掃用パッドを差し込み、左右どちらか一方から 1 回だけガラス面 (光路 (レーザー) 部) の汚れを取り除きます。



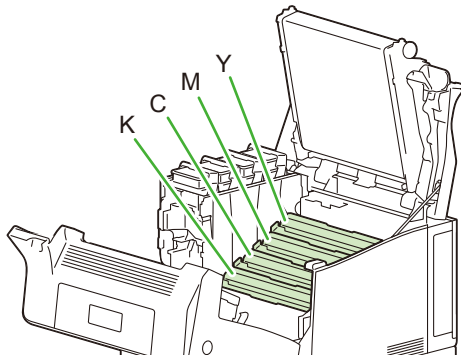
注記

- 指示した場所以外、機械の内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。

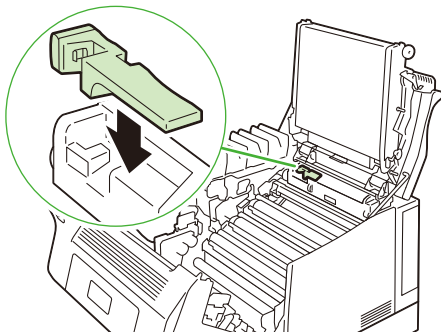
8. 清掃後、手順 6 で取り出したドラムカートリッジを左右の溝に合わせて挿入し、元の場所に取り付けます。



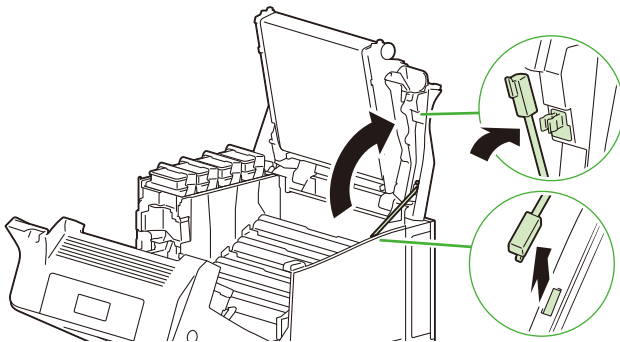
9. 残りのドラムカートリッジをシアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の順に手順 6～8 に従って取り外し、ガラス面を清掃後に元に戻します。ドラムカートリッジの各色の位置は、図を参照してください。



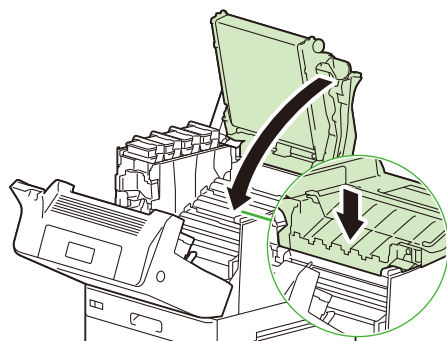
10. 清掃用パッドを元の場所に戻します。



11. 支え棒を元に戻します。



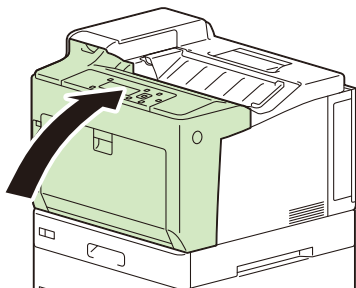
12. トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。



注記

- トップカバーを閉じるとき、中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
- トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

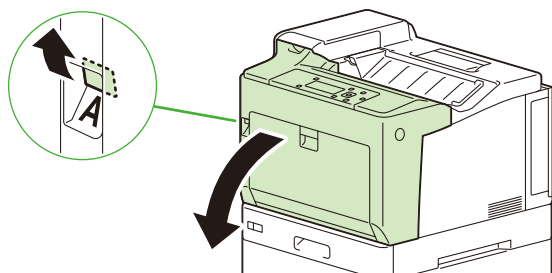
13. フロントカバーを閉じます。



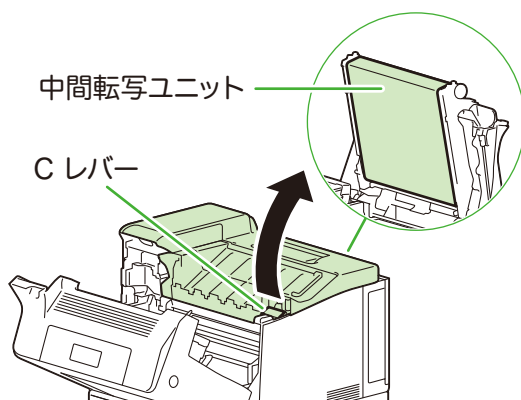
ADC センサーの清掃（[094-310] 表示時）

操作パネルに [094-310] のエラーコードが表示されたときは、次の手順に従って、本機内部の ADC センサーを清掃してください。清掃には綿棒が必要です。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。
2. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



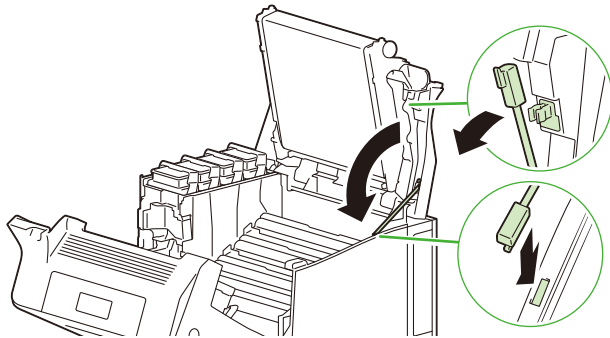
3. トップカバーの右手前の C レバーを持ち、静かにカバーを開けます。



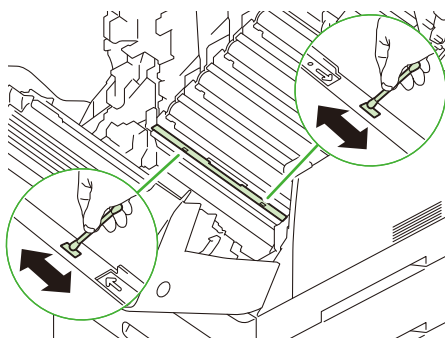
注記

- 中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

4. Cレバーを持ったまま、トップカバーの右側に付いている支え棒の上先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。



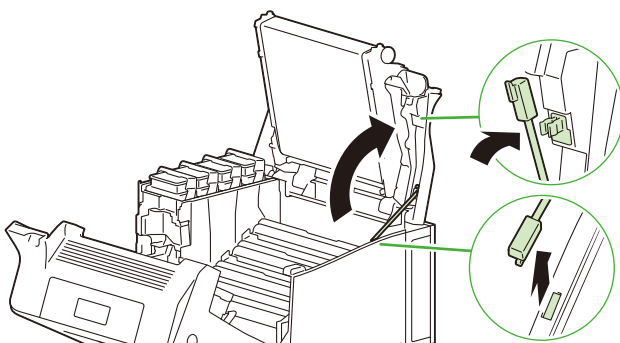
5. 矢印の先にある2か所の透明部分を汚れのない綿棒で左右に5往復拭きます。



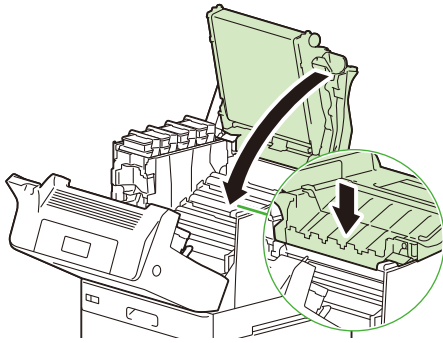
! 注記

- 指示した場所以外、プリンターの内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。
- 布やティッシュペーパーなどを使用すると、清掃するときに機械内部の部品に触れる場合があります、危険です。清掃には必ず綿棒を使用してください。

6. 支え棒を元に戻します。



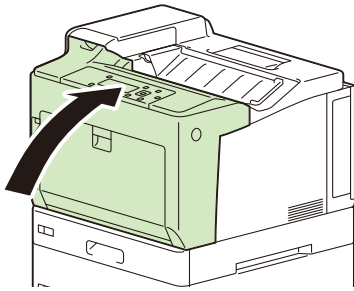
7. トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。



❗ 注記

- トップカバーを閉じるとき、中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
- トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

8. フロントカバーを閉じます。



用紙搬送ロールの清掃

絵入りのはがきを使用すると、絵柄裏写り防止用の粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。また、紙粉の多い用紙を使用すると、紙粉が用紙搬送ロールに付着して給紙できなくなることがあります。給紙できなくなった場合には、用紙搬送ロールを水でぬらして固く絞った柔らかい布で、丁寧に拭きます。

清掃手順は用紙搬送ロールの場所により異なります。それぞれの場所に応じた手順に従って、清掃してください。

📖 参照

- フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃については、「フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃」(P.200)を参照してください。
- トレイ1～4の用紙搬送ロールの清掃については、「トレイ1～4の用紙搬送ロールの清掃」(P.202)を参照してください。
- 手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃については、「手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃」(P.205)を参照してください。

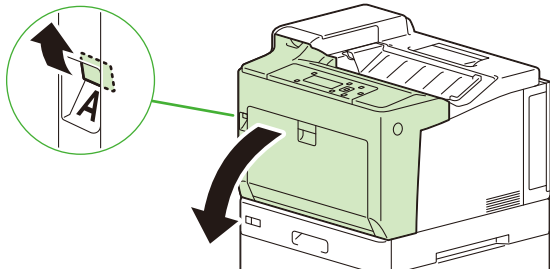
フロントカバー内の用紙搬送ロールの清掃

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

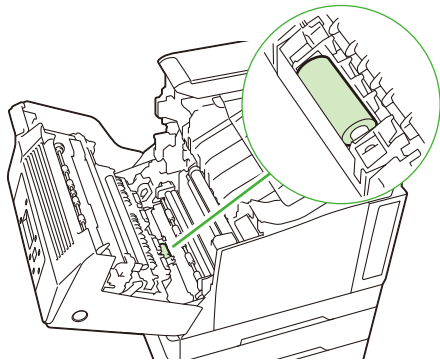
❗ 注記

- 手差しトレイを閉じるときは、手差しトレイ（左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

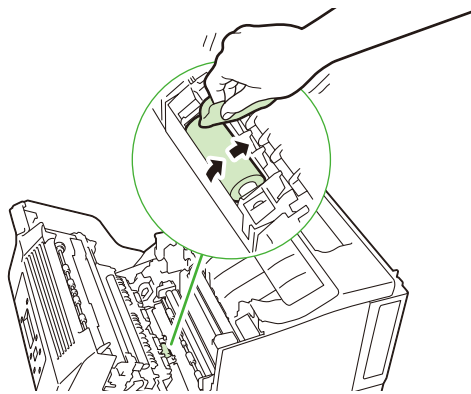
2. Aレバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



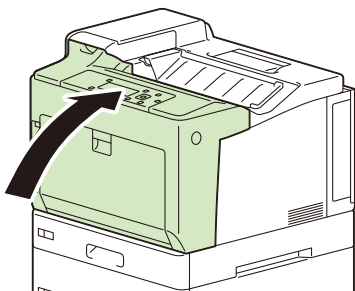
3. 用紙搬送ロールの位置を確認します。



4. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、用紙搬送ロールを回転させながら、ゴム製の部分を拭きます。



5. フロントカバーを閉じます。



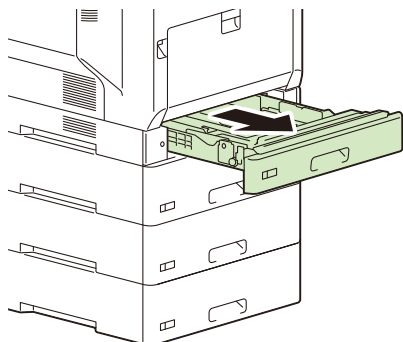
注記

- フロントカバーを閉じるときは、フロントカバー（上下および左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

トレイ1～4の用紙搬送ロールの清掃

ここでは、トレイ1の用紙搬送ロールを清掃する場合を例に説明します。清掃手順は、どのトレイでも同じです。

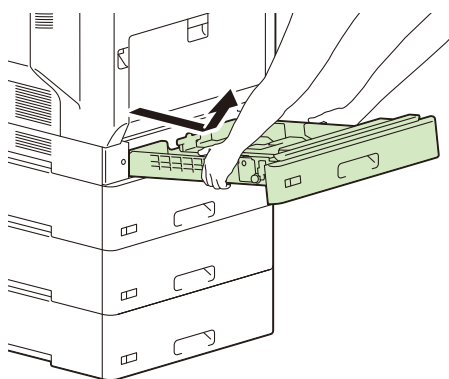
1. トレイを止まるまで手前に引き出します。



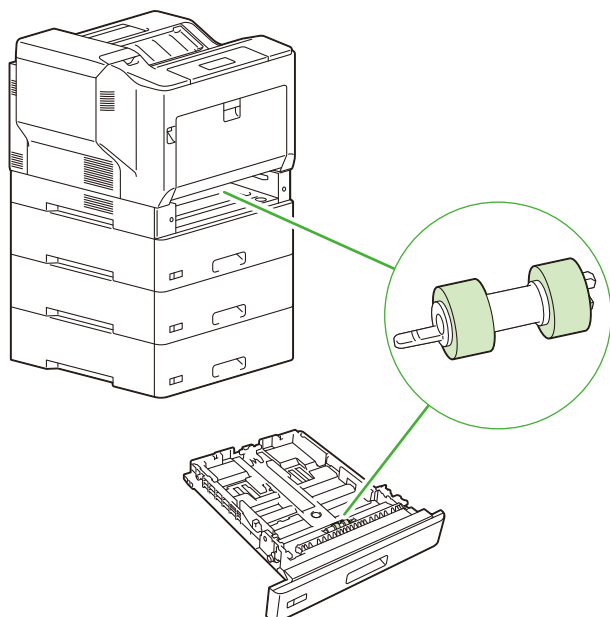
2. トレイの両側を両手で支え、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。

注記

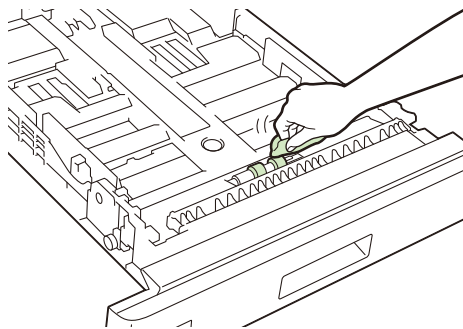
- 用紙トレイは完全に引き抜いてください。



3. トレイ側と本体側の用紙搬送ロールの位置を確認します。



4. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、トレイ側の用紙搬送ロールを回転させながら、ゴム製の部分を拭きます。

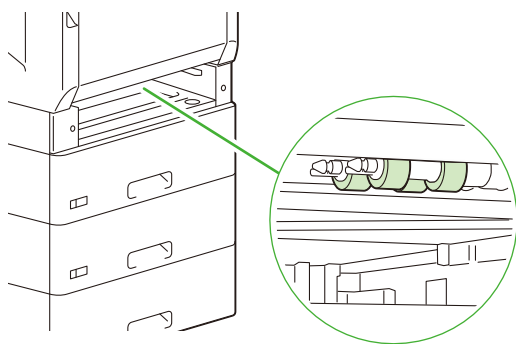


5. 本体側の用紙搬送ロールの場所を確認します。

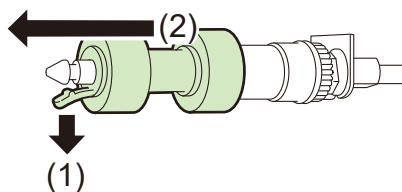


補足

- 本体側の用紙搬送ロールは図の位置に 2 本あります。

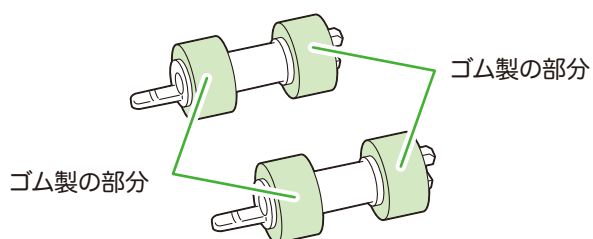


6. 手前の用紙搬送ロールのツメを広げてロックを外し (1)、軸から引き抜きます (2)。

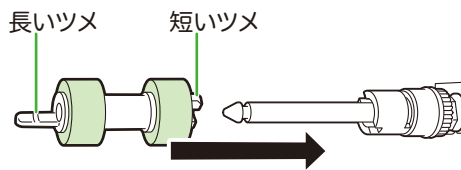


7. 奥にある用紙搬送ロールも同様に取り外します。

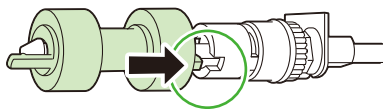
8. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、取り外した用紙搬送ロールのゴム製の部分を拭きます。



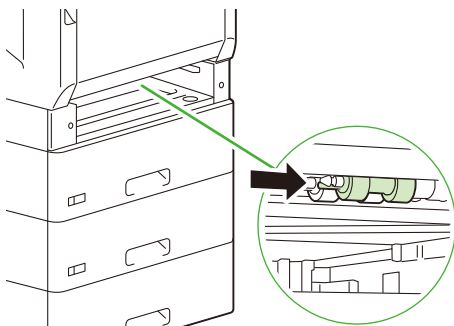
9. 清掃後、用紙搬送ロールを短いツメのほうから、本体内部の奥側の軸に通して、はめ込みます。



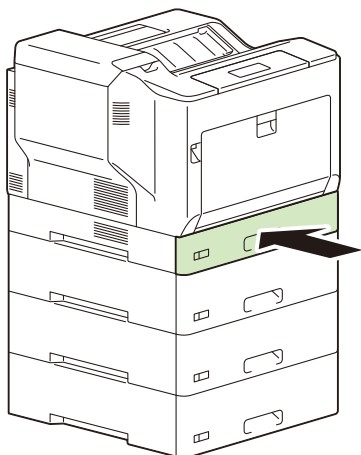
10. 用紙搬送ロールの短いツメを軸の溝に合わせて、しっかり奥まで押し込みます。



11. 同様にして、手前の用紙搬送ロールも取り付けます。



12. トレイをゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。



❗ 注記

- トレイを押し込むときは、トレイと本体の間や、トレイとトレイの間（オプションのトレイモジュール装着時）に指を挟まないように注意してください。

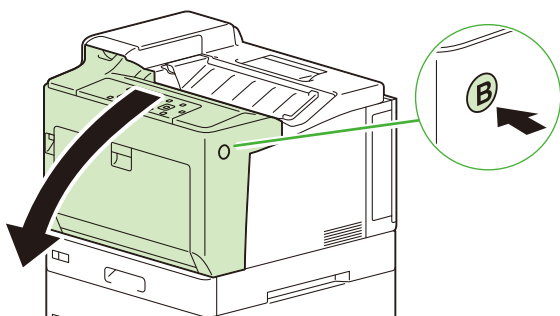
手差しトレイの用紙搬送ロールの清掃

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

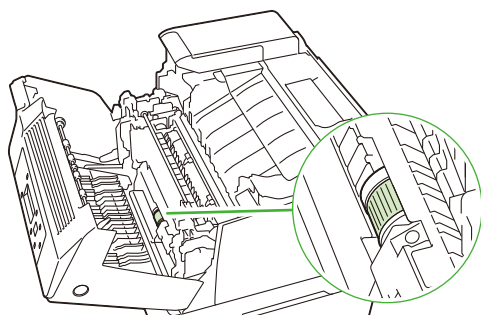
❗ 注記

- 手差しトレイを閉じるときは、手差しトレイ（左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

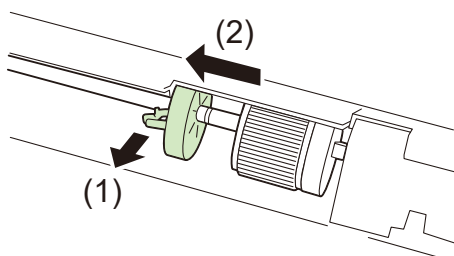
2. B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



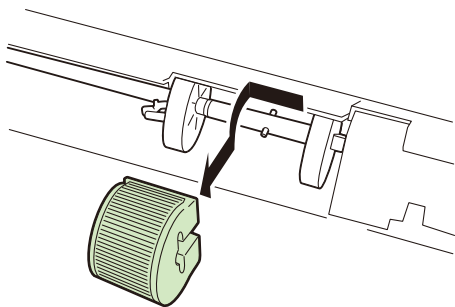
3. 本体内部にある用紙搬送ロールを確認します。



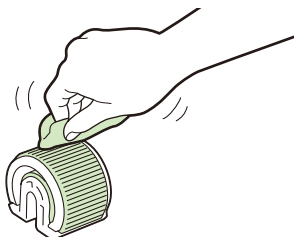
4. ストッパーを回転させてツメを手前側にし、ツメを広げてロックを外します (1)。ストッパーだけを左に止まるところまでずらします (2)。



5. 用紙搬送ロールをストッパーのところまで左にずらしてから、手前に 90° 回転させて引き抜きます。



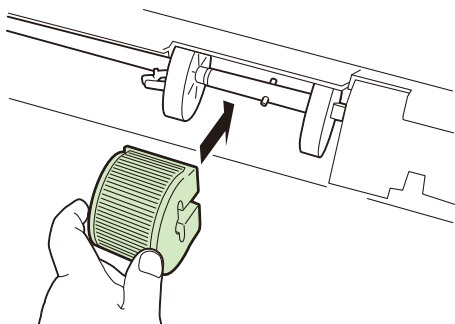
6. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、用紙搬送ロールを拭きます。



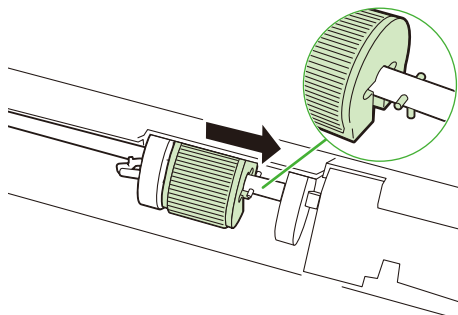
7. 清掃後、用紙搬送ロールの側面が平らになっているほうを右側にして、水平に軸に押し込みます。

 **補足**

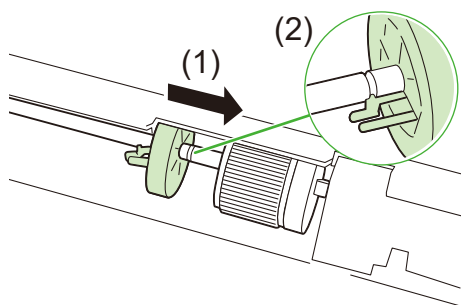
- 用紙搬送ロールの側面は、片方が平らで、もう片方には溝があります。軸に押し込むときには、用紙搬送ロールの向きに注意してください。



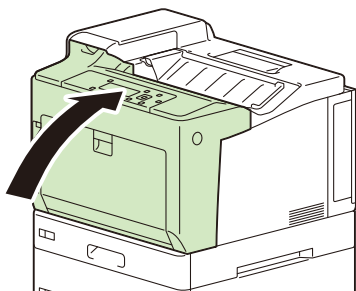
8. 用紙搬送ロールの凹部に軸のピンがはまるように、用紙搬送ロールを奥側に 90° 回転させ、右にずらします。



9. ストッパーを右にずらして用紙搬送ロールに寄せ (1)、ストッパーのツメを軸の溝にはめます (2)。



10. フロントカバーを閉じます。



注記

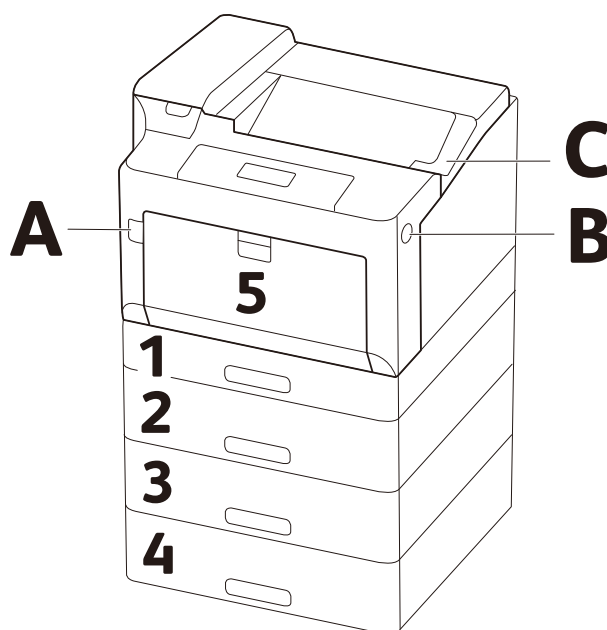
- フロントカバーを閉じるときは、フロントカバー（上下および左右）と本体の間に指を挟まないように注意してください。

9 困ったときには

9.1 紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙詰まりの位置を操作パネルの左上にある外観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。



外観図の表示	紙詰まり位置	紙詰まりの処置参照ページ
5	手差しトレイ	「手差しトレイでの紙詰まり」(P.209) を参照してください。
1～4	トレイ1～4	「トレイ1～4での紙詰まり」(P.210) を参照してください。
A	フロントカバー (Aレバー)	「フロントカバー内での紙詰まり (Aレバー)」(P.211) を参照してください。
B	フロントカバー (Bボタン)	「フロントカバー内での紙詰まり (Bボタン)」(P.212) を参照してください。 「レバー E 内での紙詰まり」(P.213) を参照してください。

警告

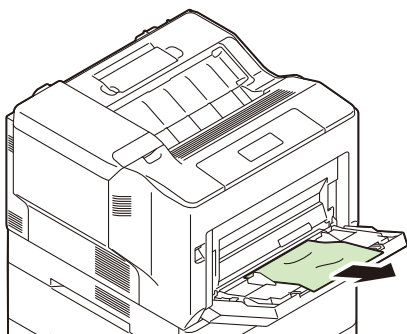
- 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻きついているときは無理にとらないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源を切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内部に残っていると、紙詰まりの表示は消えません。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

手差しトレイでの紙詰まり

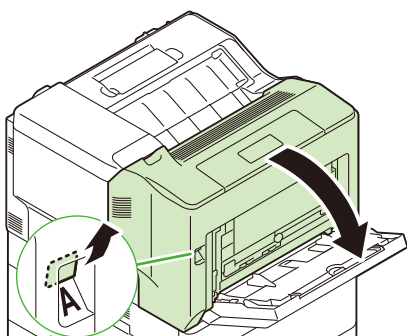
1. 手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、内部に紙片が残っていないかを確認します。



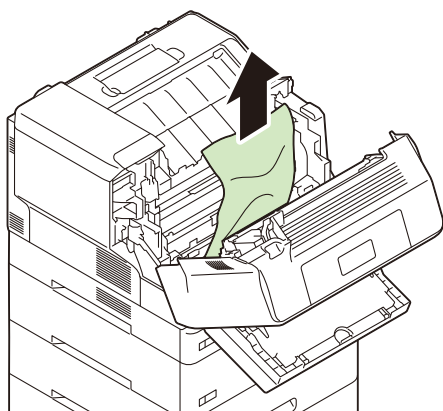
注記

- 手差しトレイに用紙を複数枚セットしている場合は、いったんすべての用紙を取り除いてください。

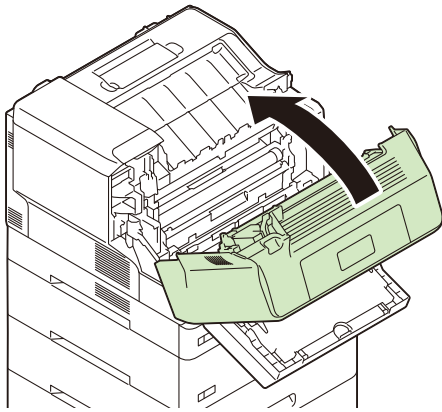
2. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. フロントカバーを閉じます。

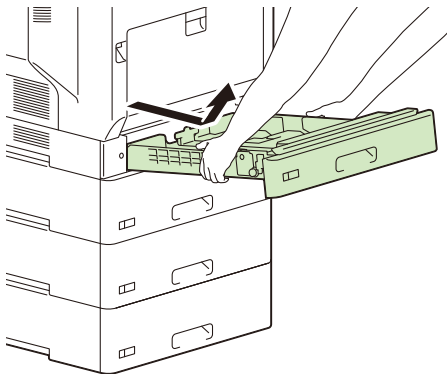


トレイ 1～4 での紙詰まり

! 注記

- 紙詰まりの位置を確認しないでトレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルの左にある表示部で紙詰まりの位置を確認してから処置してください。

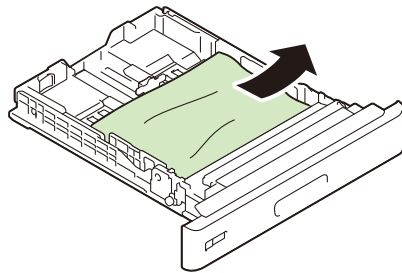
1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。
2. ディスプレイに表示されている用紙トレイをゆっくりと引き出し、取り外します。
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから先に確認します。



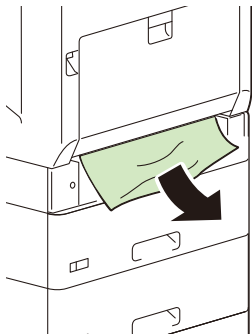
! 注記

- トレイにセットされた用紙は、トレイの手前側を經由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下のトレイから順に引き出さないと上段のトレイが引き出せないことがあります。

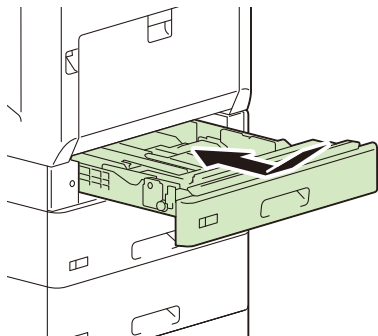
3. 詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。



4. プリンターの内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。



5. 奥に突き当たる場所まで、トレイをゆっくりと押し込みます。

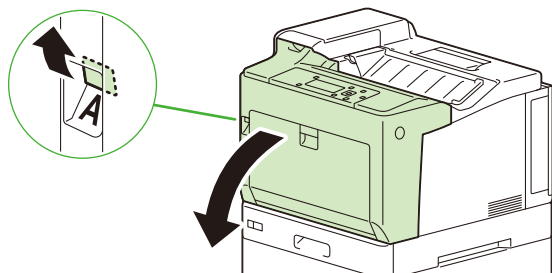


フロントカバー内での紙詰まり (A レバー)

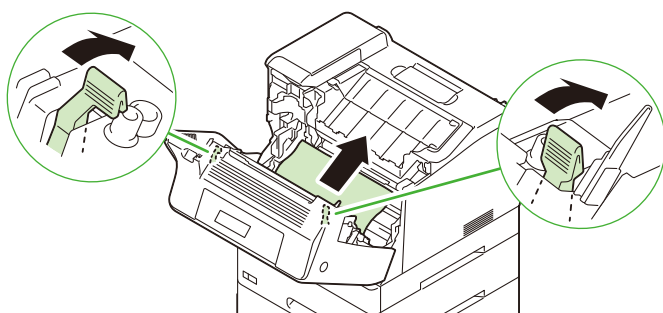
注記

- 用紙を取り除くとき、中間転写ユニットの表面（黒のフィルム）には触れないようにしてください。中間転写ユニットの表面に引っかき傷、汚れまたは手の脂が付くと印字品質が低下します。
- 転写ローラーの一部にトナーの汚れが付着している場合がありますが、画質には影響ありません。

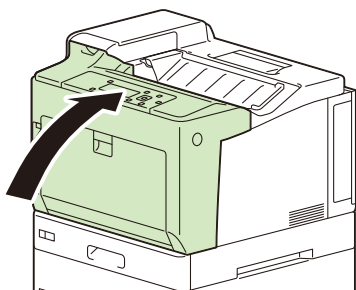
1. A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



2. 図の位置にあるレバーを押し下げ、詰まった用紙がある場合は取り除き、内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

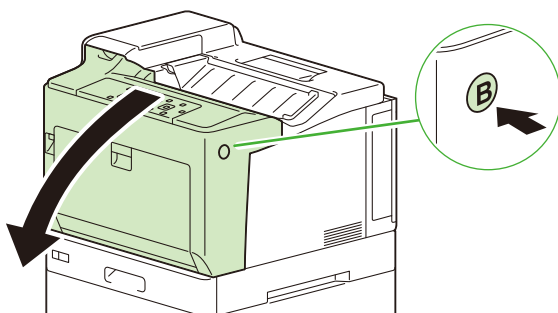


3. フロントカバーを閉じます。

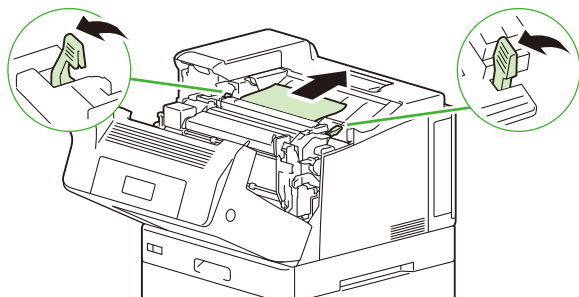


フロントカバー内の紙詰まり (B ボタン)

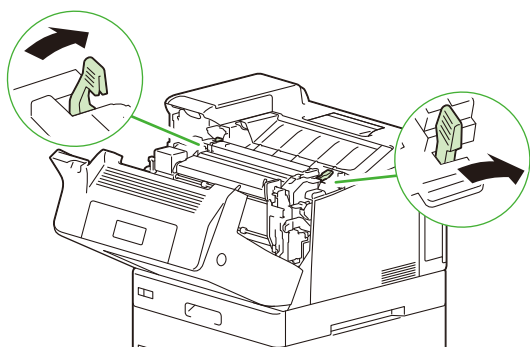
1. B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



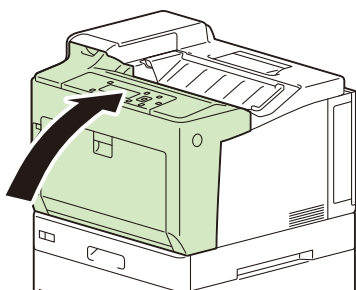
2. 図の位置にあるレバーをフロントカバー側に引いて起こし、詰まった用紙がある場合は取り除きます。



3. 内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

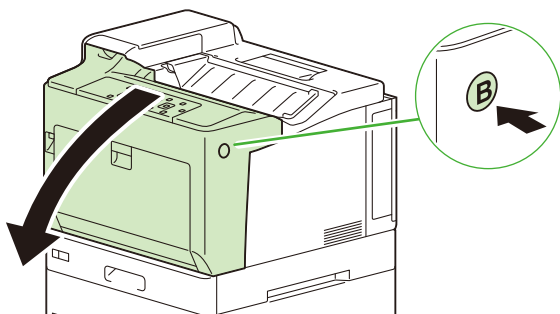


4. フロントカバーを閉じます。

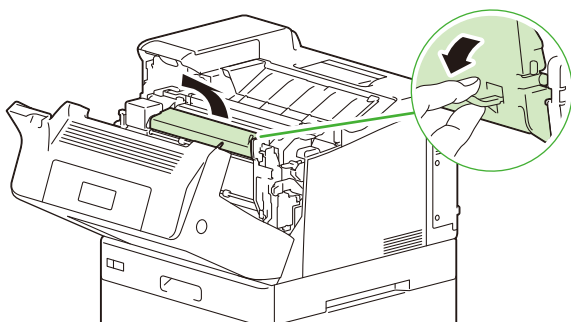


レバー E 内での紙詰まり

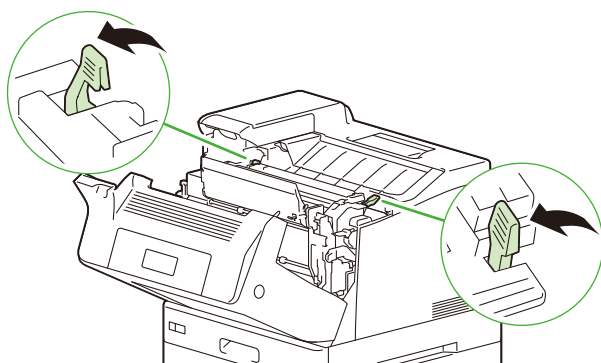
1. B ボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



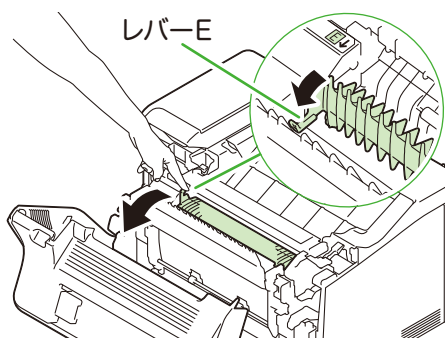
2. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを手前に引いて開けます。



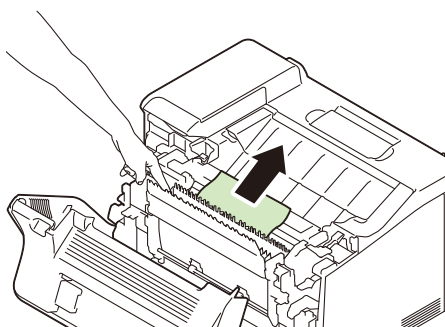
3. 定着ユニット両端奥の、図の位置にあるレバーを、手前に引いて起こします。



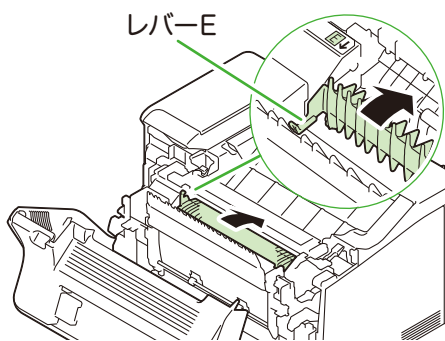
4. レバー E を手前に倒します。



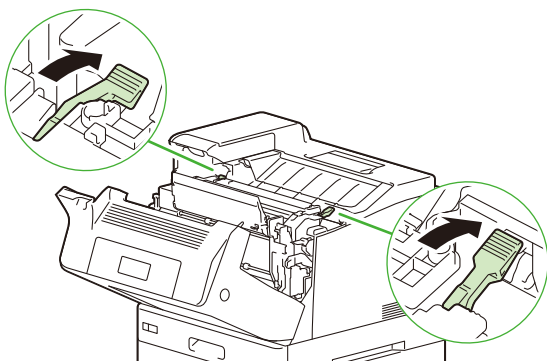
5. レバー E を倒したまま、詰まっている用紙を上方向に取り除きます。



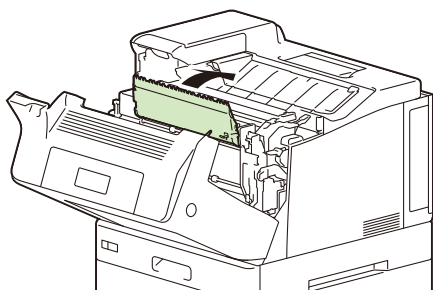
6. レバー E から手を離します。



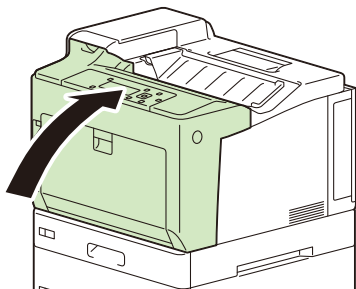
7. 手順 3 で起こした、定着ユニット両端奥のレバーを、奥に倒します。



8. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを使って、カバーを閉じます。




9. フロントカバーを閉じます。












紙詰まりが解決しない場合は、A レバーでフロントカバーを開けて内部に紙片が残っていないか確認してください。詳しくは、「フロントカバー内での紙詰まり (A レバー)」(P.211) を参照してください。




9.2 機器本体のトラブル

症状	原因/処置
電源が入らない	<p>電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。</p> <p>本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。</p> <p>本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。</p>
パネルに何も表示されない	<p>節電状態になっている可能性があります。操作パネルの(⏻)〈電源/節電〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。</p> <p>それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
異常な音がする	<p>本機を安定した平面の上に移動してください。</p> <p>トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。</p> <p>本機内部に異物が入っている可能性があります。</p> <p>電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
本機内部に結露が発生する	<p>スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま約 60 分間放置してください。機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで [結露防止モード] を [有効] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> スリープモードに移行する時間については、「[スリープモード移行時間]」(P.117) を参照してください。 結露防止モードについては、「[結露防止モード]」(P.116) を参照してください。
節電状態に移行しない	<p>次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルで何らかの操作をしているとき トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、1つでも交換メッセージが表示されているとき 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき 紙詰まり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき 故障などによりエラーが発生しているとき [結露防止モード] が [有効] に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき 定着ユニットの交換メッセージが表示されているとき

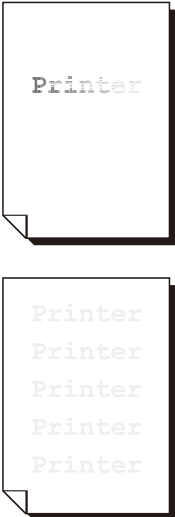




9.3 プリントのトラブル

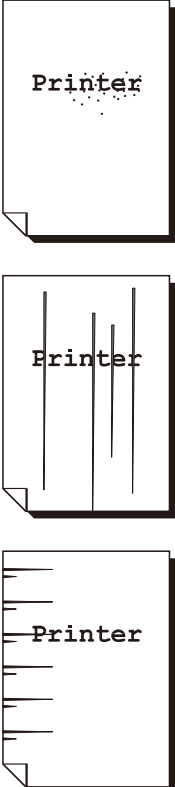




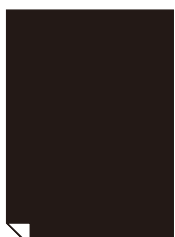
症状	原因/処置
〈エラー〉ランプが点滅している	<p>お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留め、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「エラーコード」(P.228)を参照してください。
〈エラー〉ランプが点灯している	<p>操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「エラーコード」(P.228)を参照してください。
プリントを指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	<p>インターフェイスクーブルが抜けている可能性があります。いったん電源を切り、インターフェイスクーブルの接続を確認してください。</p> <p>本機がオフライン状態になっている可能性があります。〈オンライン〉ボタンを押してください。</p> <p>メニューを設定している状態になっている可能性があります。〈仕様設定〉ボタンを押してプリント画面を表示してください。</p> <p>使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートについては、「[ネットワーク/ポート設定]」(P.103)を参照してください。 プロトコルについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	<p>データが本機内部に残っています。プリントの中止、または残っているデータの強制排出をします。</p> <p>〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、プリントを中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、〈OK〉ボタンを押してください。中止または強制排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> USBポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによっては、ジョブデータの受信が途切れることがあります。ジョブデータの受信が途切れた場合、それ以降のプリントデータは〈OK〉ボタンを押したあとに、新しいプリントジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとにプリントされます。またそのとき、正常にプリントされないことがあります。



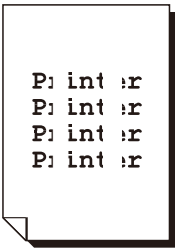





症状	原因／処置
プリントできない	<p>本機の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「IP アドレスを設定する」(P.24) を参照してください。 <p>受信制限の設定を確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[受付制限設定]」(P.114) を参照してください。 <p>1 度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファ容量の設定をメモリスプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。プリントデータが複数ある場合は、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。</p>
プリントに時間がかかる	<p>受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなる場合があります。プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。</p> <p>また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てておくことをおすすめします。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.130) を参照してください。 <p>プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 <p>TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 <p>用紙種類の設定で、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、コート紙 2、コート紙 3、はがき、封筒を選択した場合や、プリンタードライバーの [印刷モード] で [高精細 (文字 / 線)] を選択した場合は、通常の約半分のプリント速度になります。また、連続運転をしていて、機械内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。そのまま、連続運転をし続けたり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。そのときは、電源を切って、しばらく待ってプリンター内部の温度を下げてから、電源を入れ直してください。</p>

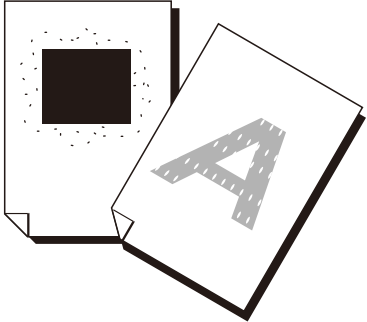





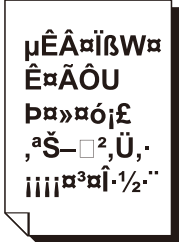



症状	原因／処置
プリントを指示していないのに、[プリントしています]が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、〈プリント中止〉ボタンを押して、プリントを中止してください。  補足 ・本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・詳しくは、「用紙をセットする」(P.37)を参照してください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。  参照 ・詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。



9.4 画質のトラブル

症状	原因/処置
<p>プリントがうすい (かすれる、不鮮明)</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p>
	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.32)を参照してください。
	<p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。</p> <p>ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
	<p>別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p>
	<p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「トナーカートリッジを交換する」(P.170)を参照してください。
	<p>正しい用紙がセットされていることを確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「用紙について」(P.32)を参照してください。
<p>定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.134)を参照してください。 	





症状	原因／処置
<p>黒点や黒線または色線がプリントされる等間隔に汚れが発生する</p> 	<p>用紙搬送路に汚れが付着している場合があります。数枚プリントしてください。</p> <p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>たて方向の短い色筋の場合は、電源投入時の画質調整時間を延長するように設定すると、改善される可能性があります。操作パネルで設定を変更してください。この設定をすると、ウォームアップ時間が通常よりも長くなり、ドラムカートリッジの寿命が若干短くなります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[画質調整時間延長]」(P.120)を参照してください。
<p>指でこするとかすれるトナーが定着しない用紙がトナーで汚れる</p> 	<p>選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.32)を参照してください。 <p>定着ユニットが劣化または損傷しています。 定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.134)を参照してください。
<p>用紙全体がぬりつぶされてプリントされる</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

症状	原因／処置
<p>何もプリントされない</p> 	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
<p>白抜けや白筋が出る</p>  	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.32)を参照してください。 <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「トナーカートリッジを交換する」(P.170)を参照してください。 <p>ドラムカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する」(P.172)を参照してください。 <p>本機内部の光路（レーザー）部が汚れている可能性があります。光路（レーザー）部を清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「光路（レーザー）部の清掃」(P.194)を参照してください。 <p>本機内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を60分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約1時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで「結露防止モード」を「有効」に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[結露防止モード]」(P.116)、「[スリープモード移行時間]」(P.117)を参照してください。 <p>ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>現像器が劣化または損傷しています。現像器の状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

症状	原因/処置
<p>画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかっている</p> 	<p>別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。</p> <p>転写電圧を調整してください。白点になる/白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[転写電圧オフセット調整]」(P.134)を参照してください。 <p>定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.134)を参照してください。
<p>文字がにじむ</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.32)を参照してください。 <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>本機内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を60分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約1時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで[結露防止モード]を[有効]に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「[結露防止モード]」(P.116)、「[スリープモード移行時間]」(P.117)を参照してください。
<p>文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない</p> 	<p>TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を [常に TrueType フォントを使う] に設定してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
<p>斜めにプリントされる</p> 	<p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「用紙をセットする」(P.37)を参照してください。




症状	原因／処置
プリントの濃度や色味の再現性が悪くなった	操作パネルから階調補正チャートをプリントして、本機に付属の階調補正用色見本と比較し、必要に応じて、補正をしてください。  参照 ・詳しくは、「階調を補正する」(P.186)を参照してください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。 プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。  参照 ・詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.127)を参照してください。

9.5 トレイや用紙送りのトラブル


症状	原因/処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいる可能性があります。新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。
	 参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.32)を参照してください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
用紙トレイ 1～4 からトレイが正しく選択されない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	 参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「用紙をセットする」(P.37)を参照してください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
用紙の角が折れる	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 用紙を裏返してください。 トレイ 1～4 を使用している場合は、手差しトレイを使用してください。
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ 選択] を [自動] にしていませんか。 [トレイ 5 (手差し)] を選択するか、 [自動] の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 詳しくは、「[プリント設定]」(P.126)を参照してください。
手差しトレイから用紙を送った際、用紙の先端が折れる	<ul style="list-style-type: none"> 用紙が湿気を含んでいる可能性があります。新しい用紙と交換してください。 手差しトレイの用紙セット枚数を 30 枚以下に減らしてください。 用紙のセット方向を変更してください。 用紙トレイ 1～4 から用紙を送ってください。

9.6 ネットワーク関連のトラブル

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因/処置
無線 LAN 接続が設定できない	[Wi-Fi 設定] が有効になっていることを確認してください。  参照 • 詳しくは、「[Wi-Fi 設定]」(P.104) を参照してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
	無線 LAN アクセスポイントが IEEE 802.11b/g/n に準拠し、2.4 GHz 帯で使用可能か確認してください。
WPS で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC (プッシュボタン方式) で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。  参照 • 無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください
WPS-PIN (PIN コード方式) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。  参照 • PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない	Wi-Fi Direct のポートが起動しているときは設定できません。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因/処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の [グループロール] を [グループオーナー] にしてください。  参照 • 詳しくは、「[Wi-Fi Direct]」(P.104) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。 Wi-Fi Direct のパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断してください。

症状	原因/処置
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。 [IP 動作モード] が [IPv6] 以外のモードに設定されていることを確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因/処置
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。

9.7 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機の操作パネルに表示される 6 桁の数字です。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って対処をしても状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"010-001" - "010-999"

エラーコード	原因／対処
010-311 010-319 010-328	本機にエラーが発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-330	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-331 010-332 010-333 010-334 010-335	本機にエラーが発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-338 010-339	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-340	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-344 010-345 010-346 010-347 010-355	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"016-001" - "016-399"

エラーコード	原因／対処
016-210 016-211 016-212 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	本機の認証機能でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-242	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因／対処
016-244	自己署名証明書が自動更新できませんでした。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-310 016-322 016-325 016-326 016-327 016-330 016-331 016-332 016-335 016-336 016-337 016-338 016-339 016-340 016-341 016-342 016-345 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351 016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-358 016-359 016-360 016-361 016-362 016-363 016-364 016-365 016-366 016-367 016-368 016-369 016-370 016-371 016-372 016-373 016-374 016-375 016-376 016-377 016-378 016-379 016-380 016-381 016-382 016-383	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"016-400" - "016-499"

エラーコード	原因/対処
016-400	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なります。 Ethernet1 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	Ethernet1 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet1 と接続されている認証サーバーの設定や接続が正しいかを確認してください。
016-403	Ethernet1 側のルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバ証明書の検証] を [しない] に設定してください。
016-404	Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。 証明書の初期化を実行してください。
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定してください。SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選んでください。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-421	本機から用紙トレイが取り外されました。 取り外した用紙トレイを本機に取り付けてください。
016-422 016-423	オフライン状態です。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ほかのメッセージが表示されている場合は、その処置をしてください。 • メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-424 016-425	節電状態になっています。 節電状態を解除してください。状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名またはパスワードが異なります。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。

エラーコード	原因/対処
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet2 と接続されている認証サーバーの設定や接続が正しいかを確認してください。
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバ証明書の検証] を [しない] に設定してください。
016-431	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定してください。SSL クライアント証明書の設定ができない場合は、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選んでください。
016-450	SMB のホスト名が重複しています。 ホスト名を変更してください。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-461	[イメージログ転送] の [転送保証レベル] が [高] に設定されている場合、未転送イメージログ停滞による新規ジョブ作成制限によって、新規ジョブが生成されません。 イメージログを管理するサーバーの状態やネットワークの状態を確認し、ログ管理サーバーへのイメージログ転送を阻害する要因を解消してください。次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> 転送設定の確認を行い、未転送ログをすべて転送する [イメージログ管理設定] の [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する。この場合、イメージログは未転送のまま順次消去される場合があります。 本機の電源を切ってから入れ直したとき、または本機が自動的に再起動したときは、再度、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直してください。

"016-500" - "016-549"

エラーコード	原因/対処
016-500 016-502	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
016-506	<p>本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。</p> <p>もう一度、ジョブを実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は、以下のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不要なイメージログを削除する イメージログの [〆 の作成保証レベル] を [低] に変更する <p>この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。</p>
016-507 016-508	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。</p> <p>サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、仕様設定の [イメージログ転送] の [転送機能] を [使用しない] に変更してください。</p>
016-509 016-510 016-511 016-512	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが正しく設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。</p> <p>サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを確認してください。</p>
016-514	<p>XPS (XML Paper Specification) 文書の処理中にエラーが発生しました。</p> <p>XPS 対応ドライバーからのプリントでエラーが発生した場合は、アプリケーションからほかのプリンタードライバーを使用してプリントしてください。</p> <p>XPS (XML Paper Specification) 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、Eメールプリントなど) したときにエラーが発生した場合は、XPS Document Viewer からプリンタードライバーを使用してプリントしてください。</p>
016-515	<p>XPS (XML Paper Specification) 文書の処理中に、メモリー不足が発生しました。次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> [印刷モード] を [標準] にする XPS Document Viewer からプリンタードライバーを使用してプリントする
016-516	<p>XPS (XML Paper Specification) 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していないプリント設定が含まれています。</p> <p>プリントジョブを送信したアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。</p> <p>問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。</p>
016-517	<p>PostScript® ファイルに記述されている内容に誤りがあります。</p> <p>PostScript® ドライバーでプリントしてください。または、PostScript® ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。</p>
016-518	<p>PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。</p> <p>PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark / UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。</p>
016-519	<p>設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。</p> <p>機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。</p>
016-522	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。</p> <p>LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。</p>
016-523	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。</p> <p>本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。</p>
016-524	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。</p> <p>LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を無効に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>

エラーコード	原因/対処
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を無効に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を無効に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証内部エラーです。ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-529	Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間（45 秒内）にサーバーから応答がありませんでした。次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク接続を確認してください。 • Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しないまたは設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。ファイルを確認してください。
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	Remote Download ファイルをストレージに書き込む際に、エラーが発生しました。Remote Download サーバーから取得したファイルをストレージに書き込めません。ストレージの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ストレージを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite から削除されました。[認証先] 画面にある [最新情報に更新] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite にドメインを追加してください。

エラーコード	原因/対処
016-545	ApeosWare Management Suite とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。 ApeosWare Management Suite をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Management Suite がインストールされたコンピューターの Windows® のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-548	本機が ApeosWare Management Suite に登録されていません。 本機を ApeosWare Management Suite に登録してください。


"016-550" - "016-599"

エラーコード	原因/対処
016-553	ApeosWare Management Suite が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。 ApeosWare Management Suite のバージョンを上げる必要があります。また、上げたバージョンに本機が対応していることを確認してください。
016-554	ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名または照会用パスワードが不正です。 ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Management Suite がデータベースまたはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 ApeosWare Management Suite からデータベースまたはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。
016-556	ApeosWare Management Suite が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite を確認してください。
016-557	ApeosWare Management Suite の内部エラーです。 ApeosWare Management Suite を確認してください。
016-558	本機が ApeosWare Management Suite から不明なエラーを受信しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。 必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。 必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Management Suite 間で通信エラーが発生しました。 ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「Authentication Agent」の「サーバー名/IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-562	ApeosWare Management Suite に同じ IC カードの情報を持つユーザーが重複しています。 ApeosWare Management Suite で IC カードの情報を正しく設定してください。
016-564	Remote Download Server で認証エラーが発生しました。 正しいユーザー名、パスワードを使用してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
016-567	バックアップ先の容量不足またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリー不足です。バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。
016-568	ストレージアクセスエラーまたはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。バックアップファイルを削除してください。
016-569	ApeosWare Management Suite のエラーです。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。


"016-700" - "016-729"

エラーコード	原因/対処
016-700	プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリントまたは認証プリントの暗証番号の桁数が、[暗証番号の最小桁数] よりも少なかったため、処理を中断しました。プリンタードライバーで設定する暗証番号は、[暗証番号の最小桁数] よりも大きい桁数を設定してください。
016-701	メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-702	プリントページバッファが不足したため、ART-EX または PostScript® のプリントデータを処理できませんでした。次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にする • プリンタードライバーで [ページ印刷モード] を利用する (ART EX のみ)
016-705	次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • 本機用のプリンタードライバーを使用していません。本機用のプリンタードライバーを使用してください。 • ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられていない状態で、セキュリティープリント、認証プリント、またはプライベートプリントのジョブを受信しました。ストレージが取り付けられていない場合は、次のどちらかの処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> - 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [ストレージ] を [なし] に設定する - 機能を利用する場合は、ストレージを取り付ける ストレージが取り付けられている場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [ストレージ] を [あり] に設定してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-706	セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えたため、ストレージの容量が不足しています。本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-707	ストレージが故障しているため、サンプルプリントができませんでした。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-708	ストレージの領域が不足しているため、プリントできませんでした。ストレージ内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART EX 処理でエラーが発生しました。プリントジョブを一度削除して、プリントし直してください。
016-710	ストレージが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。


エラーコード	原因/対処
016-716	ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) の容量が不足したため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ストレージ内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718 016-719	メモリーが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-720	PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントしてください。
016-721	プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルで [プリント設定] の [用紙の優先順位] が、すべての用紙で [設定しない] に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントしました。 自動トレイ選択でプリントする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のどれかを [設定しない] 以外に設定してください。 また、ユーザー定義用紙を選ぶと、自動的に [用紙の優先順位] が [設定しない] に設定されるので、注意してください。 ESC/P のコマンドエラー プリントデータを確認してください。 本機とコンピューターとの通信が途切れた可能性があります。接続状態を確認してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> 用紙の優先順位の設定については、「[用紙の優先順位]」(P.128) を参照してください。
016-726	操作パネルで [プリントモード 指定] が [自動] に設定されている場合に、プリント言語を自動的に設定できませんでした。 PostScript® ソフトウェアキット (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が必要です。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 プリントデータを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、プリントできませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度プリントを指示してください。



"016-730" - "016-749"

エラーコード	原因/対処
016-730	ART IVでサポートされていないコマンドを検知しました。 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れてプリントできませんでした。 もう一度プリントを指示してください。
016-732	エミュレーションで指定したフォームが、プリンター側に登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度プリントを指示してください。
016-738	PostScript® で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。 製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-739	PostScript® で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合いません。 製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-740	PostScript® で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。 製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因/対処
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-746	PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、プリントできませんでした。 PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使ってプリントしてください。
016-747	画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • アノテーションのイメージのサイズを大きくする • 画像繰り返しの個数指定を少なくする
016-748	ストレージの領域が不足しているため、プリントできません。 プリントデータを分割するか、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなど、プリントデータのページ数を少なくしてください。 また、ストレージ内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
016-749	本機でプリントできないプリント言語データを受信しました。 本機用のプリンタードライバーを使用してプリントしてください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。  補足 <ul style="list-style-type: none"> • PostScript® などプリントしたいプリント言語によっては、オプションが必要です。

"016-750" - "016-799"

エラーコード	原因/対処
016-750	ContentsBridge Utility などの PDF や XPS (XML Paper Specification)、DocuWorks ファイルを直接送信するアプリケーションでプリントを指示しましたが、PDF または XPS (XML Paper Specification) とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していない文法または本機で対応していないプリント指示が含まれていました。 ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。
016-751	次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、または PDF ファイルの破損が発生しました。 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 • PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 次のどちらかの方法で対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> - プリンタードライバーを使用してプリントする - PostScript® 使用メモリーを増やす • PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.130) を参照してください。

エラーコード	原因／対処
016-752	メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 [印刷モード] が [高画質] になっている場合は [標準] に、[標準] の場合は [高速] に変更してください。
016-753	パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 操作パネルの [プリント言語の設定] > [PDF]、または ContentsBridge で、正しいパスワードを指定してください。
016-755	プリントが許可されていない PDF ファイルはプリントできません。 Adobe® Acrobat を使用して、PDF ファイルのプリント禁止の指定を解除してから、もう一度プリントを指示してください。
016-756	認証／集計管理機能を使用して運用している場合、本機にプリントできるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。
016-757	入力した暗証番号が間違っている。または、ユーザー認証できません。暗証番号や認証情報 (User ID) を確認してください。
016-758	サービスを利用できる部門として登録されていません。 集計管理者にご相談ください。
016-759	サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 集計管理者にご相談ください。
016-760	PostScript® の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • PostScript® プリンタードライバーで、[印刷モード] を [高速] に設定してください。 • PS 使用メモリーを増やす  参照 <ul style="list-style-type: none"> • [印刷モード] については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • PS 使用メモリーについては、「[メモリー設定]」(P.130) を参照してください。
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。 [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細 (文字 / 線)] の場合は [標準] にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定してプリントしてください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> • [印刷モード] / [ページ印刷モード] については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
016-762	次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • 本機用のプリンタードライバーを使用していません。 本機用のプリンタードライバーを使用してください。 • 実装されていないプリント言語が指定されました。 本機の [ネットワーク / ポート設定] の [プリントモード 指定] で正しいプリント言語を指定してください。
016-792	プリンター集計レポートをプリントする場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。 ジョブの履歴は存在しません。
016-798	ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。 ストレージの装着が必要です。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。 たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、用紙トレイ、両面指定などが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。 設定を変更してから、もう一度プリントを指示してください。 また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。

"017-700" - "017-749"

エラーコード	原因/対処
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。 ThinPrint .print Engine のエラーの可能性がります。再度プリント処理を行うと成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信されたプリントデータが本機で扱える最大サイズを超えました。 ジョブを分割して、再度プリント処理をしてください。
017-704	内部エラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。 ThinPrint .print Engine に登録しているサーバー証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。 本機の設定を確認してください。
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバを使用してプリントしてください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名を確認してください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか。 ・ ネットワークケーブルが接続されているか。
017-734	AirPrint などの処理中に、内部エラーが発生しました。 プリンタードライバやほかのソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。 機械管理者に相談してください。

"017-750" - "017-799"

エラーコード	原因/対処
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [サービス設定] > [ソフトウェアの更新] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[有効] にチェックが付いているかを確認してください。
017-756	本機にエラーが発生しました。 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善しないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合は、ポート番号が異なっている可能性があります。 POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 それ以外の場合は、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-787	Google クラウド プrintのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 Google クラウド プrint以外の方法でプリントしてください。

"018-400" - "018-499"

エラーコード	原因/対処
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。 認証方式を [事前共有鍵] に設定した場合はパスワード、[デジタル署名] に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定されています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-407	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因／対処
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412 018-413	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-424	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。 本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティーを使用してください。
018-425	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティーを使用してください。
018-426	WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。 サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティーを使用してください。
018-427	Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。 Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	無線 LAN キットが正しく接続されていません。 本機の電源を切り、無線 LAN キットが取り付けられていることを確認してください。
018-429	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレスまたはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレスまたはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-431	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因/対処
018-433	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-435	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-439	[Wi-Fi 設定] の SSID が [アドホック] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク/ポート設定] > [Wi-Fi 設定] の SSID を [インフラストラクチャ] に変更してください。
018-440	[IP 動作モード] が [IPv6] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク/ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4] に変更してください。
018-441	[Wi-Fi 設定] の [帯域] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 [ネットワーク/ポート設定] > [Wi-Fi 設定] > [帯域] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。
018-443	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-444	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。

"018-500" - "018-599"

エラーコード	原因/対処
018-500	認証サーバーに証明書がありません。 サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。 ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。 認証サーバーの状態を確認してください。
018-533	不正な形式のメールを受信しました。 メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメールが残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受信するか、削除してください。

エラーコード	原因/対処
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。 LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"018-700" - "018-799"

エラーコード	原因/対処
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 本機の IPv4 アドレスを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する • DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する • IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で使用できる認証方式と一致するものがないまたは本機に、Kerberos サーバーで使用できる認証方式と一致するものはありません。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Kerberos サーバーの認証方式を設定し直してください。 • 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-722	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-723	Google クラウド プリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	Google クラウド プリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。 IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。

エラーコード	原因/対処
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録してください。 • KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新してください。 • 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認してください。
018-729	Google クラウド プリントとの接続がタイムアウトになりました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-730	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-731	ストレージの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。 ストレージの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。
018-737	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-738	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-740	Google クラウド プリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-741	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-743	Google クラウド プリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	Google クラウド プリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	Google クラウド プリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	Google クラウド プリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。

"021-200" - "021-399"

エラーコード	原因/対処
021-210 021-211 021-212	USB IC カードリーダーにエラーが発生しました。 USB IC カードリーダーの接続を確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、USB IC カードリーダーが故障している可能性があります。壊れていない USB IC カードリーダーを取り付けて、もう一度電源を入れ直してください。

エラーコード	原因/対処
021-213	インターネットを使用する EP システムの単価テーブルの設定に問題があります。機械管理者が CentreWare Internet Services を使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ~ 9999999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。
021-214	USB メモリーまたはメモリーカードリーダーとの暗号通信中にエラーが発生しました。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-360 021-361	エラーが発生しました。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"021-400" - "021-419"

エラーコード	原因/対処
021-401	設定した数より多い USB IC カードリーダーなどの認証機器が差し込まれました。差し込んだ認証機器を抜いてください。
021-402	プロキシサーバー名のアドレスがネットワーク上に見つかりませんでした。次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-403	EP 運用センターまたは EP 通信集約サーバーソフトウェアのアドレスがネットワーク上に見つかりませんでした。次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-404	サーバーの電源が切れていたなどの理由により、サーバーまたはプロキシサーバーに接続できませんでした。次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因／対処
021-405	<p>外部サーバーとの SSL 通信でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-406	<p>外部サーバーの SSL 証明書が正しくありません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-407	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシサーバーの認証に失敗しました。(HTTP ステータスコード 407 を受信) 次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • EP プロキシサーバーの認証ユーザーを確認する。 • EP プロキシサーバーの認証パスワードを確認する。 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-408	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で通信タイムアウトが発生しました。 次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 また EP 通信集約サーバー構成で、EP 通信集約サーバーの FQDN が変更されていた場合も弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-409	<p>本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-410 021-411	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で認証局 (CA) との通信時 (EP 証明書取得時) に通信エラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 また EP 通信集約サーバー構成で、EP 通信集約サーバーの FQDN が変更されていた場合も弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因／対処
021-412	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー URL 設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-413	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-414	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP クライアント証明書発行局または EP プロキシサーバーから応答を受信できませんでした。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-415	<p>インターネットを使用する EP システムとの SSL/TLS 通信でエラーが発生しました。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因/対処
021-416	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-417	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で EP プロキシサーバーの認証に失敗しました。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EP プロキシサーバー URL 設定 • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-418 021-419	<p>EP システムとの通信に使用する、プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

"021-420" - "021-490"

エラーコード	原因/対処
021-420	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイル取得通信時に通信タイムアウトが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定 • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバーの稼働状況 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因/対処
021-421	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの取得通信時にエラーが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定 • プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバー稼働状況 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-422	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルが見つかりませんでした。</p> <p>CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、HTTP サーバーにプロキシ設定ファイルが登録されていない可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-423	<p>プロキシ設定ファイルのサイズが大きすぎたため、プロキシ設定ファイルを取得できませんでした。</p> <p>CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、プロキシ設定ファイルのサイズを確認してください。64 KB を超えている場合は、この大きさに収まるように修正してください。</p> <p>プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-424	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシサーバーと通信するための、プロキシ設定ファイルの URL 情報が間違っています。</p> <p>CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク管理者に確認し、プロキシ設定ファイルの URL が正しいか確認します。または、DHCP サーバーか DNS サーバーのプロキシ設定ファイルの下記 URL 情報を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP オプションが 252 になっているか • "wpad. (ドメイン名) " ホストの SRV レコードが正しいか <p>それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-425	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの URL 情報 (CURL) を取得する通信時に、DHCP サーバーまたは DNS サーバーと通信タイムアウトしました。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • EP プロキシサーバー設定 (CURL) • プロキシ設定ファイルの URL 情報を登録した DHCP または DNS サーバー稼働状況 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因/対処
021-426	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイル URL 情報 (CURL) を取得するための通信時に、DHCP サーバーまたは DNS サーバー上に URL 情報 (CURL) が見つかりませんでした。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EP プロキシサーバー設定 • DHCP サーバー、または DNS サーバーにプロキシ設定ファイルの URL 情報 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

"021-500" - "021-529"

エラーコード	原因/対処
021-501	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信に失敗しました。</p> <p>電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-502	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-503	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-504	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-505	<p>EP サーバーとの SSL/TLS 通信に失敗しました。</p> <p>電源を切って、入れ直してください。</p> <p>それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-506	<p>EP サーバーのサーバーの SSL 証明書が正しくありません。</p> <p>電源を切って、入れ直してください。</p> <p>それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因／対処
021-507	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EP プロキシサーバーの認証ユーザー • EP プロキシサーバーの認証パスワード <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-508	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害またはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-509	<p>EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-510	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 EP システムの契約期間を確認してください。 EP システムの契約期間中にこのエラーコードが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-511	<p>EP サーバーで、本機がすでに設定されています。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-515 021-516	<p>EP サーバーでの本機の設定が正しくありません。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-517 021-518 021-519	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-520 021-521 021-522	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブルの接続 • DNS サーバーアドレス設定 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • EP プロキシサーバー設定 <p>これらの設定を確認しても状態が改善しない場合は、ネットワーク障害または DNS サーバー障害の可能性があります。 ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因/対処
021-523	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 SOAP ポートを起動し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-524 021-525 021-526 021-527 021-528	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-529	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、すでに最新バージョンのソフトウェアになっています。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"021-530" - "021-599"

エラーコード	原因/対処
021-530 021-531	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-532 021-533 021-534 021-535	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、ソフトウェアバージョンアップができません。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-536	ソフトウェアに最新の設定が反映されていません。 本機を再起動してソフトウェアを最新の状態にしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-538	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-539	ソフトウェアバージョンアップの予約日時に本機を使用中だったため、バージョンアップを実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-540	ソフトウェア更新ファイルのダウンロード中に本機の電源が切られたため、ソフトウェアの更新処理に失敗しました。 必要に応じ、再度操作してください。
021-541	本機の動作設定不正のため、ソフトウェアの更新機能を実行できませんでした。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-542 021-543	本機にエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-545	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 EP システムの契約期間を確認してください。EP システムの契約期間中にこのエラーコードが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
021-582	ソフトウェアのバージョンアップが、何らかの一括設定/取得処理と干渉することを検知しました。 [保守] 画面を閉じてから、本機の画面を操作せずに最大 5 分程度待ち、[リモート保守] 画面が消えてから、再度ソフトウェアのバージョンアップを行ってください。状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"021-700" - "021-790"

エラーコード	原因/対処
021-700	USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-701	USB インターフェイスにエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-731	関連商品を使用しているとき、カラーの利用が制限されている状態でカラーコピーをしようとした。 カラーの使用を許可するか、利用制限されていないカードを挿入してください。
021-732	カード抜け、料金不足（電子マネーを含む）、度数不足、または認証されていません。 カードを挿入または料金（電子マネー）を入れて、料金/度数の不足がないようにしてください。または認証（たとえば IC カードかパネルにより）してください。
021-733	カラーの利用が禁止されているか、カラー枚数の上限値に達しています。 カラーの利用を許可するか、上限値に達していないカードを使用してください。
021-750 021-751 021-770 021-771 021-772	点検依頼または修理依頼の実行中に、通信回線にエラーが発生したため、弊社プリンターサポートデスクに連絡ができませんでした。 電話回線が接続されていることを確認し、しばらく待ってから、もう一度、点検依頼または修理依頼をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"024-000" - "024-999"

エラーコード	原因/対処
024-321 024-362 024-363 024-364 024-367 024-368 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
024-700	オプション機能を利用するために必要なストレージが取り付けられていません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
024-701	指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。 組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	[システム設定] で [紙づまり時の処理] を [プリント中止] に設定しているときに、紙詰まりが発生しました。 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-705	指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。 本機に登録されているテンプレートを選びます。
024-707 024-708	両面プリント、左右反転プリントに対応できない、用紙サイズ/種類が設定されています。 両面プリント、左右反転プリントが可能な用紙のサイズと種類を指定して、もう一度プリントを指示してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面プリントのどれか）が指定されました。 プリントデータを確認してください。
024-747	原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度、プリントを指示してください。

"026-000" - "026-999"

エラーコード	原因/対処
026-400	USB ポートに 3 つ以上の機器が接続されています。 接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバーを使用してプリントしてください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。 プリントモードが「高画質」になっている場合は、「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。
026-706	プリント禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。 DocuWorks Viewer を使用してプリント禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致していませんでした。 操作パネルの [プリント言語の設定] > [PDF]、または ContentsBridge で正しいパスワードを指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-724 026-725	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
026-726	プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 プリンタードライバー画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。

"027-000" - "027-599"

エラーコード	原因/対処
027-400	本機との通信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> • ほかのメッセージが表示されている場合は、そちらの内容を確認してください。 • パネル操作中の場合は、操作を完了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 上記の対処で解決しない場合は、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-442 027-443 027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の手動設定 IP アドレスまたはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレスまたはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-501	POP サーバーでエラーが発生しました。 POP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。

"027-700" - "027-719"

エラーコード	原因/対処
027-701	ネットワークケーブルが抜けています。 ネットワークケーブルを本機に差し込み直してください。
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。

エラーコード	原因/対処
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済み場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。

"027-720" - "027-759"

エラーコード	原因/対処
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーションがインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。 連携するアプリケーションが正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携に失敗しました。 連携するアプリケーションが正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 連携するアプリケーションが正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先のステータスが不明になりました。 連携するアプリケーションが正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-728	外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。
027-757	次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> サーバーとの通信でエラーが発生しました。 ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないかを確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしまいました。 本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているかを確認してください。 対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は、日時または時刻を合わせます。

"027-760" - "027-799"

エラーコード	原因/対処
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。 指定したパラメーターを確認してください。
027-761	本機に外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントを指示しましたが、プリント要求をしてから実際にプリント処理を開始するまでの時間が、本機に設定されている時間を超えました。 複数文書を外部アクセス機能を使ってオンデマンドプリントした場合は、文書数を減らして再度実行してください。 それでも改善されない場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [一般設定] > [ジョブ管理] > [オンデマンドプリントサービス設定] > [オンデマンド印刷の実行可能時間] で、時間を長くするか、0 に設定してください。 外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントで複数の文書を指示した場合、最後の文書を受け付けるまでのプリント処理時間は考慮されません。そのため、大量の文書の場合やデータ処理時間がかかる複雑な文書の場合は、最後の文書を受け付ける前にタイムアウトする可能性があります。プリント指示する文書の形態に合わせて、制限時間を設定してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-762	外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。 <ul style="list-style-type: none"> • 本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え • 送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え • ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え • 意図的なジョブチケットの改ざん もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-763	外部のアカウンティングサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 外部アカウンティングサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているか確認する • ネットワークに障害がないか確認する • ネットワークケーブルを正しく接続する • 本機の設定を確認する
027-796	メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報などもプリントしたい場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。

"041-000" - "041-999"

エラーコード	原因/対処
041-310 041-318 041-321 041-322 041-340	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"042-000" - "042-999"

エラーコード	原因/対処
042-323 042-329 042-335 042-347 042-348 042-398	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"043-000" - "043-999"

エラーコード	原因/対処
043-322	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"045-000" - "045-999"

エラーコード	原因/対処
045-310 045-311	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"059-000" - "059-999"

エラーコード	原因/対処
059-324	本機にエラーが発生しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"060-000" - "060-999"

エラーコード	原因/対処
060-310	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"061-000" - "061-999"

エラーコード	原因/対処
061-340 061-346	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"072-000" - "072-999"

エラーコード	原因/対処
072-310 072-311	用紙トレイ 2 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"073-000" - "073-999"

エラーコード	原因/対処
073-310 073-311	用紙トレイ 3 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"074-000" - "074-999"

エラーコード	原因/対処
074-310 074-311	用紙トレイ 4 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"077-000" - "077-999"

エラーコード	原因/対処
077-322 077-323 077-327 077-328	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"091-000" - "091-999"

エラーコード	原因/対処
091-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
091-407	ドラムカートリッジにエラーが発生しました。 ドラムカートリッジを抜いて、もう一度差し込んでください。
091-417	ドラムカートリッジ Y にエラーが発生しました。 ドラムカートリッジ Y を抜いて、もう一度差し込んでください。それでも状態が改善されない場合は、ドラムカートリッジ Y を交換してください。
091-427	ドラムカートリッジ M にエラーが発生しました。 ドラムカートリッジ M を抜いて、もう一度差し込んでください。それでも状態が改善されない場合は、ドラムカートリッジ M を交換してください。
091-437	ドラムカートリッジ C にエラーが発生しました。 ドラムカートリッジ C を抜いて、もう一度差し込んでください。それでも状態が改善されない場合は、ドラムカートリッジ C を交換してください。

"092-000" - "092-999"

エラーコード	原因/対処
092-316 092-317	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。


エラーコード	原因/対処
092-318	イエロー (Y) の濃度が規定値に達していません。 ドラムカートリッジやトナーカートリッジが正しくセットできていない可能性があります。 電源を切り入りしてもエラーになる場合は、ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り付けを確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
092-319	マゼンタ (M) の濃度が規定値に達していません。 ドラムカートリッジやトナーカートリッジが正しくセットできていない可能性があります。 電源を切り入りしてもエラーになる場合は、ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り付けを確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
092-320	シアン (C) の濃度が規定値に達していません。 ドラムカートリッジやトナーカートリッジが正しくセットできていない可能性があります。 電源を切り入りしてもエラーになる場合は、ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り付けを確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
092-321	ブラック (K) の濃度が規定値に達していません。 ドラムカートリッジやトナーカートリッジが正しくセットできていない可能性があります。 電源を切り入りしてもエラーになる場合は、ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り付けを確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"093-000" - "093-999"

エラーコード	原因/対処
093-314	トナーカートリッジイエロー (Y) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-315	トナーカートリッジマゼンタ (M) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-316	トナーカートリッジシアン (C) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-317	トナーカートリッジブラック (K) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-318	トナーカートリッジイエロー (Y) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-319	トナーカートリッジマゼンタ (M) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
093-320	トナーカートリッジブラック (K) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-325	トナーカートリッジシアン (C) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-326 093-327 093-328 093-329	トナーカートリッジにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
093-426	トナーカートリッジブラック (K) にエラーが発生しました。 トナーカートリッジブラック (K) を抜いて、もう一度差し込んでください。
093-427	トナーカートリッジイエロー (Y) にエラーが発生しました。 トナーカートリッジイエロー (Y) を抜いて、もう一度差し込んでください。
093-428	トナーカートリッジマゼンタ (M) にエラーが発生しました。 トナーカートリッジマゼンタ (M) を抜いて、もう一度差し込んでください。
093-429	トナーカートリッジシアン (C) にエラーが発生しました。 トナーカートリッジシアン (C) を抜いて、もう一度差し込んでください。

"094-000" - "094-999"

エラーコード	原因/対処
094-310	濃度センサーエラーが発生しました。 本機内部の ADC センサーを清掃してください。  参照 ・詳しくは、「ADC センサーの清掃 ([094-310] 表示時)」(P.198) を参照してください。
094-311	中間転写ユニットの寿命です。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
094-320 094-321	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"102-000" - "102-999"

エラーコード	原因/対処
102-356	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"116-000" - "116-389"

エラーコード	原因/対処
116-312 116-313 116-315 116-317 116-321 116-323 116-324 116-325 116-330 116-331 116-334 116-337 116-338	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-339	ストレージ未装着のまま、Job Based Accounting システムを起動しました。 Job Based Accounting システムを利用する場合は、ストレージが必要です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れて操作をリセットしてください。
116-340 116-342 116-343 116-349 116-352 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-360 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368 116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-380 116-384 116-385 116-388 116-389	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"116-390" - "116-780"

エラーコード	原因/対処
116-390	本機にエラーが発生しました。 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、本機のメモリーを初期化してください。
116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-397 116-398 116-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。 ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 dのみ)) を装着してください。ストレージの装着については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-702	代替フォントでプリントされました。 プリントデータを確認してください。
116-703	PostScript® でエラーが発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 • プリントデータを確認してください。 • PostScript® 使用メモリーの割り当て量を増やしてください。
116-710	受信データが HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ストレージがいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。 ストレージ内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-725	本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 もう一度、ジョブを実行してください。 それでも、同じエラーが発生する場合は、次のどれかの方法で処置してください。 • 不要なイメージログを削除する • イメージログの [イメージログの作成保証レベル] を [低] に変更する この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。

エラーコード	原因／対処
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリーまたはストレージの容量が不足して、フォームまたはロゴデータが登録できません。不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	プリントデータに本機の制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。プリントデータを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したため、ロゴデータが登録できません。不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォームまたはロゴデータが登録できません。メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。プリントデータを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART IV,PR201H,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 のプリントデータに描画データがありません。プリントデータを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの用紙トレイに不具合があります。バナーシートの用紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの用紙トレイを変更してください。
116-751	ストレージの容量がいっぱいで処理が中止されました。蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	データに含まれるパラメーターに問題があったため、自動修正しました。ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。添付文書を確認してください。

"117-000" - "117-999"

エラーコード	原因/対処
117-311 117-312 117-319 117-320 117-321 117-322 117-323 117-324 117-326	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-328	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-329 117-331 117-332 117-333	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-334	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-339	不揮発性メモリーのバックアップが見つかりませんでした。 新しいストレージを本体から取り外し、直前のストレージを取り付けてください。電源を切ると、不揮発性メモリーがバックアップされます。
117-340	本機で使用できないストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられています。 正しいストレージまたは未フォーマットのストレージを取り付けてください。
117-343	次の原因と処置が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • [イメージログ管理] が [しない] で、かつ [イメージログ転送] の [転送機能] が [使用する] の場合に、[転送動作] が [ジョブ単位で転送] に設定されています。 [転送動作] を [ジョブ単位で転送] 以外に設定してください。 • ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））が取り付けられていない場合に、[転送機能] が [使用する] に設定されています。 本体にストレージを取り付けてください。または、[転送動作] を [一時停止] に設定してください。
117-345	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、[認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。
117-347	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-357	本機 TPM チップにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
117-360	日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
117-364	暗号情報は無効です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"118-000" - "118-999"

エラーコード	原因/対処
118-311	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"121-000" - "121-999"

エラーコード	原因/対処
121-310	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-311	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 ICカードリーダーを接続している場合は、[システム設定] > [認証の設定] > [認証情報設定] > [ICカードの使用] が [する] に変更されます。必要に応じて、設定を変更してください。
121-312 121-313	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 関連機器を接続しないで本機を起動し、[システム設定] > [認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。
121-314 121-316 121-317 121-318 121-320 121-321 121-322	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-323	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-325	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-327	本機がサポートしていない商品が接続されたことを検知しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-333 121-334 121-335 121-336 121-337 121-338	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因/対処
121-340	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
121-350	
121-370	

"124-000" - "124-999"

エラーコード	原因/対処
124-310	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
124-311	
124-312	
124-313	
124-314	
124-315	
124-316	
124-317	
124-318	
124-319	
124-320	
124-321	
124-322	
124-323	
124-324	
124-325	
124-326	本機にエラーが発生しました。 画面の指示に従って情報を入力してください。

エラーコード	原因／対処
124-327 124-329 124-330 124-331 124-332 124-333 124-334 124-335 124-336 124-337 124-338 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355 124-360 124-361 124-362 124-363	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
124-364	本機が自動的に再起動します。処置は必要ありません。
124-372 124-373 124-374 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
124-701	サイドトレイが取り付けられている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-702	スタッカーが取り付けられている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-708	用紙が、指定したトレイとは別のトレイに排出されました。両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた可能性があります。指定したサイズの用紙が、トレイにセットされているかを確認してください。

エラーコード	原因／対処
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選んで排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"125-000" - "125-999"

エラーコード	原因／対処
125-311	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

"127-000" - "127-999"

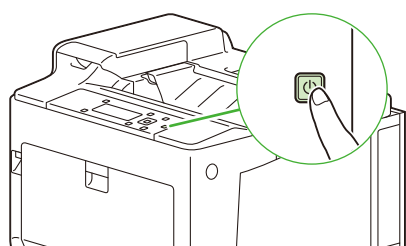
エラーコード	原因／対処
127-310	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
127-311 127-312 127-313 127-314 127-315 127-353 127-398 127-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

10 オプション製品の取り付け

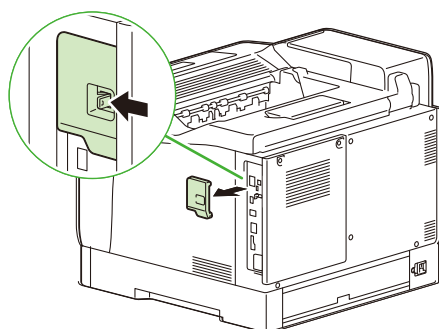
オプション製品の最新情報については、弊社公式サイトをご覧ください。
<http://www.fujixerox.co.jp>

10.1 無線 LAN キットの取り付け

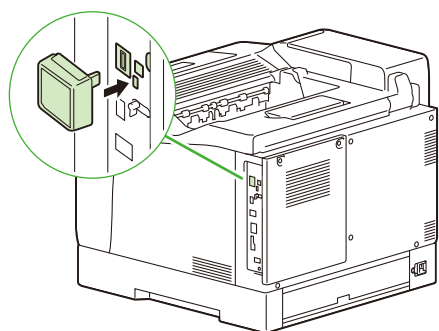
1. 電源/節電 ボタンを押し、電源を切ります。



2. 無線 LAN キットソケットのカバーを取り外します。

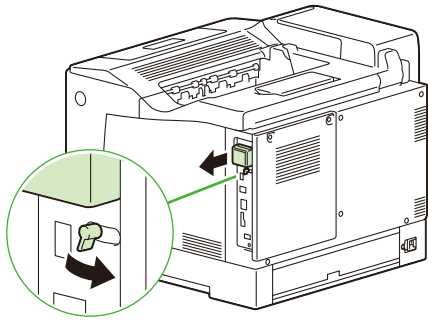


3. 無線 LAN キットのコネクターを無線 LAN キットソケットに差し込みます。



💡 補足

- 無線 LAN キットを取り外す場合は、ロックレバーを矢印の方向に動かしたまま、無線 LAN キットを取り外してください。



10.2 トレイモジュールの取り付け

ここでは、トレイモジュールを3段（用紙トレイ2～4）取り付ける場合を例に説明します。

💡 補足

- トレイモジュールは3段まで本機に取り付けられます。

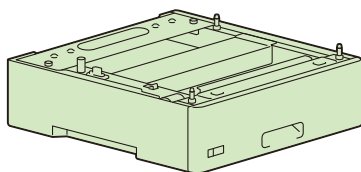
1. ⏻(電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

⚠ 注記

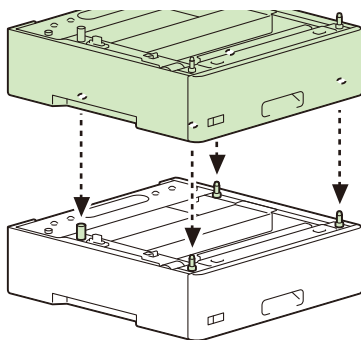
- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約40分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

2. 一番下になるトレイモジュールを設置場所に置きます。

トレイモジュールを1段だけ取り付ける場合は、手順11に進みます。



3. 上下のトレイモジュールの角を合わせ、下のトレイモジュールのガイドピン4箇所が上のトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。

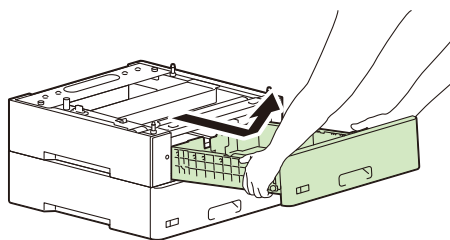


⚠ 注記

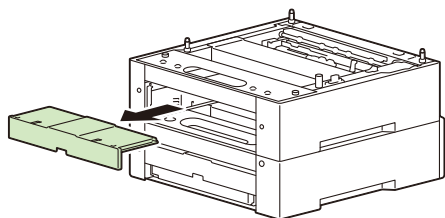
- トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないようにご注意ください。

4. 上のトレイモジュールからトレイを引き出します。

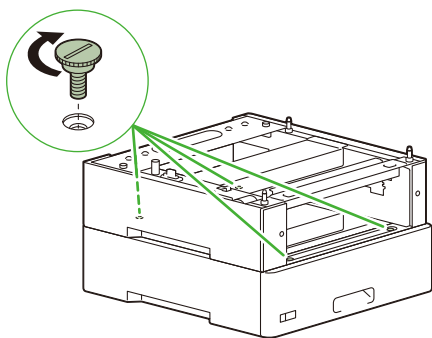
5. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



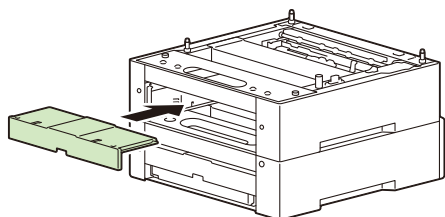
6. 上のトレイモジュールからダストカバーを取り外します。



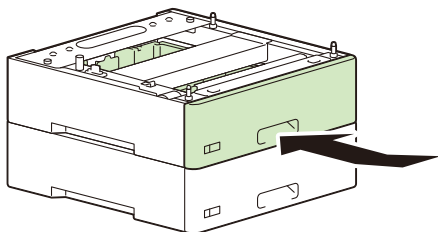
7. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、上のトレイモジュールを下のトレイモジュールに固定します。



8. ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。

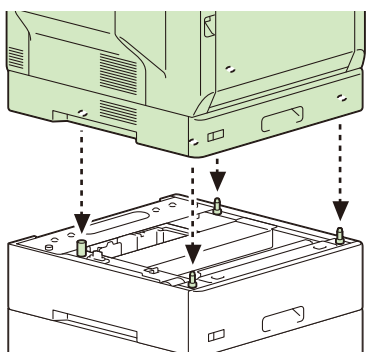


9. トレイモジュールにトレイを差し込み、止まるまで押し込みます。



10. さらにトレイモジュールを取り付ける場合は、手順 3～9 を繰り返します。

11. 本機を持ち上げ、トレイモジュールのガイドピン 4 箇所が本機底面の穴に入るように、ゆっくりと下ろします。

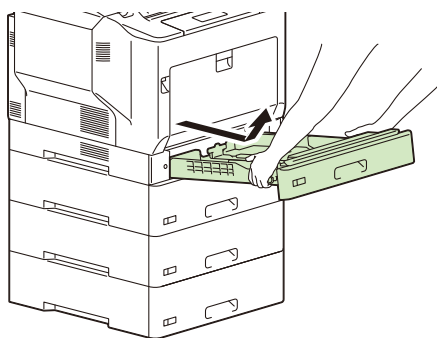


! 注記

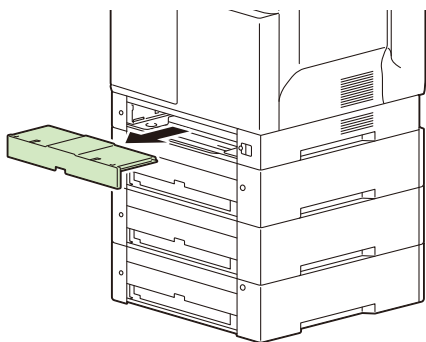
- 本機は、必ず 3 人以上で持ち上げてください。

12. 用紙トレイ 1 を引き出します。

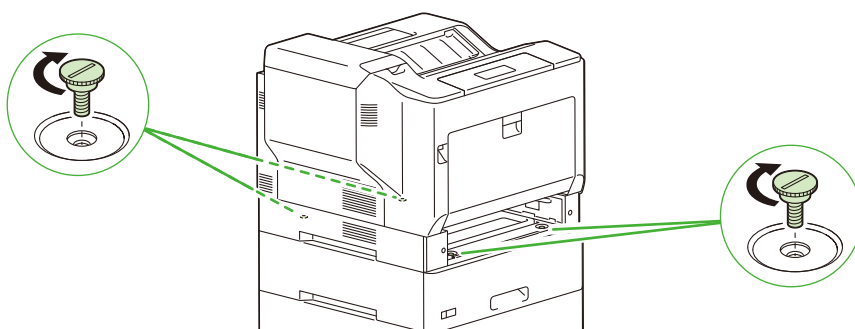
13. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



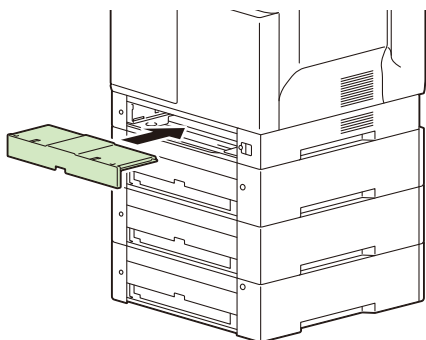
14. ダストカバーを取り外します。



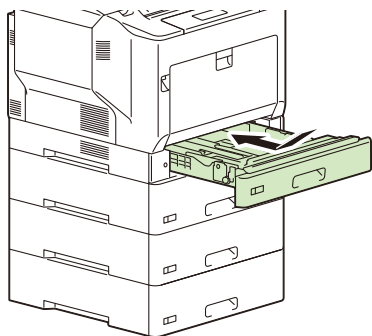
15. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、本機をトレイモジュールに固定します。



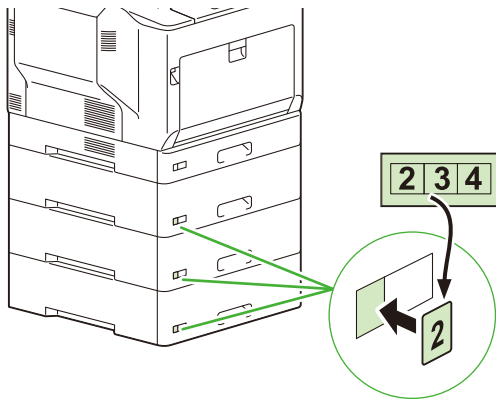
16. ダストカバーを本機に取り付けます。



17. 本機に用紙トレイ 1 を差し込み、止まるまで押し込みます。



18. 追加したトレイに、機械の構成に合わせてラベルを貼ります。



19. 電源コードを接続し、 (電源/節電) ボタンを押します。

20. プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更します。



- 変更方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

10.3 専用キャビネットの取り付け

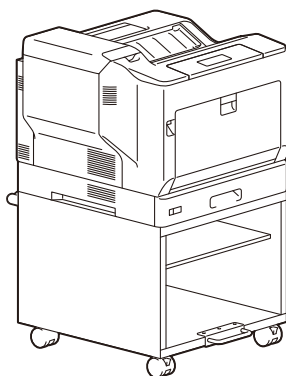
専用キャビネットの取り付け例

専用キャビネットは、本機の直下、および別オプションのトレイモジュールに取り付けて、次の図のような構成で使用できます。

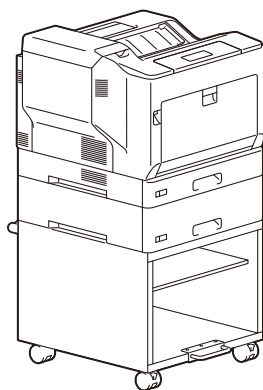
💡 補足

- トレイモジュール（オプション）は、高さが増えることによる転倒を防止するため、専用キャビネットの上に1段だけ取り付け可能です。

専用キャビネットのみ



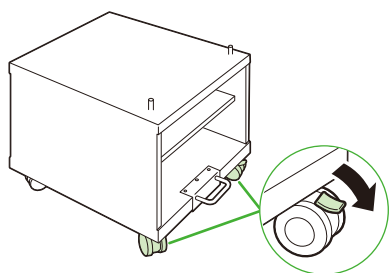
トレイモジュール（1 段）と専用キャビネット



取り付け手順

専用キャビネットを本機の直下に取り付ける場合を例に説明します。トレイモジュール（オプション）に取り付ける場合も、手順は同じです。次の手順の「本機」を「トレイモジュール」に読み替えてください。

1. 専用キャビネットを平らな場所に置き、前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。

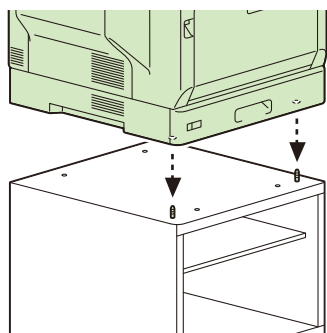


❗ 注記

- ストッパーをロックしないと、思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

2. ⏻(電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

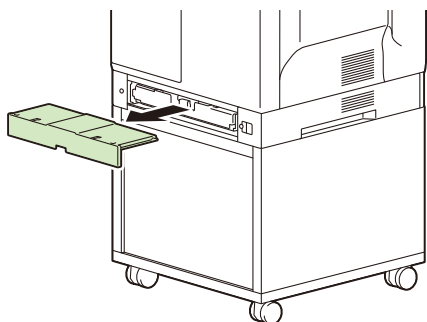
3. 本機と専用キャビネットの角を合わせ、専用キャビネットの2つのガイドピンが、本機の底面にある穴に入るように静かに下ろします。



❗ 注記

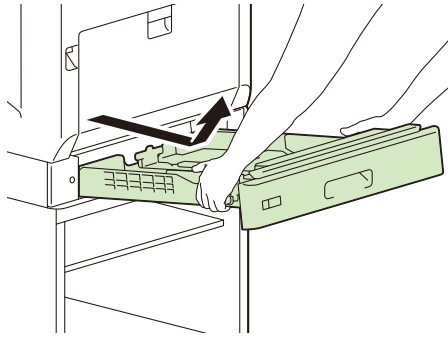
- 本機は、必ず3人以上で持ち上げてください。
- 本機を専用キャビネットの上を下ろすとき、指を挟まないように注意してください。

4. 本機の背面から、ダストカバーを取り外します。



5. トレイを、止まるまで手前に引き出します。

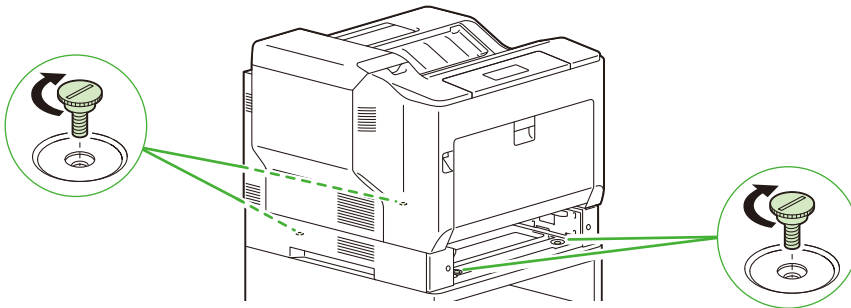
トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。



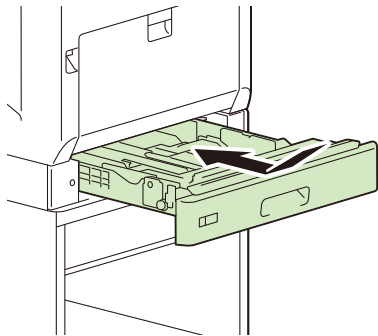
6. 付属の4つのネジを、本機の内側にある4つの穴に差し込んでしっかり締め、本機を専用キャビネットに固定します。

 **補足**

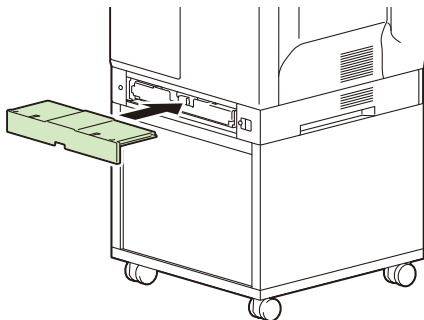
- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。



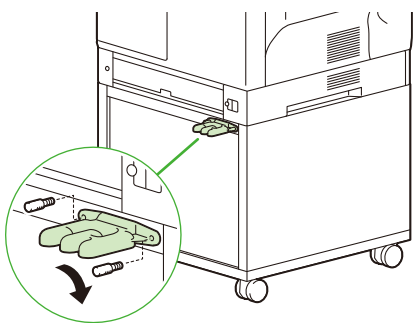
7. トレイを本機に戻します。トレイは、奥までしっかり押し込んでください。



8. 本機の背面に、ダストカバーを戻します。

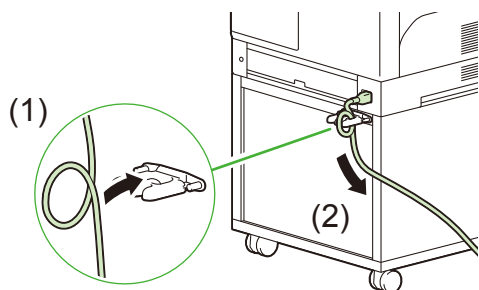


9. ケーブルフックを、付属のネジで専用キャビネットの背面に取り付けます。



10. 電源コードを、本機背面の電源コード接続部に差し込みます。

11. 電源コードで輪を作り、ケーブルフックの溝に通し (1)、電源コードがたるまないように軽く引きます (2)。



12. 電源コードのもう片方を、コンセントに差し込みます。

10.4 専用キャスター台の取り付け

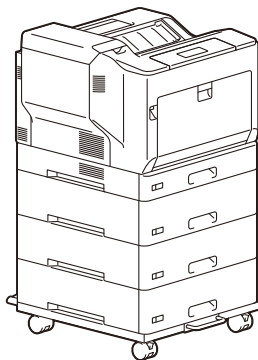
注記

- 本機を持ち上げるときは、本機正面（操作パネル側）に向かって左右両側の、下方にあるくぼみに3人で手をかけ、しっかりと持ってください。指示した場所以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。
- 本機を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- 本機の設置後に専用キャスター台を取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

専用キャスター台の取り付け例

専用キャスター台は、本機の直下、および別オプションのトレイモジュールに取り付けることができます。また、トレイモジュールと組み合わせる場合は、次の図のような構成で使用できます。

トレイモジュール（最大3段）と専用キャスター台

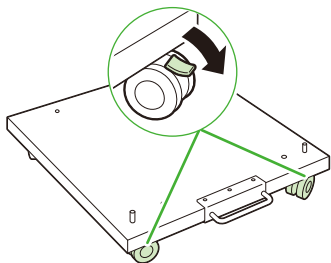


取り付け手順

トレイモジュール（オプション）に専用キャスター台を取り付ける場合を例に説明します。

本機の直下に取り付ける場合も、手順は同じです。以下の手順の「トレイモジュール」を「本機」に読み替えてください。

1. 専用キャスター台を平らな場所に置き、前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。



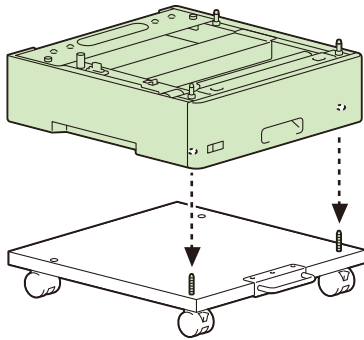
注記

- ストッパーをロックしないと、思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

補足

- 専用キャスター台は、取っ手が付いているほうを前面にしてください。

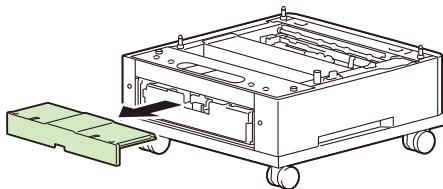
2. トレイモジュールと専用キャスター台の角を合わせ、専用キャスター台の2つのガイドピンが、トレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。



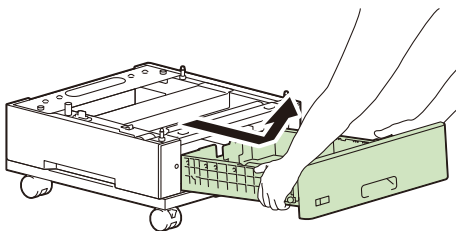
❗ 注記

- トレイモジュールを専用キャスター台の上を下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

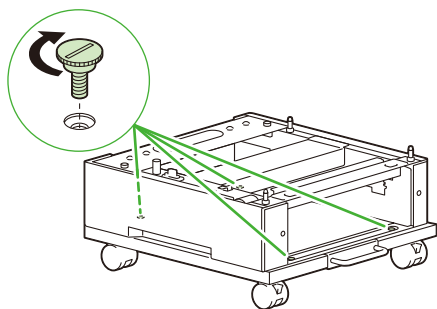
3. トレイモジュールの背面から、ダストカバーを取り外します。



4. トレイモジュールのトレイを、止まるまで手前にゆっくりと引き出します。トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、トレイモジュールから取り外します。



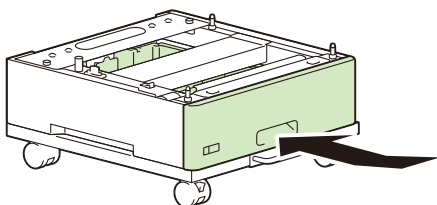
5. 本機に付属の4つのネジを、トレイモジュールの内側にある4つの穴に差し込んでしっかり締め、トレイモジュールを専用キャスター台に固定します。



💡 補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

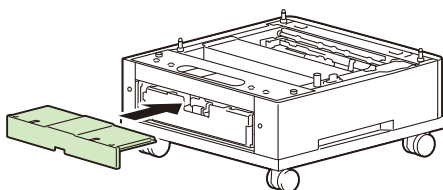
6. トレイをトレイモジュールに戻します。
トレイは、奥までしっかり押し込んでください。



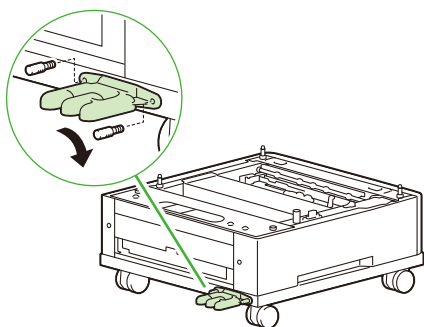
⚠ 注記

- トレイを押し込むとき、トレイと本機、またはトレイとトレイの間に指を挟まないように注意してください。

7. トレイモジュールの背面に、ダストカバーを戻します。



8. ケーブルフックを、付属のネジで専用キャスター台の背面に取り付けます。



9. トレイモジュール (2 段以上取り付ける場合)、または本機を取り付けます。

注記

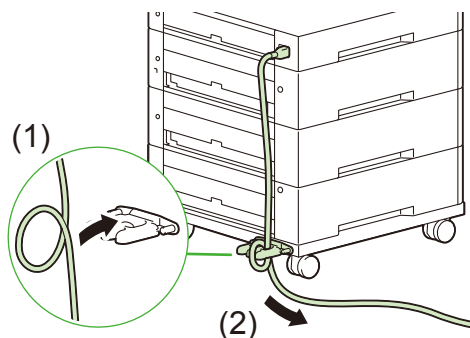
- 本機は、必ず 3 人以上で持ち上げてください。

参照

- 取り付け手順については、「トレイモジュールの取り付け」(P.272) を参照してください。

10. 電源コードを、本機背面の電源コード接続部に差し込みます。

11. 電源コードで輪を作り、ケーブルフックの溝に通し (1)、電源コードがたるまないように軽く引きます (2)。



12. 電源コードのもう片方を、コンセントに差し込みます。

10.5 ストレージの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)

ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) を取り付けると、次の機能が利用できます。

増設すると有効になる機能	増設すると機能が向上する機能
<ul style="list-style-type: none">• 電子ソート• サンプルプリント• セキュリティープリント• メール受信プリント• プライベートプリント• 認証プリント• 時刻指定プリント• Google クラウド プrint• フォントダウンロード• セキュリティ拡張キット (ペーパーセキュリティー機能、イメージログ管理機能)• IPSec の証明書機能• 外部認証の認証情報キャッシュ機能• ThinPrint 機能	<ul style="list-style-type: none">• フォームなどの登録数• スプール容量• ログ採取数

注記

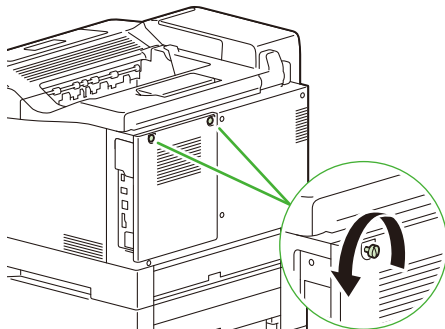
- 一度取り付けしたストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) は、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

1. (電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

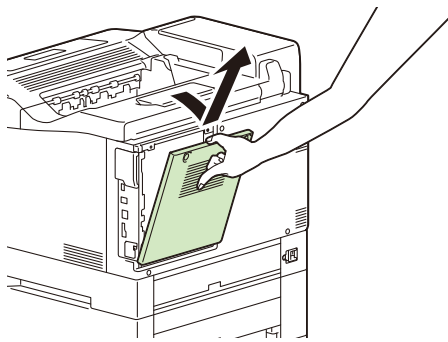
注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

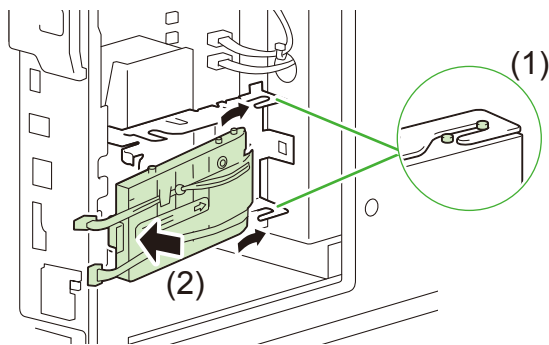
2. 背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。



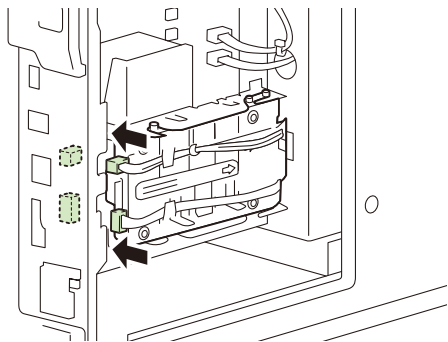
3. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



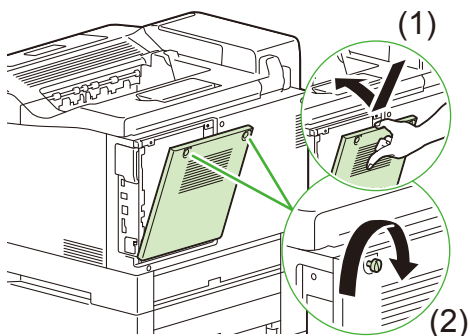
4. ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））の突起部をフレームのくぼみに正しくはめ（1）、コネクタケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます（2）。



5. ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 dのみ））のコネクタケーブルを、コントローラーボード上のコネクタに接続します。




6. 背面カバーを戻し、ネジで2か所を固定します。

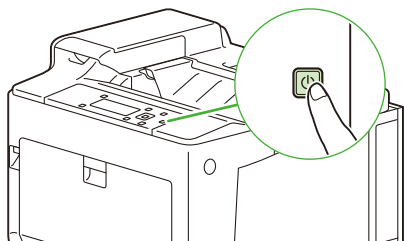


注記

- 背面カバーは、図の(1)のとおり下に押し付けながら閉めてください。

7. 電源コードを接続します。

8.  (電源/節電) ボタンを押し、電源を入れます。



補足

- [機能設定リスト] をプリントすると、ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が正しく取り付けられたかどうかを確認できます。
- ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) の取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ストレージの交換について

取り付けられているストレージの種類 (機能拡張キット (ハードディスク) またはストレージ (SSD)) を変更する場合は、下記の操作を行います。

1. 背面カバーを取り外して、ストレージを取り外します。
2. 背面カバーを戻して電源を入れ、再度電源を切ります。
3. 新しいストレージを取り付けます。

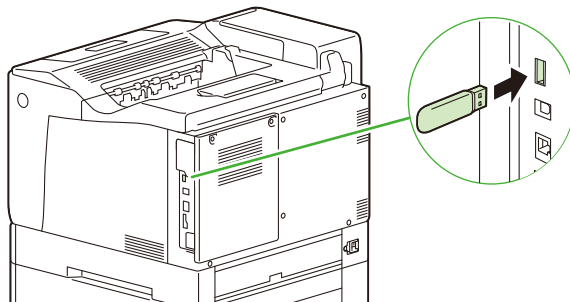
10.6 PostScript ソフトウェアキットの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)

1. (電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

2. Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを用意します。
3. キャップを外し、本機背面の USB コネクター (上側) に挿入します。



注記

- 挿入した Adobe® PostScript® ソフトウェアキットは、設定が完了するまで取り外さないでください。

4. 電源コードを接続します。
5. (電源/節電) ボタンを押し、電源を入れます。
これで、Adobe® PostScript® ソフトウェアキットのインストール準備は完了です。
続けて、操作パネルで、Adobe® PostScript® ソフトウェアキットの機能を有効に設定します。
6. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

7. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

9. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

10. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。

[音の設定] が表示されます。

11. [ソフトウェア オプション] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

システム設定
ソフトウェア オプション

12. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンを押します。

[有効化] が表示されます。

ソフトウェア オプション
有効化

 **補足**

- [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが正しく取り付けられていません。Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを取り付け直してください。

13. 〈OK〉 ボタンを押します。

[[OK] で有効化開始] が表示されます。

ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始

14. 〈OK〉 ボタンを押します。

有効化処理が終了すると、[有効化しました] と表示され、自動的に本機が再起動します。

15. Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを取り外します。

10.7 セキュリティ拡張キットの取り付け (DocuPrint C3550 d のみ)

注記

- セキュリティ拡張キットは、一度プリンターに取り付け、操作パネルから有効に設定すると、ほかのプリンターで使用できなくなります。

補足

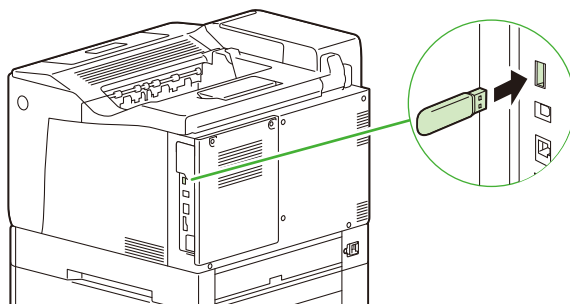
- セキュリティ拡張キットを取り付けるときは、ストレージ（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））も必要です。

1. 電源/節電 ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

2. セキュリティ拡張キットを用意します。
3. キャップを外し、本機背面の USB コネクター（上側）に挿入します。



注記

- 挿入したセキュリティ拡張キットは、設定が完了するまで取り外さないでください。

4. 電源コードを接続します。
5. 電源/節電 ボタンを押し、電源を入れます。
これで、セキュリティ拡張キットのインストール準備は完了です。
続けて、操作パネルで、セキュリティ拡張キットの機能を有効に設定します。
6. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
7. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、[▼] ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

9. [システム設定] が表示されるまで、[▼] ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

10. <▶> または <OK> ボタンを押します。

[音の設定] が表示されます。

11. [ソフトウェア オプション] が表示されるまで、[▼] ボタンを押します。

システム設定
ソフトウェア オプション

12. <▶> または <OK> ボタンを押します。

[有効化] が表示されます。

ソフトウェア オプション
有効化

 **補足**

- [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、セキュリティ拡張キットが正しく取り付けられていません。セキュリティ拡張キットを取り付け直してください。

13. <OK> ボタンを押します。

[[OK] で有効化開始] が表示されます。

ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始

14. <OK> ボタンを押します。

有効化処理が終了すると、[有効化しました] と表示され、自動的に本機が再起動します。

15. セキュリティ拡張キットを取り外します。

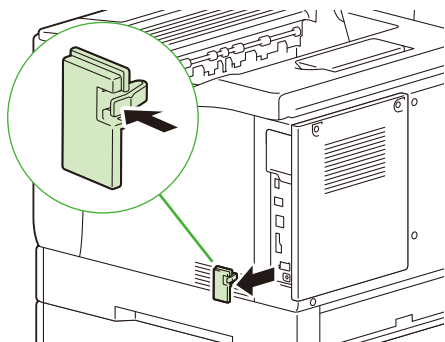
10.8 セカンダリーイーサネットキットの取り付け

1. 電源/節電 ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

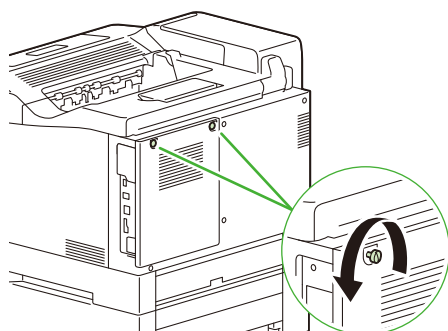
注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約40分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

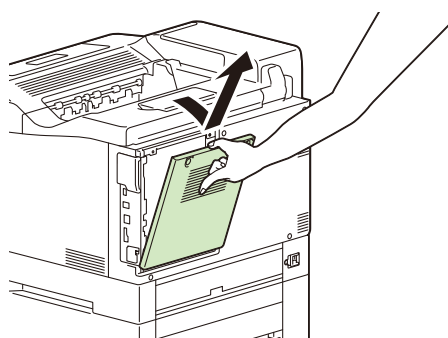
2. つまみを押しながら、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



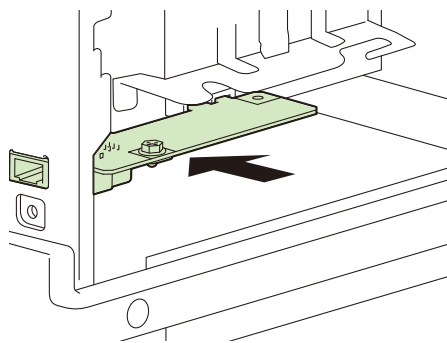
3. 背面カバーの2か所のネジを緩めます。



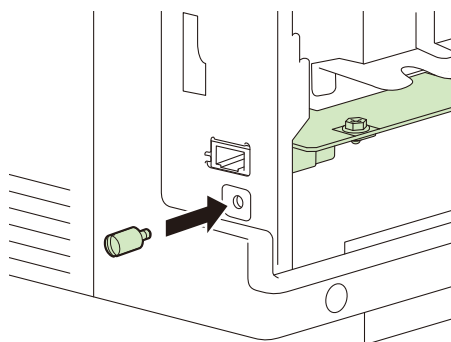
4. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



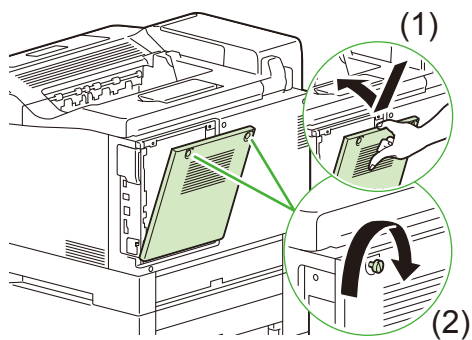
5. セカンダリーイーサネットキットをコントローラーボードのコネクターに差し込みます。



6. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットキットを固定します。



7. 背面カバーを戻し、ネジで2か所を固定します。

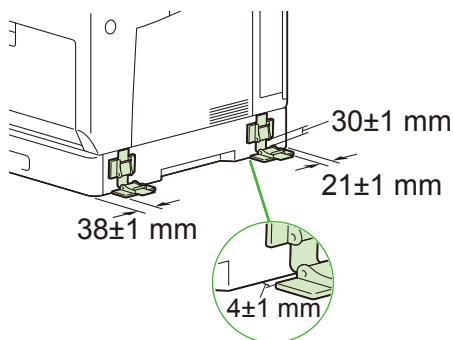


注記

- 背面カバーは、図の(1)のとおり下に押し付けながら閉めてください。

10.9 地震対策キット（バンドタイプ）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。
2. ①(電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。
3. 本機と接地面の、留め具を取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。
4. 留め具の粘着パッドの剥離紙をはがします。
5. 接地面側に留め具を貼り付けます。



💡 補足

- 留め具を貼り付ける位置は、トレイモジュール（オプション）を取り付けている場合も同じです。

6. ベルトがたるまないようにして、本機側にもう一方の留め具を貼り付けます。

💡 補足

- ベルトがたるんだ場合は、本機側の留め具のロックレバーを解除してベルトを引っ張り、再度留め具を固定します。

7. 手順 4～6 を繰り返し、本機の左側面と右側面の合計 4 箇所固定します。

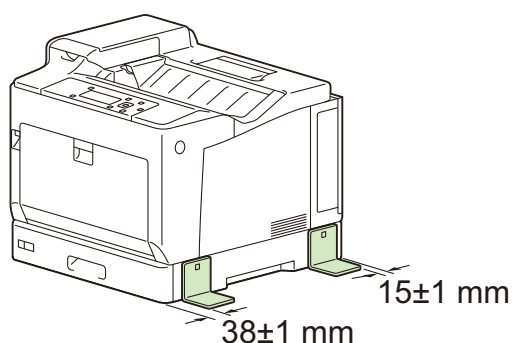
8. 留め具を強く押ししっかり接着し、24 時間放置します。

💡 補足

- 留め具の使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

10.10 地震対策キット（ゲルタイプ）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。
2. ①(電源/節電) ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。
3. 本機と接地面の、ゲルを取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。
4. ゲルの剥離紙をはがします。
5. 次の位置にゲルを貼り付けます。マークがあるほうを本機側に貼り付け、本機の左側面と右側面の合計 4 箇所固定します。



💡 補足

- 留め具を貼り付ける位置は、トレイモジュール（オプション）を取り付けている場合も同じです。

6. ゲルを強く押ししっかり接着し、24 時間放置します。

💡 補足

- ゲルの使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

11 付録

11.1 主な仕様

商品コード

- DocuPrint C3550 d : NL300071
- DocuPrint C2550 d : NL300072

形式

デスクトップ

プリント方式

レーザーゼログラフィー

注記

- 半導体レーザー + 乾式電子写真方式。

ウォームアップ時間

19 秒以下（電源投入時、室温 23°C）（スリープモード時は 12 秒以下）

注記

- 当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。
- スリープモード時の値は、1 時間以内に再起動をかけた場合、1 時間以内でもご使用の条件によっては、12 秒を超える場合があります。

連続プリント速度

DocuPrint C3550 d

- 片面印刷時
 - A4 ヨコ：カラー 35 枚 / 分、モノクロ 35 枚 / 分
 - A3：カラー 19.8 枚 / 分、モノクロ 19.8 枚 / 分
- 両面印刷時
 - A4 ヨコ：カラー 25 ページ / 分、モノクロ 25 ページ / 分
 - A3：カラー 12.9 ページ / 分、モノクロ 12.9 ページ / 分

DocuPrint C2550 d

- 片面印刷時
 - A4 ヨコ：カラー 30 枚 / 分、モノクロ 30 枚 / 分
 - A3：カラー 17.2 枚 / 分、モノクロ 17.2 枚 / 分
- 両面印刷時
 - A4 ヨコ：カラー 21 ページ / 分、モノクロ 21 ページ / 分
 - A3：カラー 10.6 ページ / 分、モノクロ 10.6 ページ / 分

注記

- 同一原稿連続プリント時。郵便はがき（日本郵便製）、厚紙等の用紙種類、サイズやプリント条件によっては、プリント速度が低下します。また、画質調整のため、プリント速度が低下する場合があります。

ファーストプリント時間

DocuPrint C3550 d

- A4 ヨコ：カラー 9.1 秒、モノクロ 7.9 秒

DocuPrint C2550 d

- A4 ヨコ：カラー 9.9 秒、モノクロ 8.3 秒

注記

- 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。

解像度

標準

- ART EX ドライバー：

標準：600×600 dpi^{*1}、高画質：600×600 dpi^{*1}、高精細：1200×1200 dpi^{*2*3}

オプション

- Adobe® PostScript® 3™ ドライバー：

標準：600×600 dpi^{*1}、高画質：600×600 dpi^{*1}、高精細：1200×1200 dpi^{*2*3}

*1：多値制御により 9600 dpi 相当 ×600 dpi の印刷が行えます。

*2：1200×1200 dpi 時の連続プリント速度は半分になります。

*3：標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript® ソフトウェアキットが必要です。

階調

各色 256 階調 (1670 万色)

用紙サイズ

標準トレイ

- A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、11×17"、ユーザー定義用紙（幅 210～297 mm×長さ 148～432 mm）^{*1*2}

手差しトレイ

- A3、B4、A4、B5、A5、B6^{*1}、A6^{*1}、7.25×10.5^{*1}、8.5×13^{*1}、リーガル、レター、11×17"、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、往復はがき（日本郵便製）^{*1}、封筒（長形 3 号、洋長形 3 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号、C5、モナーク、#10、DL）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 75～297 mm×長さ 98～1200 mm^{*1*2}、長尺紙 A（297×900 mm）、長尺紙 B（297×1200 mm））^{*1}

オプション：トレイモジュール

- A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、11×17"、ユーザー定義用紙（幅 210～297 mm×長さ 148～432 mm）^{*1*2}

両面印刷

- A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、11×17"、ユーザー定義用紙（幅 210～297 mm×長さ 148～432 mm）^{*1*2}

像欠け幅

- 先端／後端／左右端：4.1 mm

*1：標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。PostScript® ソフトウェアキット（オプション（DocuPrint C3550 d のみ））が必要です。

*2：幅 297 mm までの場合は長さ 420 mm まで、幅 279.4 mm までの場合は長さ 432 mm まで可能です。

注記

- 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズなど）によっては、正しくプリントできないことがあります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できないことがあります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生することがあります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じることがありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

用紙坪量

標準トレイ

- 60～216 g/m²

手差しトレイ

- 60～216 g/m²

オプション

- トレイモジュール：60～175 g/m²

両面印刷

- 60～105 g/m²

❗ 注記

- 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズなど）によっては、正しくプリントできないことがあります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できないことがあります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生することがあります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じることがありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

給紙容量

標準

- 標準トレイ：305 枚

- 手差しトレイ：190 枚

オプション

- トレイモジュール：670 枚

最大

- 2505 枚 [標準 + トレイモジュール 3 段]

❗ 注記

- 当社 P 紙 (64 g/m²)

出カトレイ容量

250 枚 (フェイスダウン)

❗ 注記

- 当社 P 紙 (64 g/m²)

両面機能

標準

メモリー容量

2 GB (最大 2 GB)

補助記憶装置容量

DocuPrint C3550 d

- ハードディスク (オプション)：44 GB 以上

- SSD (オプション)：44 GB 以上

❗ 注記

- 表記された容量のすべてを利用できるわけではありません。

搭載フォント

標準

- 日本語 2 書体 (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、欧文 21 書体、OCR-B フォント*1、バーコードフォント*1

オプション

- 日本語 2 書体 (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、欧文 136 書体、OCR-B フォント*1、バーコードフォント*1

日本語 2 書体 (モリサワ: リュウミン L-KL™、中ゴシック BBB™)、欧文 136 書体、OCR-B フォント*1、バーコードフォント*1

*1 :OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。

ページ記述言語

標準

- ART-EX

オプション

- Adobe® PostScript® 3™ (DocuPrint C3550 d のみ)

エミュレーション

ART IV、ESC/P、PCL5、PCL6、PC-PR201H (カラー対応)、HP-GL*1、HP-GL/2*1、HP RTL*1 (HP DesignJet 750C Plus)、TIFF、PDF、XPS (XML Paper Specification)、DocuWorks 文書 (XDW)、BMLinkS®

*1 :HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、すべてのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。

対応 OS

標準

- ART EX ドライバー :
 - Windows® 10 (32 ビット)
 - Windows® 10 (64 ビット)
 - Windows® 8.1 (32 ビット)
 - Windows® 8.1 (64 ビット)
 - Windows® 7 (32 ビット)
 - Windows® 7 (64 ビット)
 - Windows Server® 2019 (64 ビット)
 - Windows Server® 2016 (64 ビット)
 - Windows Server® 2012 R2 (64 ビット)
 - Windows Server® 2012 (64 ビット)
 - Windows Server® 2008 R2 (64 ビット)
 - Windows Server® 2008 (32 ビット)
 - Windows Server® 2008 (64 ビット)
- Mac OS X ドライバー :
 - macOS 10.15 / 10.14 / 10.13 / 10.12、OS X 10.11

オプション

- Adobe® PostScript® 3™ ドライバー (DocuPrint C3550 d のみ) :
 - Windows® 10 (32 ビット)
 - Windows® 10 (64 ビット)
 - Windows® 8.1 (32 ビット)
 - Windows® 8.1 (64 ビット)

Windows® 7 (32 ビット)
Windows® 7 (64 ビット)
Windows Server® 2019 (64 ビット)
Windows Server® 2016 (64 ビット)
Windows Server® 2012 R2 (64 ビット)
Windows Server® 2012 (64 ビット)
Windows Server® 2008 R2 (64 ビット)
Windows Server® 2008 (32 ビット)
Windows Server® 2008 (64 ビット)
macOS 10.15 / 10.14 / 10.13 / 10.12、OS X 10.11

! 注記

- 最新の対応 OS については弊社公式サイトをご覧ください。

インターフェイス

標準

- Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0

オプション

- Ethernet 1000BASE-T

対応プロトコル

TCP/IP (IPv4 / IPv6、lpd、IPP、Port9100、WSD (Web Services on Devices)、ThinPrint)、
BMLinkS®

電源

AC 100 V±10%、15 A、50 / 60 Hz 共用

! 注記

- 推奨コンセント容量。機械側最大電流は、15 A。

騒音

DocuPrint C3550 d

- 稼働時 (本体のみ) : 53.1db(A)
- レディー時 (本体のみ) : 13.9db(A)

DocuPrint C2550 d

- 稼働時 (本体のみ) : 51.7db(A)
- レディー時 (本体のみ) : 13.9db(A)

! 注記

- ISO7779 に基づいた測定
- 単位 B : 音響パワーレベル (LwAd)、単位 dB (A) : 放射音圧レベル (バイスタンダ位置)

最大消費電力

DocuPrint C3550 d

- 最大 : 1178 W、スリープモード時 0.7 W
- 平均 : レディー時 76 W、稼働時 746 W

! 注記

- 最大消費電力はフルオプション時。標準構成時 (オプション無し) は、1152 W。

DocuPrint C2550 d

- 最大：1171 W、スリープモード時 0.7 W
- 平均：レディー時 76W、稼働時 670 W

注記

- 最大消費電力はフルオプション時。標準構成時（オプション無し）は、1144 W。

エネルギー消費効率

DocuPrint C3550 d

- 83 kWh/年 区分：プリンター A

DocuPrint C2550 d

- 70 kWh/年 区分：プリンター A

注記

- 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。

外形寸法

幅 554.5× 奥行 538× 高さ 453 mm

注記

- A4 使用時。手差しトレイを折りたたんだ本体のみ。A3 使用時は奥行 610 mm になります。

質量

約 44.5 kg（消耗品含む）、約 40.9 kg（消耗品含まず）

使用環境

使用時

- 温度：10～32℃ 湿度：15～85%（結露による障害は除く）

非使用時

- 温度：-10～40℃ 湿度：5～85%（結露による障害は除く）

注記

- 使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招くことがあります。

11.2 消耗品、定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について

消耗品の寿命について

消耗品		プリント可能ページ数
機種共通	ドラムカートリッジ ブラック (K)	約 24000 ページ
	ドラムカートリッジ カラー (CMY) ※ドラムカートリッジカラー (CMY) はカラー各色共通で、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) すべてのドラムカートリッジを交換する場合は 3 本必要です。	約 24000 ページ
	トナー回収ボトル	約 24000 ページ
DocuPrint C3550 d	トナーカートリッジ ブラック (K) 標準容量品	約 7000 ページ
	トナーカートリッジ シアン (C) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ ブラック (K) 大容量品	約 15000 ページ
	トナーカートリッジ シアン (C) 大容量品	約 10000 ページ
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 大容量品	約 10000 ページ
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 大容量品	約 10000 ページ
DocuPrint C2550 d	トナーカートリッジ ブラック (K) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ シアン (C) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 標準容量品	約 6000 ページ
	トナーカートリッジ ブラック (K) 大容量品	約 10000 ページ
	トナーカートリッジ シアン (C) 大容量品	約 10000 ページ
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 大容量品	約 10000 ページ
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 大容量品	約 10000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 10% (温度 23 °C、湿度 55%)、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、白黒カラー自動選択、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。

プリンターで [カラー (自動)] を選択した場合は、モノクロページであっても、データによってはカラーのドラムが消耗する場合があります。

- トナー回収ボトルについて
プリント可能ページ数は、A4□サイズ、片面プリント、像密度各色 10% (温度 23℃、湿度 55%)、カラー・モノクロ比率 5:5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジおよびドラムカートリッジをご使用ください。



補足

- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は、約 3000 ページです。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、適切な処理が必要です。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/cru/printer/>

定期交換部品、ユーザーメンテナンスキット品の寿命について

部品によっては寿命がくるとエラーコードが表示されます。部品名、交換寿命、およびエラーコードは次のとおりです。

部品名	交換寿命	エラーコード
定着ユニット *1	約 100000 ページまたは通電時間 5000 時間のどちらか早い方	—
転写ユニット	約 100000 ページ	094-417
中間転写ユニット *2	約 100000 ページ	094-419
現像器キット (イエロー)	約 100000 ページ	093-414
現像器キット (マゼンタ)	約 100000 ページ	093-415
現像器キット (シアン)	約 100000 ページ	093-416
現像器キット (ブラック)	約 100000 ページ	093-417
用紙搬送ロール (トレイ用) *3	約 100000 ページ	—
用紙搬送ロール (手差しトレイ用)	約 100000 ページ	—
600K キット *4	約 600000 ページ	092-402

*1 : スポット保守サービス契約のお客様はユーザーメンテナンスキット品となり、お客様自身での交換となります。交換方法については、「ユーザーメンテナンスキット品を交換する」(P.181) を参照してください。年間保守サービス契約のお客様は定期交換部品となります。

*2 : 用紙搬送ロール (トレイ用 3 個、手差しトレイ用 2 個) を含む

*3 : オプションのトレイモジュール用 3 個

*4 : 600K キットの交換は、DocuPrint C3550 d のみです。DocuPrint C2550 d の場合は、装置寿命になります。



注記

- プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。

交換の周期は、A4□の普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なることがあります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づきプリントページ数に置き換

えて表示しているためです。

定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。

保守サービスの種類によっては、定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。

無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

- 定着ユニットについて

本機の定着ユニットは、交換の目安として 10 万ページとしていますが、定着ユニットへの通電時間が大きく影響します。次のようなときには通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。

- プリント出力の待ち時間を少なくするために、スリープモードの移行時間を長く設定したとき

例) スリープモードへの移行時間を 60 分に変更すると、プリント頻度が少ない場合は交換目安の 1/3 以下になる場合があります。

- カラートナーの交換メッセージが表示されたままですべての白黒プリントをされているとき

スリープモードに移行されませんので、長期間そのままでご使用された場合は大きく影響します。できるだけ早めに消耗品を交換していただくことをおすすめします。

補足

- 部品によっては、寿命に達する前に、まもなく寿命がくることを示す [交換時期] というメッセージが表示されます。600K キットは約 30000 ページ前、それ以外の定期交換部品は 1200 ページ前に表示されます。

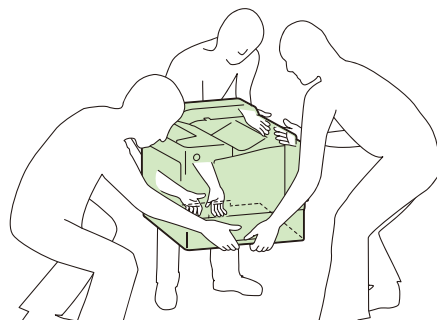
補修用性能部品およびユーザーメンテナンスキット品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

11.3 本機を移動する

注記

- 必ず3人以上で持ち運んでください。
- オプションのトレイを取り付けている場合は、プリンター本体から取り外して運搬してください。プリンター本体との固定が不十分な場合、落下によるケガの原因になります。



1. 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。
2. トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。
3. 本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。

補足

- 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

11.4 本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピューターから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次の URL からダウンロードできます。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。

11.5 エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。

エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード (ESC/P モード)	VP-1000
201H エミュレーションモード (201H モード)	PC-PR201H
HP-GL エミュレーションモード (HP-GL モード)	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード (HP-GL/2 モード)	DJ750C Plus
PCL エミュレーションモード (PCL モード)	HP-CLJ5500

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

プリント言語を切り替える方法は次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定して切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で表示するエミュレーションモードを選んでください。



補足

- ART IV には、モードメニュー画面はありません。

使用できるフォント

使用できるフォントは、[フォントリスト] および [PCL フォントリスト] で確認できます。

ART IV、ESC/P エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

N アップ (ESC/P)

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART IV エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は次のとおりです。

- Code39
- JAN-8
- JAN-13
- Code 128
- NW7 (CODABAR)
- ITF (Interleaved 2 of 5)
- IDF (Industrial 2 of 5)
- Post (Japanese postal Customer Code)
- QR Code
- Matrix 2 of 5

フォームについて

ART IV または ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。

登録できるフォームの数は次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ストレージなし	64	64
ストレージあり	2048	64

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。フォームが登録されたかどうかは、[ART IV,PR201H,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

ART IV および ESC/P に関連する設定メニュー

[ネットワーク / ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定をします。

- ポートの起動 (LPD / IPP / USB / Port9100)
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定 (LPD / IPP / USB / Port9100)

各ポートのプリントモード指定を、ART IV または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART IV] や [ESC/P]、[自動]などを指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [ART IV] や [ESC/P] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.307)で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

[メモリー設定]

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、ART IV のフォームおよびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ART IV フォームメモリー
128 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [128KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。ストレージ (オプション (DocuPrint C3550 d のみ)) が取り付けられている場合は、[ストレージ] と表示されます。
- ART IV ユーザー定義メモリー
32 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [32KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

[フォーム / マクロの削除]

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

ESC/P 設定項目一覧

[プリント機能メニュー]

◆ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

◆ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ~ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

◆ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

補足

- [用紙]、[用紙] を選んだ場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

◆ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

◆ [プリント部数]

- [部数の入力]

プリントする部数を設定します。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するとき、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。

- [部数の優先指定]
プリント部数の指定方法を設定します。

◆ [倍率]

- [固定倍率]
設定されている [原稿サイズ] と [用紙サイズ] から倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。
- [任意倍率]
任意の倍率値を設定します。
- [カット紙全面]
カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

◆ [両面]

両面プリントを設定します。

◆ [2 アップ]

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。

◆ [手差し確認待ち]

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 (〈OK〉ボタンを押す) によって、プリントを開始する機能です。

◆ [フォント]

- [漢字書体]
2 バイト系文字 (漢字) の書体を、[明朝] または [ゴシック] から選びます。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。
- [英数字書体]
1 バイト系文字 (ANK) の書体を、[ローマン] または [サンセリフ] から選びます。

💡 補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

◆ [用紙位置]

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

[CSF なし]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字データに改ページ (FF) が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

[CSF あり]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字データに改ページ (FF) が含まれた場合、用紙を排出します。

◆ [位置補正]

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

◆ [罫線]

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

[イメージ]

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

◆ [印字制御]

• [漢字コード表]

使用する漢字コード表 (2121 ~ 287E) を設定します。

[エプソン]

セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。

[東芝]

株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。

• [白紙節約]

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

• [イメージエンハンス]

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

• [印字桁範囲]

右マージンの位置を拡張できます。

[標準]

右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

• [文字コード]

日本語表記に使用する文字コードを設定します。

• [キャラクターモード]

キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターに送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&\$\$」、「\$?!#」のどちらかを設定します。

[オフ]

キャラクターモードを設定しません。

[&\$\$Entry]

開始宣言文字列に「&\$\$」を使用します。

[\$?!#Entry]

開始宣言文字列に「\$?!#」を使用します。

◆ [ESCP スイッチ]

補足

- [文字品位]、[縮小文字]、[文字コード表]、[ページ長] および [1 インチ ミリ目スキップ] の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

• [文字品位]

文字の印字品質モードを選びます。

補足

- 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。

- 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。
文字品位選択コマンドについては、商品マニュアルの「リファレンスマニュアル (ESC/P 対応)」を参照してください。
- [縮小文字]
1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。
- [文字コード表]
1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。
国内版アプリケーションをお使いの場合は [カタカナ] に、海外版アプリケーションをお使いの場合は [拡張グラフィック] に設定してください。
- [ページ長]
1 ページの長さ (印字エリア) を選びます。
- [1 インチ ミリ目スキップ]
ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。
- [給紙位置]
印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。
- [CR の機能]
CR コマンド受信時の動作を設定します。
[復帰]
印字復帰だけを行います。
[復帰 / 改行]
印字復帰し、直後に改行を行います。
- [0 の字体]
数字の 0 の字体を設定します。
- [バーコードモード]
バーコードをプリントするときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適したプリントができます。

◆ [拡張子指定]

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

◆ [拡張子文字]

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ~ 0x7d です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

◆ [フォーム合成]

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名 (各モード No.01 ~ 64) を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選んだあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から <▼> または <▲> ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージ

ジが表示されます。

[メモリーメニュー]

NV メモリー (No.01 ~ 20) に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

◆ [立ち上げメモリー]

[立ち上げメモリー] とは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー (No.01 ~ 20) を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー呼び出し]

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー登録]

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー (No.01 ~ 20) があります。

メモリー登録では、NV メモリー (No.01 ~ 20) にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

◆ [メモリー削除]

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

PC-PR201H エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PC-PR201H エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

フォーム合成

PC-PR201H エミュレーションモードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。PC-PR201H および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

フォームについて

PC-PR201H を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。フォームが登録されたかどうかは、[ART IV,PR201H,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

PC-PR201H に関連する設定メニュー

[ネットワーク/ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク/ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD / IPP / USB / Port9100)

201H エミュレーションを使用するポートを起動します。

- プリントモード指定 (LPD / IPP / USB / Port9100)

各ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [201H] や [自動] を指定できます。初期値はすべてのポートで [自動] です。

補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [201H] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.307) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

[フォーム / マクロの削除]

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

- 201H フォーム削除
201H 用のフォームを削除します。

201H 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

[プリント機能メニュー]

◆ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

◆ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ~ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

◆ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

補足

- ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- [用紙]、[用紙] を選択した場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

◆ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

◆ [プリント部数]

- [部数の入力]

プリントする部数を設定します。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- [部数の優先指定]
プリント部数の指定方法を設定します。

◆【倍率】

•【固定倍率】

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら 100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

•【任意倍率】

任意の倍率値を設定します。

•【カット紙全面】

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

◆【両面】

両面プリントを設定します。

◆【2 アップ】

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

◆【手差し確認待ち】

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（〈OK〉ボタンを押す）によって、プリントを開始する機能です。

◆【フォント】

•【漢字書体】

2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック] のどちらかに設定します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

•【英数字書体】

1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン]、[サンセリフ] のどちらかに設定します。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合は反映されません。

◆【用紙位置】

用紙位置およびシートフィーダー設定の有無を設定します。

[左]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[中央]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

[S 左]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[S 中央]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

補足

- 【原稿サイズ】で連続紙を選んでいる場合は、各原稿サイズによって【用紙位置】の値は固定となり、変更できません。

[R15x12"□]、[R15x11"□] の場合：[左]

[R10x12"□]、[R10x11"□] の場合：[中央]

◆【位置補正】

データをプリントする位置を上下または左右方向に移動し、余白の位置を変えます。

◆ [罫線]

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

[イメージ]

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

◆ [印字制御]

• [白紙節約]

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

• [イメージ エンハンス]

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

• [印字桁範囲]

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は次のとおりです。

[標準]

右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

◆ [201H スイッチ]

• [国別文字]

使用する文字を設定します。

• [自動改行]

右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。

候補値は次のとおりです。

[CR]

印字復帰だけを行います。

[CR/LF]

印字復帰後に改行を行います。

• [印字指令]

印字指令のコマンドを設定します。

候補値は次のとおりです。

[CR]

印字指令のコマンドを CR のみとします。

[すべて]

印字指令のコマンドを CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。

• [CR の機能]

CR コマンド受信時の動作を設定します。

候補値は次のとおりです。

[復帰]

印字復帰だけを行います。

[復帰 / 改行]

印字復帰し、直後に改行を行います。

- [0 の字体]
数字の 0 の字体を設定します。
- [グラフィックドット数]
ドット対応のグラフィックドット数の種類を設定します。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。
- [データサイズ]
データのビットサイズを設定します。
- [ページ長]
1 ページの長さ（印字エリア）を設定します。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

◆ [拡張子指定]

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン = 3BH））のことです。

◆ [拡張子文字]

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ~ 0x7d です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン = 3BH））のことです。

◆ [フォーム合成]

201H および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ~ 64）を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタン表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
- フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

[メモリーメニュー]

NV メモリー（No.01 ~ 05）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

◆ [立ち上げメモリー]

立ち上げメモリーとは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー（No.01 ~ 05）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー呼び出し]

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー登録]

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー (No.01 ~ 05) があります。

メモリー登録では、NV メモリー (No.01 ~ 05) にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

◆ [メモリー削除]

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて

HP-GL、HP-GL/2 に関連する設定メニュー

[ネットワーク/ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク/ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD / IPP / USB / Port9100)

エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

- プリントモード指定 (LPD / IPP / USB / Port9100)

各ポートのプリントモード指定を、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [HP-GL/2] や [自動] を指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [HP-GL/2] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.307) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

メモリー設定

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- [HPGL オートレイアウトメモリー]

オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。

参照

- HPGL オートレイアウトメモリーについては、「[メモリー設定]」(P.130) を参照してください。

HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

[プリント機能メニュー]

◆ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

◆ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

◆ [原稿サイズ]

クライアントで作成された、原稿のサイズを設定します。

◆ [座標回転]

プリントするときの用紙方向を設定します。

◆ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

◆ [オートレイアウト]

オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。

💡 補足

- [する] は、[原稿サイズ] で [自動] が選択されている場合にだけ表示されます。
- [しない] を選ぶと、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

◆ [パレット優先指定]

使用するパレットを設定します。

◆ [プリント部数]

- [部数の入力]
プリントする部数を設定します。

💡 補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- [部数の優先指定]
プリントする部数の指定方法を設定します。

◆ [両面]

両面プリントを設定します。

◆ [よこ原稿 180 度回転]

よこ原稿を 180 度回転してプリントします。

◆ [手差し確認待ち]

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 (〈OK〉ボタンを押す) によってプリントを開始します。

◆ [フォント]

- [漢字書体]
2 バイト系文字 (漢字) の書体を、[明朝]、[ゴシック]、[ストローク] の中から設定します。
- [英数字書体]
1 バイト系文字 (ANK) の書体を、[ストローク]、[ローマン]、[サンセリフ] の中から設定します。

◆ [位置補正]

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

◆ [印字制御]

- [HP-GL モード]

グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。

💡 補足

- BP コマンドがない HP-GL/2 データをプリントする場合は、[HP-GL/2] に設定してください。
- [ハードクリップ]
印字可能領域を設定します。
HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域は、ハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて、描画することはできません。
候補値は次のとおりです。
[標準]
A4、A3、レター、レジャーのハードクリップエリアは、日本ヒューレット・パカード株式会社の HP7550A と同じです。
ほかの用紙サイズのハードクリップエリアは、本プリンターの印字可能エリアと同じです。
[用紙]
用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。実際に印字できる範囲は、プリンターの印字可能エリアと同じです。
- [排出コマンド]
描画の終了を示すコマンド (SP、SPO、NR、FR、PG、AF、AH) について、[有効] または [無効] に設定します。ここで [有効] に指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SPO 以外のコマンドは [無効] に設定されています。

💡 補足

- 複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
- [スケール]
原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大/縮小 (スケーリング) するかしないかを設定します。
- [スケールモード]
オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアとするかを設定します。
[用紙サイズ]
原稿サイズは、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) の中から自動的に選択されます。
[座標エリア]
原稿サイズは、[エリア判定モード] で選択された方法によって求められた、有効座標エリアから、ペーパーマージンを差し引いたエリアとします。

💡 補足

- [原稿サイズ] で [自動] 以外が選択されている場合、[座標エリア] は選択できません。
- [座標エリア] は、[オートアウト] が [しない] の場合だけ設定できます。[する] の場合は、[用紙サイズ] になります。
- [エリア判定モード]
オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。
[自動]
有効座標エリア判定方法を、IW、IP、Adapted、PS の中から自動的に選択されます。このときの優先順位は、[PS] > [IW] > [IP] > [Adapted] となります。
[IW]
データ中の最後の IW コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に IW コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。
[IP]

データ中のすべての IP コマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中に IP コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[Adapted]

次の条件から、有効座標エリアを決定します。

- 描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標
- そのページ内に指定された最大の文字サイズ
- 最大の線幅

[PS]

データ中の最初の PS コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に PS コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

- [A°-P°-マージン]

オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。

- [IX-ジ エンハンス]

イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

補足

- [スケールモード]、[エリア判定モード]、[A°-P°-マージン] の設定は、[原稿サイズ] が [自動] の場合に有効となります。
- [エミュレーション対象]
エミュレートするプリンターを設定します。
[HP750C]
HP750C をエミュレートします。
[FX4036]
FX4036 をエミュレートします。

◆ [ペン属性]

16 本のペン ([No.00] ~ [No.15]) の属性を設定します。




作図する線の太さや色を設定できます。

パレット優先設定でメモリー登録設定をしたときに有効になります。

- [幅]

ペンの幅 (太さ) を設定します。

補足

- 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小 0.1 mm (0.01") まで縮小します。
- 線の幅は線を中心から太くなります。
- 太さが 0.0 mm (0.00") の場合は、何も描画されません。
- [先端]
ペンの先端を設定します。
[切断]
 • | : 座標指定位置
[丸め]
 • | : 座標指定位置
[矩形]
 • | : 座標指定位置
- [連結]
ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

[なし] :



[切断] :



[丸め] :



[交差] :



💡 補足

- [なし] は、処理時間が最も短く、確認用に適しています。
- シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HP-GL コマンドです。
- [カラー]
ペンの濃度を設定します。
数値が小さくなるほど、濃度が薄くなります。

💡 補足

- ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、ローマン、サンセリフ
幅	有効	無効
先端	有効	無効
連結	無効	
濃度	有効	

[メモリーメニュー]

NV メモリー (No.01 ~ 20) に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

◆ [立ち上げメモリー]

立ち上げメモリーとは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー (No.01 ~ 20) を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー呼び出し]

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

◆ [メモリー登録]

メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶している ROM と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー (No.01 ~ 20) があります。

メモリー登録では、NV メモリー (No.01 ~ 20) にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておく、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化またはメモリー削除を行うまで保持されます。

◆ [メモリー削除]

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

💡 補足

- メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ~ [No.20] は表示されません。
- 登録中、クライアントからのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから行うことをおすすめします。

PCL エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

PCL に関連する設定メニュー

[ネットワーク / ポート設定]

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、PCL エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD / IPP / USB / Port9100)
PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定 (LPD / IPP / USB / Port9100)
各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PCL] または [自動] を選びます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

💡 補足

- [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [PCL] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.307) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

[初期化 / データ削除]

- PCL マクロ削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] > [PCL マクロ削除] で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
- PCL フォント削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォント削除] > [PCL フォント削除] で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。

PCL 設定項目一覧

💡 補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

[プリント機能メニュー]

- ◆ [用紙トレイ]
プリントに使用する用紙トレイを設定します。
- ◆ [用紙サイズ]
プリントする用紙のサイズを設定します。
- ◆ [用紙サイズ (手差し)]
手差しトレイを使ってプリントする用紙のサイズを設定します。

◆ [印刷方向]

用紙のプリント方向を選びます。

◆ [両面]

両面プリントをするかしないかを設定します。

◆ [フォント]

使用するフォントを設定します。

◆ [シンボルセット]

使用する記号用フォントを設定します。

◆ [フォントサイズ]

フォントサイズを設定します。

◆ [フォントピッチ]

文字間を設定します。

◆ [フォームライン]

フォームライン (1 フォームあたりの行数) を設定します。

◆ [プリント部数]

• [部数の入力]

プリントする部数を設定します。



補足

• クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

• [部数の優先指定]

プリント部数の指定方法を設定します。

◆ [ImageEnhancement] (イメージエンハンス)

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

◆ [HexDump]

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを、16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントする機能です。

◆ [ドラフトモード]

ドラフトモードでは、トナーを節約してプリントします。品質は低下しますが、高速でプリントできます。

◆ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

◆ [Line Termination]

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF

設定値	CRの動作	LFの動作	FFの動作
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

11.6 lpr コマンドでプリントする

PDF ファイルや DocuWorks ファイルを、lpr コマンドを使ってプリントできます。

参照

- 設定項目については、「[PDF]」(P.136) または 「[XDW(DocuWorks)]」(P.138) を参照してください。

lpr コマンドを使ってプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- 空白 (スペース) は、△ で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```


12 操作パネルメニュー一覽

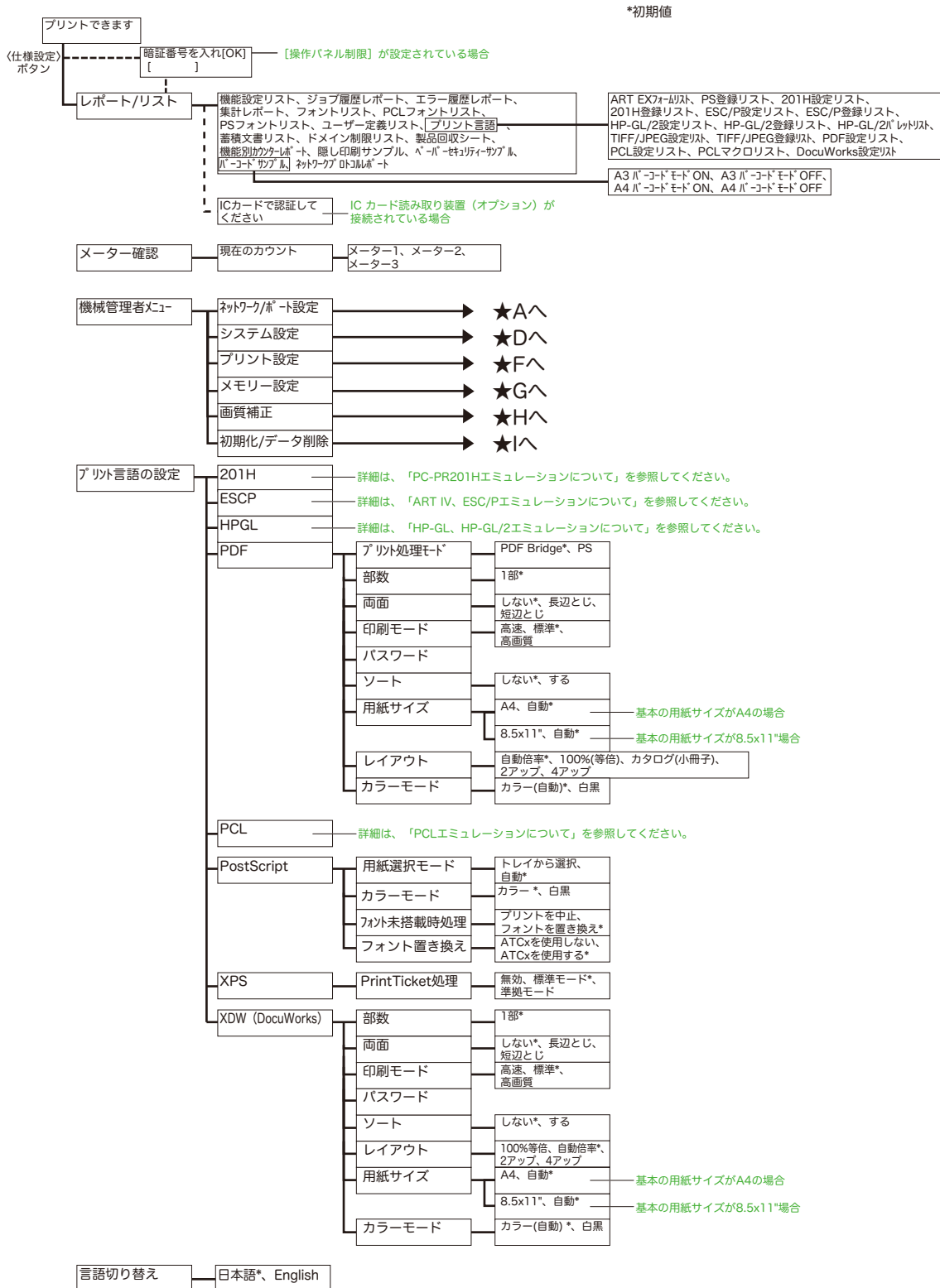
12.1 操作パネルの基本的な使い方

- メニューの上下を切り替えるには：〈▲〉または〈▼〉ボタン
- メニューを選択、右に進むには：〈▶〉または〈OK〉ボタン
- 選択を取り消し、左に戻るには：〈◀〉または〈戻る〉ボタン
- 値を確定するには：〈OK〉ボタン
- メニューを終了するには：〈仕様設定〉ボタン
- プリントメニューを始めるには：〈プリントメニュー〉ボタン
- **i**の詳しい表示を見るには：〈インフォメーション〉ボタン
- 数値入力時の数値を増減するには：〈▲〉または〈▼〉ボタン
- 数字の桁数、文字入力フィールドの移動は：〈▶〉または〈◀〉ボタン

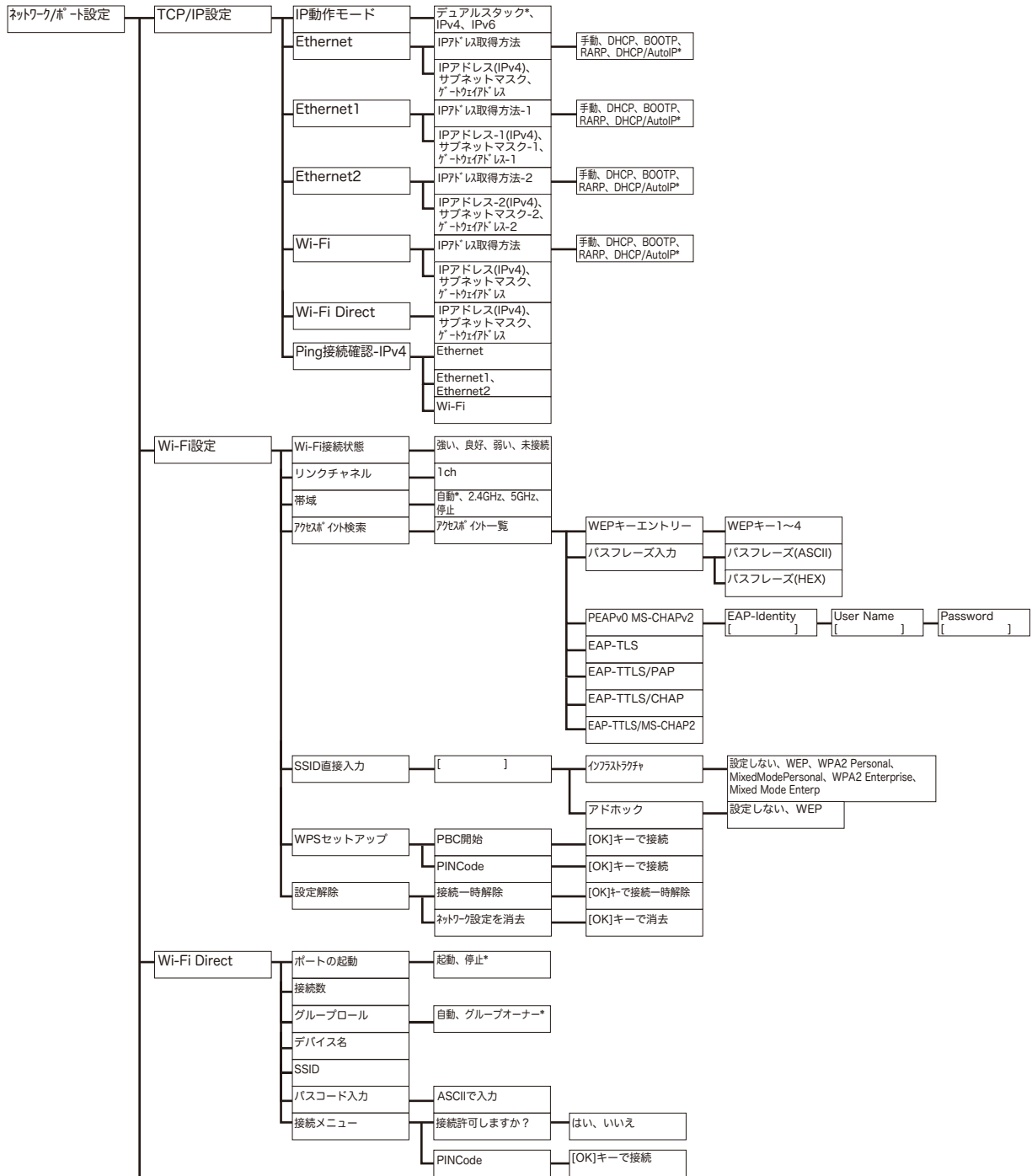
12.2 仕様設定メニュー

補足

• オプションの装備状況や設定によって、表示されないメニューがあります。

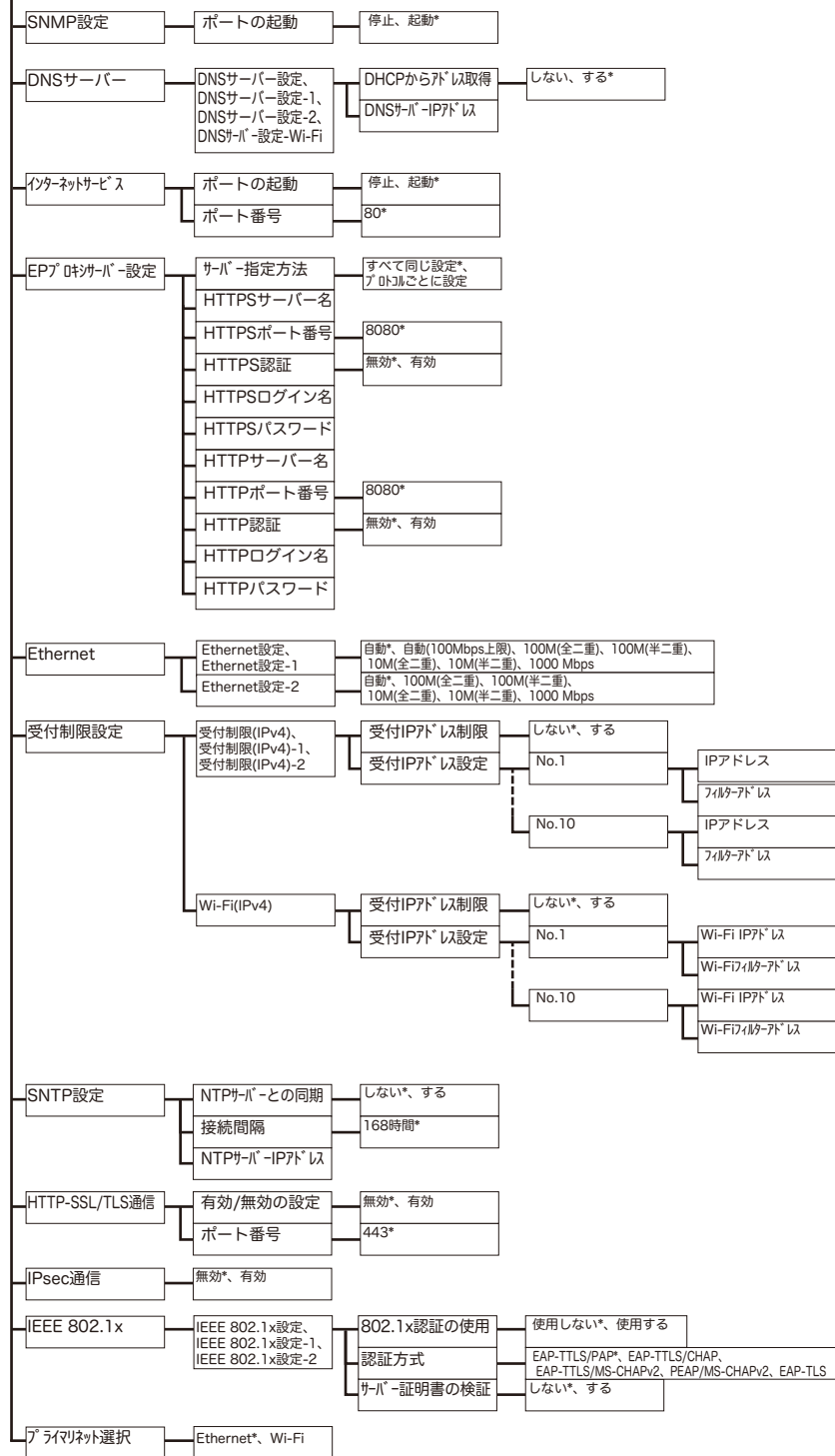


★A

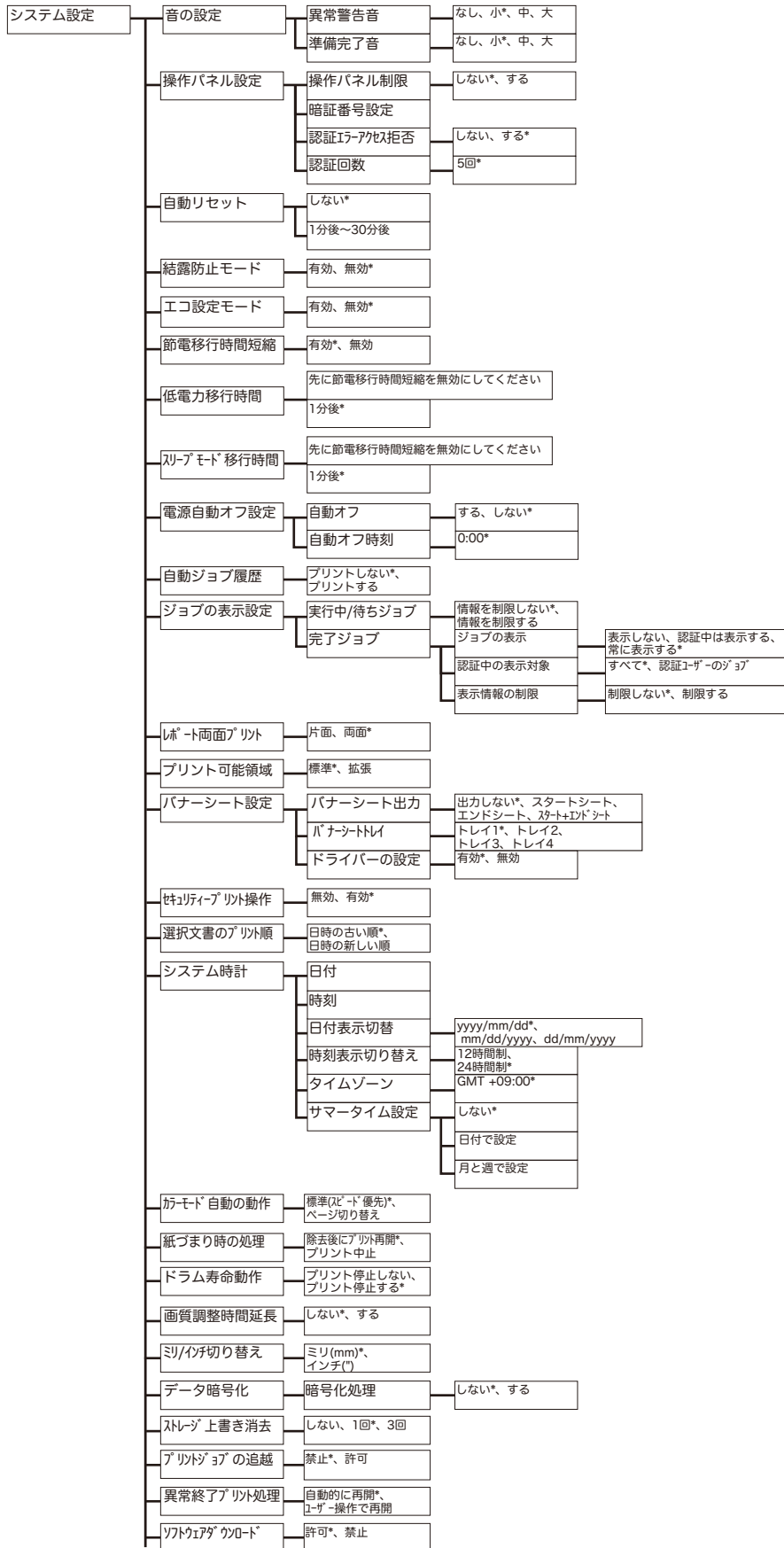


次ページ ★Bへ→

LPD	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	コネクションタイムアウト	16秒*
	TBCPフィルター	無効*、有効
	ポート番号	515*
	セッション数	5*
	プリント順序	データ処理順*、プリント受け付け順
IPP	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	アクセス権制御	無効*、有効
	DNS使用	無効*、有効*
	追加ポート番号	80*
	タイムアウト	60秒*
	TBCPフィルター	無効*、有効
Bonjour	ポートの起動	停止、起動*
USB	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	自動排没时间	30秒*
	Adobe通信プロトコル	標準*、バイナリー、TBCP、RAW
	PSE印刷待ちタイムアウト	無効*、有効
	ポートの固定	無効*、有効
Port9100	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	コネクションタイムアウト	60秒*
	ポート番号	9100*
	TBCPフィルター	無効*、有効
BMLinkS	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	80*
UPnP	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	80*
WSD	ポートの起動	停止、起動*
	ポート番号	80*
SOAP	ポートの起動	停止、起動*
	ポート番号	80*
ThinPrint	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	4000*
	SSL/TLS通信	無効*、有効

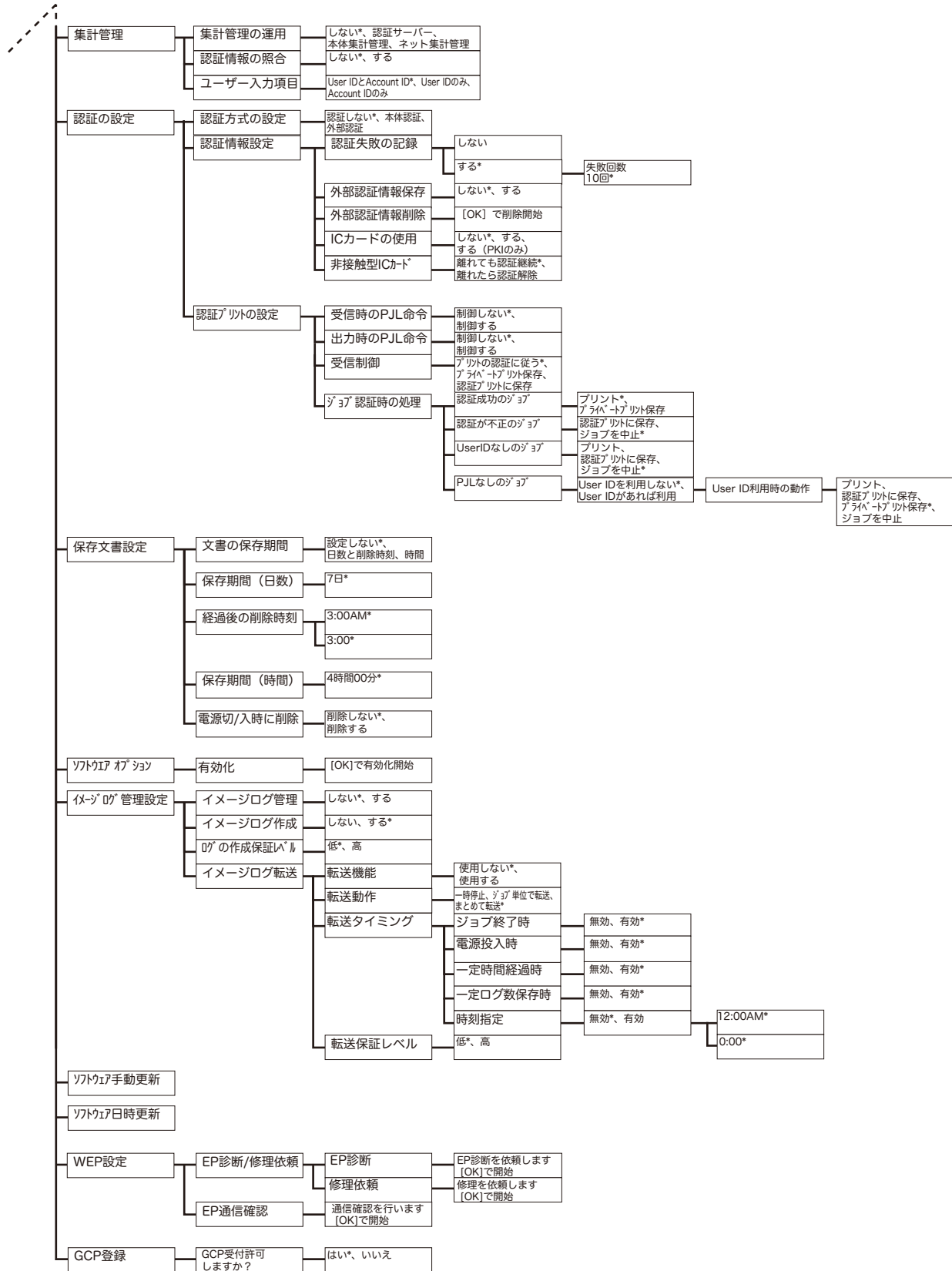


★D

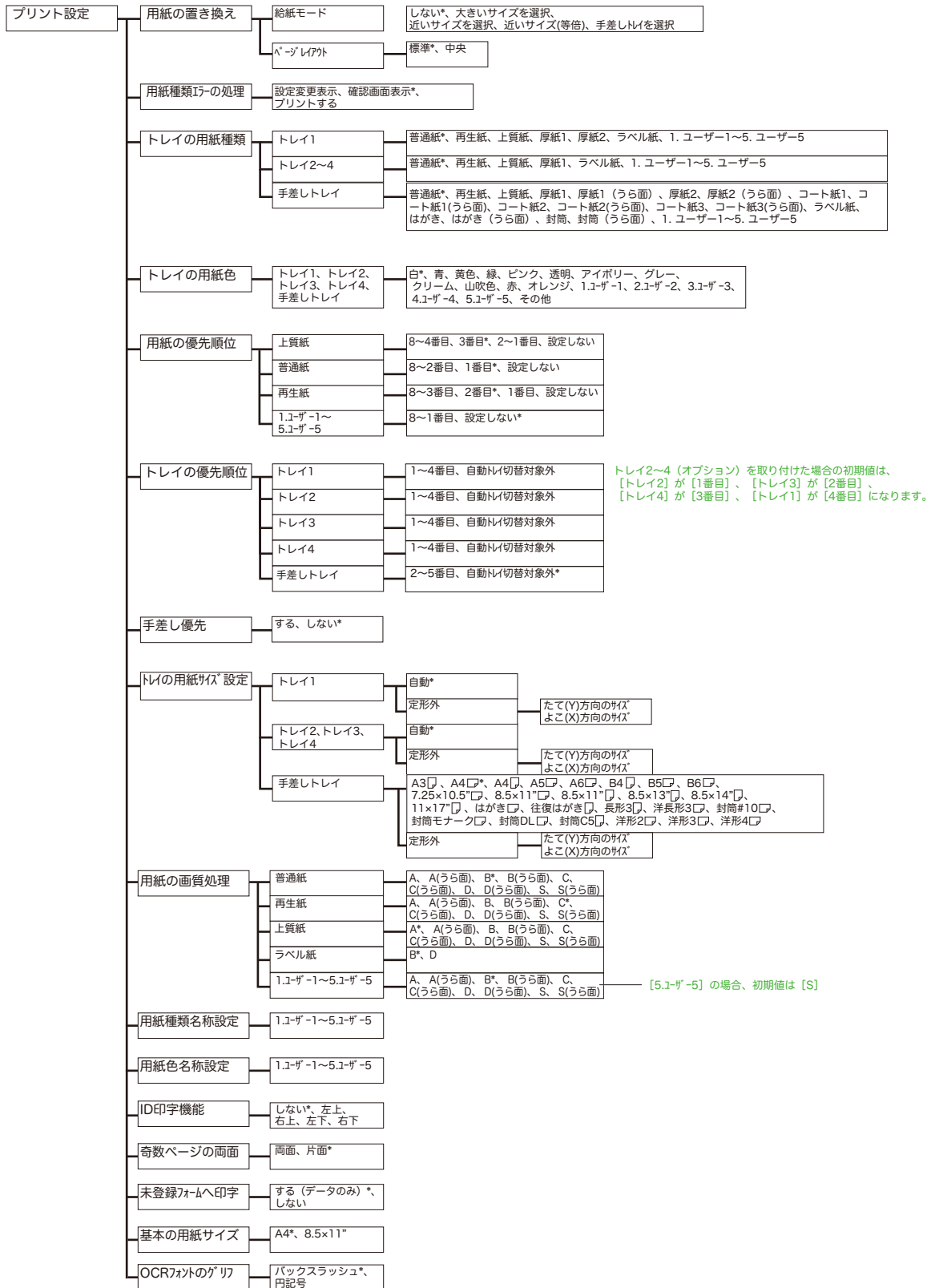


次ページ ★Eへ→

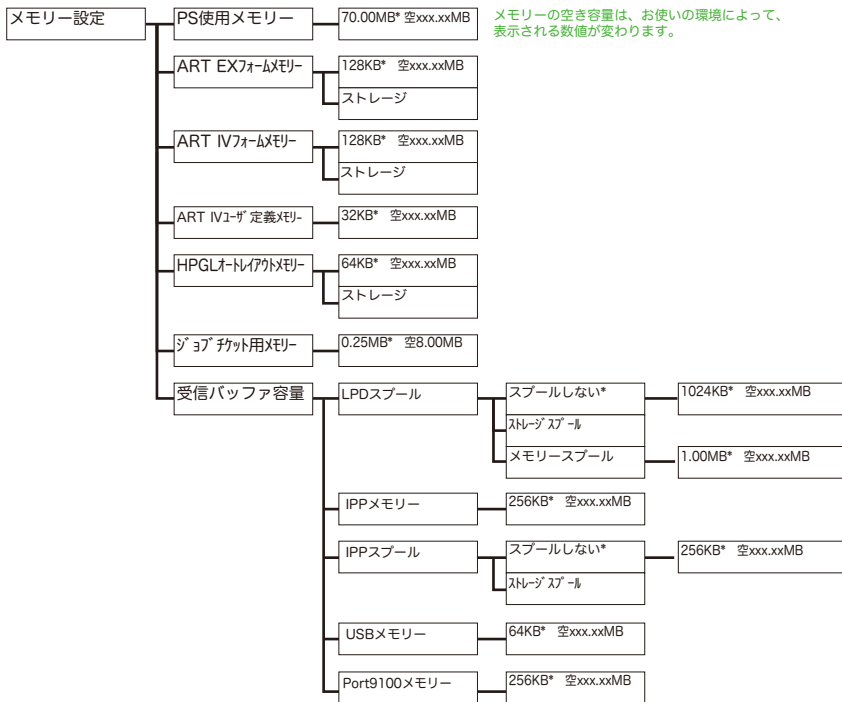
前ページから ★E (システム設定 つづき)



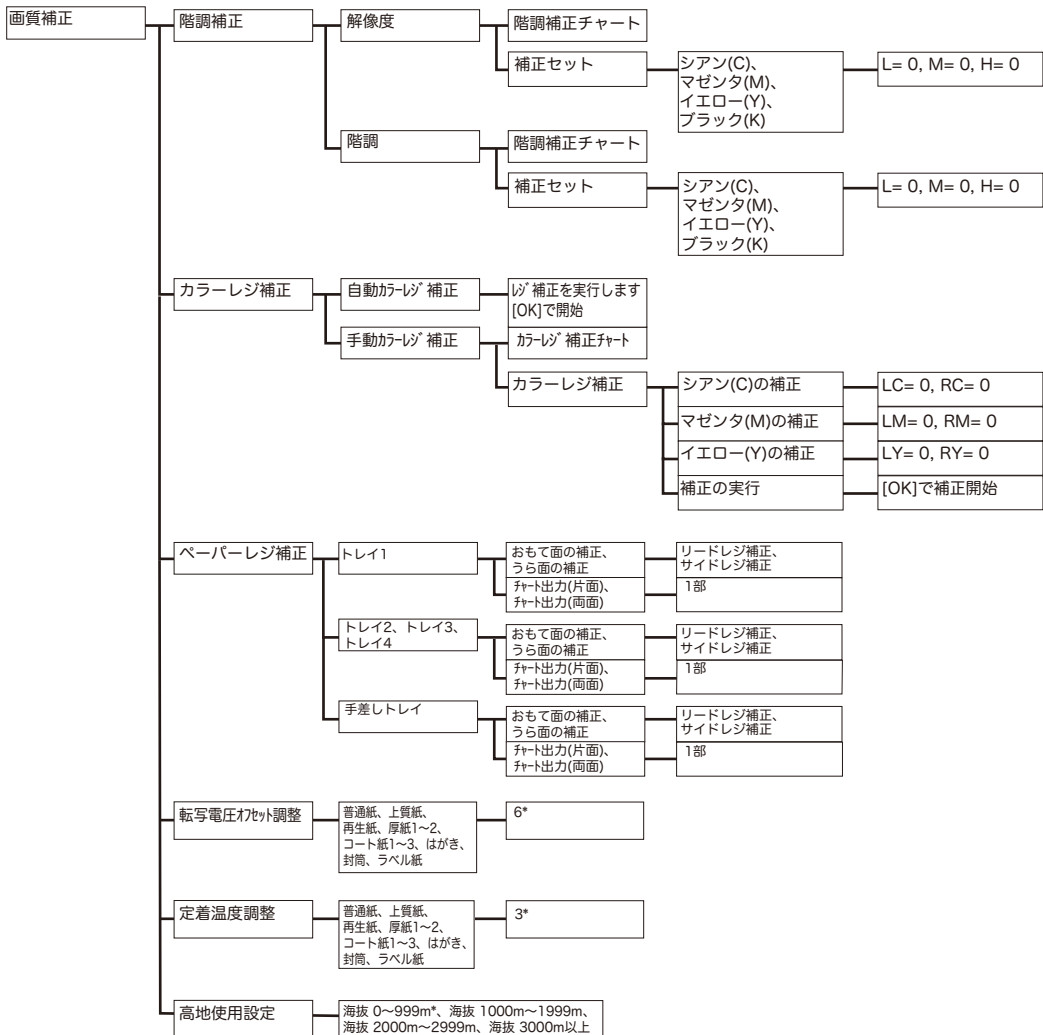
★F



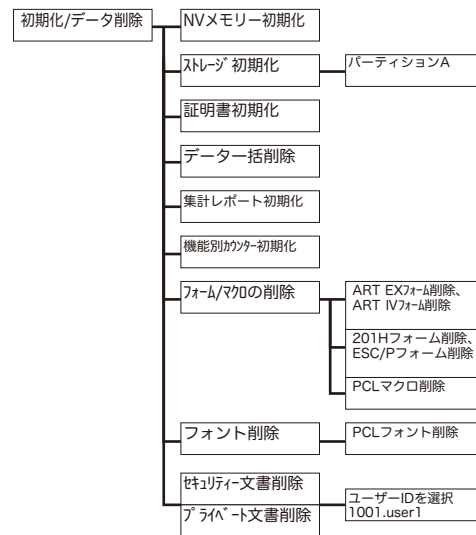
★G



★H



★I

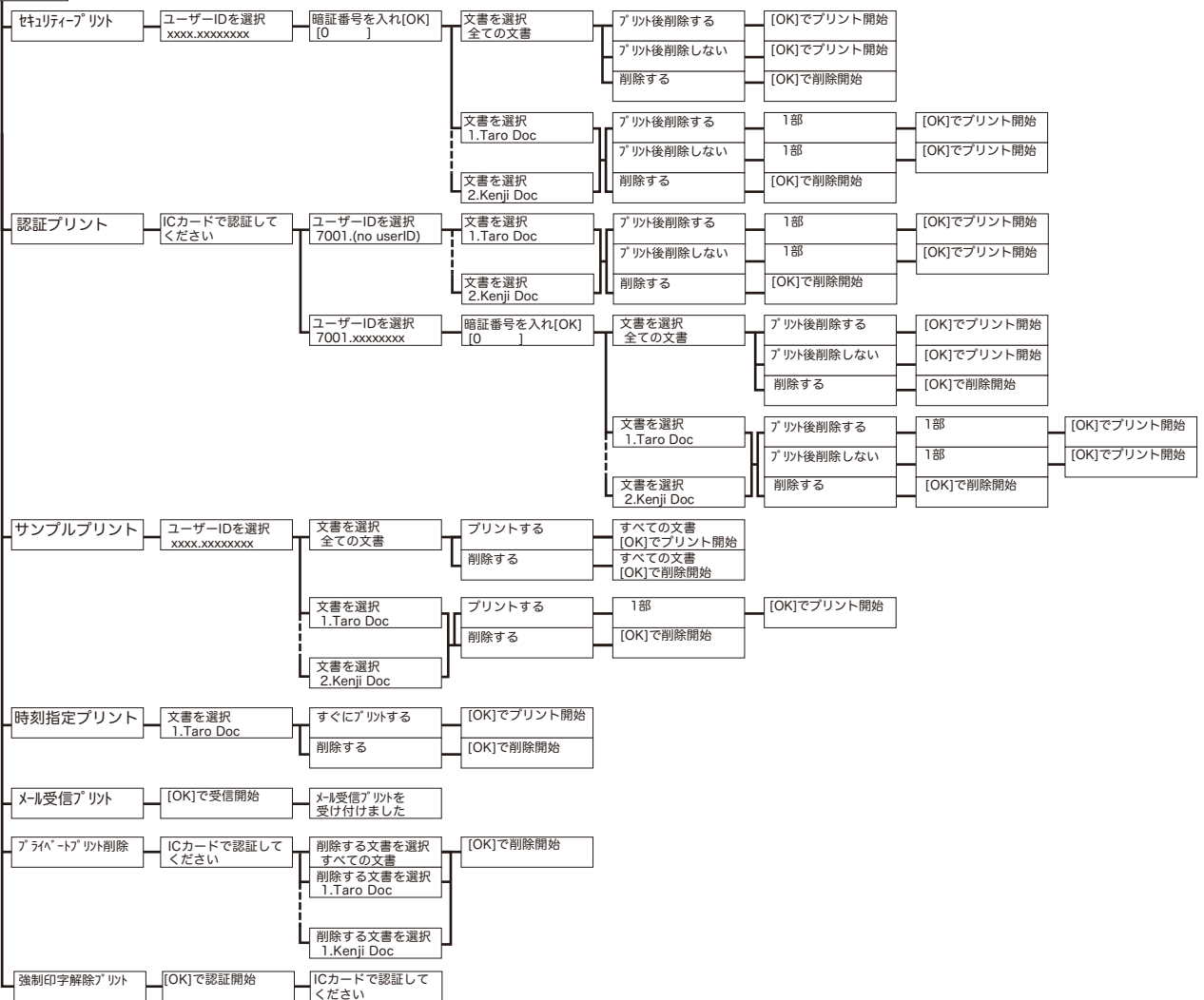


12.3 プリントメニュー

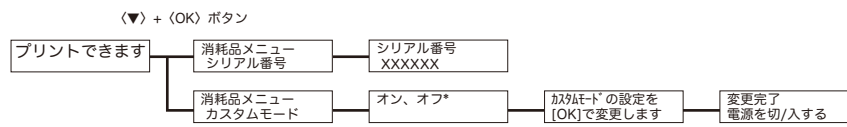
プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます] に戻るまで認証状態が継続されます。

(プリントメニュー) ボタン

プリントできます



12.4 消耗品メニュー



商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。
(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

富士ゼロックス
フリーダイヤル **0120-66-2209** FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、富士ゼロックスお客様相談センターにお問い合わせください。

TEL:0120-27-4100

受付時間:9時から12時、13時から17時

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

- 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル **0120-27-4100**

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp>

DocuPrint C3550 d/DocuPrint C2550 d
ユーザズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社

発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2020年6月 第1版

(管理番号: ME8726J1-2)